

はじめに

市政世論調査は、市民の皆様の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するために毎年実施しています。

この冊子は、平成22年5月に実施した「市政世論調査」の結果をとりまとめたもので、本年は、調査項目として「定住意向」「生活環境」「市政への要望」「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」の継続的項目に加え、「スポーツ」「ホームページ」「地上デジタル放送について」を設定しました。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図るとともに、調査結果を有効に活用して、市民と行政との協働によるまちづくりを、より一層推進していきたいと考えています。

最後になりましたが、この調査に御協力いただいた市民の皆様に心から御礼申しあげます。

平成22年10月

八王子市長 黒須 隆一

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査項目	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
6. 回答者の属性	5
II 調査結果の分析	11
1. 定住意向	13
1-1 定住意向	13
1-2 住み続けたい理由	16
1-3 市外へ移りたい理由	19
2. 生活環境	22
2-1 生活環境の評価	22
3. 市政への要望	28
3-1 重点施策要望	28
4. スポーツ	32
4-1 現在行っている・興味のあるスポーツ	32
4-2 この1年間に行ったスポーツの頻度	35
4-3 スポーツを行う時間の長さ	39
4-4 スポーツを行わなかった理由	42
4-5 スポーツを行う仲間	45
4-6 スポーツを行う時間帯	48
4-7 市のスポーツ施設の運営で期待すること	52
5. ホームページ	55
5-1 市のホームページの認知度・利用状況	55
5-2 市のホームページの満足度	57
5-3 市のホームページで利用する情報	59

5-4	市のホームページを利用したことがない理由	61
5-5	モバイル八王子の認知度・利用状況	62
5-6	モバイル八王子の満足度	64
5-7	モバイル八王子で充実してほしい情報	66
5-8	モバイル八王子を利用したことがない理由	68
5-9	メール配信サービスの認知度・利用状況	70
5-10	メール配信サービスの満足度	72
5-11	メール配信サービスを利用したことがない理由	74
5-12	行政の情報以外に知りたい市内の情報	75

6. 地上デジタル放送について 77

6-1	地上デジタル放送の視聴状況	77
6-2	地上デジタル放送の視聴に対応していない部分	80
6-3	地上デジタル放送へ切り替えていない理由	82
6-4	地上デジタル放送へ切り替える予定	83
6-5	地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度	85

7. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度 87

7-1	現在の生きがい	87
7-2	この1年間に取り組んだ学習活動	89
7-3	この1年間の芸術・文化活動の頻度	92
7-4	健康のために心がけていること	94
7-5	かかりつけの医療機関の有無	96
7-6	この1年間の地域行事への参加	98
7-7	市民協働の推進状況	100
7-8	災害に対する準備	102
7-9	日常生活環境の安全度	104
7-10	市のにぎわいと活力の有無	106
7-11	市は景観に配慮されたまちであるか	108
7-12	市の窓口の利用の有無	110
7-13	市の窓口サービスの満足度	112
7-14	市の相談窓口の充実度	114
7-15	市の相談窓口の利用の有無	116
7-16	相談窓口の満足度	118
7-17	市政情報の入手しやすさ	120
7-18	市の子育て支援施策の満足度	122
7-19	環境問題への関心度	125

7-20	市の現在の環境	127
7-21	都市の美観が損なわれる原因	129
7-22	市は美観が保持されたまちだと思うか	132
7-23	省エネ・省資源を実行しているか	134

III	調査票	137
------------	------------------	------------

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：八王子市内全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 対象者数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
 - ・層 化…「八王子ゆめおりプラン」で示された6地域に区分する。(下の地域区分図参照)
 - ・地点抽出…各地域の調査対象人口(満20歳以上の男女)に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。
 - ・対象者抽出…抽出された各地点において対象者数が30人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

中央地域：本庁管内
西部地域：元八王子・恩方・川口
西南部地域：浅川・横山・館
北部地域：加住・石川
東南部地域：由井・北野
東部地域：由木・由木東・南大沢



- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成22年5月14日～5月28日
- (7) 調査機関：(株) エスピー研

3. 調査項目

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境
- (3) 市政への要望
- (4) スポーツ
- (5) ホームページ
- (6) 地上デジタル放送について
- (7) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

4. 回収結果

対象者数 : 3,000人

有効回収数: 1,852票 (有効回収率61.7%)

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、n(件数)として表示した。その比率は、n(件数)を100%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析の軸(=表側)として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性と基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「〇割」、「0.1~0.9%」の場合は「ほぼ〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割弱」、「9.0~9.9%」の場合は「ほぼ〇割」との表記を基本とする。
- (7) 標本誤差

標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、および回答比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数(サンプル数)
 P = 回答比率

回答比率(P) 基数(n)	10%または90% 前後	20%または80% 前後	30%または70% 前後	40%または60% 前後	50%前後
1,852	± 1.97	± 2.63	± 3.01	± 3.22	± 3.29
1,500	± 2.19	± 2.92	± 3.35	± 3.58	± 3.65
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.37
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1}$ 1として算出している。この表の計算式の信頼度は95%である。

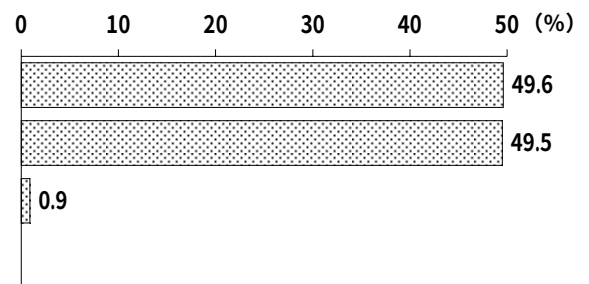
注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,852で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.22%以内(56.8%~63.2%)である」と見ることができる。

6. 回答者の属性

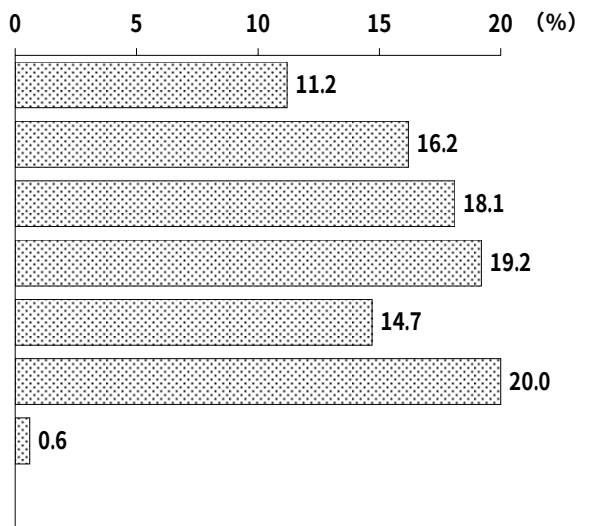
1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	919	49.6
2 女性	917	49.5
無 回 答	16	0.9
合 計	1,852	100.0



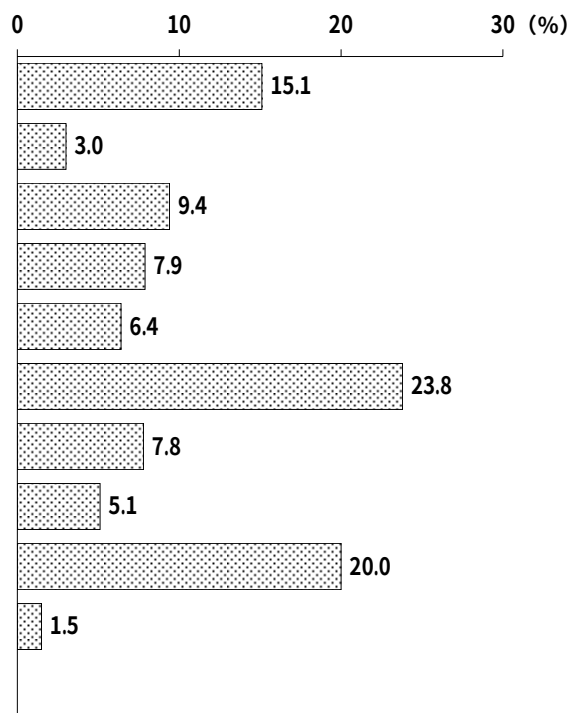
2 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	208	11.2
2 30歳代	300	16.2
3 40歳代	336	18.1
4 50歳代	355	19.2
5 60～64歳	272	14.7
6 65歳以上	370	20.0
無 回 答	11	0.6
合 計	1,852	100.0



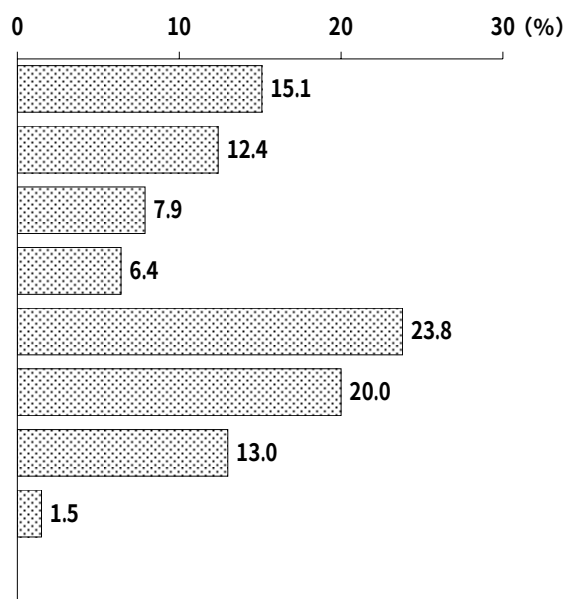
3 ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1 20～39歳で単身者	279	15.1
2 20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	56	3.0
3 20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	174	9.4
4 20～64歳で一番下の子どもが小学生	146	7.9
5 20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	118	6.4
6 20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	441	23.8
7 40～64歳で単身者	145	7.8
8 40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	95	5.1
9 65歳以上	370	20.0
無 回 答	28	1.5
合 計	1,852	100.0



■ ライフステージ (集約型)

	基数(人)	構成比(%)
1 独身期	279	15.1
2 家族形成期	230	12.4
3 家族成長前期	146	7.9
4 家族成長後期	118	6.4
5 家族成熟期	441	23.8
6 老齢期	370	20.0
7 その他	240	13.0
無 回 答	28	1.5
合 計	1,852	100.0

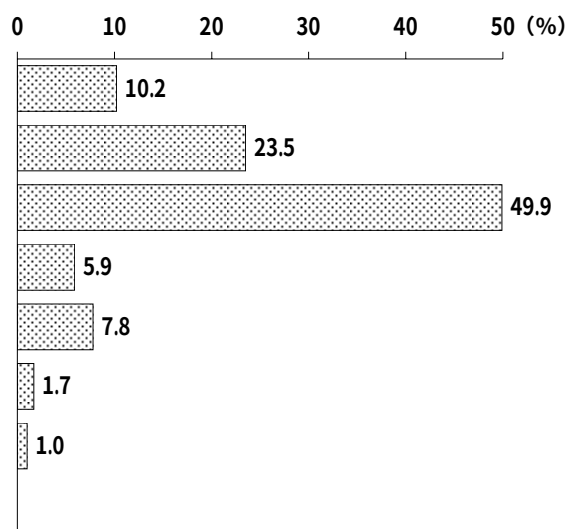


■ ライフステージ区分

独 身 期	20～39歳で単身者
家 族 形 成 期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家 族 成 長 前 期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家 族 成 長 後 期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家 族 成 熟 期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老 齢 期	65歳以上
そ の 他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

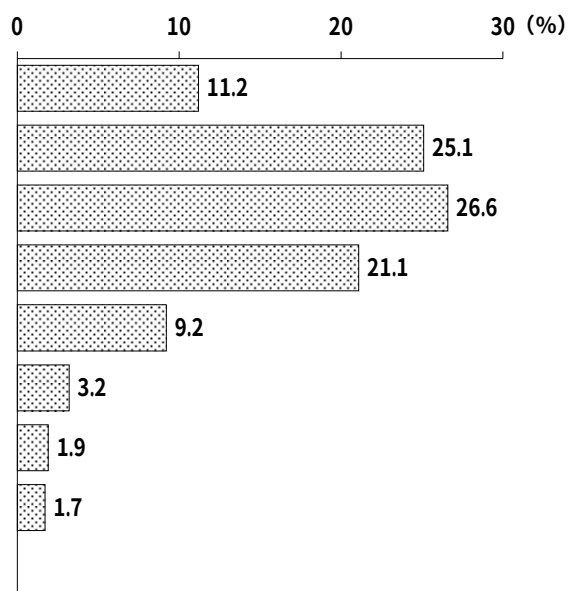
4 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし(単身世帯)	189	10.2
2 夫婦のみ(一世代世帯)	436	23.5
3 親と未婚の子ども (二世世代世帯)	924	49.9
4 親と子ども夫婦 (二世世代世帯)	109	5.9
5 親と子どもと孫(三世世代世帯)	144	7.8
6 その他	32	1.7
無 回 答	18	1.0
合 計	1,852	100.0



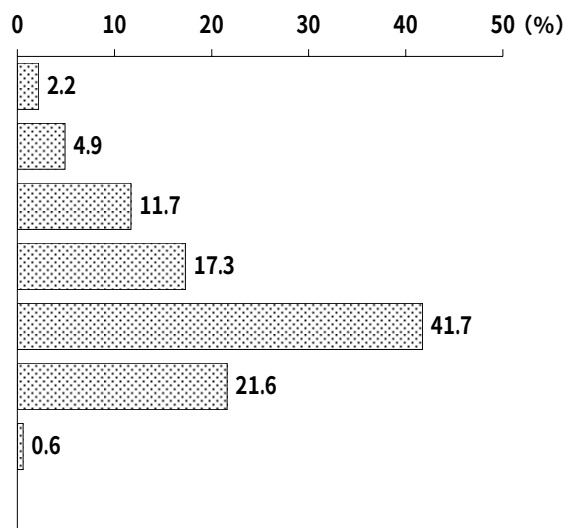
5 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	208	11.2
2 2人	465	25.1
3 3人	492	26.6
4 4人	390	21.1
5 5人	170	9.2
6 6人	60	3.2
7 7人以上	36	1.9
無 回 答	31	1.7
合 計	1,852	100.0



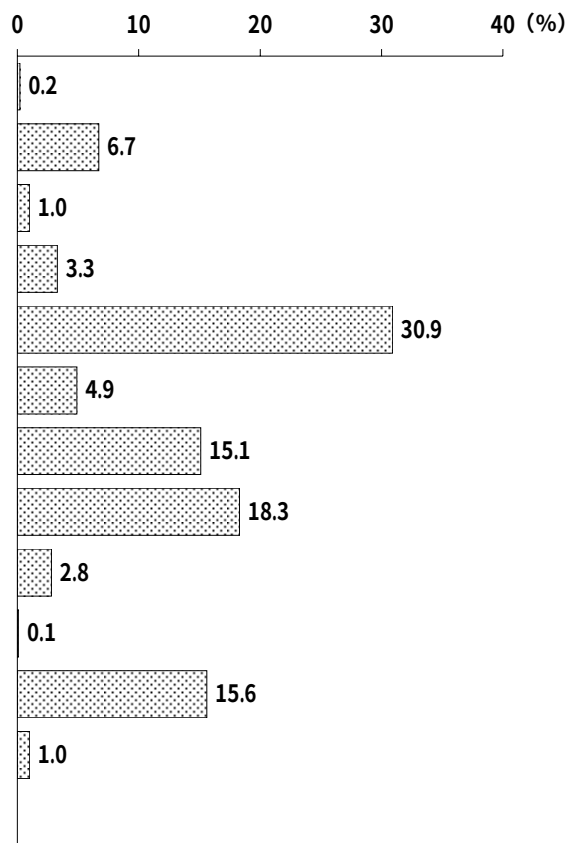
6 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	40	2.2
2 1～3年未満	91	4.9
3 3～10年未満	217	11.7
4 10～20年未満	321	17.3
5 20年以上	772	41.7
6 生まれてからずっと	400	21.6
無 回 答	11	0.6
合 計	1,852	100.0



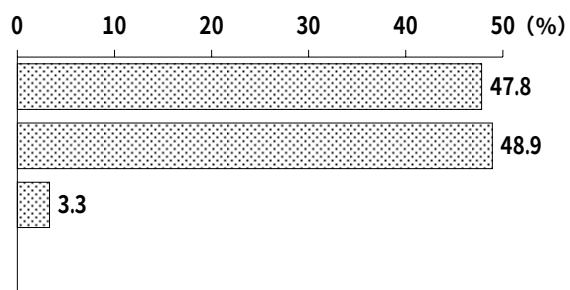
7 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 農・林・漁業	4	0.2
2 自営業	125	6.7
3 自由業（開業医、弁護士、司法書士など）	19	1.0
4 会社や団体の役員	62	3.3
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	573	30.9
6 教員・公務員	91	4.9
7 アルバイト・パート	280	15.1
8 (専業)主婦・主夫	339	18.3
9 学生	51	2.8
10 その他	2	0.1
11 無職	288	15.6
無 回 答	18	1.0
合 計	1,852	100.0



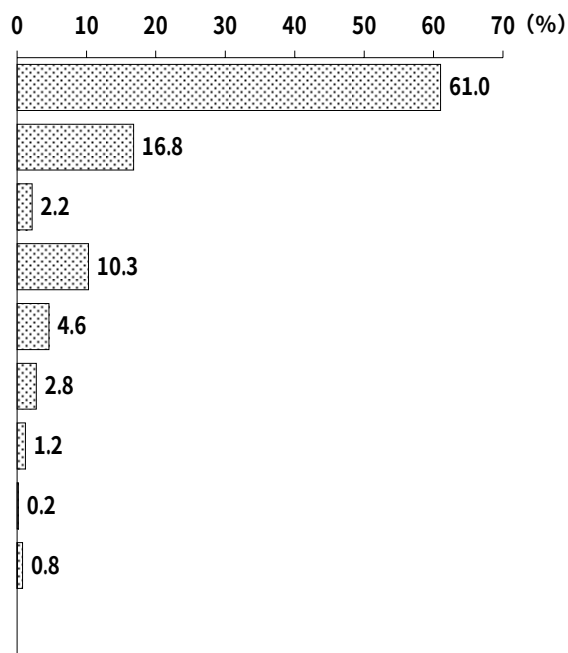
7-1 仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1 八王子市内	552	47.8
2 八王子市外	564	48.9
無 回 答	38	3.3
合 計	1,154	100.0



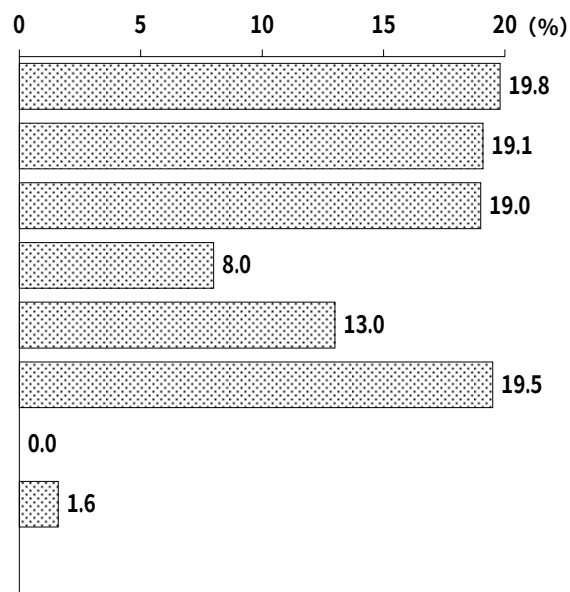
8 居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て（持ち家）	1,130	61.0
2 分譲マンション	312	16.8
3 一戸建て（借家）	41	2.2
4 民間の賃貸アパート・マンション	190	10.3
5 都市再生機構（旧公団）・公社の賃貸住宅	85	4.6
6 都営・市営住宅	52	2.8
7 社宅・官舎・寮	23	1.2
8 その他	4	0.2
無 回 答	15	0.8
合 計	1,852	100.0



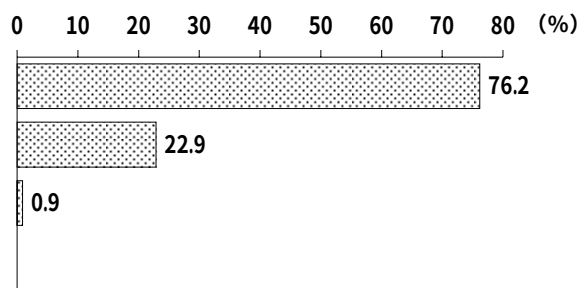
9 居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1 本庁管内(中央地域)	367	19.8
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	354	19.1
3 浅川・横山・館(西南部地域)	352	19.0
4 加住・石川(北部地域)	148	8.0
5 由井・北野(東南部地域)	240	13.0
6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	362	19.5
7 不明	0	0.0
無 回 答	29	1.6
合 計	1,852	100.0



10 町会・自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 入っている	1,412	76.2
2 入っていない	424	22.9
無 回 答	16	0.9
合 計	1,852	100.0



Ⅱ 調査結果の分析

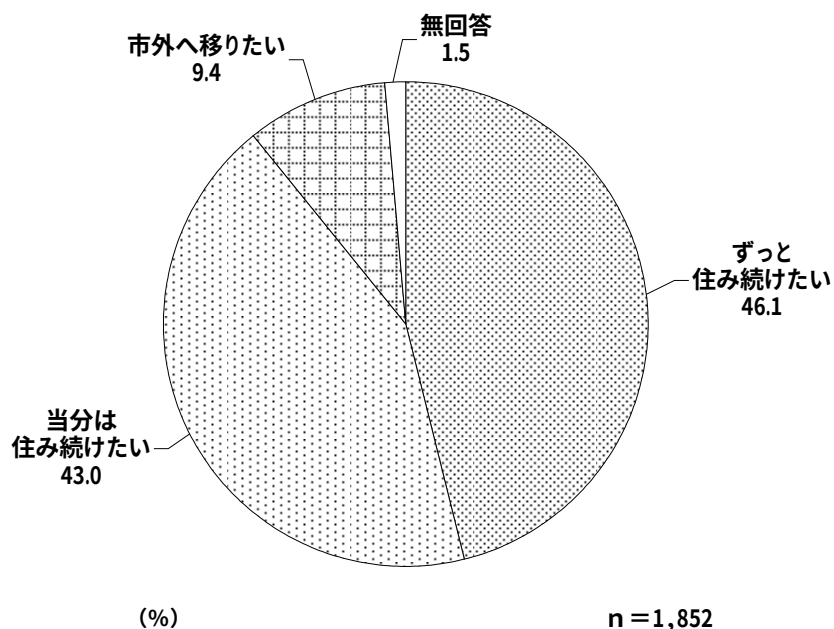
1. 定住意向

1-1 定住意向

◇『住み続けたい』が9割弱を占め、「市外へ移りたい」が1割弱

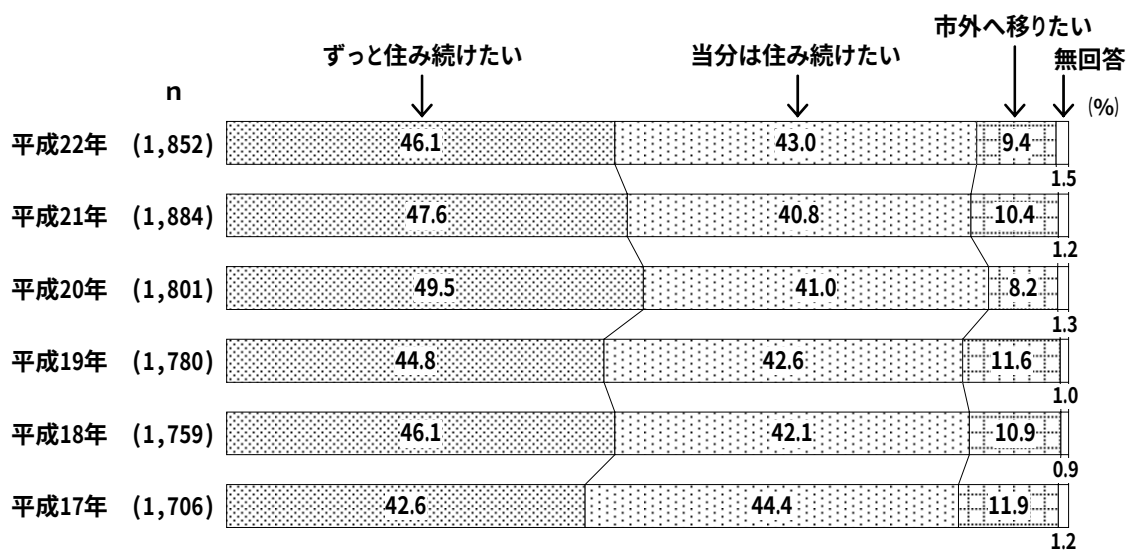
問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-1-1



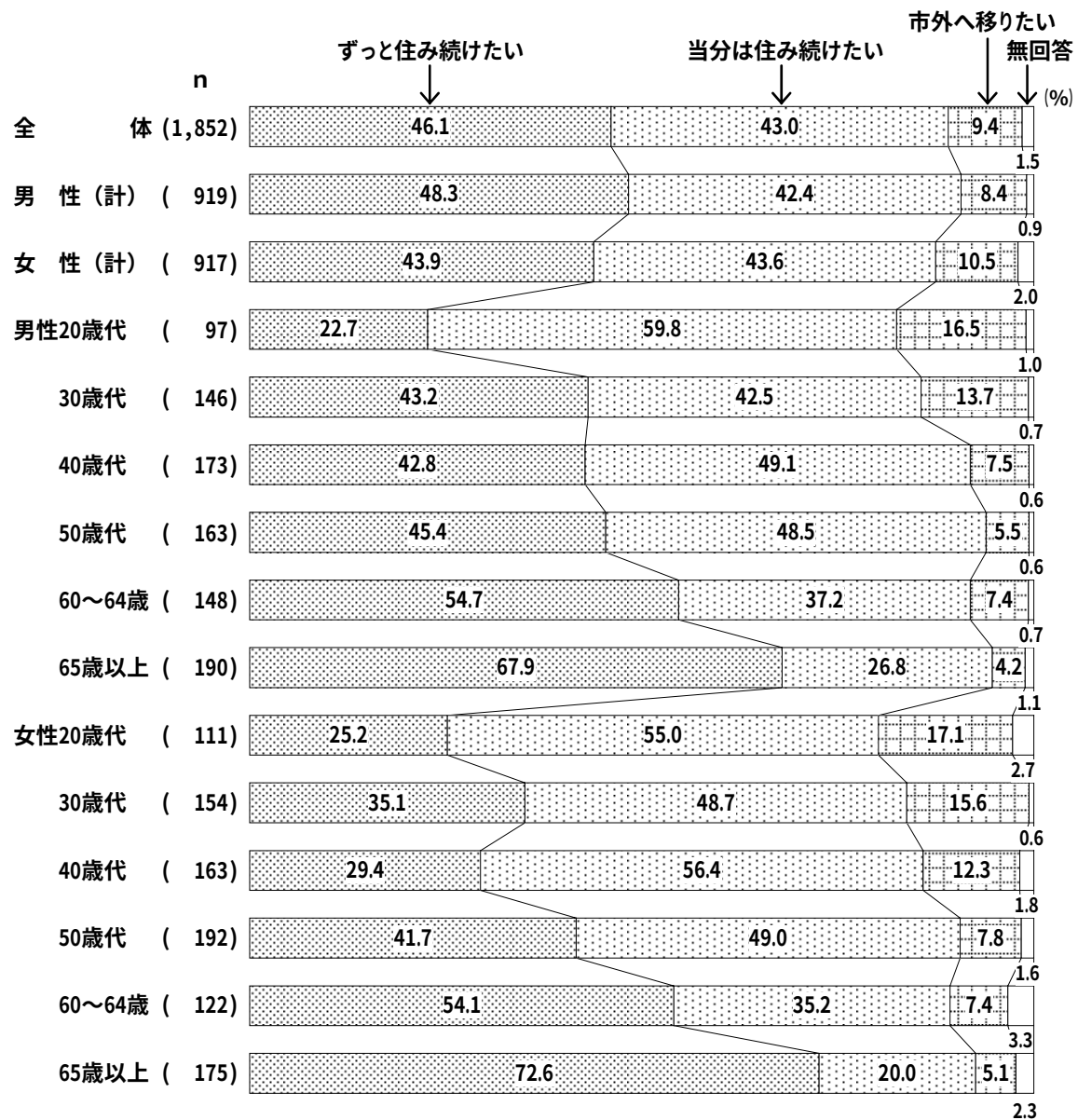
市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が5割弱（46.1%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（43.0%）と合わせた『住み続けたい』は9割弱（89.1%）を占める。また、「市外へ移りたい」は1割弱（9.4%）にとどまっている。（図1-1-1）

図1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、『住み続けたい』は引き続き9割前後の割合を占めており、大きな変化はみられない。（図1-1-2）

図1-1-3 定住意向－性・年齢別

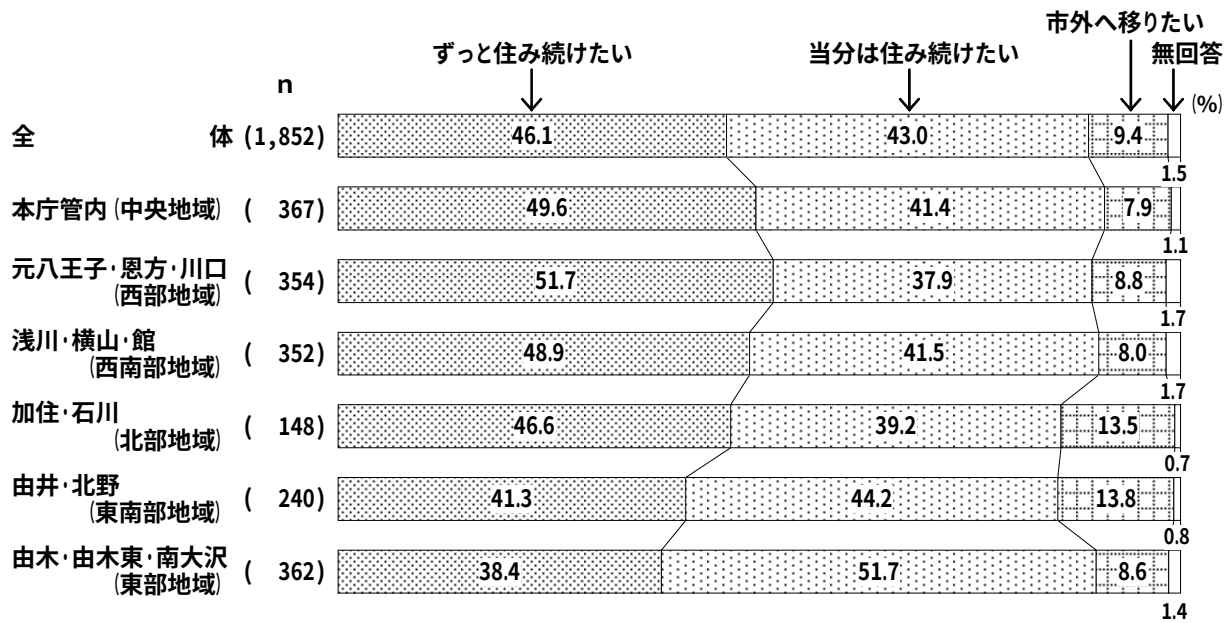


性別にみると、「ずっと住みたい」は男性の方が4.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男性65歳以上（67.9%）と女性65歳以上（72.6%）では7割前後、男性60～64歳（54.7%）と女性60～64歳（54.1%）では5割台半ばと高くなっている。また、「市外へ移り住みたい」は男女とも20歳代で2割弱と他の年代に比べて高くなっている。

（図1-1-3）

図 1－1－4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、『住みたい』はすべての地域で8割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）が5割強と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「ずっと住みたい」が4割弱（38.4%）と他の地域が4割を超えているのに比べ低くなっている。（図1－1－4）

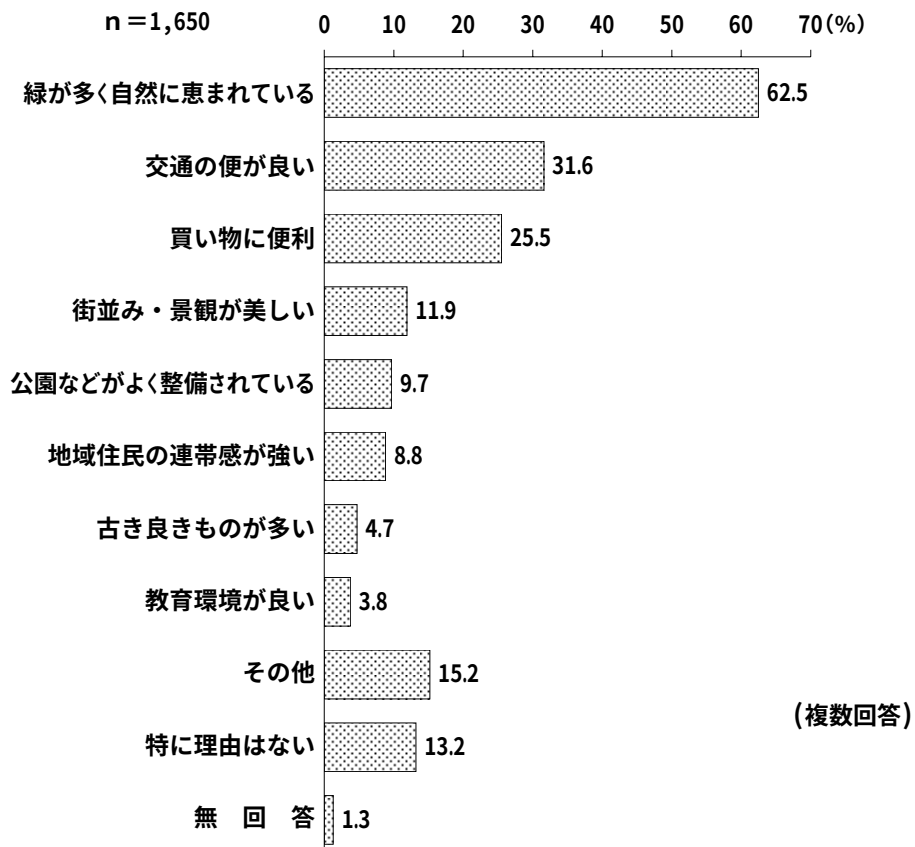
1-2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割強と突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

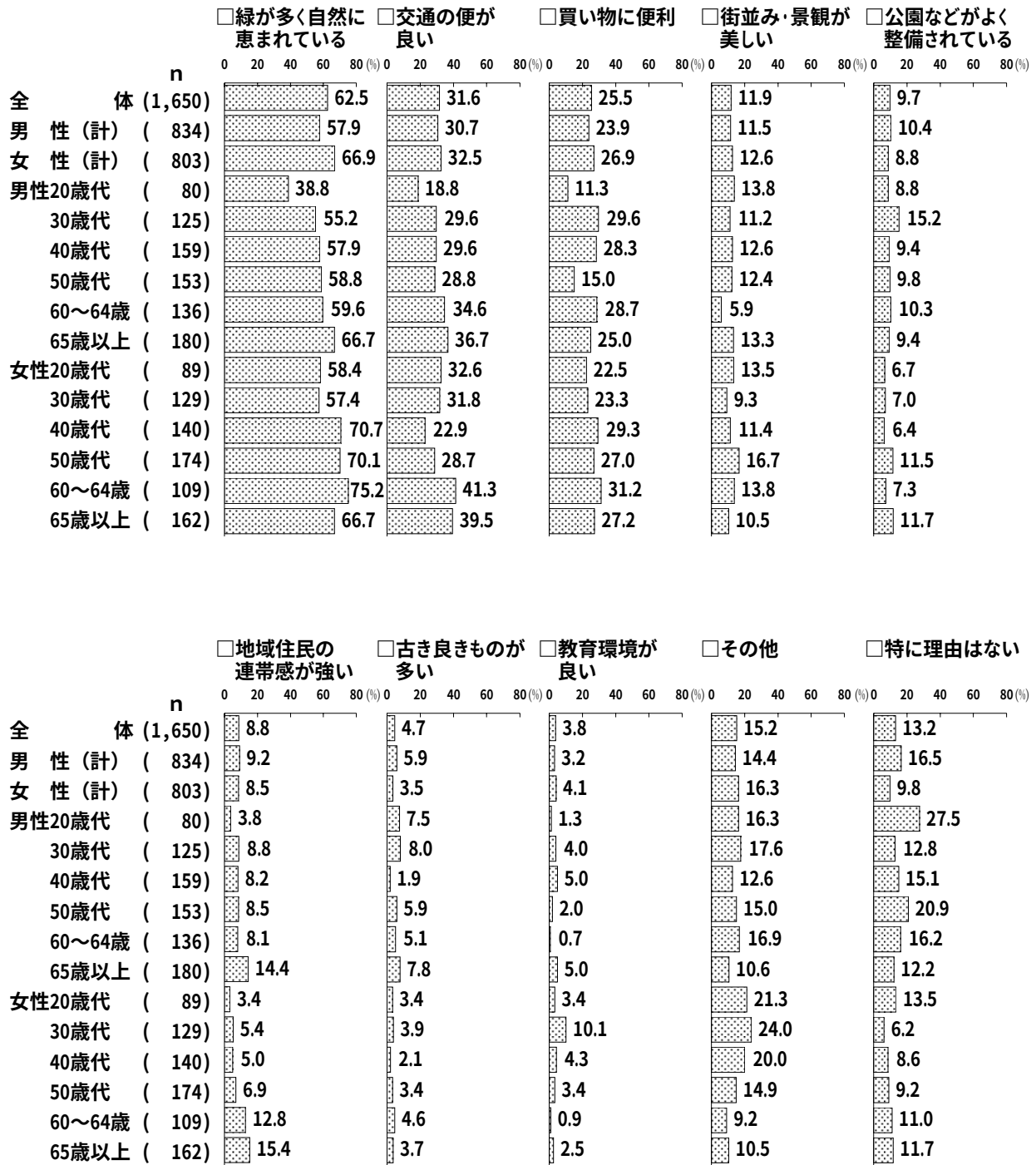
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図1-2-1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,650人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が6割強(62.5%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(31.6%)、「買い物に便利」(25.5%)、「街並み・景観が美しい」(11.9%)、「公園などがよく整備されている」(9.7%)と続いている。(図1-2-1)

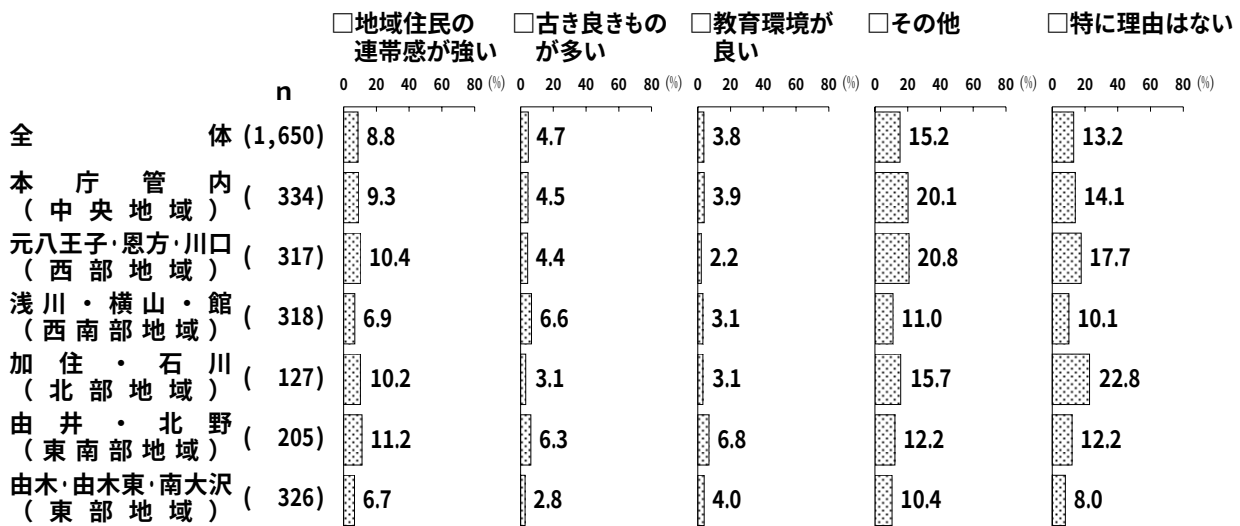
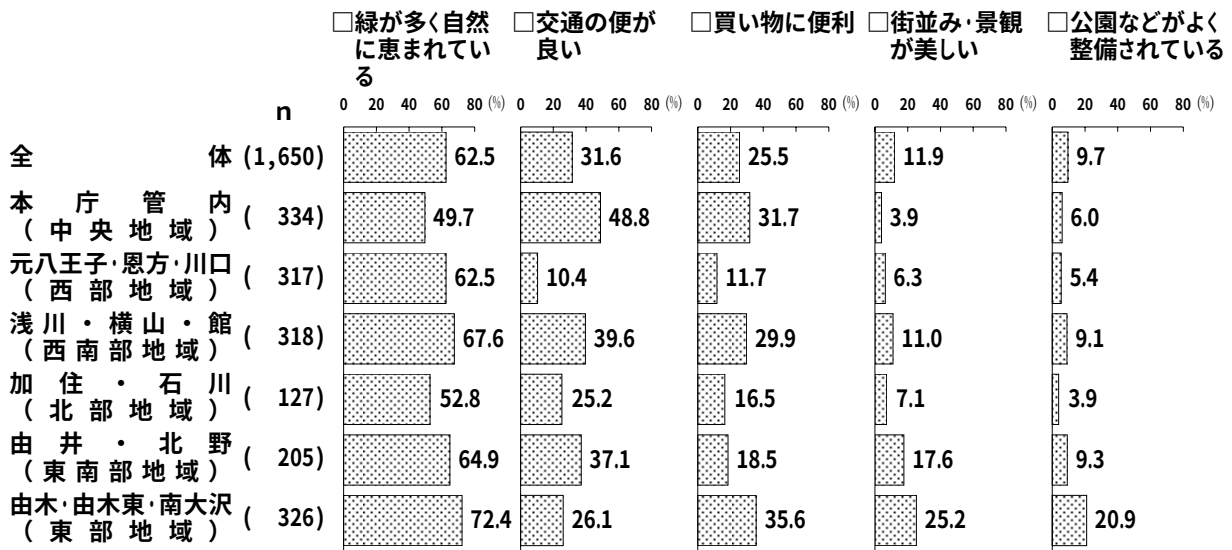
図 1－2－2 住み続けたい理由－性・年齢別



性別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性のほうが9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性20歳代を除いて半数以上を占めており、特に女性40歳代から60～64歳で7割以上と高くなっている。(図1－2－2)

図 1－2－3 住み続けたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」が５割弱（４８．８％）と高くなっている。由木・由木東・南大沢（東部地域）では「緑が多く自然に恵まれている」が７割強（７２．４％）、「買い物に便利」が３割台半ば（３５．６％）と高くなっている。（図１－２－３）

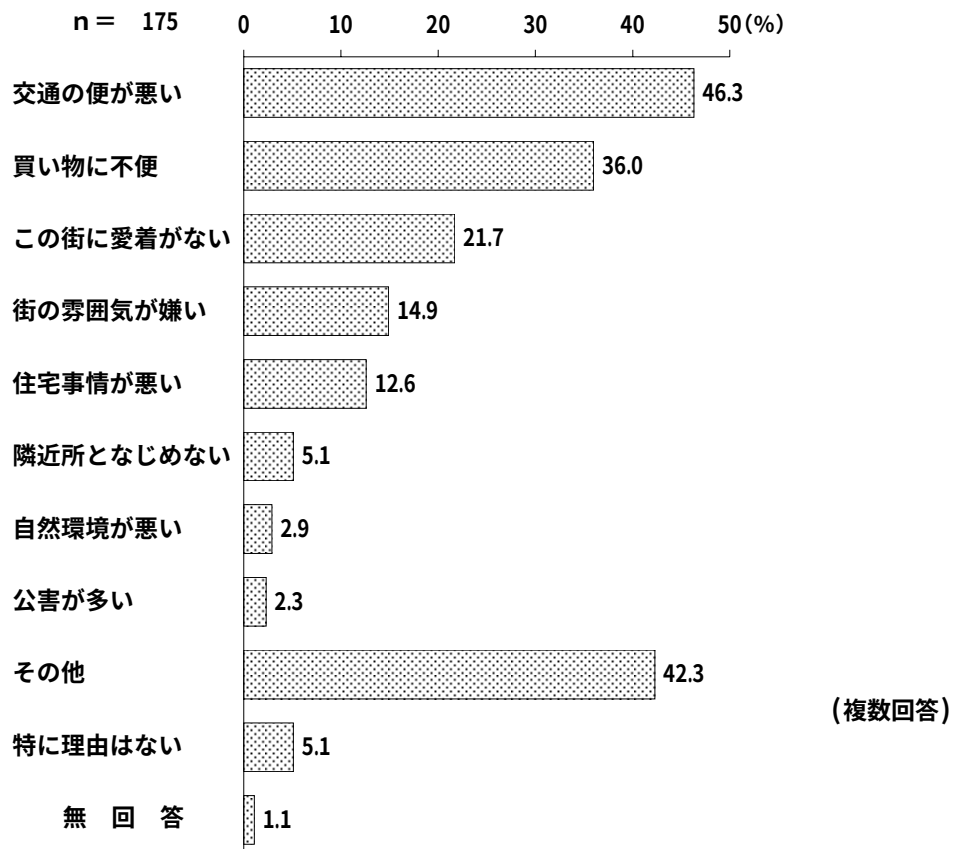
1-3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割台半ば、「買い物に不便」が3割台半ば

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

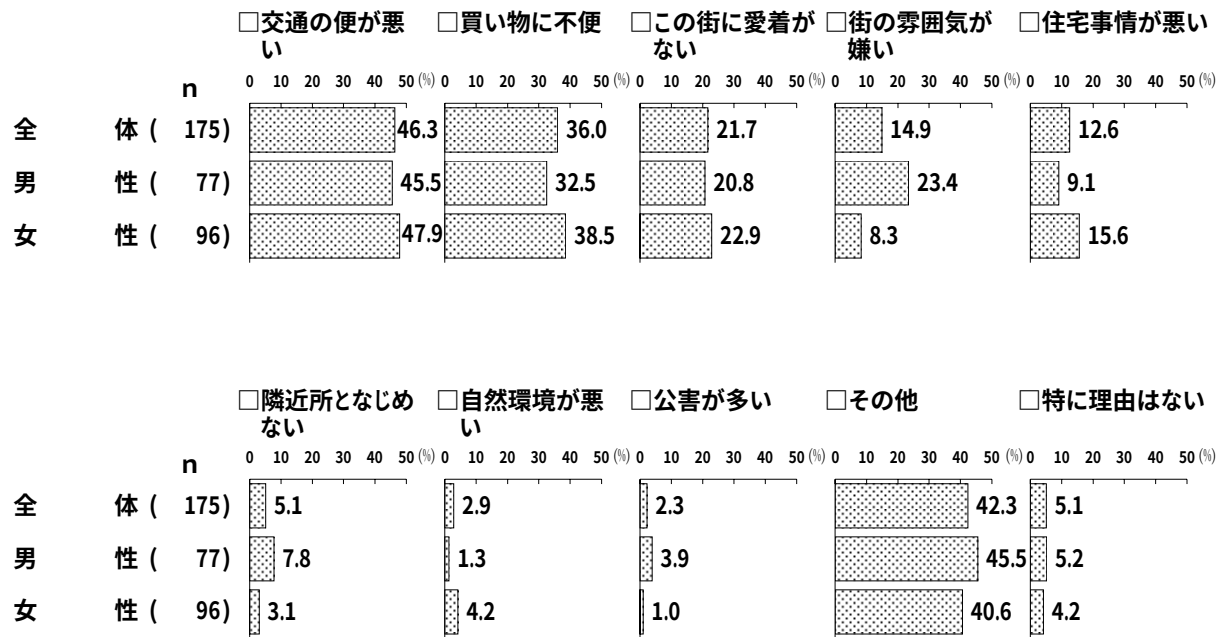
図1-3-1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(175人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割台半ば(46.3%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(36.0%)、「この街に愛着がない」(21.7%)、「街の雰囲気が嫌い」(14.9%)と続いている。

(図1-3-1)

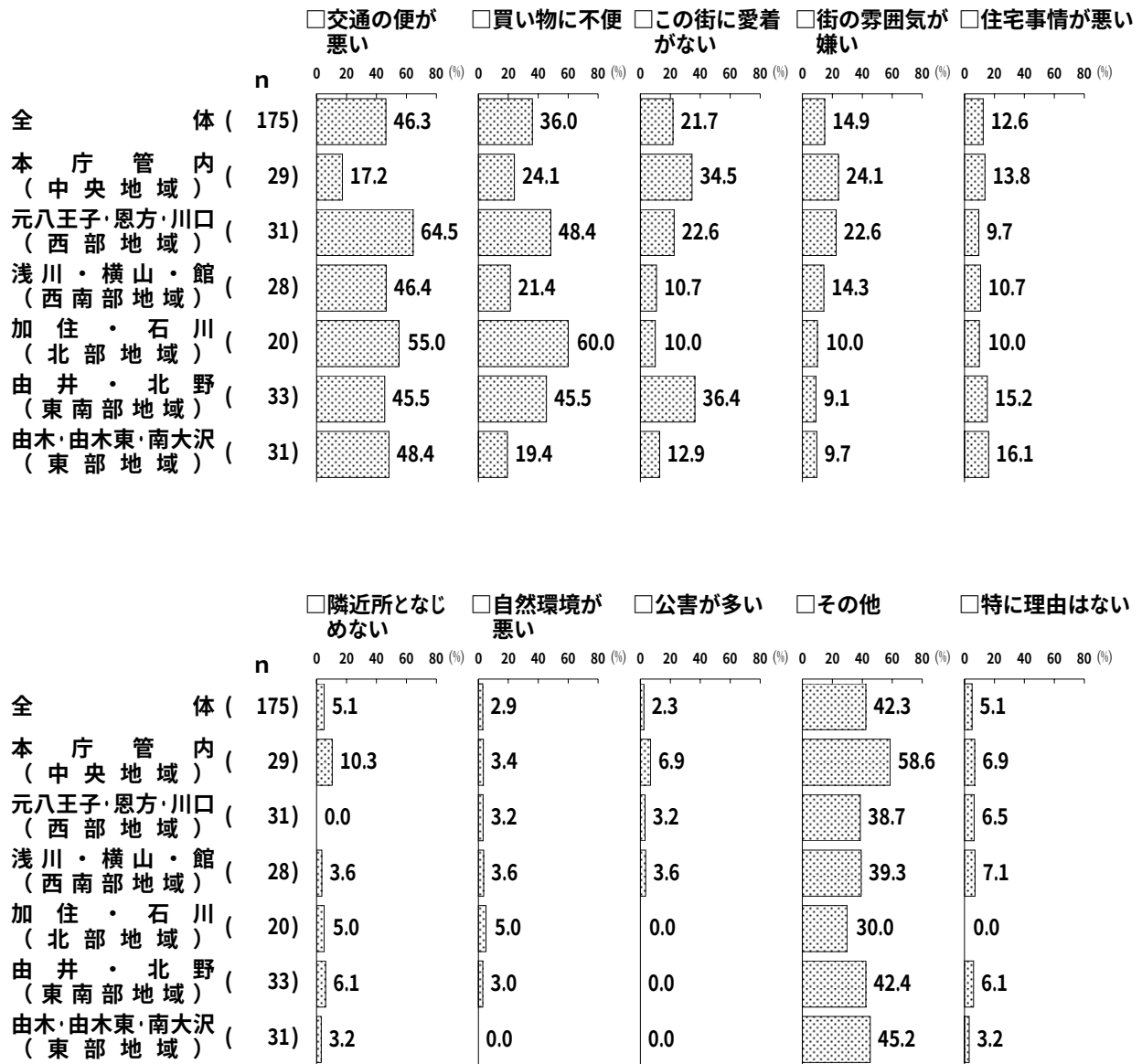
図1-3-2 市外へ移りたい理由－性別



性別にみると、「街の雰囲気が嫌い」は男性のほうが15.1ポイント高く、逆に「住宅事情が悪い」は6.5ポイント、「買い物に不便」は6.0ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

(図1-3-2)

図1-3-3 市外へ移りたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）では「交通の便が悪い」が6割台半ば（64.5%）と高くなっている。本庁管内（中央地域）では「この街に愛着がない」が3割台半ば（34.5%）と比較的高くなっている。加住・石川（北部地域）では「買い物に不便」が6割（60.0%）と高くなっている。（図1-3-3）

2. 生活環境

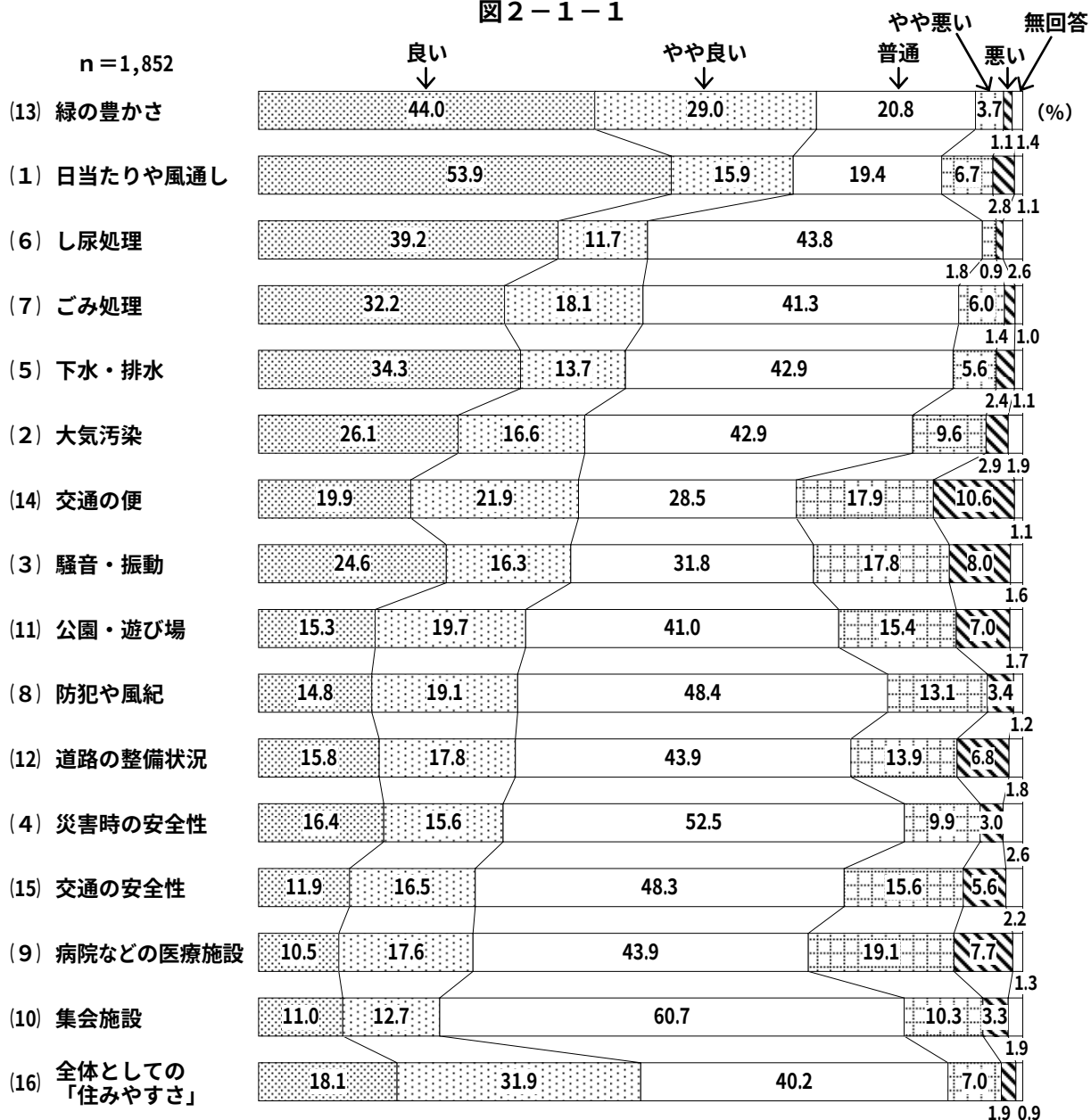
2-1 生活環境の評価

◇「緑の豊かさ」と「日当たりや風通し」の2項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(13)緑の豊かさ」では、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』が7割強(73.0%)となっていて、「(1)日当たりや風通し」では、「良い」が5割強(53.9%)と最も高く、「やや良い」(15.9%)と合わせた『良い』はほぼ7割(69.9%)となっている。一方、「(14)交通の便」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱(28.5%)と他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①緑の豊かさ	(73.0%)	①交通の便	(28.5%)
②日当たりや風通し	(69.9%)	②病院などの医療施設	(26.7%)
③し尿処理	(50.9%)	③騒音・振動	(25.8%)
④ごみ処理	(50.3%)	④公園・遊び場	(22.4%)
⑤全体としての「住みやすさ」	(49.9%)	⑤交通の安全性	(21.2%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(49.9%) がほぼ半数、【悪い】(8.9%) が1割弱となり、【良い】が【悪い】よりも41.0ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.1273点)	①病院などの医療施設	(3.04点)
②緑の豊かさ	(4.1271点)	②交通の安全性	(3.14点)
③し尿処理	(3.89点)	③集会施設	(3.18点)
④ごみ処理	(3.74点)	④公園・遊び場	(3.21点)
⑤下水・排水	(3.73点)	⑤道路の整備状況	(3.22点)

図 2-1-2 生活環境の評価点

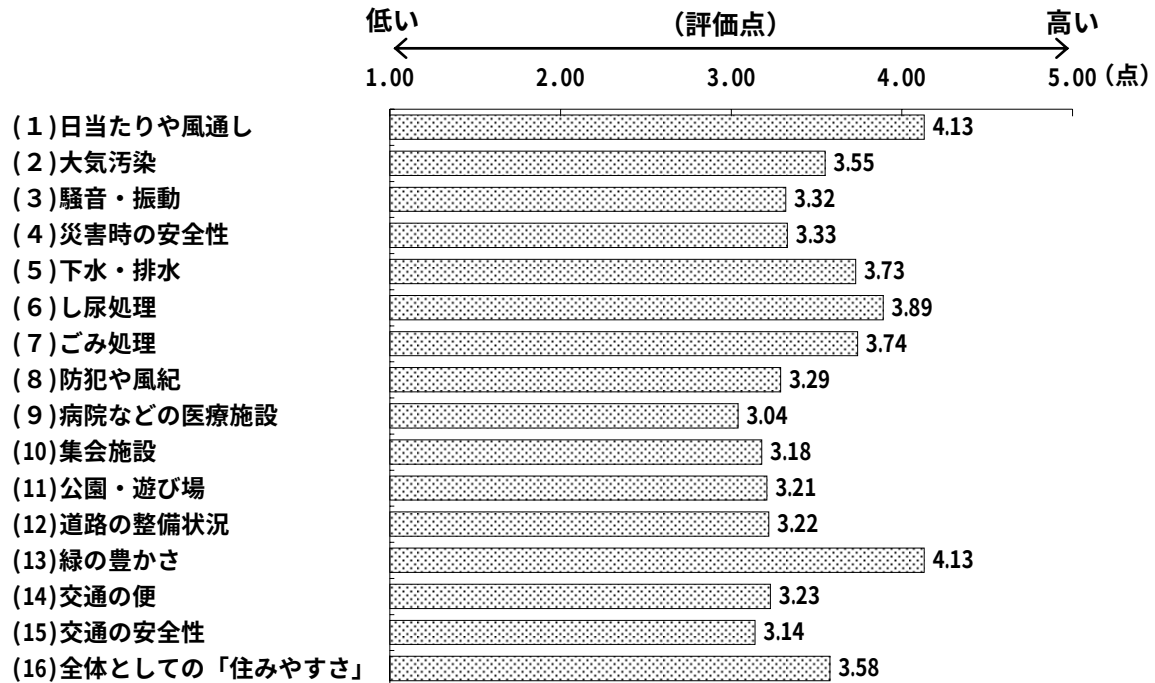


表 2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全 体	居 住 地 域					
		本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	元 八 王 子 ・ 恩 方 （ 西 部 地 域 ）	浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	南 大 沢 ・ 由 木 東 ・ （ 東 部 地 域 ）
(1) 日当たりや風通し	4.13	3.84	4.19	4.09	4.03	4.24	4.40
(2) 大気汚染	3.55	3.06	3.72	3.68	3.23	3.65	3.80
(3) 騒音・振動	3.32	2.95	3.62	3.47	2.75	3.33	3.50
(4) 災害時の安全性	3.33	3.23	3.24	3.40	3.33	3.28	3.49
(5) 下水・排水	3.73	3.73	3.51	3.86	3.56	3.71	3.90
(6) し尿処理	3.89	3.87	3.69	4.03	3.73	3.92	4.01
(7) ごみ処理	3.74	3.69	3.67	3.87	3.62	3.72	3.81
(8) 防犯や風紀	3.29	3.11	3.25	3.42	3.28	3.30	3.40
(9) 病院などの医療施設	3.04	3.35	2.60	3.26	3.03	2.96	3.00
(10) 集会施設	3.18	3.21	3.15	3.20	3.06	3.12	3.26
(11) 公園・遊び場	3.21	3.03	2.84	3.23	3.11	3.29	3.72
(12) 道路の整備状況	3.22	3.20	2.74	3.24	3.05	3.21	3.77
(13) 緑の豊かさ	4.13	3.58	4.22	4.22	4.16	4.13	4.51
(14) 交通の便	3.23	3.79	2.42	3.49	2.59	3.45	3.32
(15) 交通の安全性	3.14	3.12	2.67	3.25	2.86	3.25	3.53
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.58	3.56	3.32	3.70	3.32	3.53	3.86

（注 1） ■ は項目内での最高値

■ は項目内での最低値

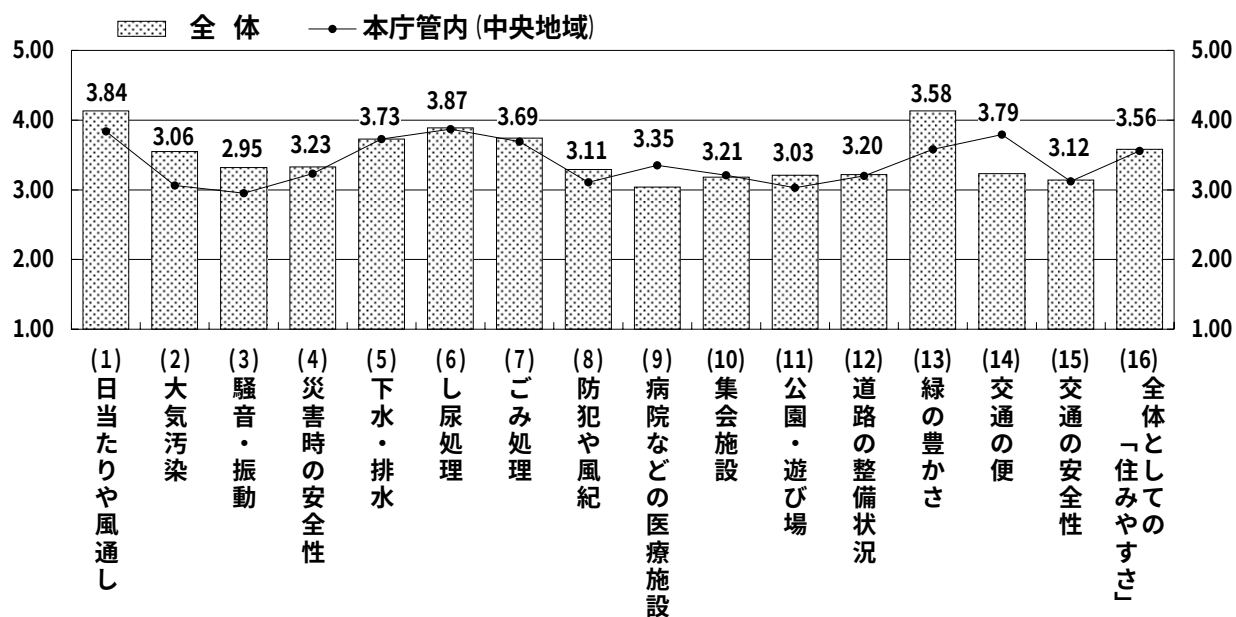
（注 2）（16）全体としての「住みやすさ」について、元八王子・恩方・川口（西部地域）の加重平均は3.324、加住・石川（北部地域）の加重平均は3.319である。

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中3項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」（+0.56ポイント）となっている。下回っているのは12項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」（-0.55ポイント）で、他に差が大きいのは、「大気汚染」（-0.49ポイント）、「騒音・振動」（-0.37ポイント）となっている。（図2-1-3）

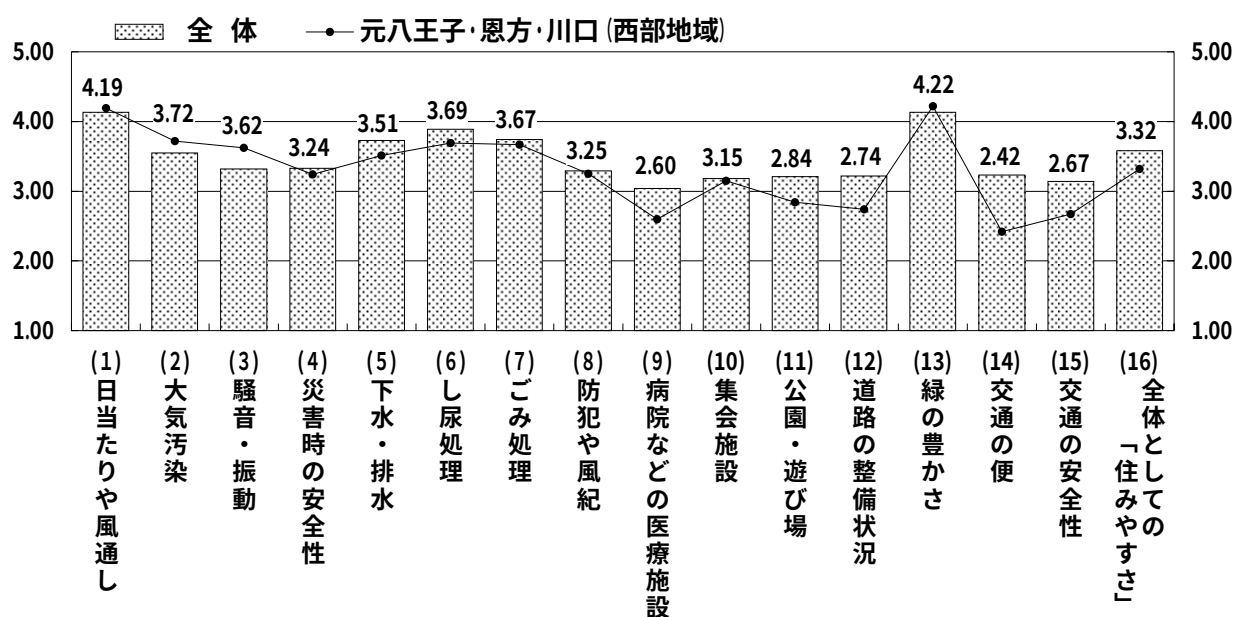
図2-1-3 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中4項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」（+0.30ポイント）となっている。下回っているのは12項目で、最も差が大きいのは「交通の便」（-0.81ポイント）で、他に差が大きいのは、「道路の整備状況」（-0.48ポイント）、「交通の安全性」（-0.47ポイント）となっている。（図2-1-4）

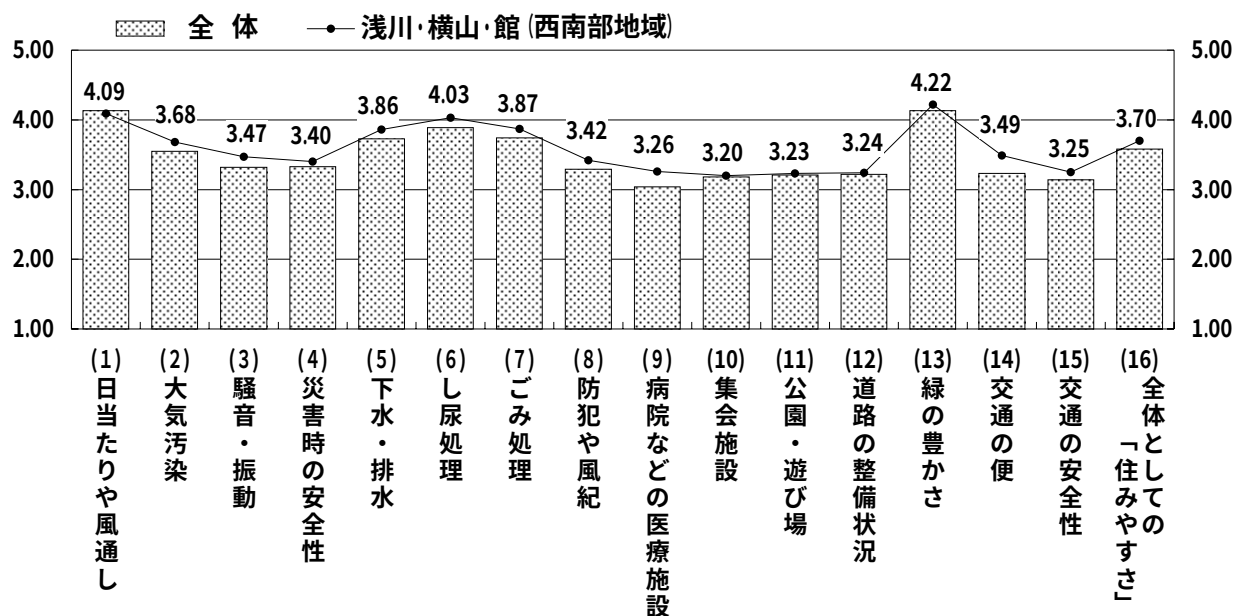
図2-1-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

「日当たりや風通し」以外の項目において市全体より上回っており、特に差が大きいのは「交通の便」（+0.26ポイント）、「病院などの医療施設」（+0.22ポイント）となっている。（図2-1-5）

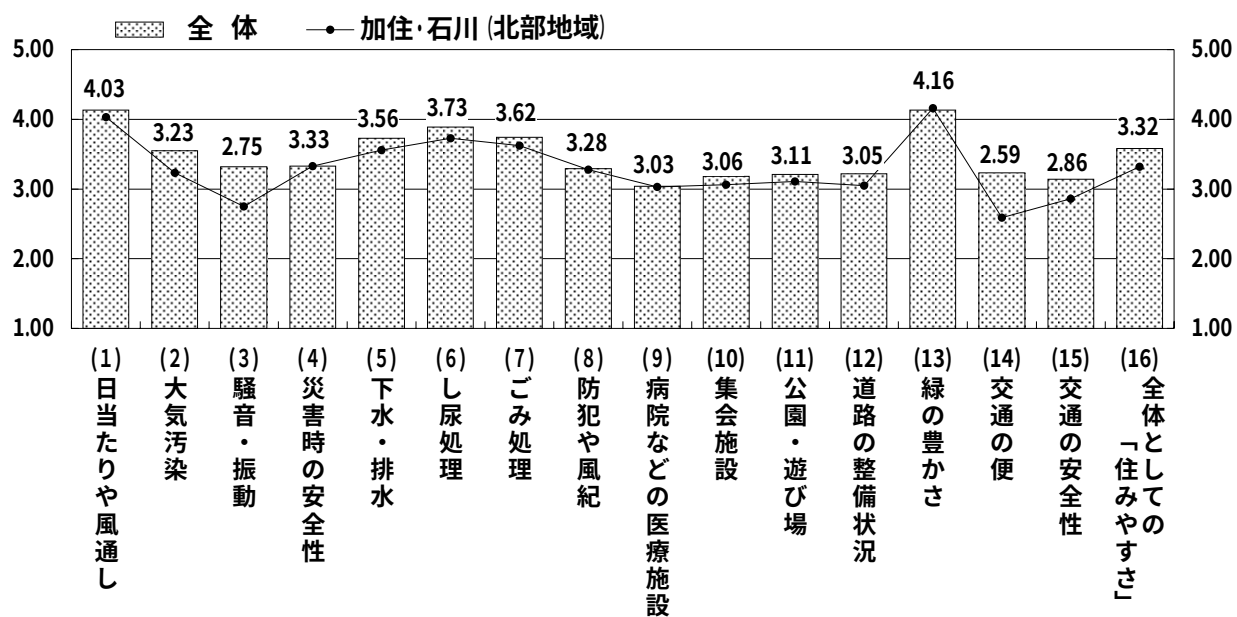
図2-1-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

「災害時の安全性」と「緑の豊かさ」以外の項目において市全体より下回っており、最も差が大きいのは「交通の便」（-0.64ポイント）で、他に差が大きいのは「騒音・振動」（-0.57ポイント）、「大気汚染」（-0.32ポイント）となっている。（図2-1-6）

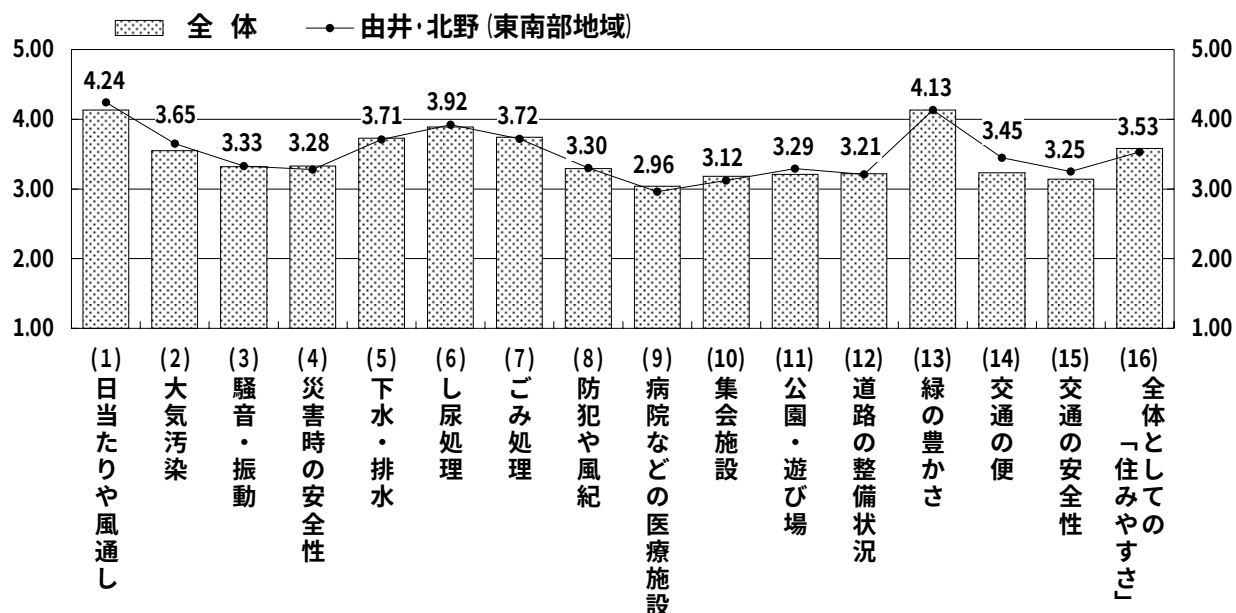
図2-1-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中8項目で、最も差が大きいのは「交通の便」（+0.22ポイント）となっている。下回っているのは16項目中7項目であるが、いずれの項目も全体との大きな差はみられない。（図2-1-7）

図2-1-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」

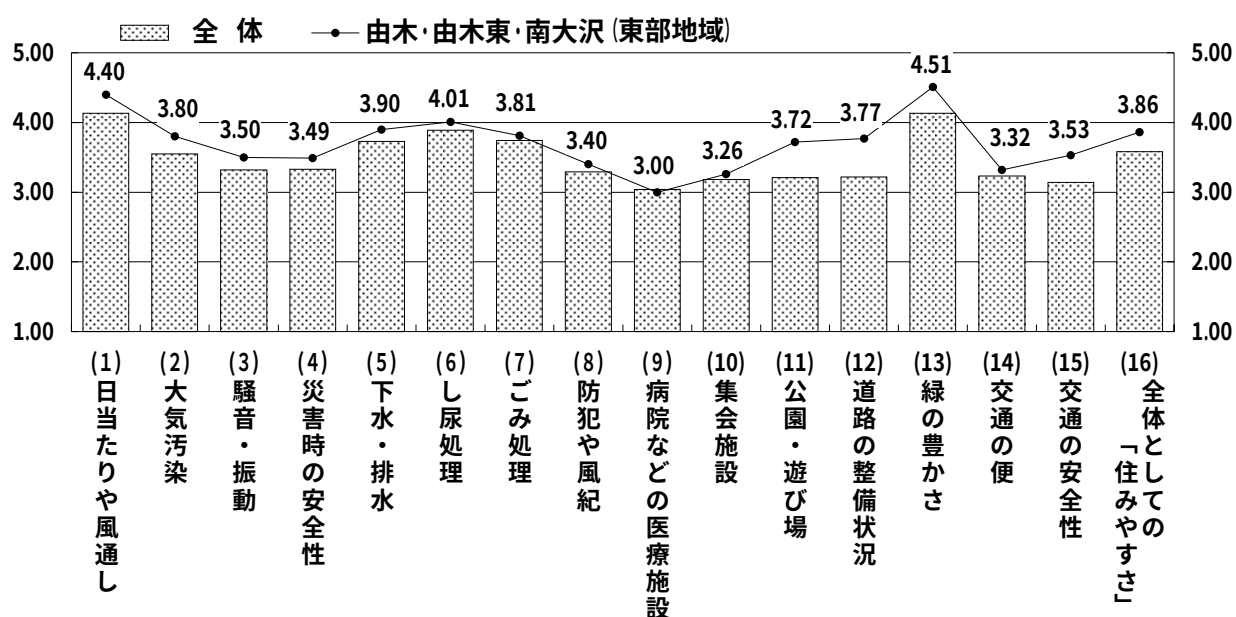


【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

「病院などの医療施設」以外のすべての項目で市全体より上回っており、特に差が大きいのは「道路の整備状況」（+0.55ポイント）、「公園・遊び場」（+0.51ポイント）となっている。

（図2-1-8）

図2-1-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



3. 市政への要望

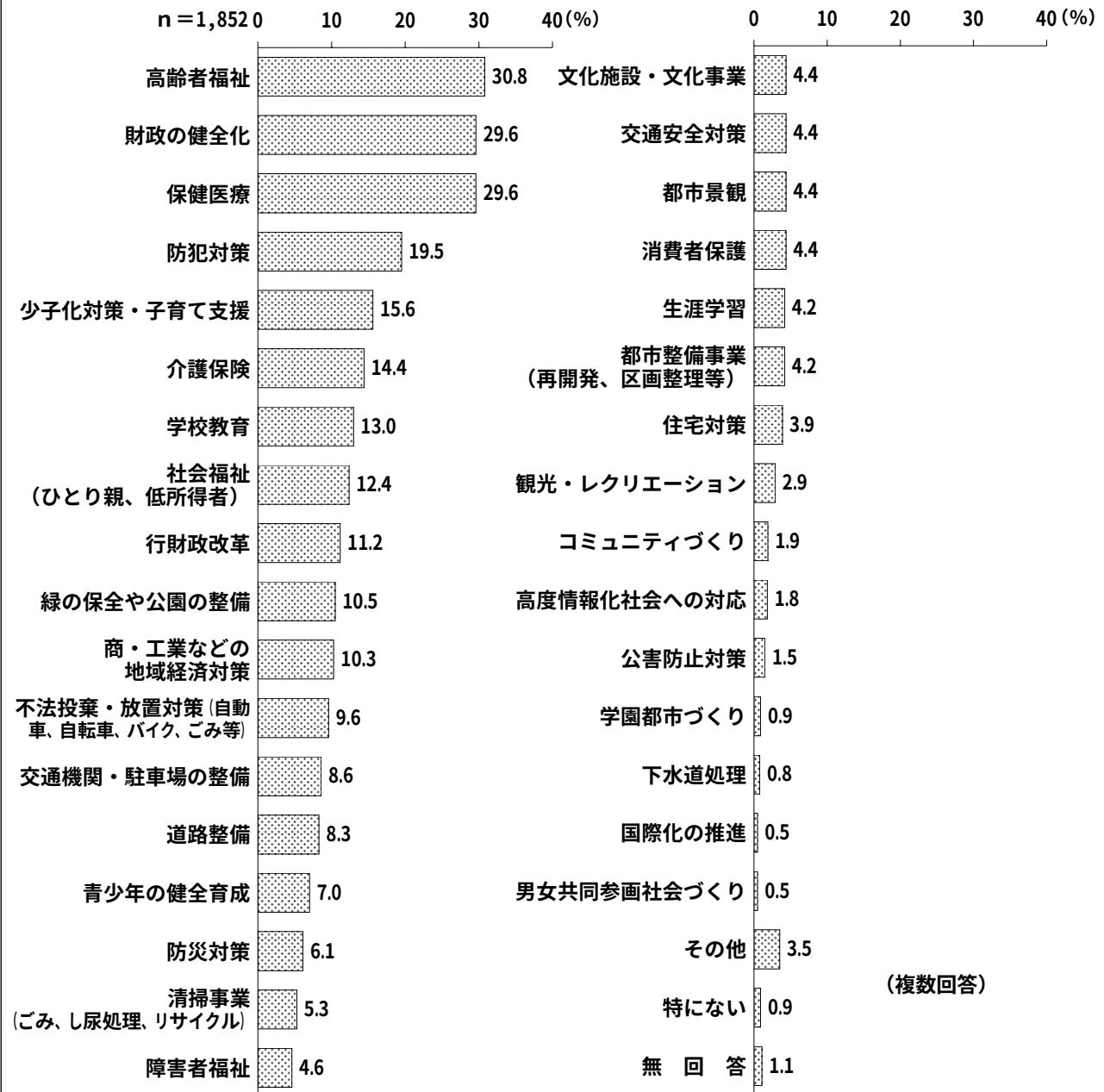
3-1 重点施策要望

◇「高齢者福祉」「財政の健全化」「保健医療」の3項目が3割前後

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。

(○は3つまで)

図3-1-1



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」(30.8%)、「財政の健全化」(29.6%)、「保健医療」(29.6%)の3項目が3割前後で高い。ついで「防犯対策」(19.5%)、「少子化対策・子育て支援」(15.6%)と続いている。(図3-1-1)

経年での変化を見ると、前々回から引き続き第1位は「高齢者福祉」であり、引き続き3割を超える割合となっている。「保健医療」は前々回、前回に続いてほぼ3割の割合で第2位となっている。「財政の健全化」は前回より5.5ポイント高くなり、第3位から同率の第2位となっている。

(表3-1-1)

表3-1-1 重点施策要望—経年比較

(%)

順位 \ 年	平成20年		平成21年		平成22年
第1位	高齢者福祉 (31.9)	→	高齢者福祉 (32.6)	→	高齢者福祉 (30.8)
第2位	保健医療 (29.9)	→	保健医療 (29.9)	→	保健医療(29.6) 財政の健全化(29.6)
第3位	財政の健全化 (26.5)	→	財政の健全化 (24.1)	↗	—
第4位	防犯対策 (21.9)	→	防犯対策 (18.8)	→	防犯対策 (19.5)
第5位	少子化対策・子育て支援 (13.9)	↘	介護保険 (18.3)	↘	少子化対策・子育て支援 (15.6)
第6位	介護保険 (13.8)	↗	少子化対策・子育て支援 (16.9)	↗	介護保険 (14.4)
第7位	学校教育 (13.3)	↘	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.5)	↘	学校教育 (13.0)
第8位	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.4)	↗	学校教育 (12.3)	↗	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.4)
第9位	緑の保全や公園の整備 (9.8)	↘	行財政改革 (10.4)	→	行財政改革 (11.2)
第10位	行財政改革 (9.7)	↗	緑の保全や公園の整備 (9.9)	→	緑の保全や公園の整備 (10.5)

性別にみると、男性の第1位は「財政の健全化」、女性の第1位は「高齢者福祉」となっている。また、「保健医療」は7.2ポイント、「高齢者福祉」は6.6ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

性・年齢別に第1位をみると、50歳以上の年代では男女ともに「高齢者福祉」が同率も含め第1位となっている。男性の20歳代から50歳代では「財政の健全化」が同率も含め第1位となっている。女性20歳代では「防犯対策」、女性30歳代では「少子化対策・子育て支援」、女性40歳代では「学校教育」が第1位である。

「財政の健全化」と「保健医療」は男女ともすべての年代で第5位までに入っている。「防犯対策」は男性50代を除く全ての年代で第5位までに入っている。(表3-1-2)

表3-1-2 重点施策要望－性・年齢別

(%)

属性	順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,852	高齢者福祉 (30.8)	財政の健全化／保健医療 (29.6)		防犯対策 (19.5)	少子化対策・ 子育て支援 (15.6)
男 性		919	財政の健全化 (30.7)	高齢者福祉 (27.6)	保健医療 (26.1)	防犯対策 (18.4)	少子化対策・ 子育て支援 (14.5)
女 性		917	高齢者福祉 (34.2)	保健医療 (33.3)	財政の健全化 (28.6)	防犯対策 (20.7)	少子化対策・ 子育て支援 (16.9)
男性20歳代		97	財政の健全化 (30.9)	少子化対策・ 子育て支援 (24.7)	防犯対策 (17.5)	学校教育 (16.5)	保健医療 (15.5)
30歳代		146	財政の健全化 (31.5)	少子化対策・ 子育て支援 (30.1)	防犯対策 (23.3)	保健医療 (21.9)	学校教育 (19.2)
40歳代		173	財政の健全化 (28.3)	保健医療 (22.5)	防犯対策 (21.4)	学校教育 (19.7)	少子化対策・ 子育て支援 (18.5)
50歳代		163	高齢者福祉／財政の健全化 (35.0)		保健医療 (26.4)	介護保険 (20.2)	商・工業などの 地域経済対策 (17.2)
60～64歳		148	高齢者福祉 (38.5)	保健医療 (32.4)	財政の健全化 (31.8)	防犯対策／行財政改革 (20.9)	
65歳以上		190	高齢者福祉 (44.2)	保健医療 (33.2)	財政の健全化 (27.4)	介護保険 (18.4)	防犯対策／ 行財政改革 (15.8)
女性20歳代		111	防犯対策 (30.6)	保健医療 (27.9)	少子化対策・ 子育て支援 (25.2)	財政の健全化 (22.5)	高齢者福祉／社会 福祉(ひとり親、低所 得者)／交通機関・ 駐車場の整備 (15.3)
30歳代		154	少子化対策・ 子育て支援 (42.9)	保健医療 (35.1)	学校教育 (23.4)	防犯対策 (21.4)	財政の健全化 (18.8)
40歳代		163	学校教育 (33.7)	財政の健全化 (31.9)	保健医療 (30.7)	高齢者福祉 (25.2)	防犯対策 (22.1)
50歳代		192	高齢者福祉 (38.0)	保健医療 (34.9)	財政の健全化 (32.8)	介護保険 (19.8)	防犯対策 (17.7)
60～64歳		122	高齢者福祉 (55.7)	財政の健全化 (35.2)	保健医療 (32.8)	介護保険 (21.3)	防犯対策 (20.5)
65歳以上		175	高齢者福祉 (51.4)	保健医療 (36.0)	財政の健全化 (28.6)	介護保険 (27.4)	防犯対策 (16.0)

居住地域別で第1位をみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）、由井・北野（東南部地域）では「高齢者福祉」、本庁管内（中央地域）、浅川・横山・館（西南部地域）では「財政の健全化」、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「保健医療」となっている。これらの3項目は、順位こそ異なるものの、すべての地域で3位以内にあげられている。（表3－1－3）

表3－1－3 重点施策要望－居住地域別

		(%)				
属性	順位 n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,852	高齢者福祉 (30.8)	財政の健全化／保健医療 (29.6)		防犯対策 (19.5)	少子化対策・子育て支援 (15.6)
本 庁 管 内 (中央地域)	367	財政の健全化 (35.4)	高齢者福祉 (26.4)	保健医療 (25.1)	防犯対策 (20.4)	商・工業などの 地域経済対策 (16.1)
元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 (西部地域)	354	高齢者福祉 (31.1)	保健医療 (29.9)	財政の健全化 (28.0)	介護保険 (16.9)	道路整備 (16.4)
浅川・横山・館 (西南部地域)	352	財政の健全化 (33.5)	高齢者福祉 (33.2)	保健医療 (32.7)	社会福祉（ひとり 親、低所得者） (15.9)	少子化対策・子育て支援 (15.3)
加 住 ・ 石 川 (北部地域)	148	高齢者福祉 (29.7)	財政の健全化 (25.0)	保健医療 (23.0)	防犯対策 (21.6)	少子化対策・子育て支援 (16.9)
由 井 ・ 北 野 (東南部地域)	240	高齢者福祉 (31.3)	保健医療／財政の健全化 (25.0)		防犯対策 (24.6)	少子化対策・子育て支援 (16.3)
由木・由木東・ 南 大 沢 (東部地域)	362	保健医療 (36.5)	高齢者福祉 (33.4)	財政の健全化 (27.3)	防犯対策 (23.2)	少子化対策・子育て支援 (18.5)

4. スポーツ

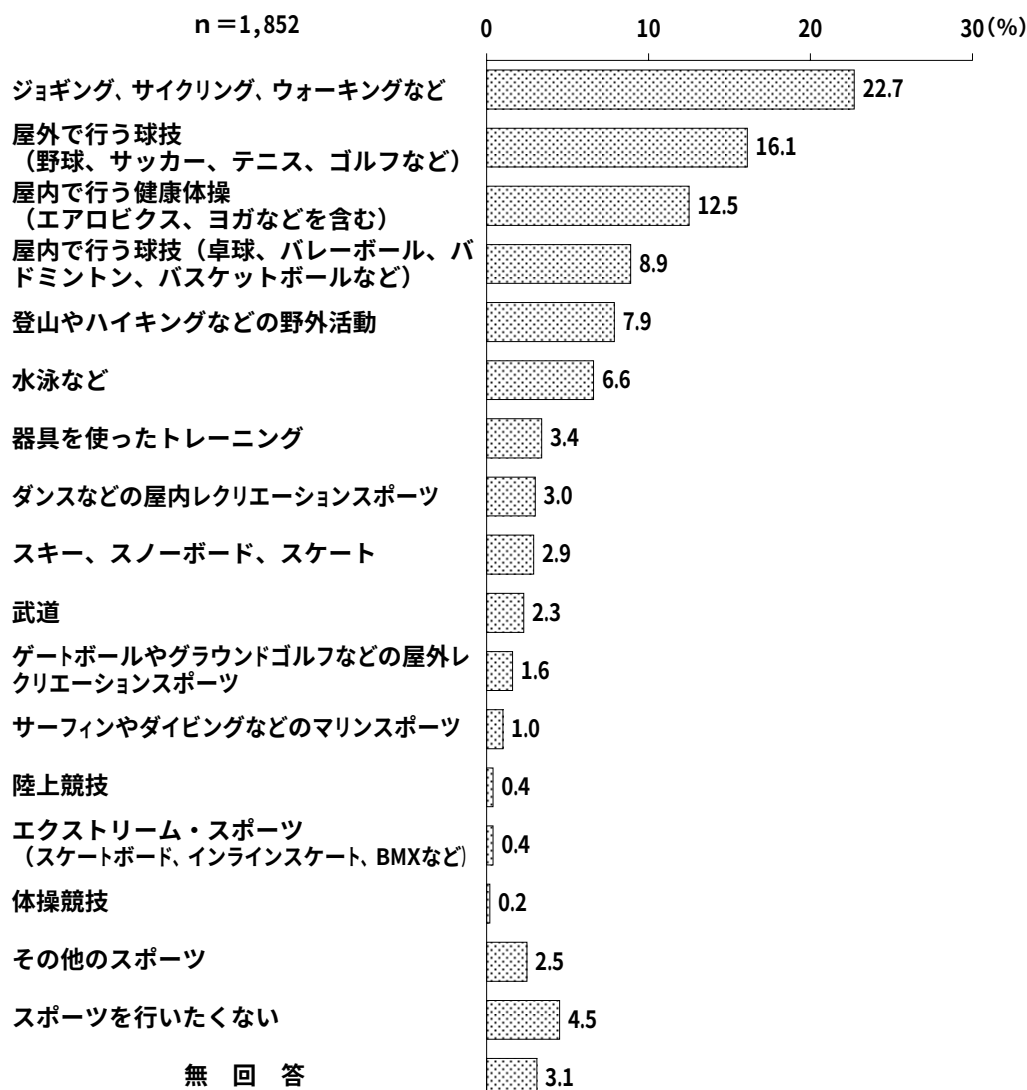
4-1 現在行っている・興味のあるスポーツ

◇「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」が2割強

問4 あなたは現在、どのようなスポーツを行っていますか。複数ある場合は、最も多く行っているものを1つだけ教えてください（○は1つだけ）

また、現在スポーツを行っていない方は、興味のあるスポーツを1つ選んでください。

図4-1-1



現在行っているスポーツ、または興味のあるスポーツを聞いたところ、「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」が2割強（22.7%）と最も高く、ついで「屋外で行う球技（野球、サッカー、テニス、ゴルフなど）」（16.1%）、「屋内で行う健康体操（エアロビクス、ヨガなどを含む）」（12.5%）と続いている。（図4-1-1）

表4-1-1 現在行っている・興味のあるスポーツ・性・年齢別

(%)

属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
全	体	1,852	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (22.7)	屋外で行う球技 (16.1)	屋内で行う健康体操 (12.5)	屋内で行う球技 (8.9)	登山やハイキングなどの野外活動 (7.9)	水泳など (6.6)	器具を使ったトレーニング (3.4)	屋内レクリエーションスポーツ (3.0)	スキー、スノーボード、スケート (2.9)	武道 (2.3)	
男	性	919	屋外で行う球技 (24.9)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (24.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (8.7)	屋内で行う球技 (7.9)	水泳など (5.8)	器具を使ったトレーニング (3.9)	スキー、スノーボード、スケート (3.3)	屋内で行う健康体操 (3.0)	武道 (2.6)	屋外レクリエーションスポーツ (2.0)	
女	性	917	屋内で行う健康体操 (22.0)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (21.2)	屋内で行う球技 (9.8)	屋外で行う球技 (7.5)	水泳など (7.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (7.2)	屋内レクリエーションスポーツ (5.6)	器具を使ったトレーニング (2.9)	スキー、スノーボード、スケート (2.5)	武道 (2.1)	
男	性	20 歳 代	97	屋外で行う球技 (26.8)	屋内で行う球技 (14.4)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (11.3)	器具を使ったトレーニング／スキー、スノーボード、スケート (7.2)		登山やハイキングなどの野外活動 (5.2)	水泳など／武道／マリンスポーツ／エクストリーム・スポーツ (4.1)			
男	性	30 歳 代	146	屋外で行う球技 (26.7)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (24.7)	屋内で行う球技 (11.6)	水泳など (6.8)	スキー、スノーボード、スケート (5.5)	登山やハイキングなどの野外活動 (4.8)	武道 (2.7)	屋内で行う健康体操／器具を使ったトレーニング／エクストリーム・スポーツ (2.1)		
男	性	40 歳 代	173	屋外で行う球技 (32.9)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (14.5)	登山やハイキングなどの野外活動 (7.5)	屋内で行う球技／水泳など (6.4)		スキー、スノーボード、スケート (5.8)	屋内で行う健康体操 (5.2)	器具を使ったトレーニング／武道 (2.9)	マリンスポーツ (1.7)	
男	性	50 歳 代	163	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (30.1)	屋外で行う球技 (26.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (12.3)	屋内で行う球技 (7.4)	水泳など (5.5)	器具を使ったトレーニング (3.7)	屋内で行う健康体操／屋外レクリエーションスポーツ (2.5)		武道 (1.8)	陸上競技 (1.2)
男	性	60～64歳	148	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (33.1)	屋外で行う球技 (20.3)	登山やハイキングなどの野外活動 (12.8)	屋内で行う球技 (6.1)	水泳など (5.4)	器具を使ったトレーニング (4.7)	屋内で行う健康体操 (3.4)	スキー、スノーボード、スケート／武道 (2.0)		屋内レクリエーションスポーツ／屋外レクリエーションスポーツ (0.7)
男	性	65歳以上	190	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (28.4)	屋外で行う球技 (17.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (8.4)	水泳など／屋外レクリエーションスポーツ (5.8)		屋内で行う球技 (5.3)	器具を使ったトレーニング (4.2)	屋内で行う健康体操 (3.2)	武道 (2.6)	陸上競技 (1.6)
女	性	20 歳 代	111	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど／屋内で行う球技 (19.8)	屋内で行う健康体操 (17.1)		屋外で行う球技 (8.1)	屋内レクリエーションスポーツ (7.2)	武道 (6.3)	スキー、スノーボード、スケート (5.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (4.5)	マリンスポーツ (2.7)	水泳など／器具を使ったトレーニング (1.8)
女	性	30 歳 代	154	屋内で行う健康体操 (27.3)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (13.6)	水泳など (12.3)	屋内で行う球技 (11.0)	屋外で行う球技 (9.7)	スキー、スノーボード、スケート (6.5)	屋内レクリエーションスポーツ (4.5)	登山やハイキングなどの野外活動／器具を使ったトレーニング／武道 (3.2)		
女	性	40 歳 代	163	屋内で行う健康体操 (20.9)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (20.2)	屋外で行う球技 (14.1)	屋内で行う球技 (9.8)	水泳など (7.4)	登山やハイキングなどの野外活動 (6.1)	屋内レクリエーションスポーツ (4.3)	スキー、スノーボード、スケート (3.7)	器具を使ったトレーニング (2.5)	武道 (1.8)
女	性	50 歳 代	192	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (24.5)	屋内で行う健康体操 (24.0)	登山やハイキングなどの野外活動 (9.9)	屋外で行う球技 (7.3)	屋内で行う球技 (6.8)	水泳など (5.7)	器具を使ったトレーニング (5.2)	屋内レクリエーションスポーツ (3.1)	屋外レクリエーションスポーツ (1.6)	武道 (1.0)
女	性	60～64歳	122	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (32.0)	屋内で行う健康体操 (23.0)	水泳など (13.1)	登山やハイキングなどの野外活動 (9.0)	屋内で行う球技 (6.6)	屋内レクリエーションスポーツ (5.7)	屋外で行う球技 (2.5)	武道／屋外レクリエーションスポーツ (1.6)		器具を使ったトレーニング (0.8)
女	性	65歳以上	175	屋内で行う健康体操 (18.9)	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど (18.3)	登山やハイキングなどの野外活動／屋内レクリエーションスポーツ (9.1)		屋内で行う球技 (8.0)	水泳など (4.6)	屋外レクリエーションスポーツ (4.0)	屋外で行う球技／器具を使ったトレーニング (2.9)		体操競技 (1.7)

性別にみると、男性では「屋外で行う球技」、女性では「屋内で行う健康体操」がそれぞれ第1位となっている。また男女とも第2位は「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」で、これらの種目では2割を超えている。

性・年齢別にみると、「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」はすべての年代で第3位以内となっている。「屋外で行う球技」は男性のすべての年代で第2位以内となっている。「屋内で行う健康体操」は女性のすべての年代で第3位以内となっている。「登山やハイキングなどの野外活動」は男性の40歳代以上と女性50歳代・65歳以上で第3位である。「水泳など」は女性30歳代と60～64歳で第3位である。(表4-1-1)

表4-1-2 現在行っている・興味のあるスポーツ―居住地域別、職業別

(%)

順位 属性		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
全	体	1,852	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (22.7)	屋外で行う 球技 (16.1)	屋内で行う 健康体操 (12.5)	屋内で行う 球技 (8.9)	登山やハイ キングなど の野外活動 (7.9)	水泳など (6.6)	器具を使 った トレーニング (3.4)	屋内レクリ エーション スポーツ (3.0)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (2.9)	武道 (2.3)
本 庁 管 内 (中央地域)		367	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (24.5)	屋外で行う 球技 (16.6)	屋内で行う 健康体操 (14.7)	登山やハイキングなどの 野外活動／水泳など (6.8)		屋内で行う 球技 (5.2)	器具を使 った トレーニング (3.5)	屋内レクリ エーション スポーツ (3.0)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (2.2)	屋外レクリ エーション スポー ツ (1.9)
元八王子・ 恩方・川口 (西部地域)		354	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (20.1)	屋外で行う 球技 (14.1)	屋内で行う 球技 (13.3)	登山やハイ キングなど の野外活動 (10.2)	屋内で行う 健康体操 (9.9)	水泳など (5.4)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (5.1)	器具を使ったトレーニング ／屋内レクリエーション スポーツ (2.8)		屋外レクリ エーション スポー ツ (2.3)
浅川・横山・ 館 (西南部地域)		352	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (25.9)	屋外で行う 球技 (16.2)	屋内で行う 健康体操 (9.9)	屋内で行う 球技 (7.7)	登山やハイ キングなど の野外活動 (7.1)	水泳など (4.8)	器具を使 った トレーニング (3.7)	武道 (3.1)	屋内レクリ エーション スポー ツ (2.6)	屋外レクリ エーション スポー ツ (2.0)
加住・石川 (北部地域)		148	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (16.2)	屋外で行う 球技 (15.5)	屋内で行う 健康体操 (12.8)	屋内で行う 球技 (12.2)	登山やハイ キングなど の野外活動 (8.1)	水泳など／器具を使っ たトレーニング (5.4)		スキー、 スノーボー ド、スケー ト (4.7)	屋内レクリエーションス ポーツ／武道 (2.7)	
由井・北野 (東南部地域)		240	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (21.7)	屋外で行う 球技 (16.7)	屋内で行う 健康体操 (12.5)	登山やハイキングなどの 野外活動／水泳など (9.2)		屋内で行う 球技 (8.8)	器具を使ったトレーニング ／屋内レクリエーション スポーツ (3.3)		武道 (2.5)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (2.1)
由木・由木 東・南大沢 (東部地域)		362	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (24.0)	屋外で行う 球技 (17.7)	屋内で行う 健康体操 (15.2)	屋内で行う球技／ 水泳など (7.7)		登山やハイ キングなど の野外活動 (7.2)	屋内レクリ エーション スポー ツ (3.3)	器具を使ったトレーニング ／スキー、スノーボー ド、スケー ト (2.8)		武道 (2.5)
自 営 業・ 自 由 業		148	屋外で行う 球技 (19.6)	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (18.9)	登山やハイ キングなど の野外活動 (14.9)	屋内で行う 健康体操 (10.1)	屋内で行う 球技 (6.1)	武道 (5.4)	水泳など (4.7)	器具を使 った トレーニング (2.0)	屋外レクリ エーション スポー ツ (1.4)	屋内レクリエー ションスポー ツ ／陸上競技 (0.7)
勤 め 人		726	屋外で行う 球技 (24.0)	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (20.8)	屋内で行う 球技 (9.2)	屋内で行う 健康体操 (8.3)	水泳など (7.3)	登山やハイ キングなど の野外活動 (7.2)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (4.3)	器具を使 った トレーニング (4.1)	屋内レクリ エーション スポー ツ (2.3)	マリン スポー ツ (1.8)
アルバイト・ パ ー ト		280	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (24.6)	屋内で行う 健康体操 (18.2)	屋外で行う 球技 (11.8)	屋内で行う 球技 (10.0)	登山やハイ キングなど の野外活動 (8.6)	水泳など (4.3)	スキー、 スノーボー ド、スケー ト (3.9)	屋内レクリ エーション スポー ツ (3.6)	器具を使 った トレーニング (3.2)	武道 (2.5)
専 業 主 婦・主 夫		339	屋内で行う 健康体操 (24.8)	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (23.3)	水泳など (9.4)	屋外で行う 球技 (6.8)	屋内で行う 球技 (6.5)	登山やハイ キングなど の野外活動 (5.9)	屋内レクリ エーション スポー ツ (5.6)	器具を使ったトレーニング／武道／ 屋外レクリエーションスポーツ (2.1)		
学 生		51	屋内で行う 球技 (23.5)	ジョギング、サイクリ ング、ウォーキングなど／ 武道 (15.7)	屋外で行う 球技 (13.7)	屋内で行う健康体操／ 水泳など (5.9)		登山やハイキングなどの 野外活動／器具を使っ たトレーニング (3.9)		屋内レクリエーションス ポーツ／陸上競技 (2.0)		
無 職		288	ジョギング、サイ クリング、ウォー キングなど (28.8)	屋外で行う 球技 (10.8)	登山やハイ キングなど の野外活動 (8.7)	屋内で行う 球技 (8.0)	屋内で行う 健康体操 (5.6)	水泳など (4.9)	器具を使ったトレーニング ／屋外レクリエーション スポー ツ (4.2)		屋内レクリエーションス ポーツ／スキー、スノー ボード、スケー ト (2.4)	

居住地域別にみると、すべての地域で第1位が「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」、第2位が「屋外で行う球技」となっている。また、元八王子・恩方・川口（西部地域）以外の地域では「屋内で行う健康体操」が第3位となっている。

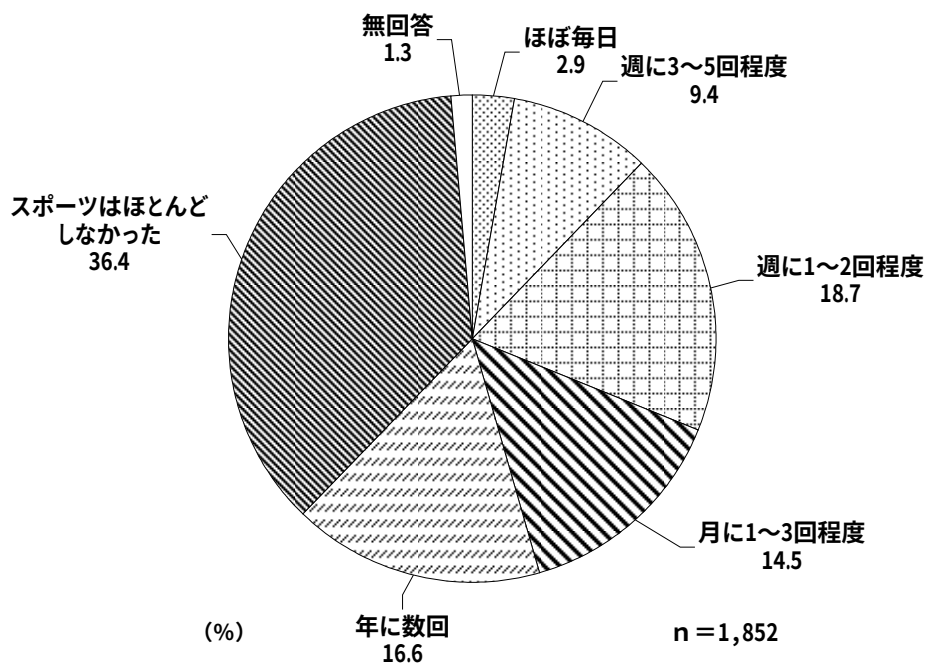
職業別にみると、「ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど」はすべての職業で第2位以内となっている。「屋外で行う球技」は自営業・自由業と勤め人で、「屋内で行う健康体操」は専業主婦・主夫で、「屋内で行う球技」は学生で、それぞれ第1位となっている。（表4-1-2）

4-2 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇『週1回以上』が3割強、「スポーツはほとんどしなかった」が4割弱

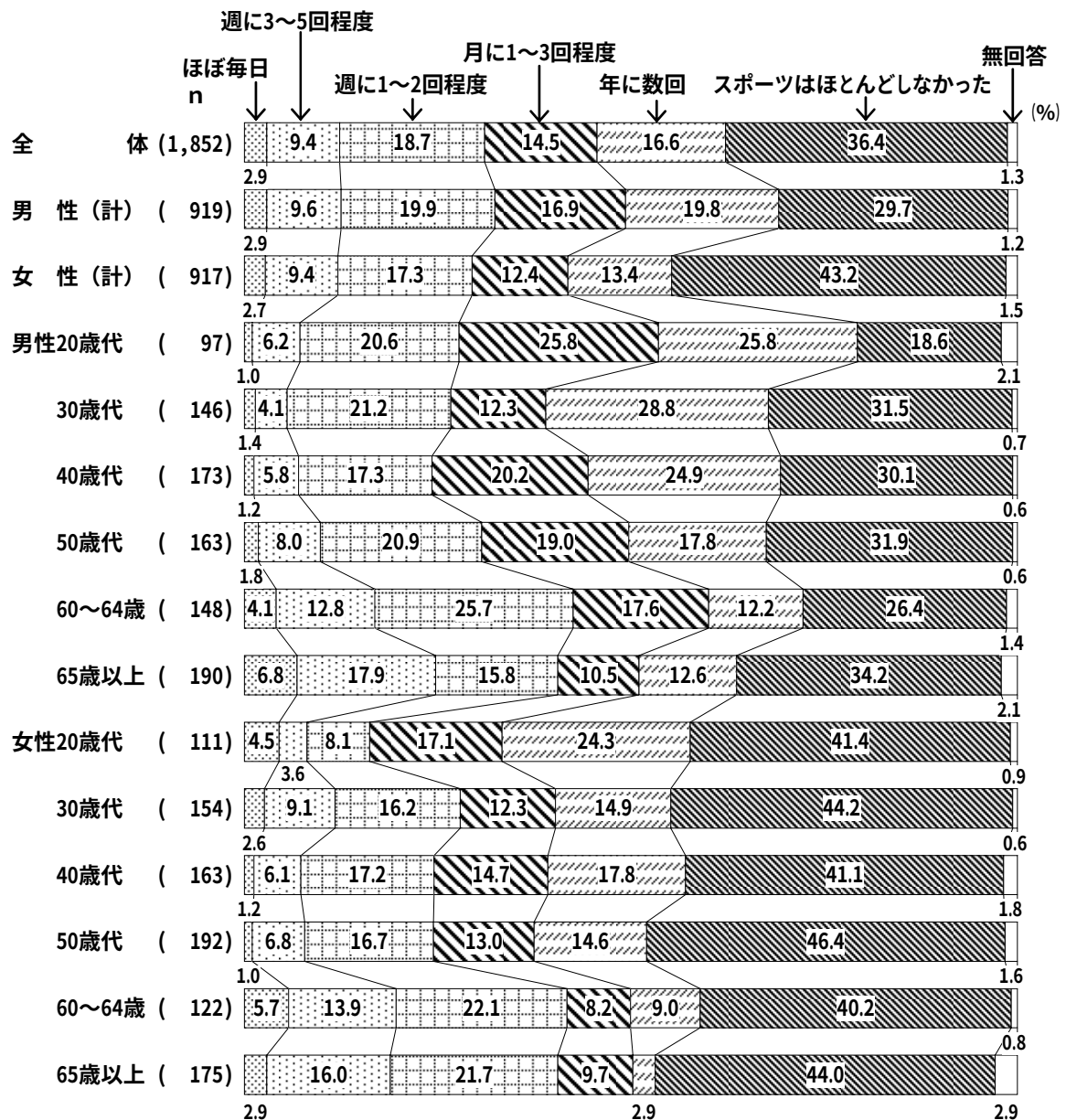
問5 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。複数のスポーツを行っている場合は、その合計数をお答えください。(○は1つだけ)

図4-2-1



この1年間にスポーツを行った回数を聞いたところ、「週に1～2回程度」(18.7%)が2割弱で、「ほぼ毎日」(2.9%)、「週に3～5回程度」(9.4%)と合わせた『週1回以上』(31.0%)が3割強となっている。「月に1～3回程度」(14.5%)は1割台半ば、「年に数回」(16.6%)は2割弱、「スポーツはほとんどしなかった」(36.4%)は4割弱である。(図4-2-1)

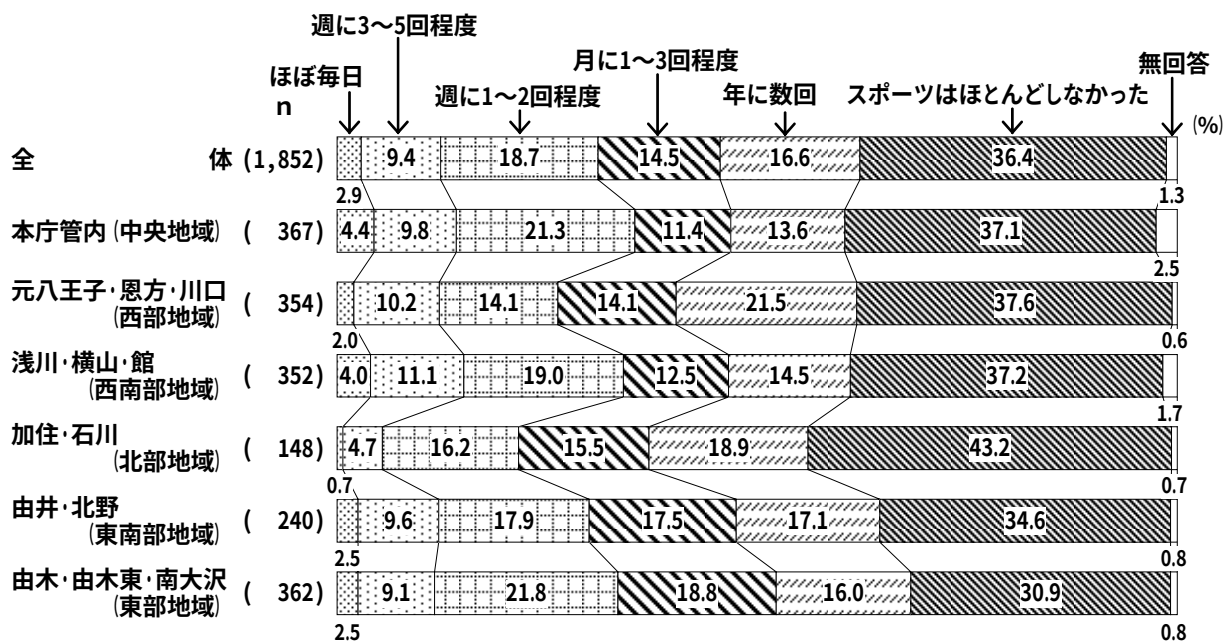
図 4-2-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性・年齢別



性別にみると、「スポーツはほとんどしなかった」は女性のほうが13.5ポイント高くなっている。

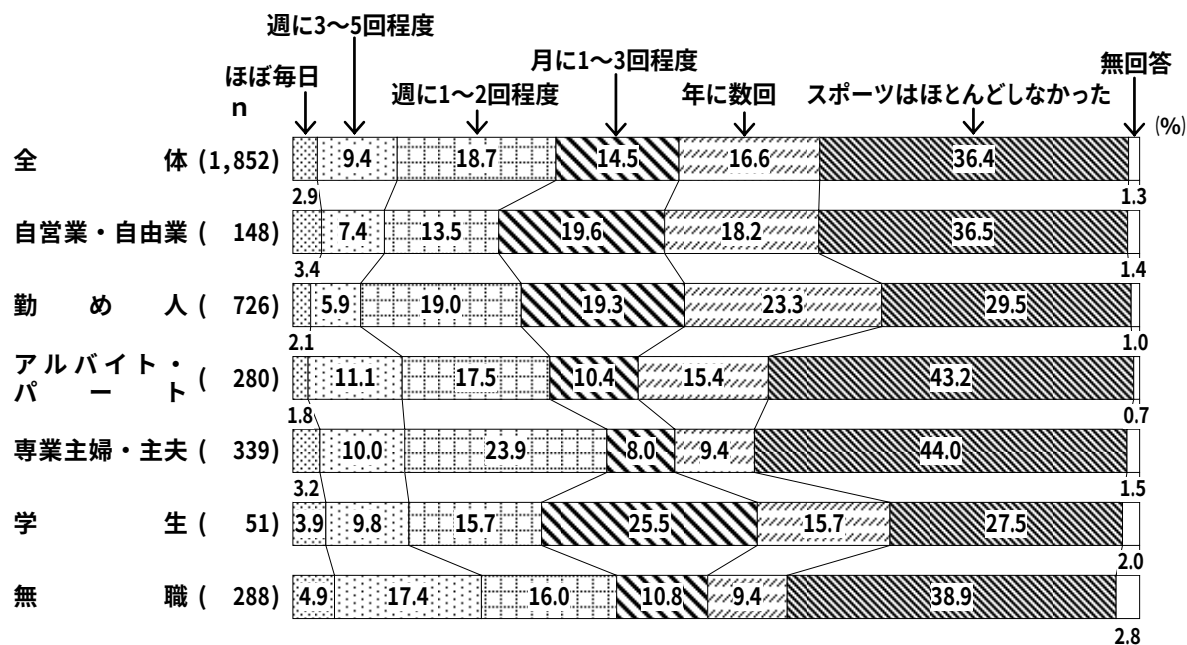
性・年齢別にみると、『週1回以上』は男女とも60歳以上で4割を超えて高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は女性のすべての年代で4割台となっている。(図4-2-2)

図 4-2-3 この1年間に行ったスポーツの頻度－居住地域別



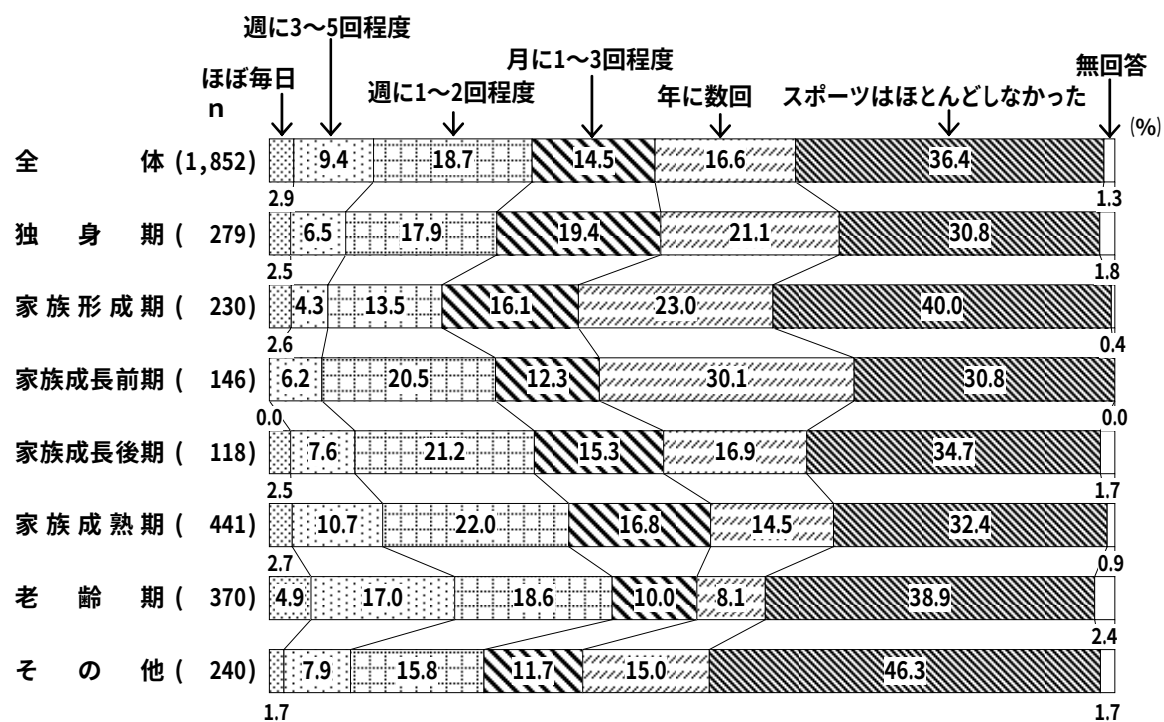
居住地域別にみると、『週1回以上』は本庁管内（中央地域）（35.5%）と浅川・横山・館（西南部地域）（34.1%）で3割台半ばと高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は加住・石川（北部地域）（43.2%）では4割強と高くなっている。（図4-2-3）

図 4-2-4 この1年間に行ったスポーツの頻度－職業別



職業別にみると、『週1回以上』は無職（38.3%）と専業主婦・主夫（37.1%）で4割弱と高くなっている。また、「スポーツはほとんどしなかった」は専業主婦・主夫（44.0%）とアルバイト・パート（43.2%）が4割以上と高くなっている。（図4-2-4）

図4-2-5 この1年間に行ったスポーツの頻度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『週1回以上』は老齢期（40.5%）でほぼ4割と高くなっている。

（図4-2-5）

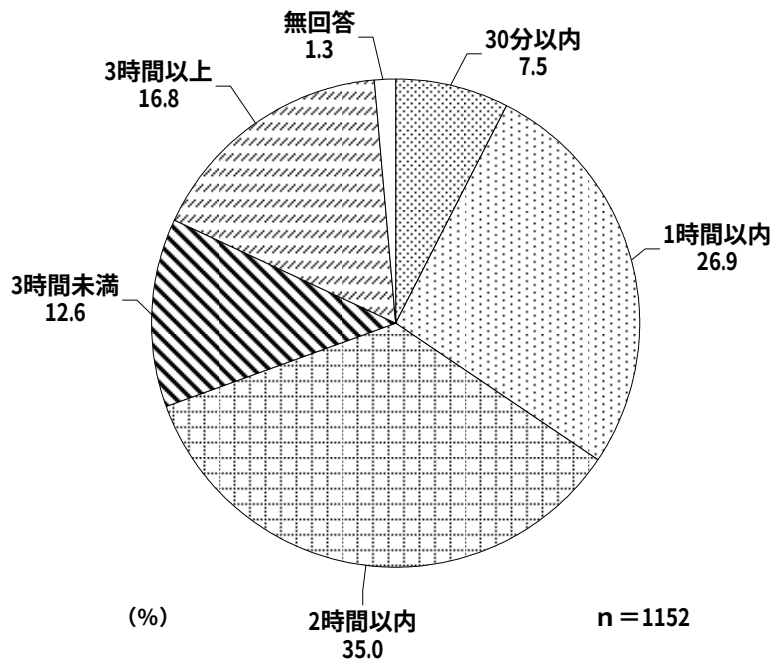
4-3 スポーツを行う時間の長さ

◇「2時間以内」がほぼ7割

(問5で「ほぼ毎日」「週に3～5回程度」「週に1～2回程度」「月に1～3回程度」「年に数回」のいずれかをお答えの方に)

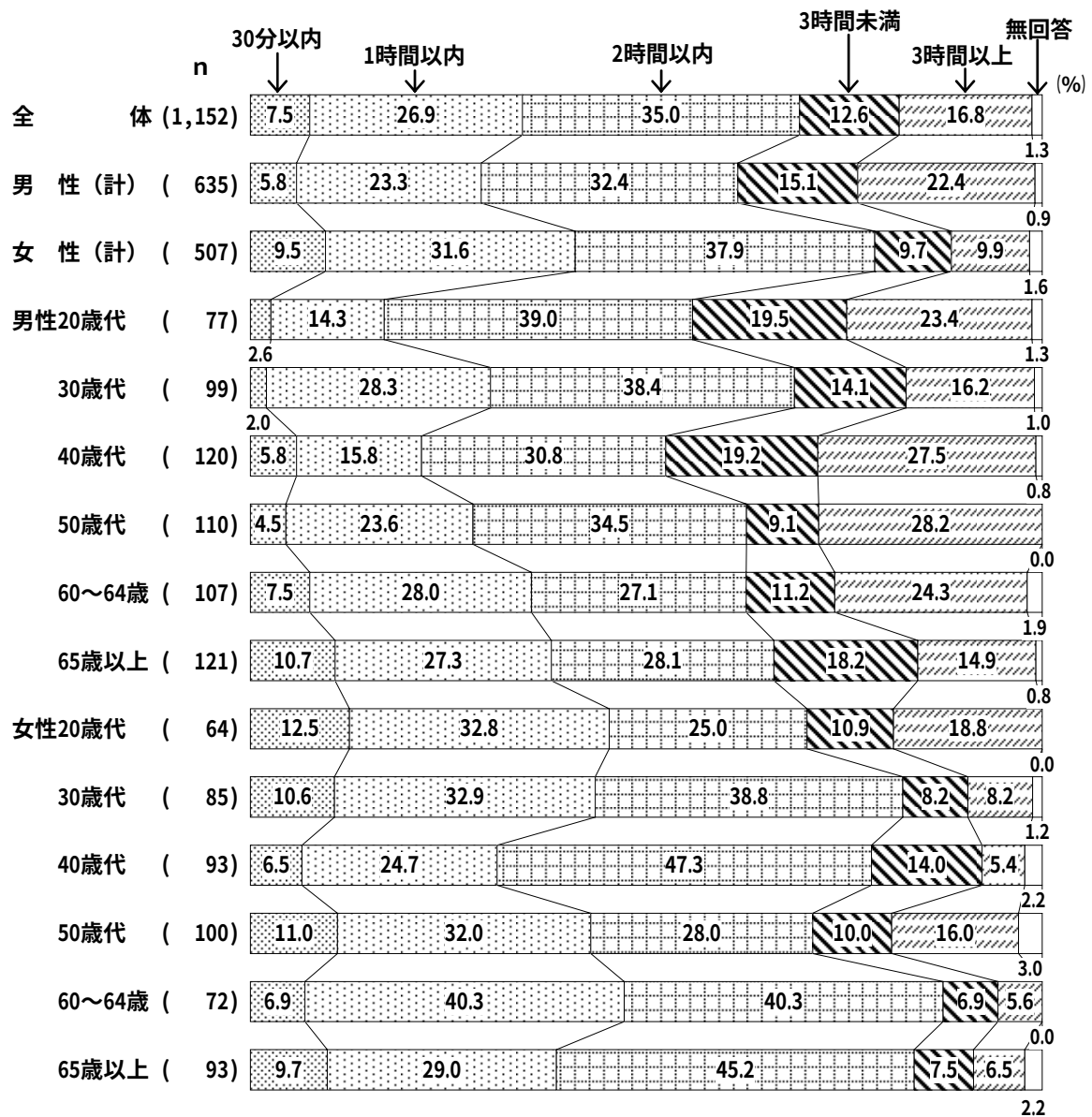
問5-1 あなたは、一回にどのくらいの時間、スポーツを行いますか。(○は1つだけ)

図4-3-1



この1年間でスポーツを行ったと答えた人(1,152人)に、一回に行うスポーツの時間を聞いたところ、「2時間以内」が3割台半ば(35.0%)と最も高く、「1時間以内」(26.9%)、「30分以内」(7.5%)と合わせて、全体のほぼ7割(69.4%)を占めた。(図4-3-1)

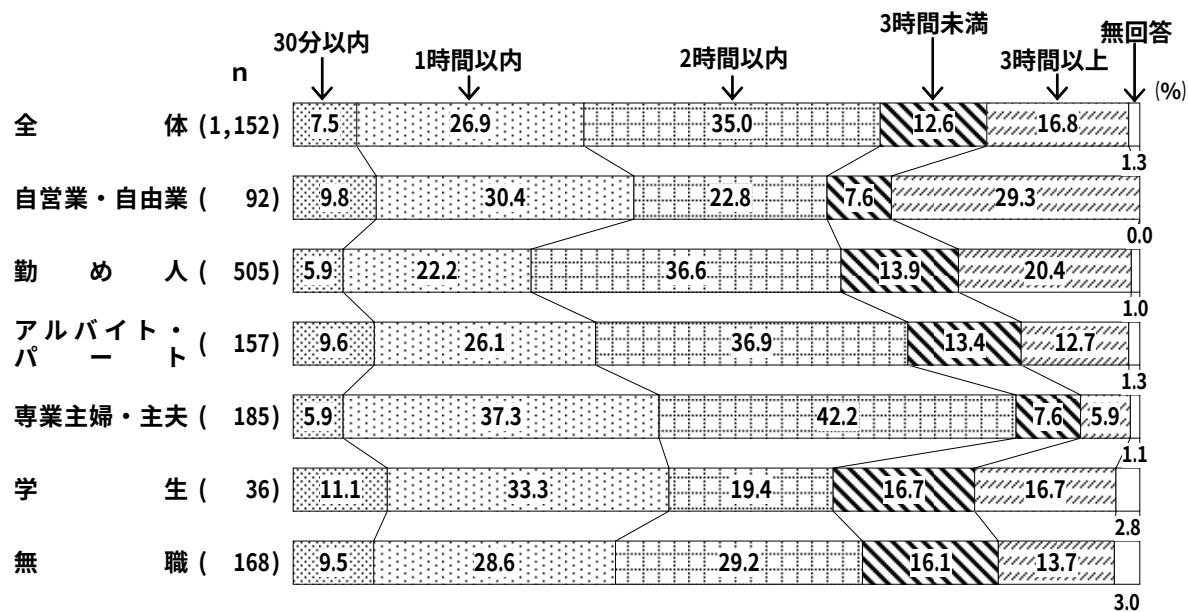
図4-3-2 スポーツを行う時間の長さ－性・年齢別



性別にみると、「30分以内」は3.7ポイント、「1時間以内」は8.3ポイント、それぞれ女性のほうが高く、「3時間未満」は5.4ポイント、「3時間以上」は12.5ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「30分以内」と「1時間以内」の合計は女性の60～64歳（47.2%）で5割弱と高くなっている。また、「3時間以上」は男性の40歳代（27.5%）・50歳代（28.2%）で3割弱と高くなっている。（図4-3-2）

図 4－3－3 スポーツを行う時間の長さ－職業別



職業別にみると、自営業・自由業で「3時間以上」がほぼ3割（29.3%）と高くなっている。

（図 4－3－3）

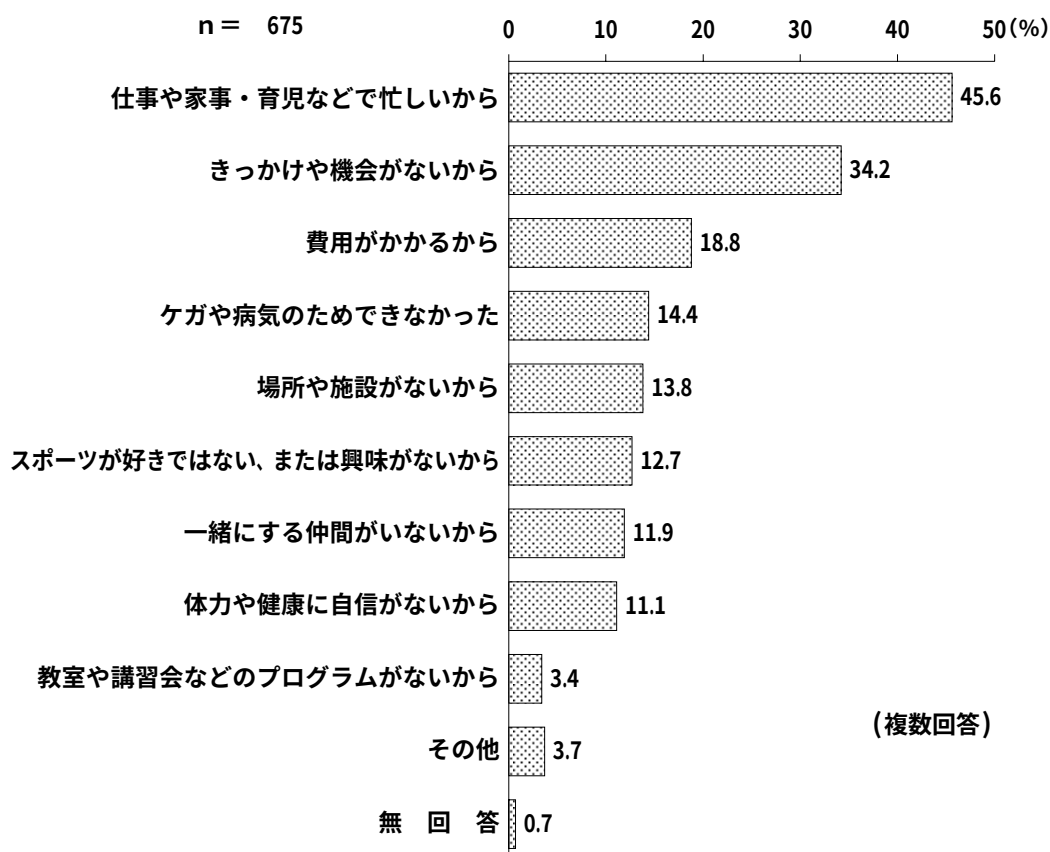
4-4 スポーツを行わなかった理由

◇「仕事や家事・育児などで忙しいから」が4割台半ば

(問5で「スポーツはほとんどしなかった」とお答えの方に)

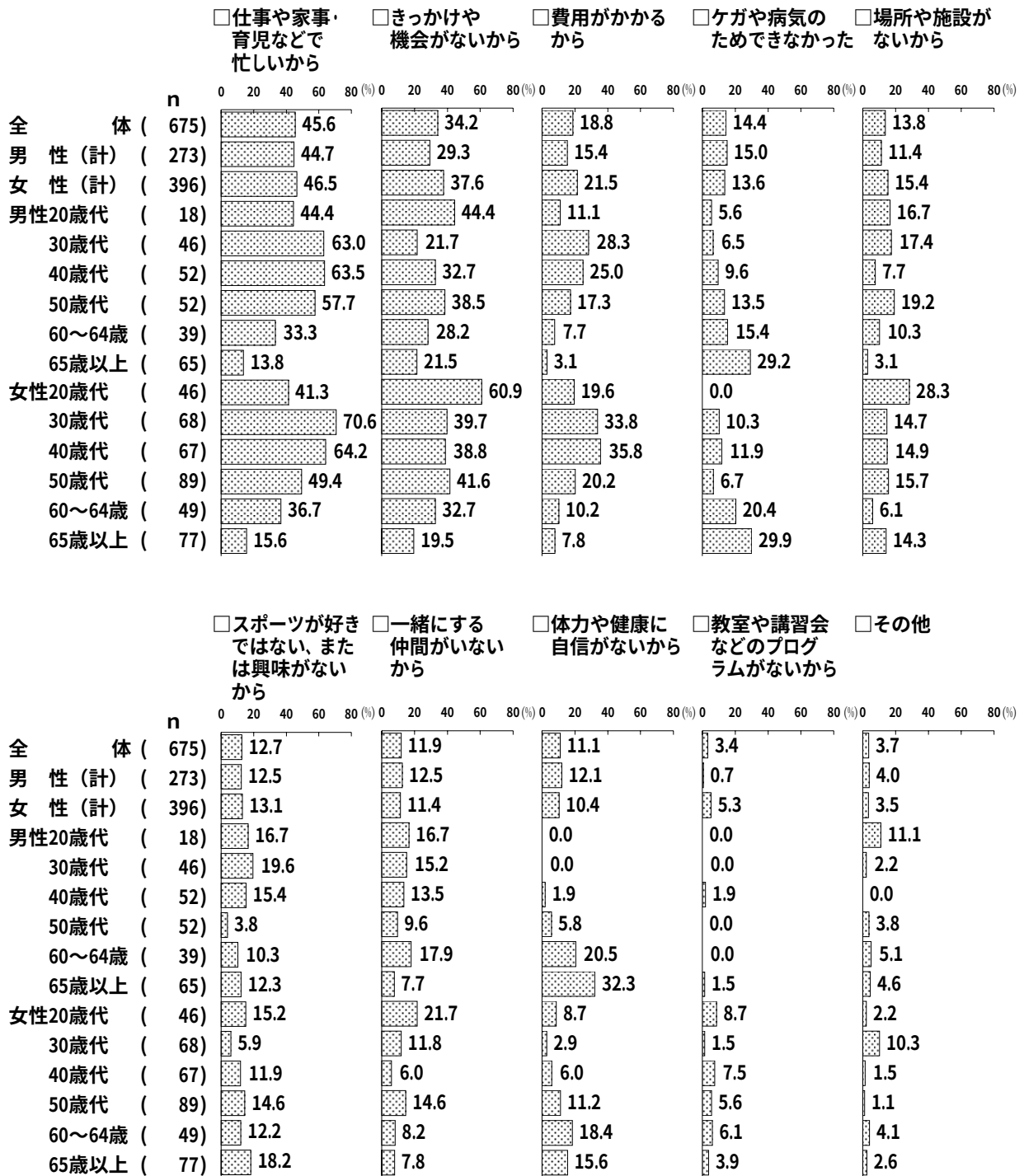
問5-2 行わなかった理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

図4-4-1



この1年間で、スポーツはほとんどしなかったと答えた人(675人)に行わなかった理由を聞いたところ、「仕事や家事・育児などで忙しいから」(45.6%)が4割台半ばと最も高く、ついで「きっかけや機会がないから」(34.2%)、「費用がかかるから」(18.8%)が続いている。(図4-4-1)

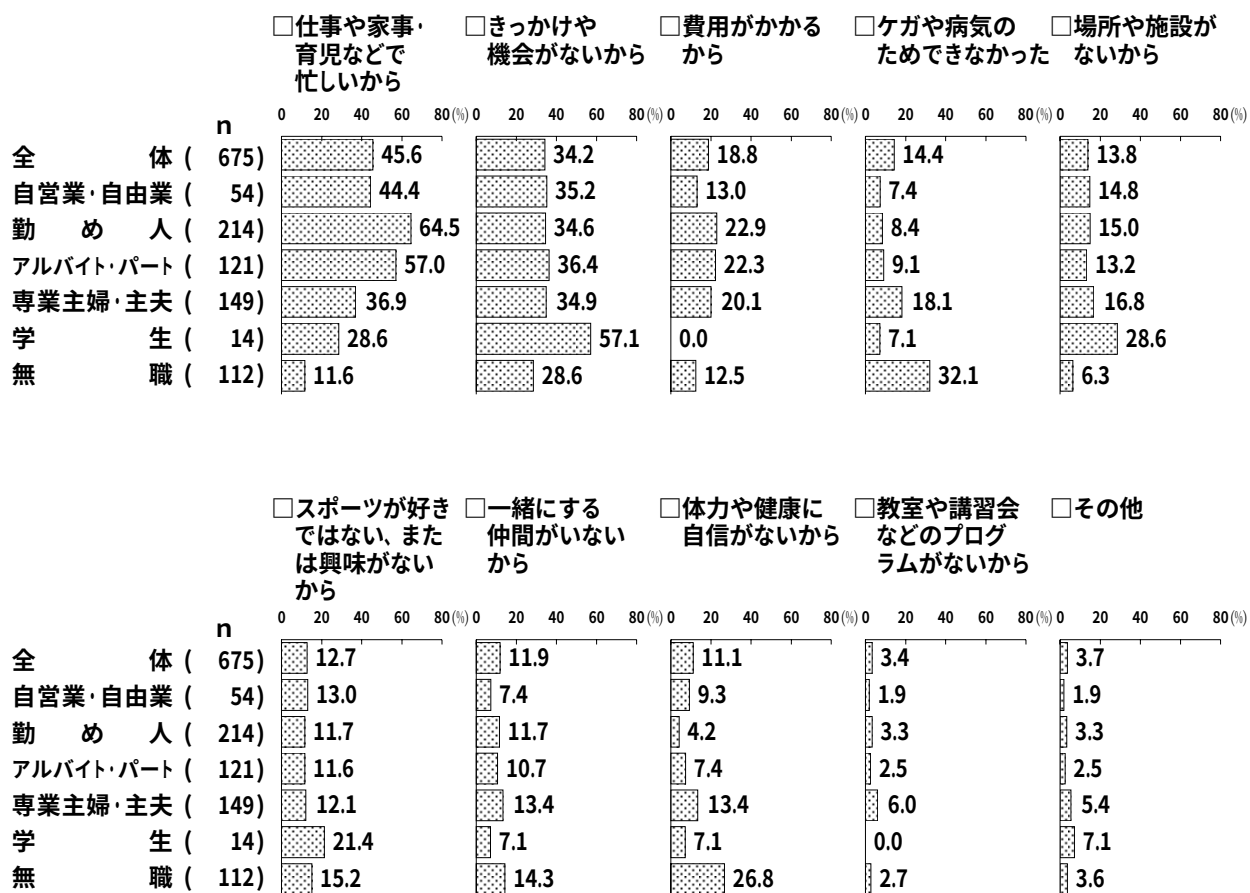
図４－４－２ スポーツを行わなかった理由－性・年齢別



性別にみると、「きっかけや機会がないから」は8.3ポイント、「費用がかかるから」は6.1ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「仕事や家事・育児などで忙しいから」は男女とも30歳代・40歳代で6割以上となっており、「きっかけや機会がないから」は女性の20歳代でほぼ6割（60.9%）と高くなっている。（図４－４－２）

図 4-4-3 スポーツを行わなかった理由－職業別



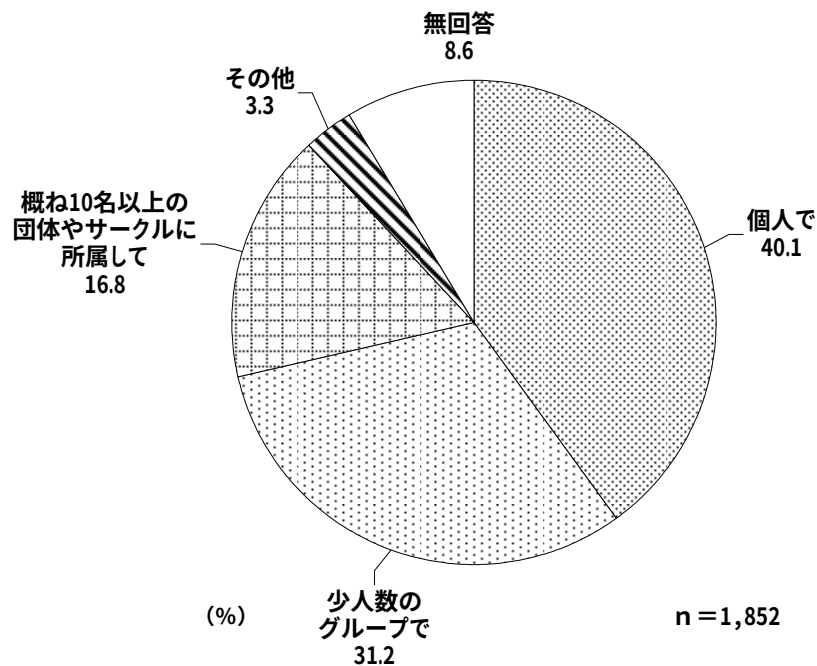
職業別にみると、「仕事や家事・育児などで忙しいから」は勤め人で6割台半ば（64.5%）、アルバイト・パートで6割弱（57.0%）と高くなっている。（図4-4-3）

4－5 スポーツを行う仲間

◇「個人で」がほぼ4割

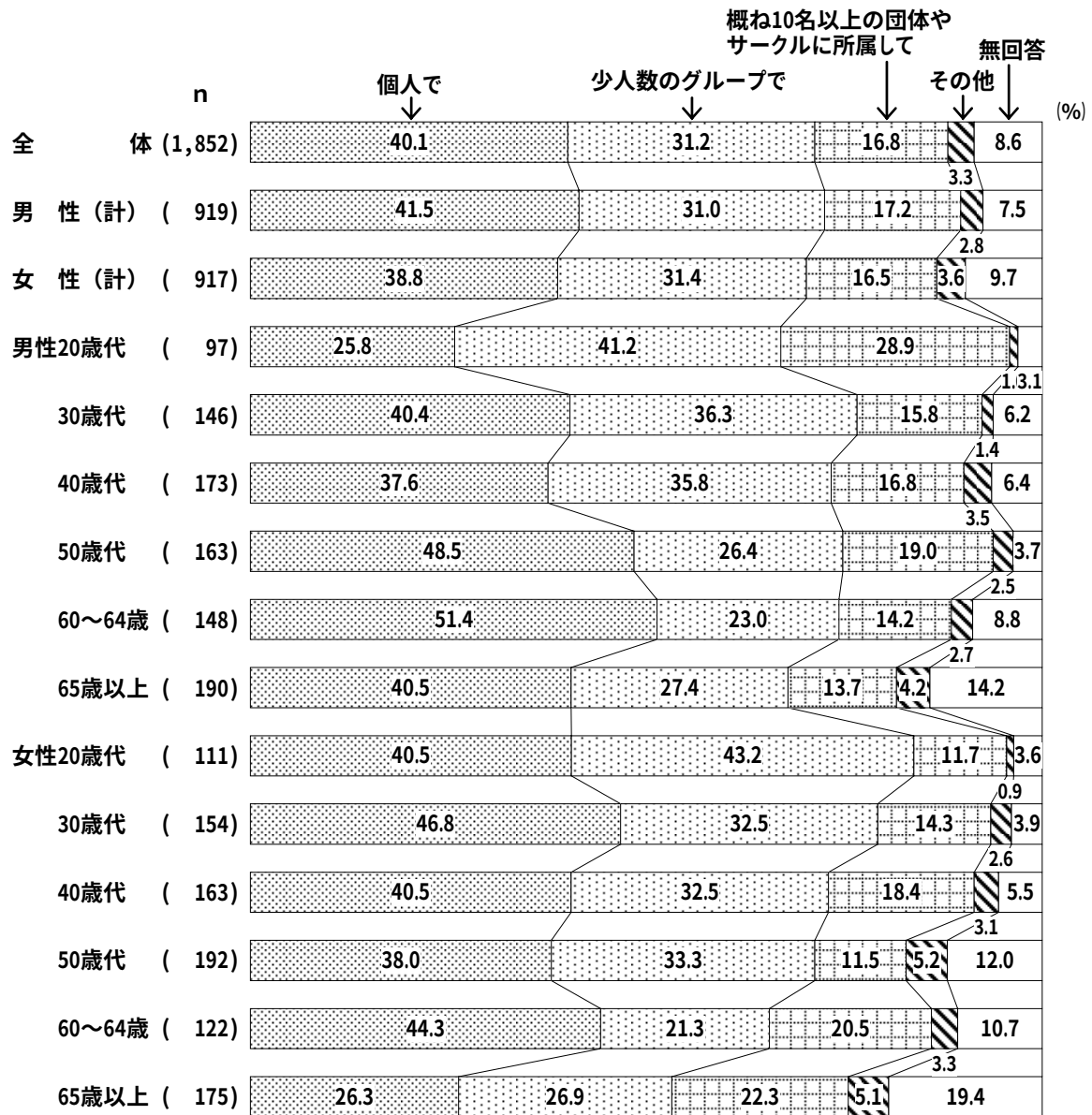
問6 あなたは、どのような形でスポーツを行っていますか。あるいは、現在スポーツを行っていない方は、どのような形でスポーツを行いたいと思いますか。（○は1つだけ）

図4－5－1



どのような形でスポーツを行っているかについて聞いたところ、「個人で」がほぼ4割（40.1%）と最も高く、ついで「少人数のグループで」（31.2%）は3割強、「概ね10名以上の団体やサークルに所属して」（16.8%）は2割弱となっている。（図4－5－1）

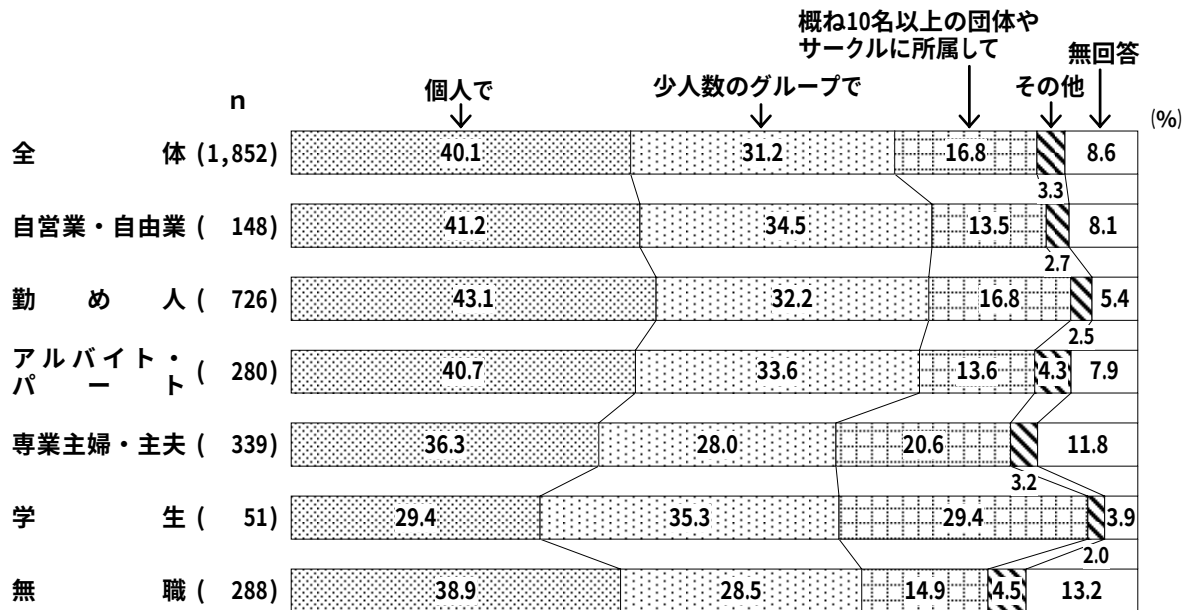
図 4-5-2 スポーツを行う仲間－性・年齢別



性別にみると、「個人で」は男性のほうが2.7ポイント高くなっている。

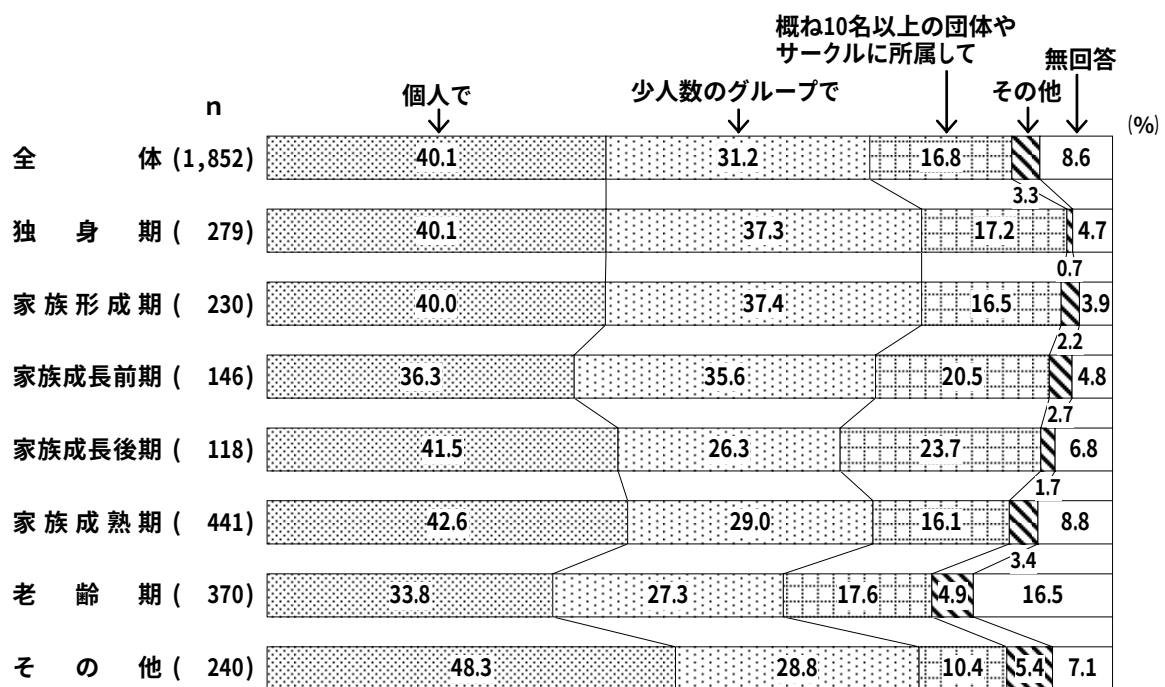
性・年齢別にみると、「個人で」は男性の60～64歳で5割強（51.4%）と高くなっている。また、「少人数のグループで」は男女とも20歳代で4割強と高くなっている。「概ね10名以上の団体やサークルに所属して」は男性の20歳代で3割弱（28.9%）となっている。（図4-5-2）

図 4-5-3 スポーツを行う仲間－職業別



職業別にみると、「概ね10名以上の団体やサークルに所属して」は学生でほぼ3割（29.4%）、専業主婦・主夫でほぼ2割（20.6%）と他の職業より高くなっている。（図4-5-3）

図 4-5-4 スポーツを行う仲間－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「少人数のグループで」は独身期と家族形成期で4割弱と高く、「概ね10名以上の団体やサークルに所属して」は家族成長後期で2割強（23.7%）と高くなっている。

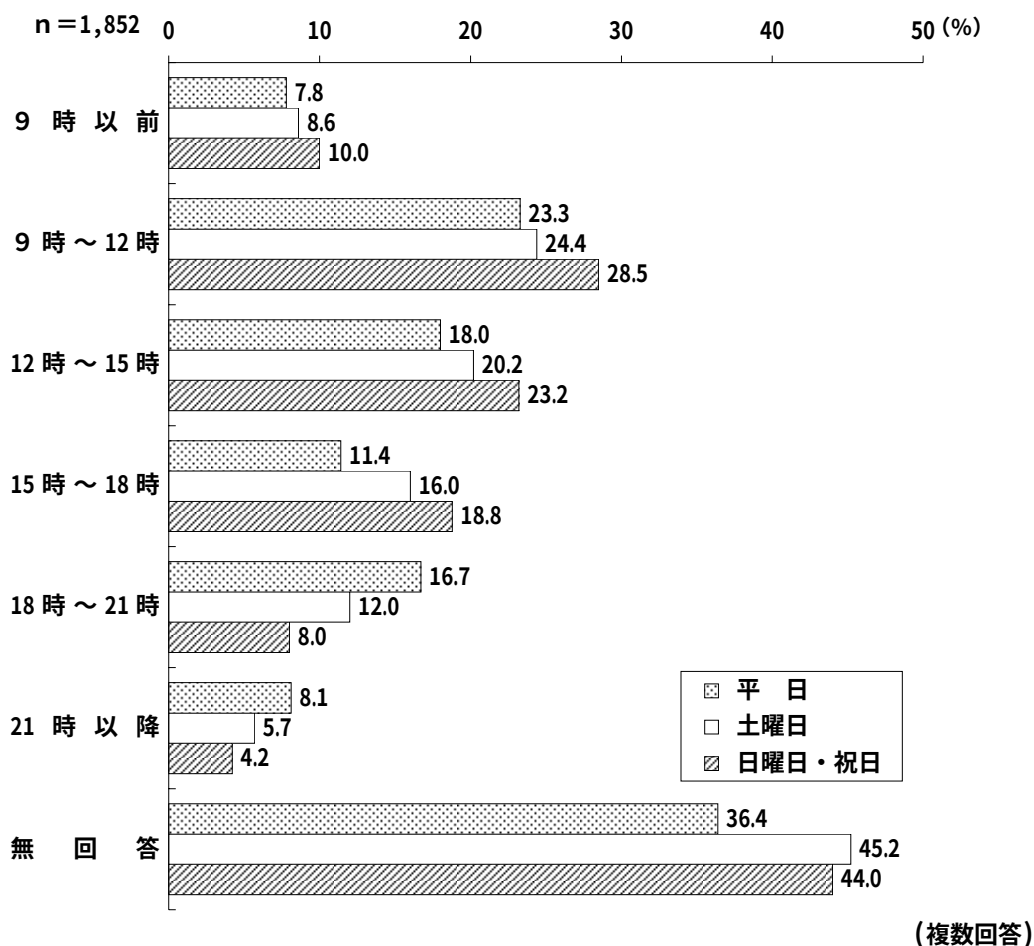
（図4-5-4）

4-6 スポーツを行う時間帯

◇すべての曜日で「9時～12時」が最も高い

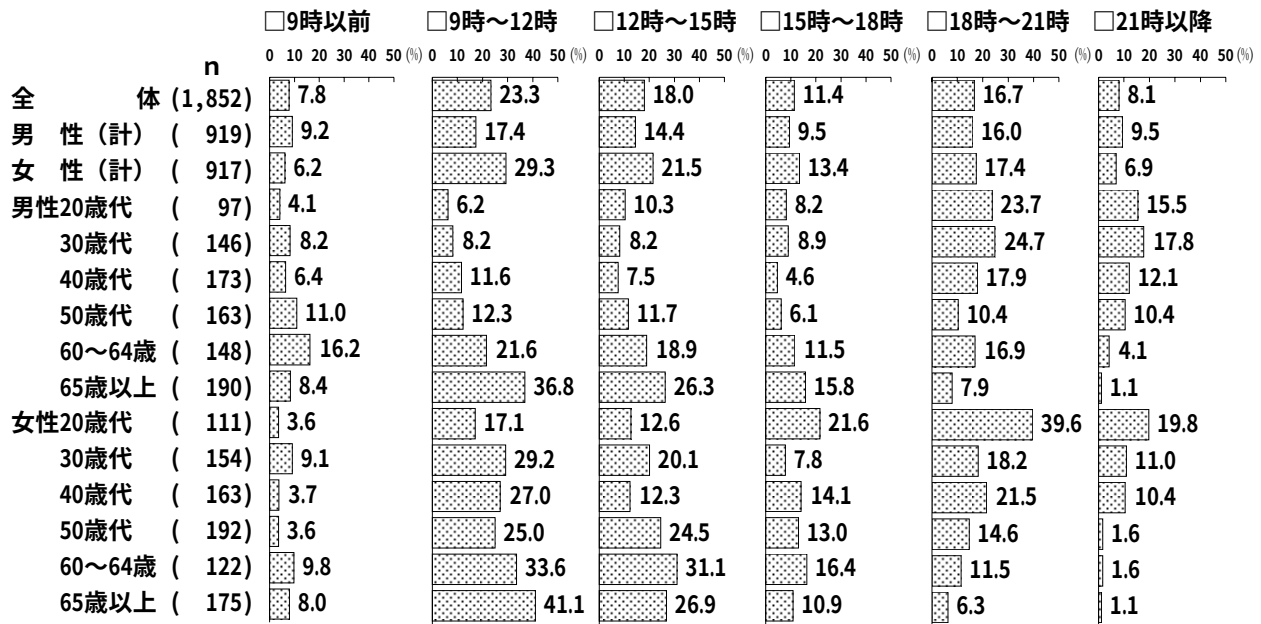
問7 あなたがスポーツを行っている時間帯はいつですか。現在スポーツを行っていない方は、行うことができるまたは行いたい時間でお答えください。(○はいくつでも)

図4-6-1



スポーツを行っている時間帯を聞いたところ、いずれの曜日でも「9時～12時」の割合が最も高く、日曜日・祝日（28.5%）で3割弱、土曜日（24.4%）で2割台半ば、平日（23.3%）で2割強となっている。これに次いで多いのは、土曜日と日曜日・祝日では「12時～15時」、「15時～18時」の順となっており、平日では「12時～15時」、「18時～21時」の順となっている。（図4-6-1）

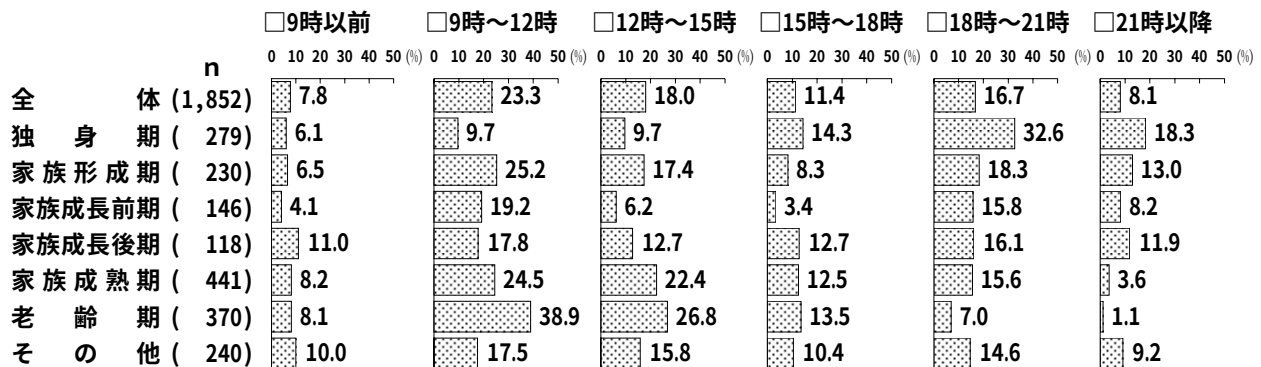
図 4-6-2 スポーツを行う時間帯（平日）－性・年齢別



平日について性別にみると、「9時～12時」で11.9ポイント、「12時～15時」で7.1ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

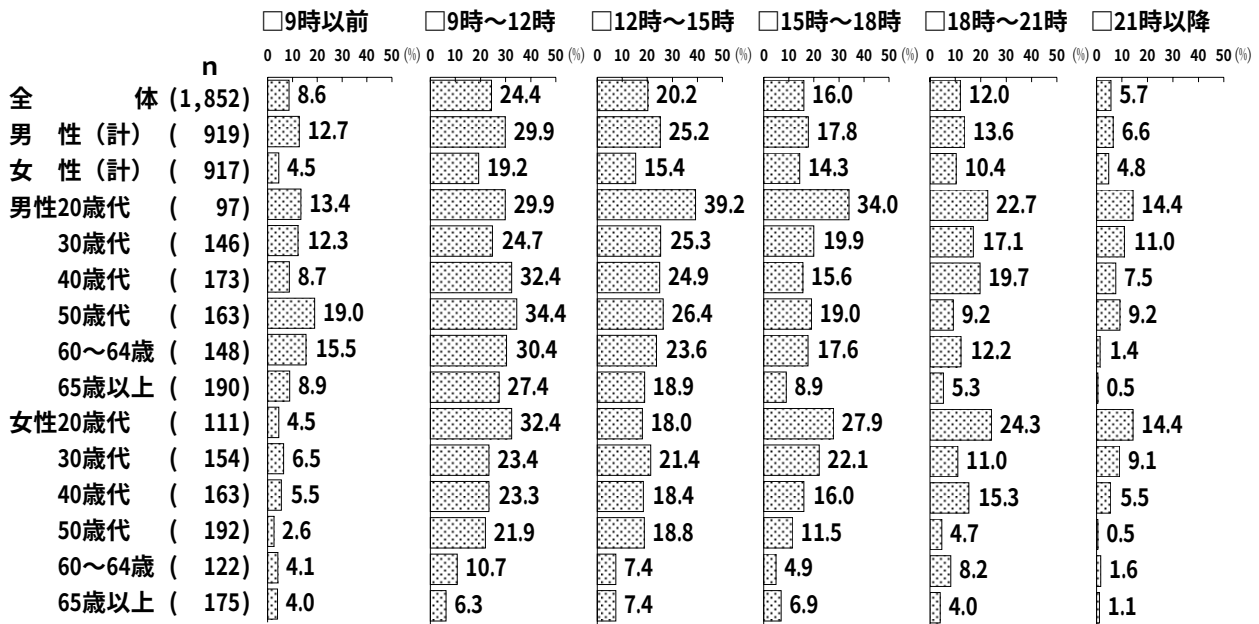
性・年齢別にみると、「9時～12時」は女性の65歳以上で4割強（41.1%）、男性の65歳以上でも4割弱（36.8%）と高くなっている。「18時～21時」は女性の20歳代でほぼ4割（39.6%）と高くなっている。（図4-6-2）

図 4-6-3 スポーツを行う時間帯（平日）－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「9時～12時」は老齢期で4割弱（38.9%）と高くなっている。「18時～21時」は独身期で3割強（32.6%）と高くなっている。（図4-6-3）

図４－６－４ スポーツを行う時間帯（土曜日）－性・年齢別

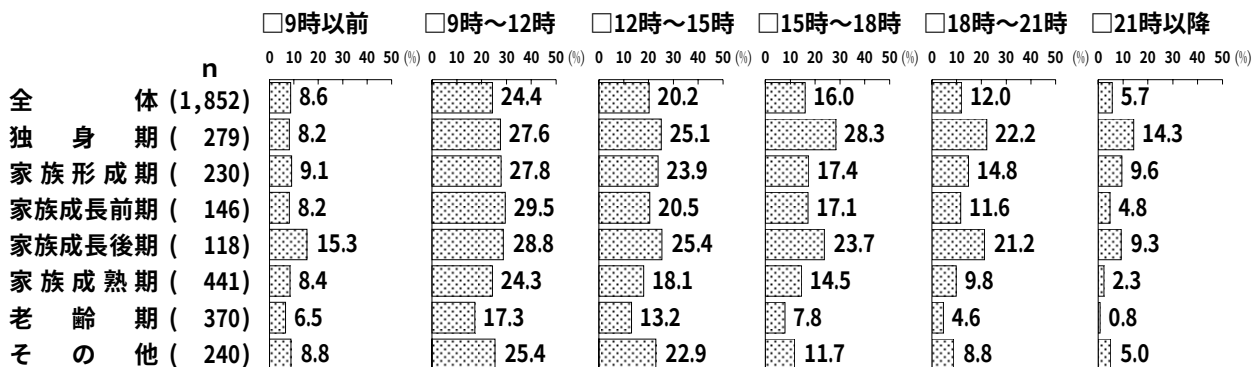


土曜日について性別にみると、「9時～12時」で10.7ポイント、「12時～15時」で9.8ポイント、「9時以前」で8.2ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の20歳代で「12時～15時」がほぼ4割（39.2%）、「15時～18時」で3割台半ば（34.0%）と高くなっている。また、女性の20歳代では「9時～12時」が3割強（32.4%）、「15時～18時」が3割弱（27.9%）、「18時～21時」が2割台半ば（24.3%）と高くなっている。

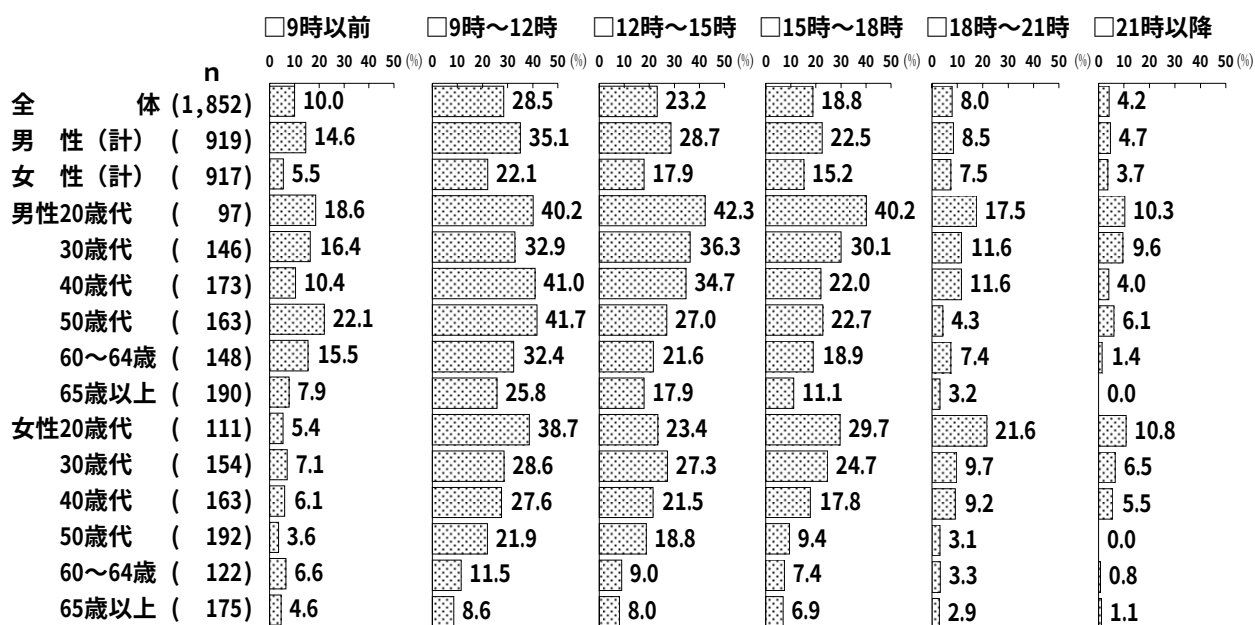
（図４－６－４）

図４－６－５ スポーツを行う時間帯（土曜日）－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「15時～18時」、「18時～21時」は独身期と家族成長後期で他のライフステージより高くなっている。（図４－６－５）

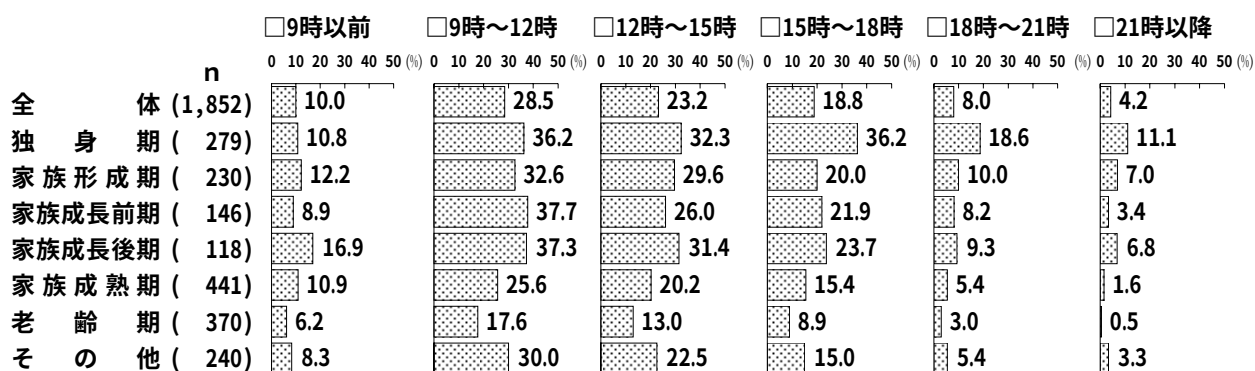
図 4-6-6 スポーツを行う時間帯（日曜日・祝日）－性・年齢別



日曜日・祝日について性別にみると、「9時～12時」で13.0ポイント、「12時～15時」で10.8ポイント、「9時以前」で9.1ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、12時以降の時間帯ではいずれも、低い年代のほうが割合が高くなる傾向にある。(図4-6-6)

図 4-6-7 スポーツを行う時間帯（日曜日・祝日）－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「15時～18時」は独身期で3割台半ば（36.2%）と高くなっている。

(図4-6-7)

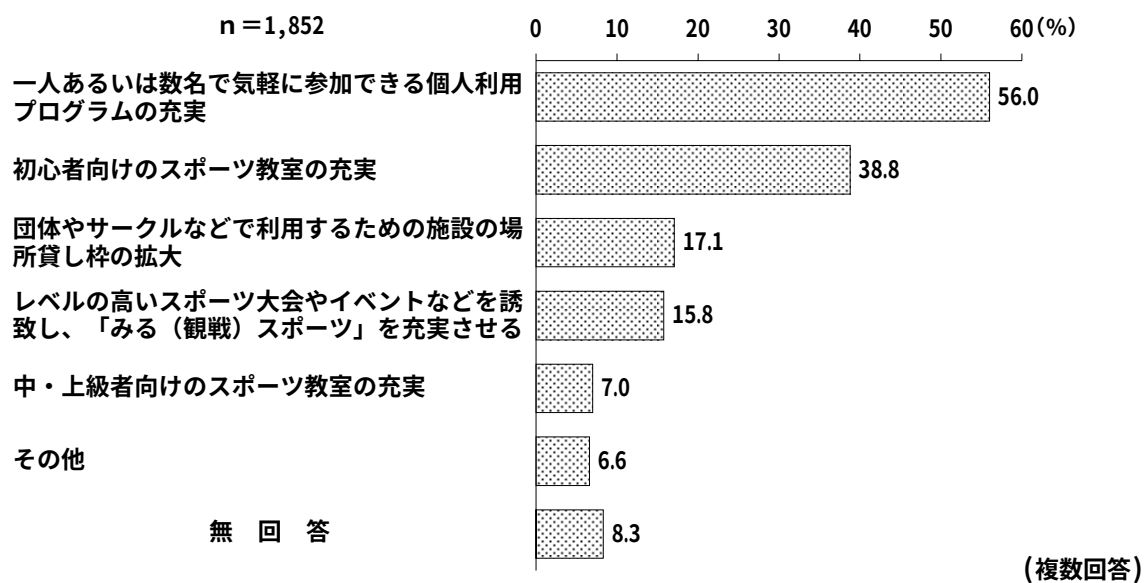
4-7 市のスポーツ施設の運営で期待すること

◇「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」が5割台半ば

問8 あなたは、市のスポーツ施設での運営にどのようなことを期待しますか。

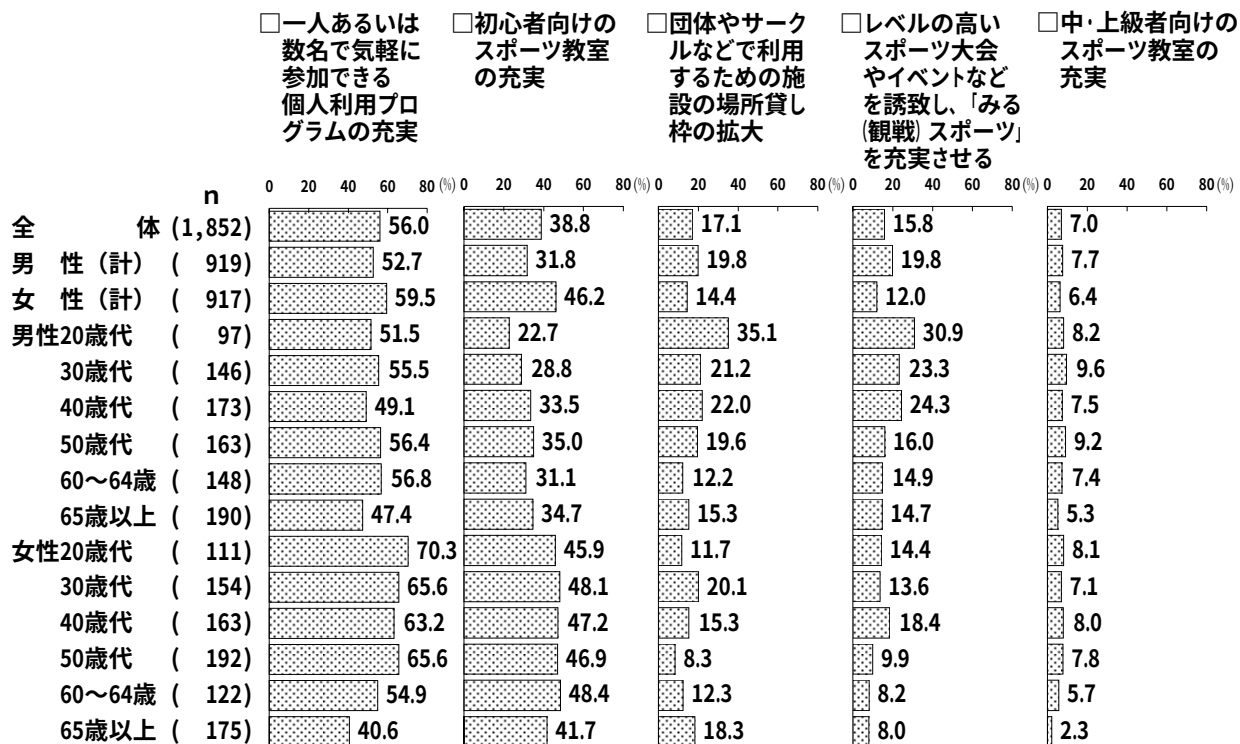
(○はいくつでも)

図4-7-1



市のスポーツ施設の運営で期待することについて聞いたところ、「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」が5割台半ば（56.0%）と最も高く、ついで「初心者向けのスポーツ教室の充実」（38.8%）、「団体やサークルなどで利用するための施設の場所貸し枠の拡大」（17.1%）、「レベルの高いスポーツ大会やイベントなどを誘致し、「みる（観戦）スポーツ」を充実させる」（15.8%）と続いている。（図4-7-1）

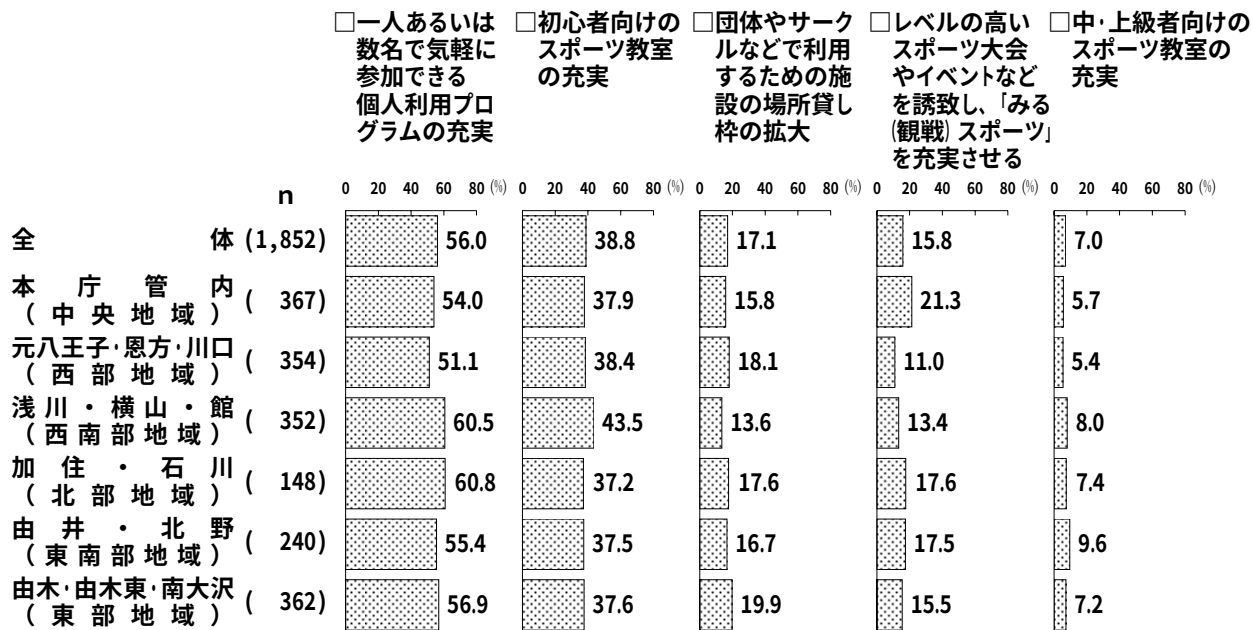
図４－７－２ 市のスポーツ施設の運営で期待すること－性・年齢別



性別にみると、「初心者向けのスポーツ教室の充実」は女性のほうが14.4ポイント男性よりも高く、「レベルの高いスポーツ大会やイベントなどを誘致し、「みる（観戦）スポーツ」を充実させる」は男性のほうが7.8ポイント女性より高くなっている。

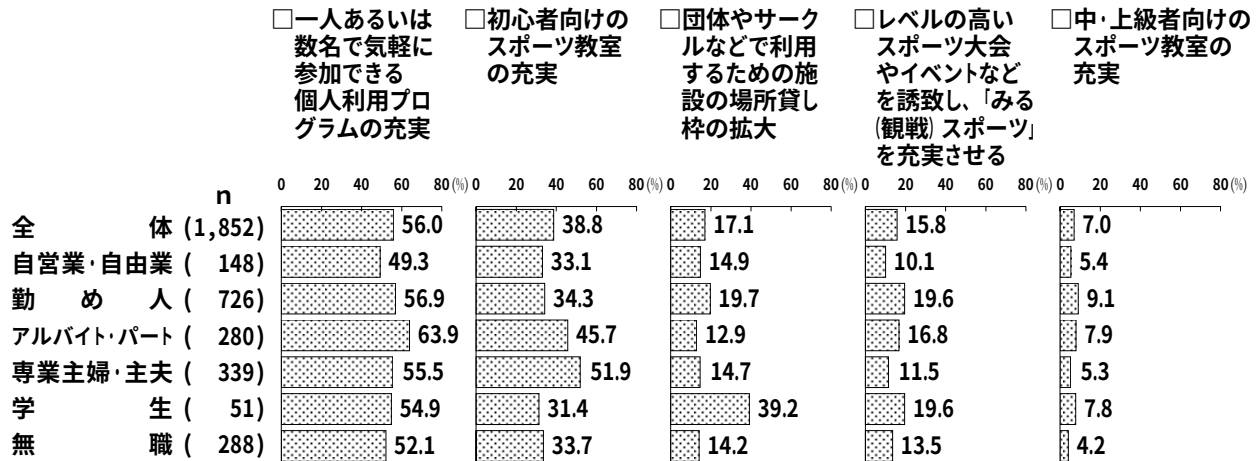
性・年齢別にみると、「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」は女性の20歳代はほぼ7割（70.3%）、女性の30歳代から50歳代で6割台と高くなっている。「団体やサークルなどで利用するための施設の場所貸し枠の拡大」は男性の20歳代で3割台半ば（35.1%）と高く、「レベルの高いスポーツ大会やイベントなどを誘致し、「みる（観戦）スポーツ」を充実させる」も男性の20歳代でほぼ3割（30.9%）と高くなっている。（図４－７－２）

図４－７－３ 市のスポーツ施設の運営で期待すること－居住地域別



居住地域別にみると、すべての地域で「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」が5割を超えており、特に浅川・横山・館（西南部地域）と加住・石川（北部地域）ではほぼ6割となっている。（図４－７－３）

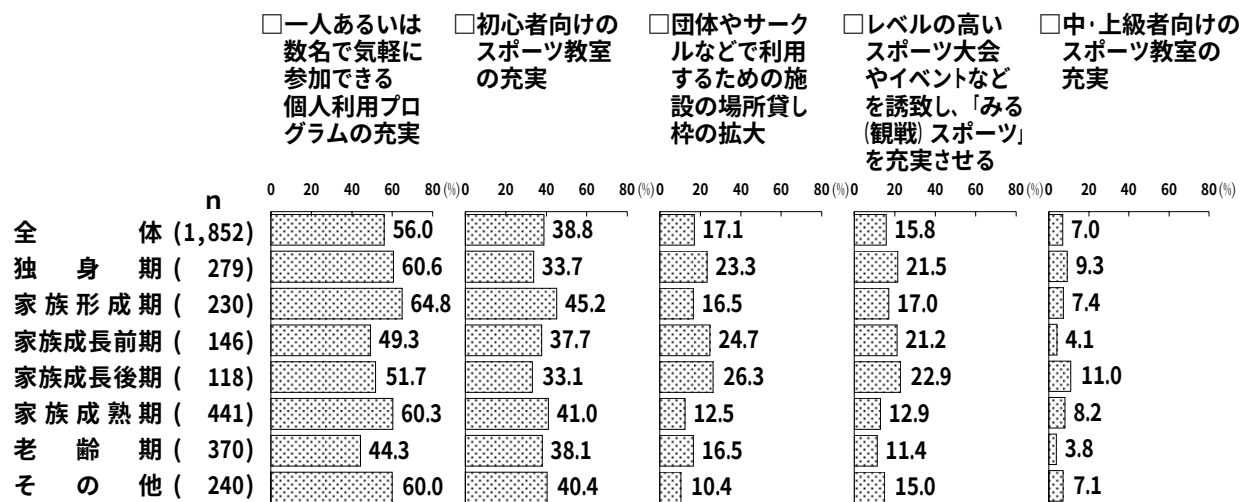
図４－７－４ 市のスポーツ施設の運営で期待すること－職業別



職業別にみると、「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」はアルバイト・パートでは6割強（63.9%）と高くなっている。「初心者向けのスポーツ教室の充実」は専業主婦・主夫で5割強（51.9%）、アルバイト・パートでは4割台半ば（45.7%）と高く、「団体やサークルなどで利用するための施設の場所貸し枠の拡大」は学生でほぼ4割（39.2%）と高くなっている。

（図４－７－４）

図４－７－５ 市のスポーツ施設の運営で期待すること－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実」は家族形成期で6割台半ば（64.8%）と高く、「初心者向けのスポーツ教室の充実」も家族形成期で4割台半ば（45.2%）と高くなっている。（図４－７－５）

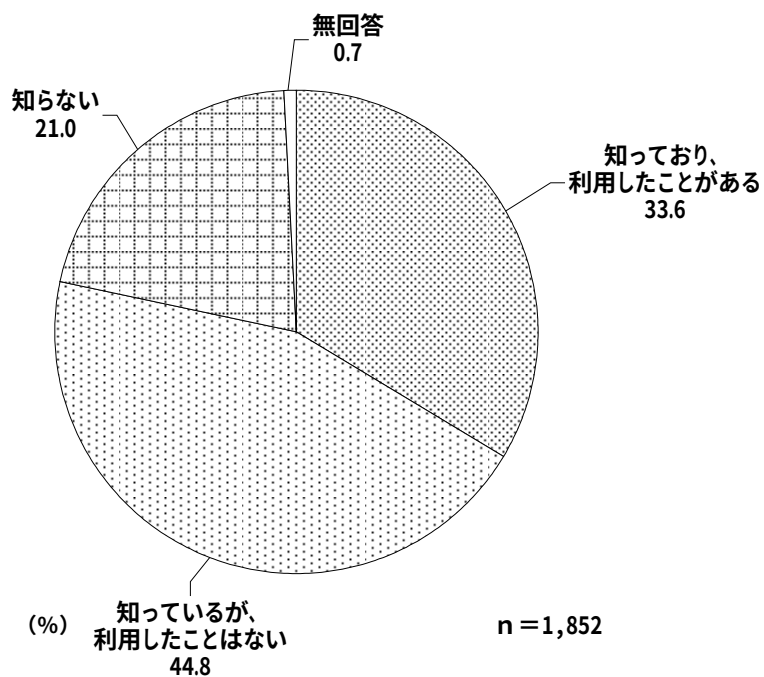
5. ホームページ

5-1 市のホームページの認知度・利用状況

◇「知っているが、利用したことはない」が4割台半ば

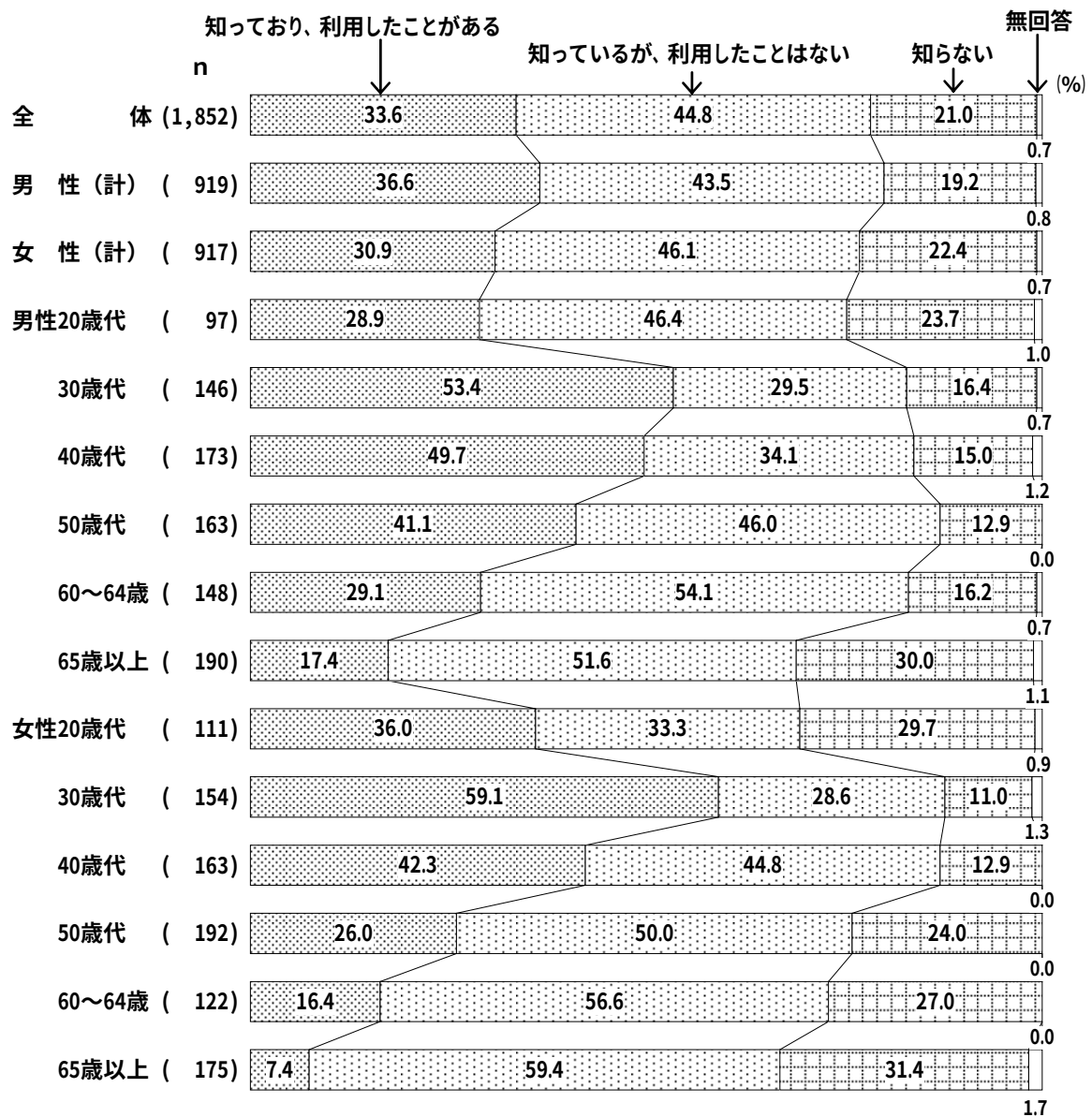
問9 あなたは、市のホームページがあることを知っていますか。(○は1つだけ)

図5-1-1



市のホームページの認知度と利用状況について聞いたところ、「知っており、利用したことがある」が3割強（33.6%）、「知っているが、利用したことはない」が4割台半ば（44.8%）、「知らない」が2割強（21.0%）となっている。（図5-1-1）

図５－１－２ 市のホームページの認知度・利用状況－性・年齢別



性別にみると、「知っており、利用したことがある」は男性のほうが5.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「知っており、利用したことがある」は男女とも30歳代で5割を超えて高くなっている。(図５－１－２)

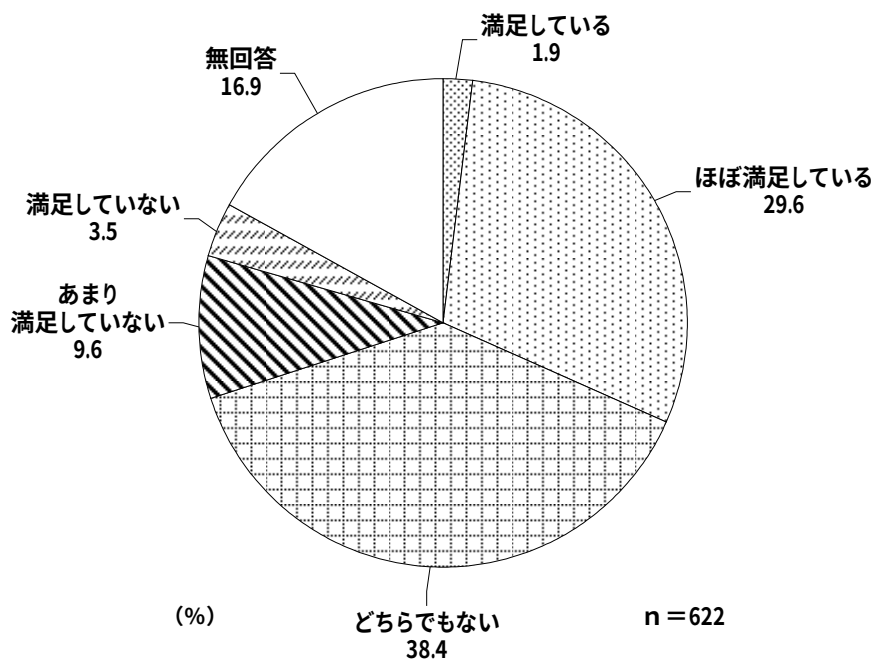
5-2 市のホームページの満足度

◇『満足』が3割強

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

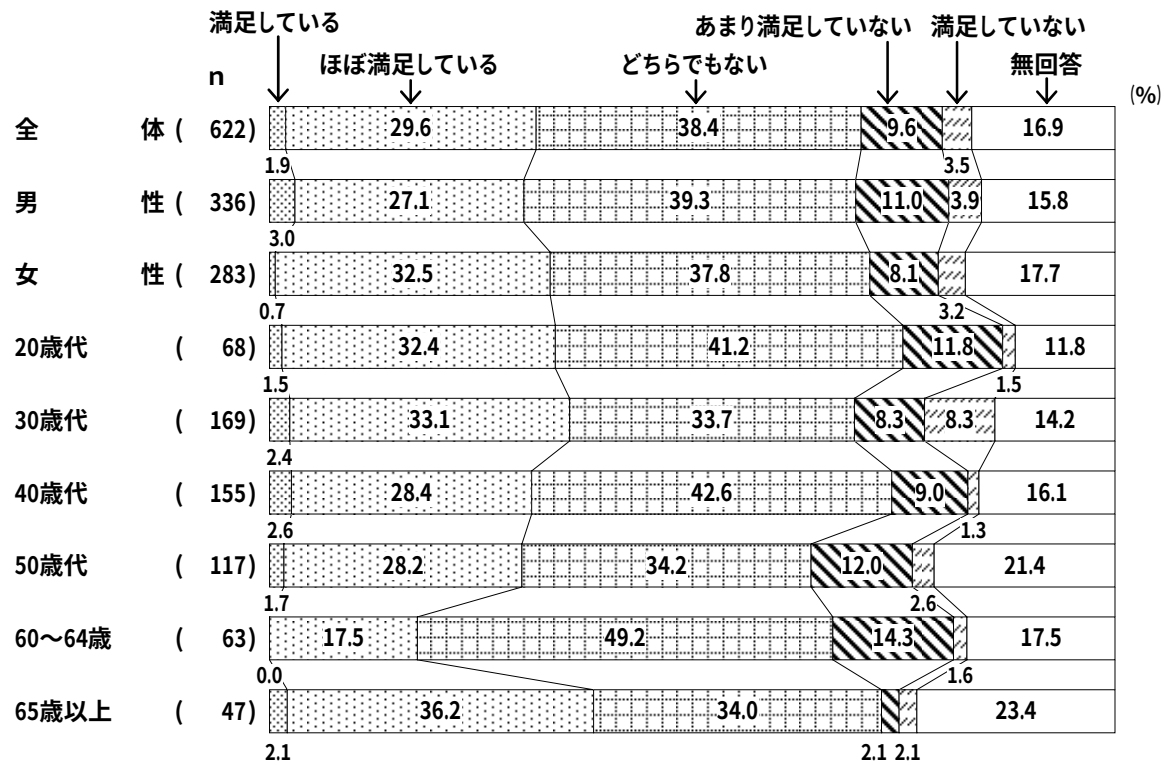
問9-1 あなたは、市のホームページに満足していますか。(○は1つだけ)

図5-2-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人（622人）に、満足度について聞いたところ、「満足している」（1.9%）と「ほぼ満足している」（29.6%）を合わせた『満足』は3割強（31.5%）となっている。一方、「あまり満足していない」（9.6%）と「満足していない」（3.5%）を合わせた『不満』は1割強（13.1%）となっている。（図5-2-1）

図5-2-2 市のホームページの満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で4割弱（38.3%）と最も高く、60～64歳で2割弱（17.5%）と最も低くなっている。（図5-2-2）

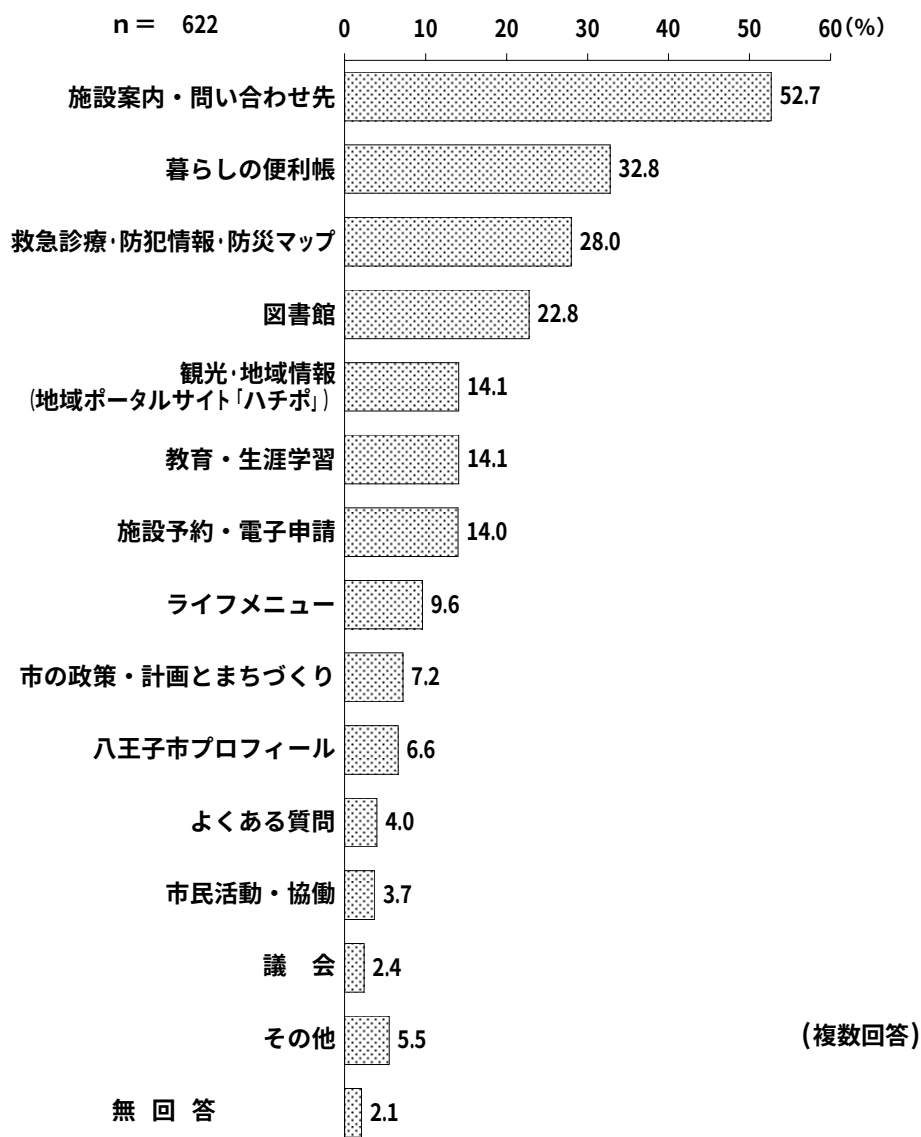
5-3 市のホームページで利用する情報

◇「施設案内・問い合わせ先」が5割強

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

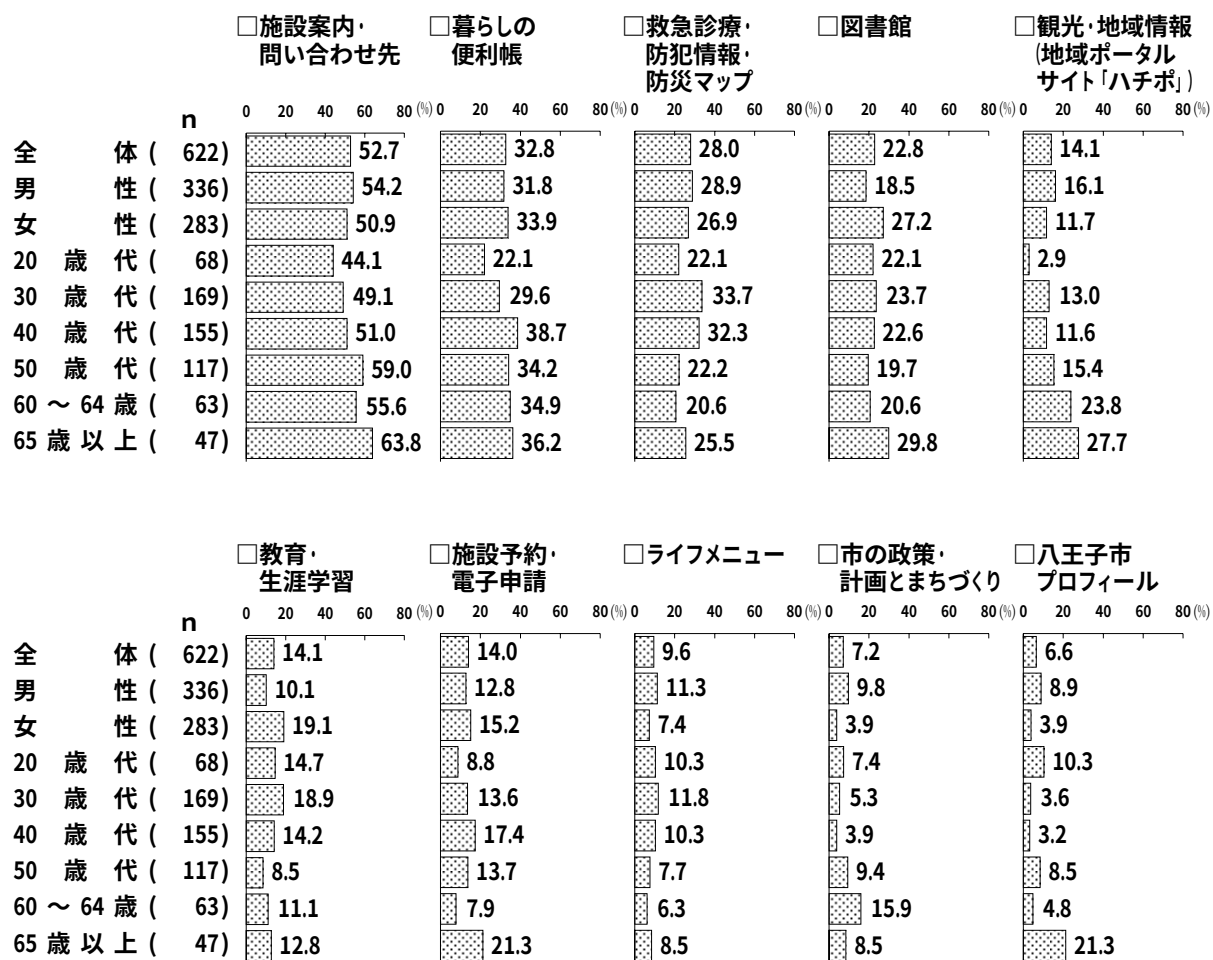
問9-2 あなたは、市のホームページでどのような情報を利用しますか。(○はいくつでも)

図5-3-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(622人)に、利用する情報について聞いたところ、「施設案内・問い合わせ先」が5割強(52.7%)と最も高く、ついで「暮らしの便利帳」(32.8%)、「救急診療・防犯情報・防災マップ」(28.0%)、「図書館」(22.8%)と続いている。(図5-3-1)

図 5-3-2 市のホームページで利用する情報－性別・年齢別



性別にみると、「教育・生涯学習」では9.0ポイント、「図書館」では8.7ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「施設案内・問い合わせ先」は65歳以上で6割強（63.8%）と高く、「救急診療・防犯情報・防災マップ」は30歳代と40歳代で3割強と高くなっている。「観光・地域情報（地域ポータルサイト「ハチポ」）」は、65歳以上で3割弱（27.7%）、60～64歳で2割強（23.8%）と高くなっている。（図5-3-2）

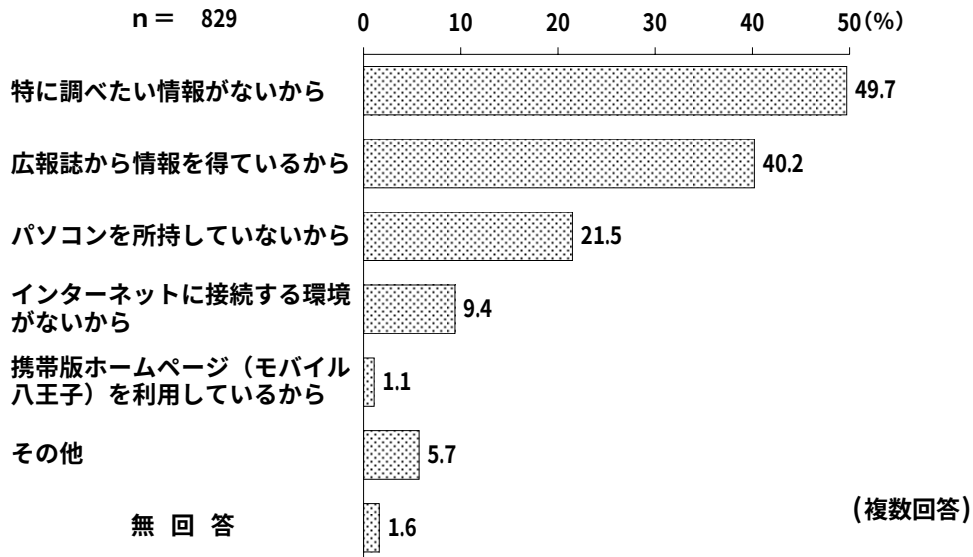
5-4 市のホームページを利用したことがない理由

◇「特に調べたい情報がないから」がほぼ5割

(問9で「知っているが、利用したことはない」とお答えの方に)

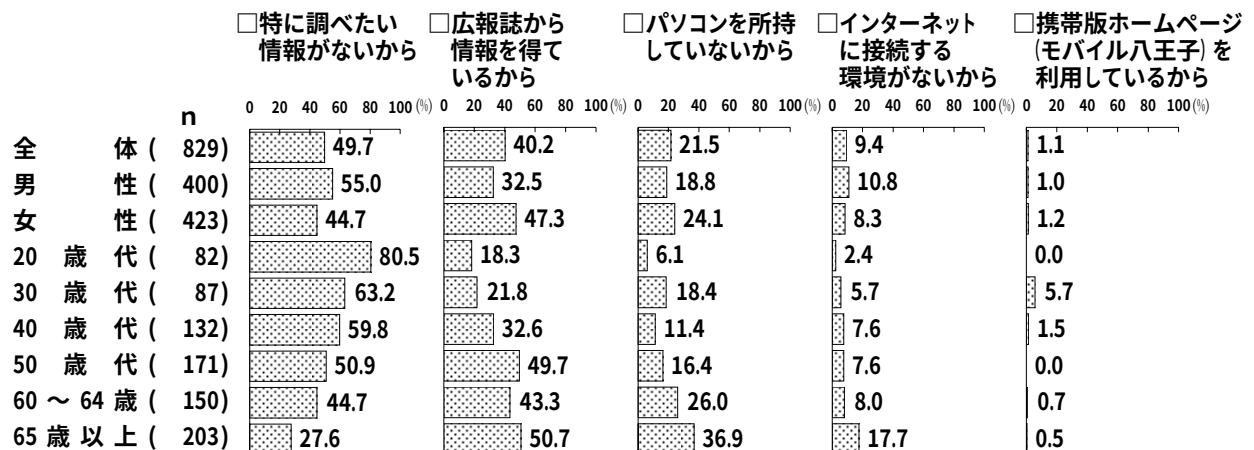
問9-3 あなたが、市のホームページを利用したことがないのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)

図5-4-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っているが、利用したことはない」と答えた人(829人)に、利用したことがない理由について聞いたところ、「特に調べたい情報がないから」がほぼ5割(49.7%)と最も高く、ついで「広報誌から情報を得ているから」(40.2%)、「パソコンを所持していないから」(21.5%)と続いている。(図5-4-1)

図5-4-2 市のホームページを利用したことがない理由—性別・年齢別



性別にみると、「特に調べたい情報がないから」は男性のほうが10.3ポイント高く、「広報誌から情報を得ているから」は女性のほうが14.8ポイント高くなっている。

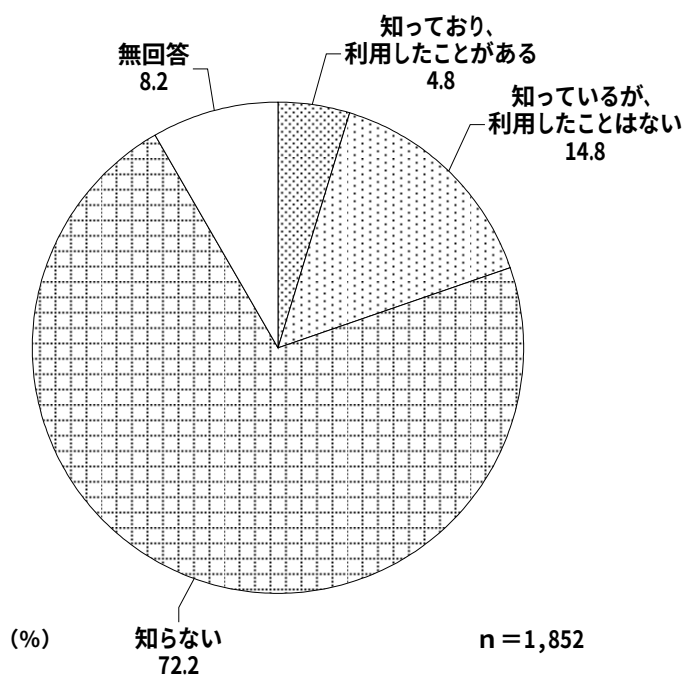
年齢別にみると、「特に調べたい情報がないから」は年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。(図5-4-2)

5-5 モバイル八王子の認知度・利用状況

◇『知っている』がほぼ2割

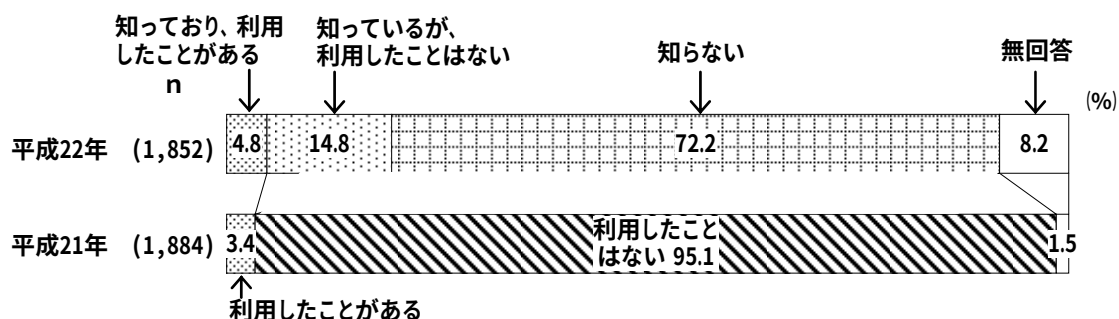
問10 あなたは、市の携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）があることを知っていますか。（○は1つだけ）

図5-5-1



モバイル八王子の認知度と利用状況について聞いたところ、「知っているが、利用したことがある」（4.8%）と「知っているが、利用したことはない」（14.8%）を合わせた『知っている』はほぼ2割（19.6%）となっている。一方、「知らない」は7割強（72.2%）を占めている。（図5-5-1）

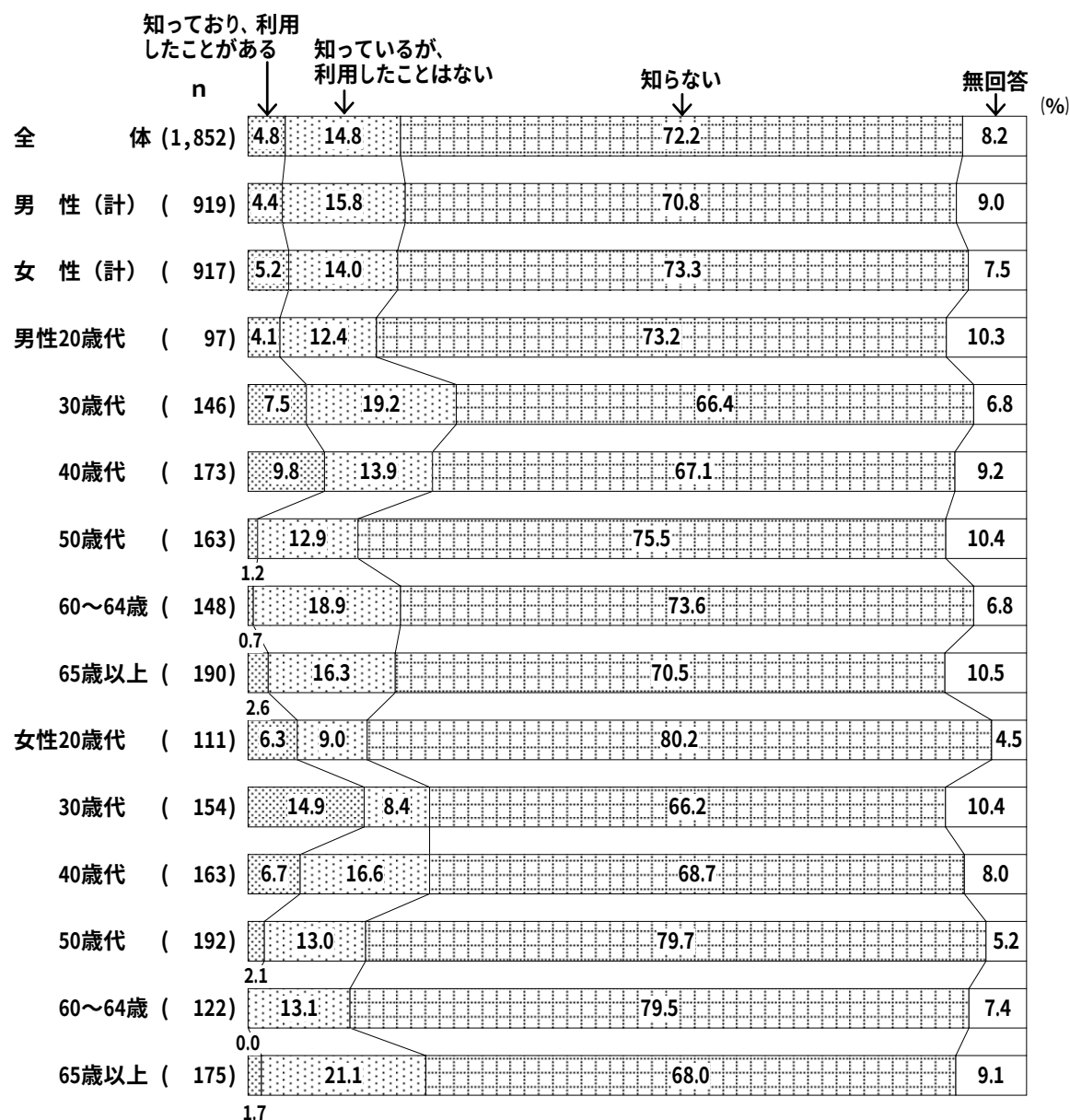
図5-5-2 モバイル八王子の認知度・利用状況—経年変化



前回との比較をみると、「利用したことがある」は前回より1.4ポイント上昇している。

（図5-5-2）

図 5-5-3 モバイル八王子の認知度・利用状況－性・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「知っており、利用したことがある」は女性の30歳代で1割台半ば（14.9%）と最も高く、男性の40歳代でほぼ1割（9.8%）となっている。『知っている』は男性の30歳代で3割弱（26.7%）と最も高くなっている。（図5-5-3）

5－6 モバイル八王子の満足度

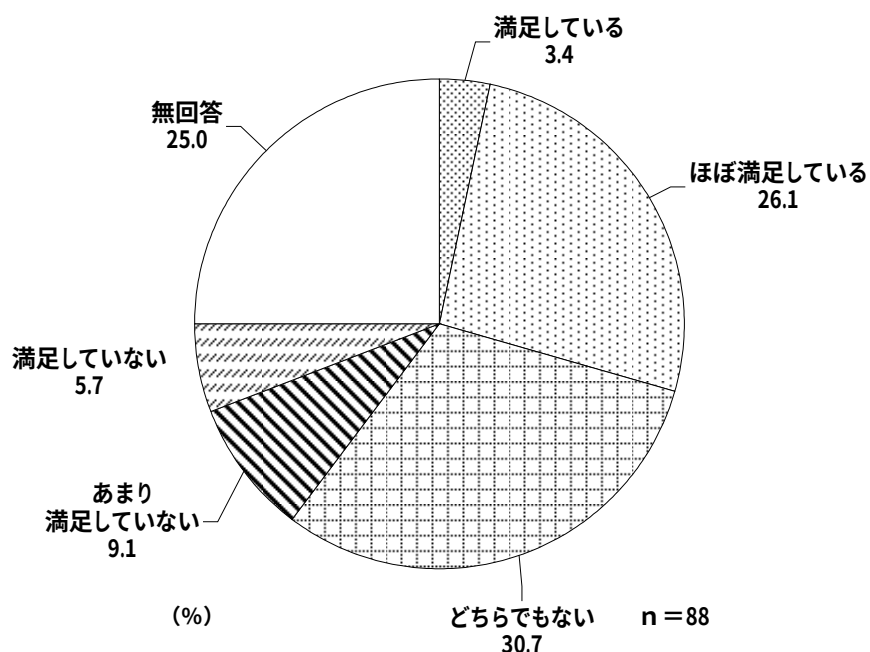
◇『満足』がほぼ3割

(問10で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問10－1 あなたは市の携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）に満足していますか。

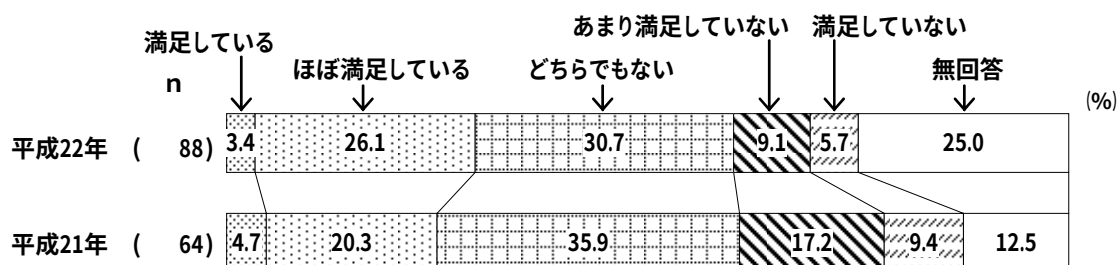
(○は1つだけ)

図5－6－1



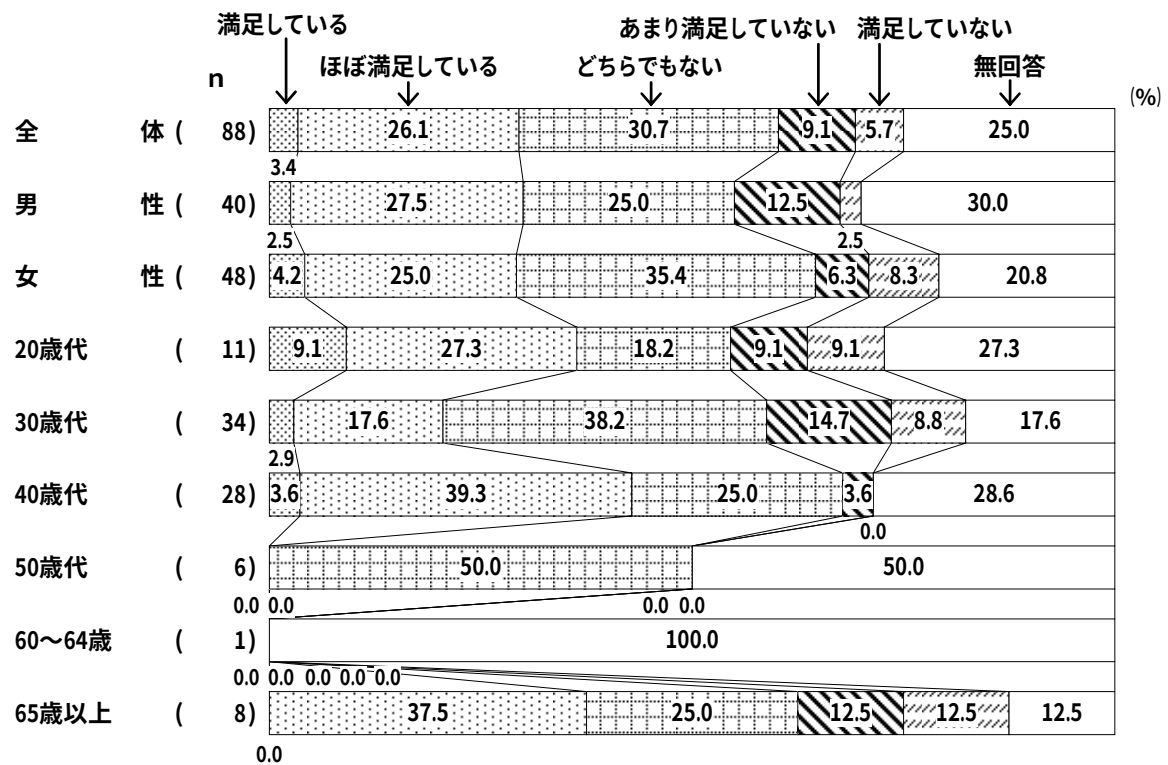
モバイル八王子の認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人（88人）に、満足度について聞いたところ、「満足している」（3.4%）と「ほぼ満足している」（26.1%）を合わせた『満足』はほぼ3割（29.5%）となっている。一方、「あまり満足していない」（9.1%）と「満足していない」（5.7%）を合わせた『不満』は1割台半ば（14.8%）となっている。（図5－6－1）

図5－6－2 モバイル八王子の満足度－経年変化



前回との比較をみると、『満足』は前回より4.5ポイント高くなっている。（図5－6－2）

図5-6-3 モバイル八王子の満足度—性別・年齢別



性別にみると、「どちらでもない」は女性のほうが10.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足』は40歳代で4割強（42.9%）と高く、ついで65歳以上が4割弱（37.5%）となっている。（図5-6-3）

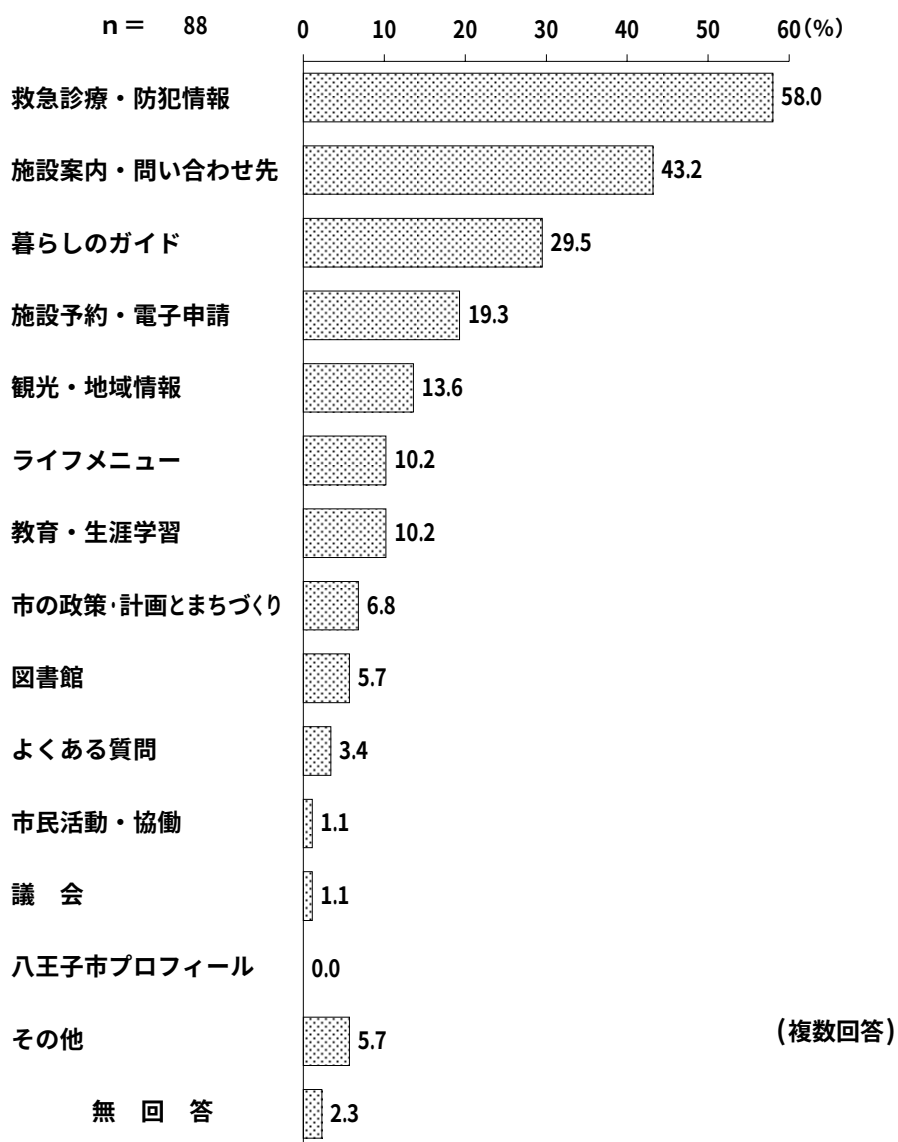
5－7 モバイル八王子で充実してほしい情報

◇「救急診療・防犯情報」が6割弱

(問10で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

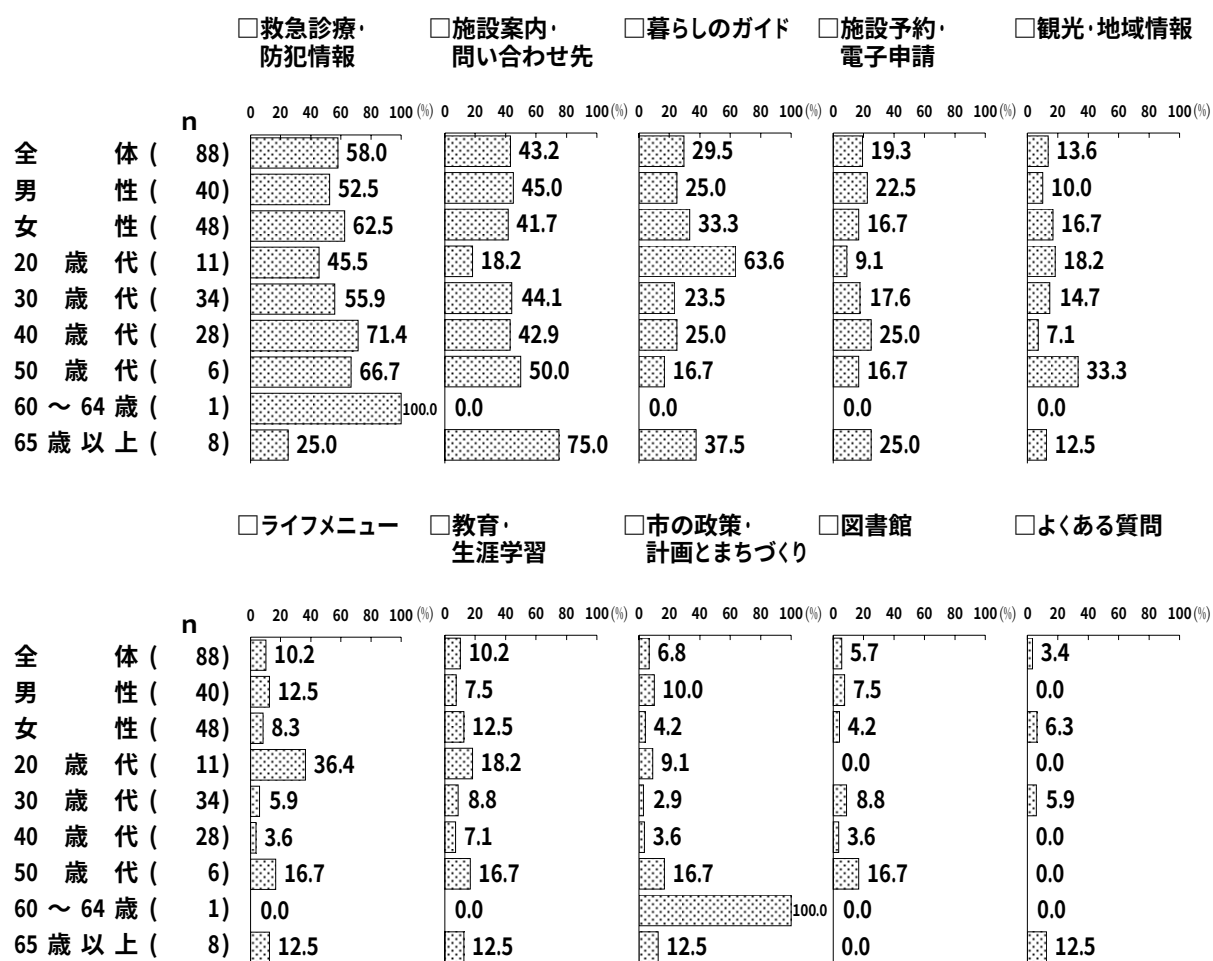
問10－2 あなたは市の携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）にどのような情報を充実してほしいですか。(○はいくつでも)

図5－7－1



モバイル八王子の認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人（88人）に、充実してほしい情報について聞いたところ、「救急診療・防犯情報」が6割弱（58.0%）で最も高く、ついで「施設案内・問い合わせ先」（43.2%）、「暮らしのガイド」（29.5%）、「施設予約・電子申請」（19.3%）と続いている。（図5－7－1）

図 5-7-2 モバイル八王子で充実してほしい情報－性別・年齢別



性別にみると、「救急診療・防犯情報」で10.0ポイント、「暮らしのガイド」で8.3ポイント、「観光・地域情報」で6.7ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「暮らしのガイド」は20歳代で6割強（63.6%）と高くなっている。

（図 5-7-2）

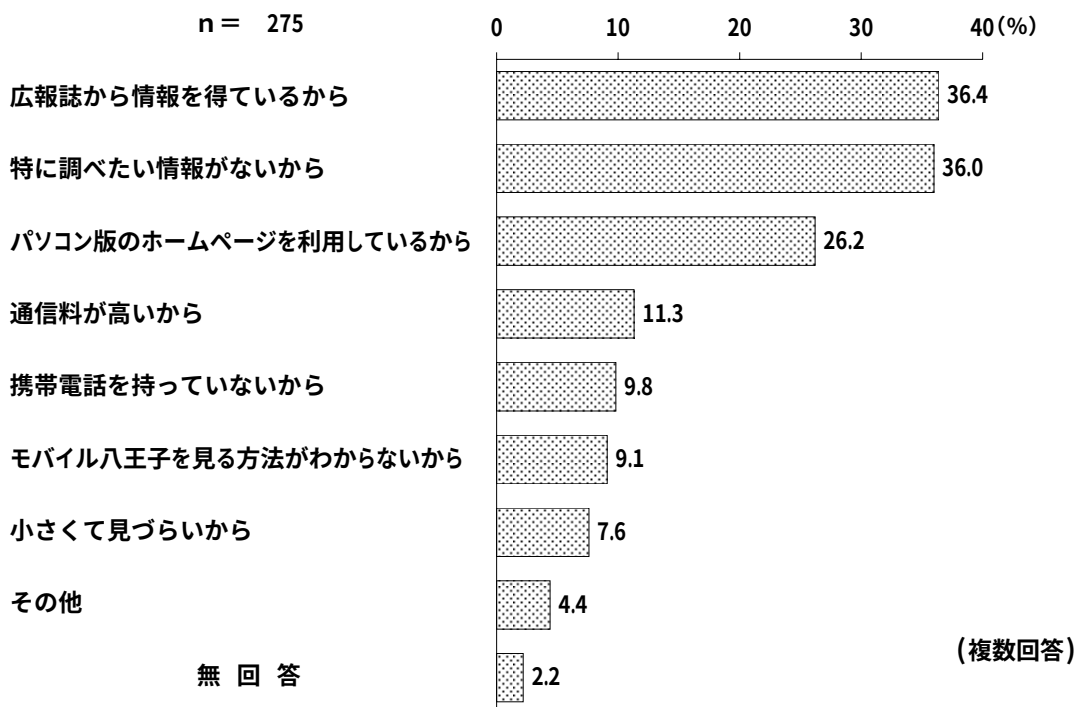
5－8 モバイル八王子を利用したことがない理由

◇「広報誌から情報を得ているから」「特に調べたい情報がないから」が4割弱

(問10で「知っているが、利用したことはない」とお答えの方に)

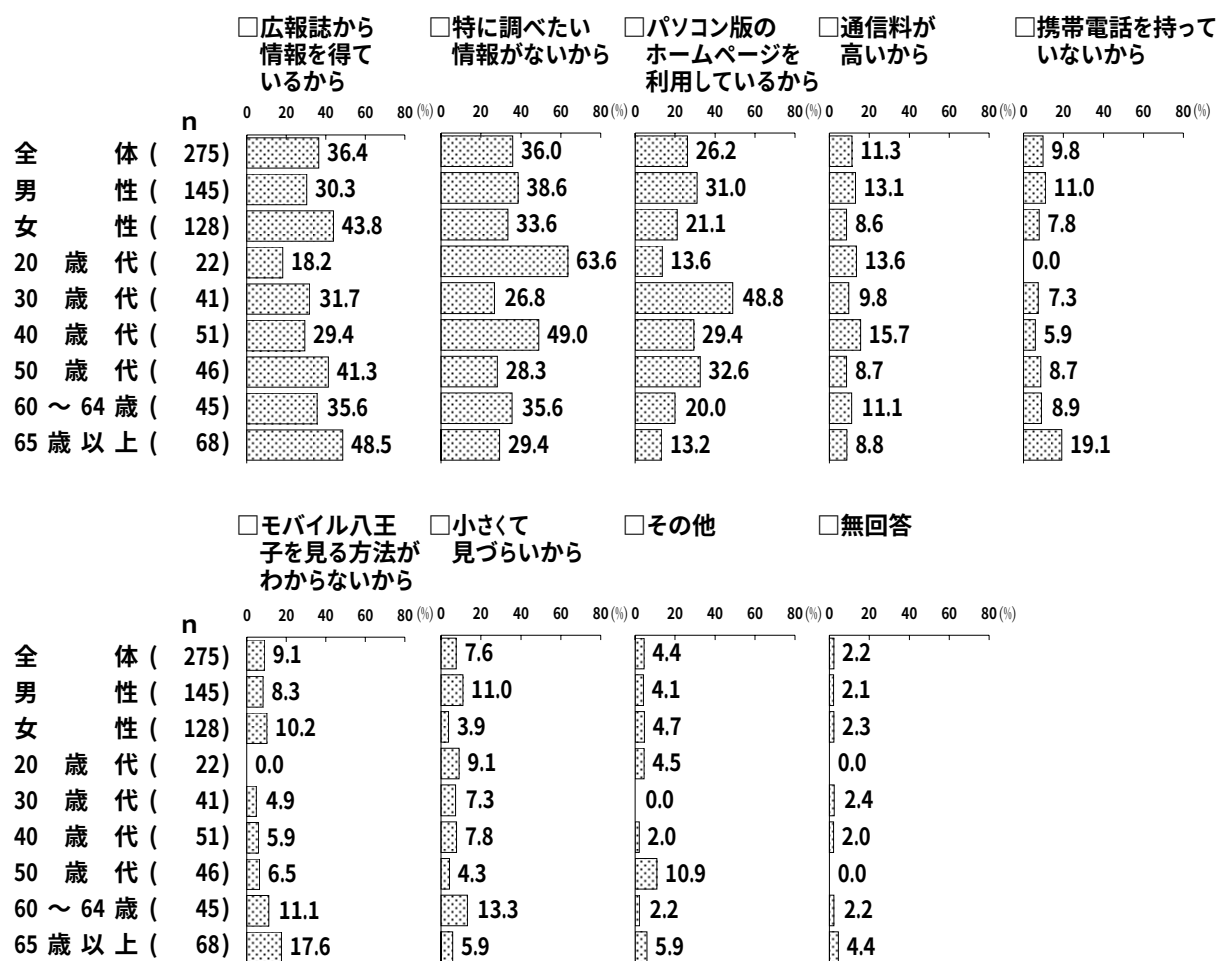
問10－3 あなたが、携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）を利用したことがないのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)

図5－8－1



モバイル八王子の認知度・利用状況で「知っているが、利用したことはない」と答えた人（275人）に、利用したことがない理由について聞いたところ、「広報誌から情報を得ているから」（36.4%）と「特に調べたい情報がないから」（36.0%）の2項目が4割弱と高くなっており、ついで「パソコン版のホームページを利用しているから」（26.2%）、「通信料が高いから」（11.3%）と続いている。（図5－8－1）

図5－8－2 モバイル八王子を利用したことがない理由－性別・年齢別



性別にみると、「パソコン版のホームページを利用しているから」は男性のほうが9.9ポイント、「広報誌から情報を得ているから」は女性のほうが13.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報誌から情報を得ているから」は65歳以上で5割弱（48.5%）と高く、「パソコン版のホームページを利用しているから」は、30歳代で5割弱（48.8%）と高くなっている。

（図5－8－2）

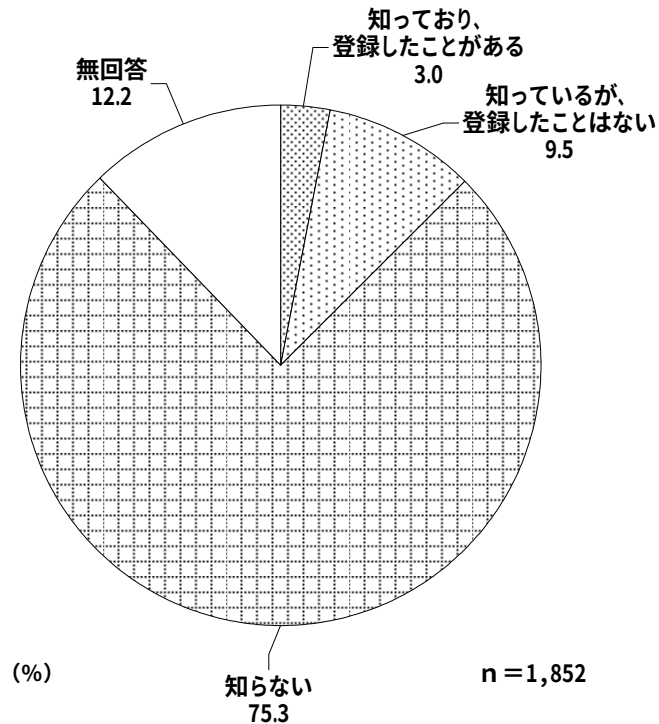
5－9 メール配信サービスの認知度・利用状況

◇『知っている』が1割強

問11 あなたは、市がメール配信サービスを提供していることを知っていますか。

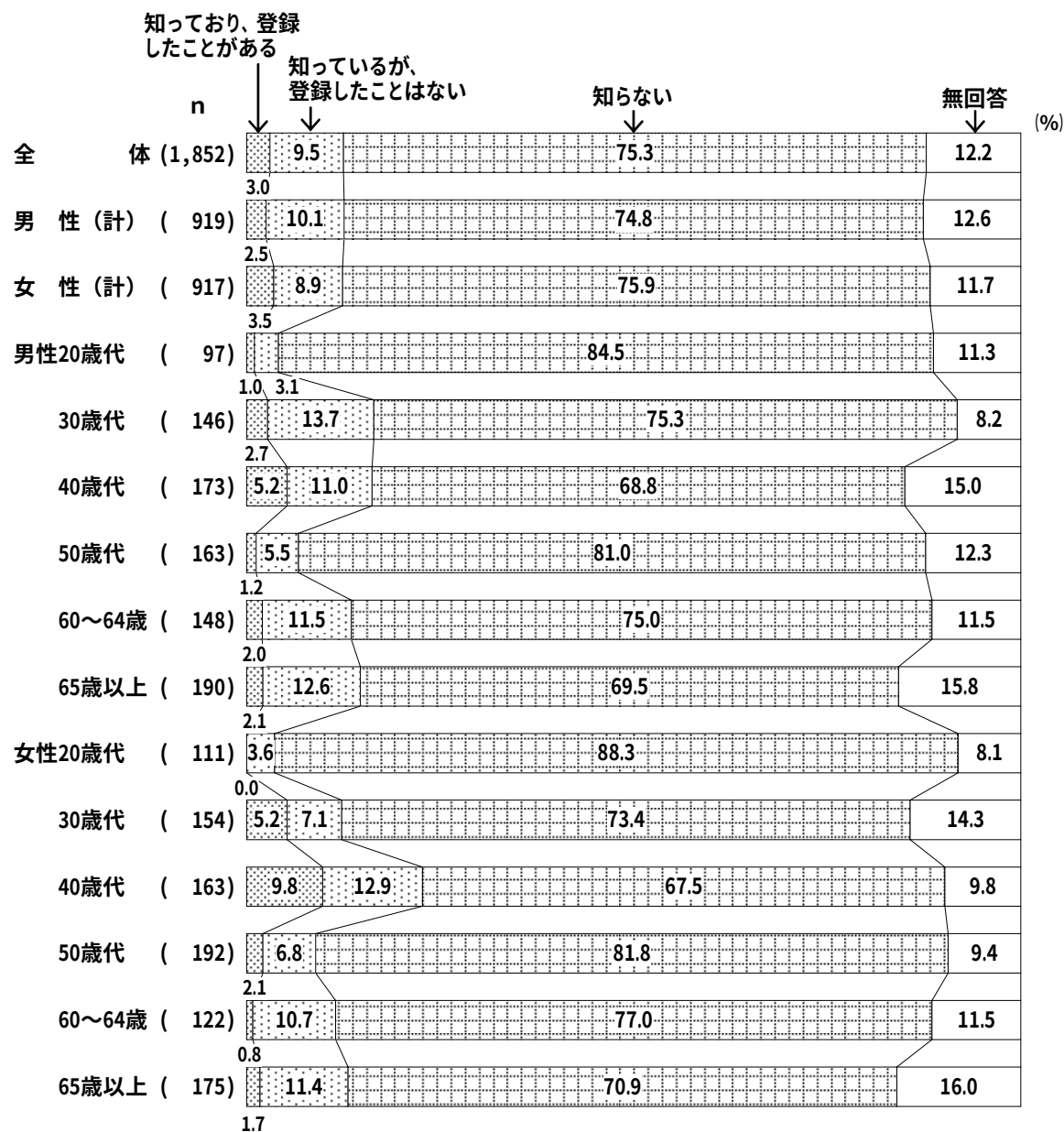
(○は1つだけ)

図5－9－1



メール配信サービスの認知度と利用状況について聞いたところ、「知っている、登録したことがある」(3.0%)と「知っているが、登録したことはない」(9.5%)を合わせた『知っている』は1割強(12.5%)となっている。一方、「知らない」は7割台半ば(75.3%)となっている。(図5－9－1)

図5-9-2 メール配信サービスの認知度・利用状況－性・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「知っており、登録したことがある」は女性の40歳代でほぼ1割（9.8%）と高くなっている。『知っている』は女性の40歳代で2割強（22.7%）と高くなっている。

（図5-9-2）

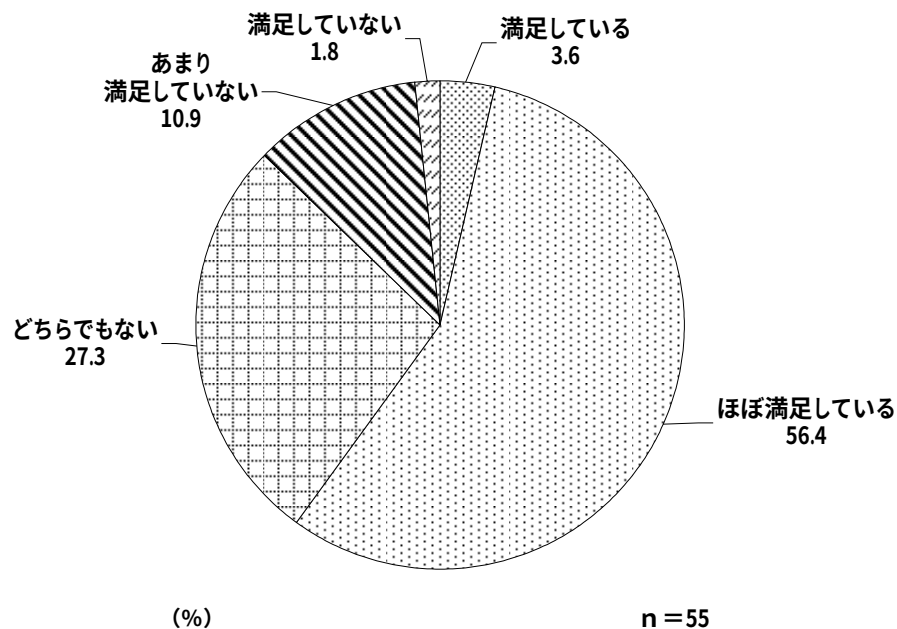
5-10 メール配信サービスの満足度

◇『満足』が6割

(問11で「知っており、登録したことがある」とお答えの方に)

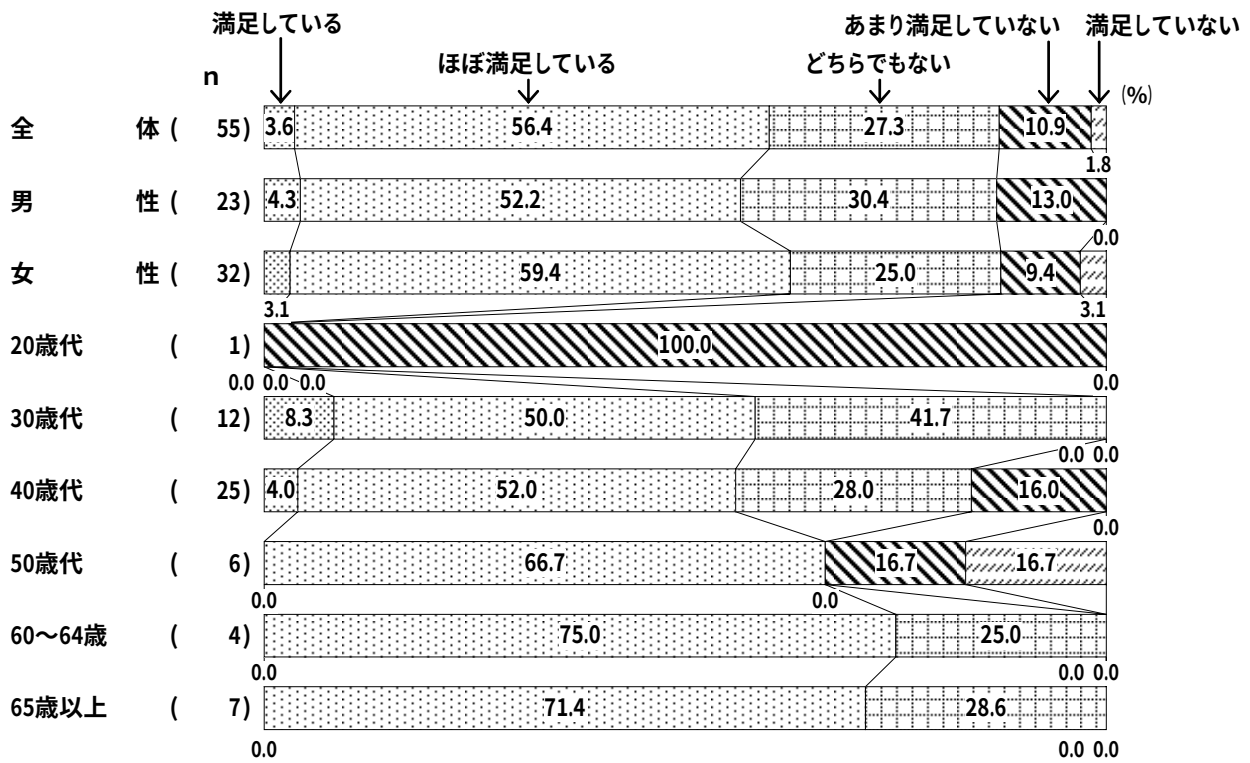
問11-1 あなたは、市のメール配信サービスに満足していますか。(○は1つだけ)

図5-10-1



メール配信サービスの認知度・利用状況で「知っており、登録したことがある」と答えた人（55人）に、満足度について聞いたところ、「満足している」（3.6%）と「ほぼ満足している」（56.4%）を合わせた『満足』は6割（60.0%）となっている。一方、「あまり満足していない」（10.9%）と「満足していない」（1.8%）を合わせた『不満』は1割強（12.7%）となっている。（図5-10-1）

図5-10-2 メール配信サービスの満足度－性別・年齢別



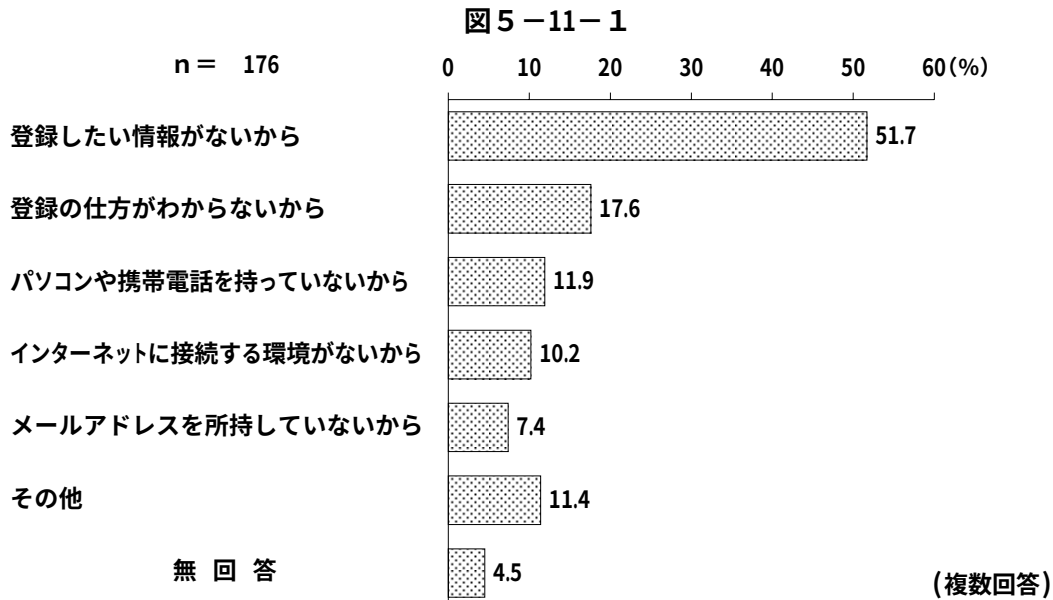
性別にみると、『満足』は女性のほうが6.0ポイント高くなっている。(図5-10-2)

5-11 メール配信サービスを利用したことがない理由

◇「登録したい情報がないから」が5割強

(問11で「知っているが、登録したことはない」とお答えの方に)

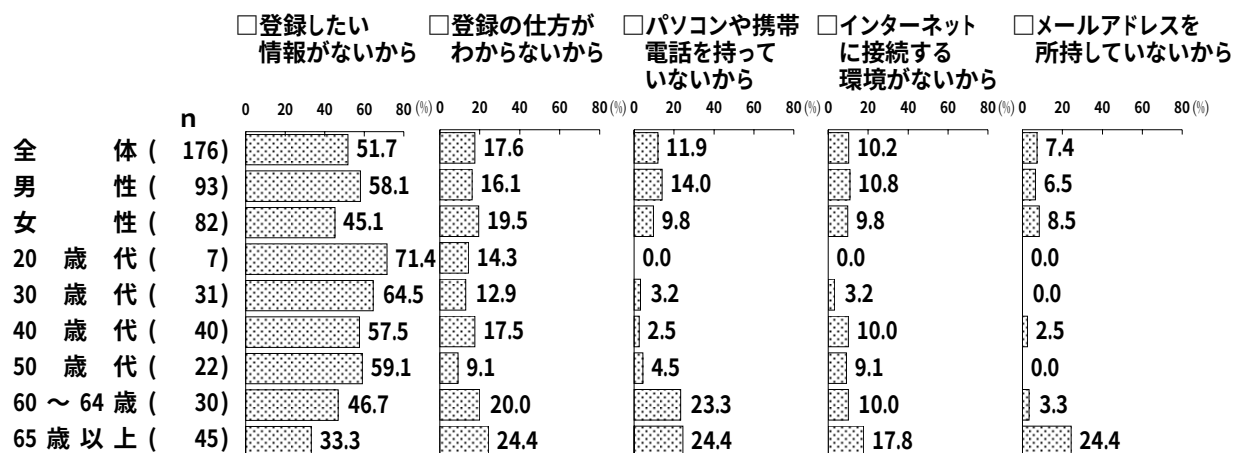
問11-2 あなたが、市のメール配信サービスを利用したことがないのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)



メール配信サービスの認知度・利用状況で「知っているが、登録したことはない」と答えた人(176人)に、利用したことがない理由について聞いたところ、「登録したい情報がないから」が5割強(51.7%)で最も高く、ついで「登録の仕方がわからないから」(17.6%)、「パソコンや携帯電話を持っていないから」(11.9%)、「インターネットに接続する環境がないから」(10.2%)と続いている。

(図5-11-1)

図5-11-2 メール配信サービスを利用したことがない理由—性別・年齢別



性別にみると、「登録したい情報がないから」は男性のほうが13.0ポイント高くなっている。

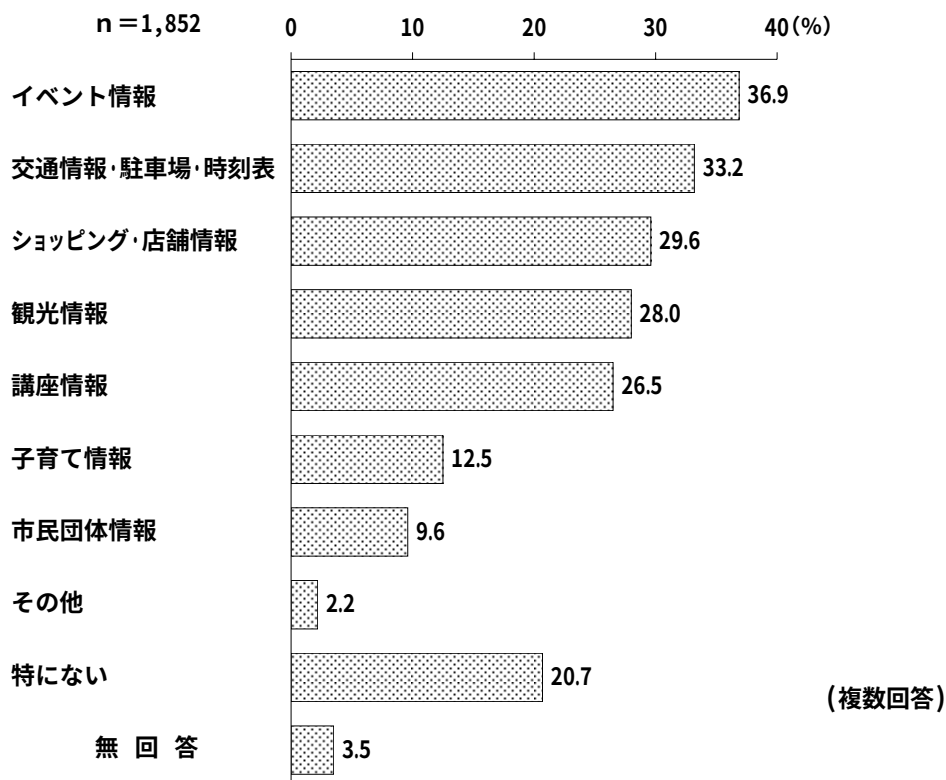
年齢別にみると、「登録したい情報がないから」では、概ね年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。(図5-11-2)

5-12 行政の情報以外に知りたい市内の情報

◇「イベント情報」が4割弱

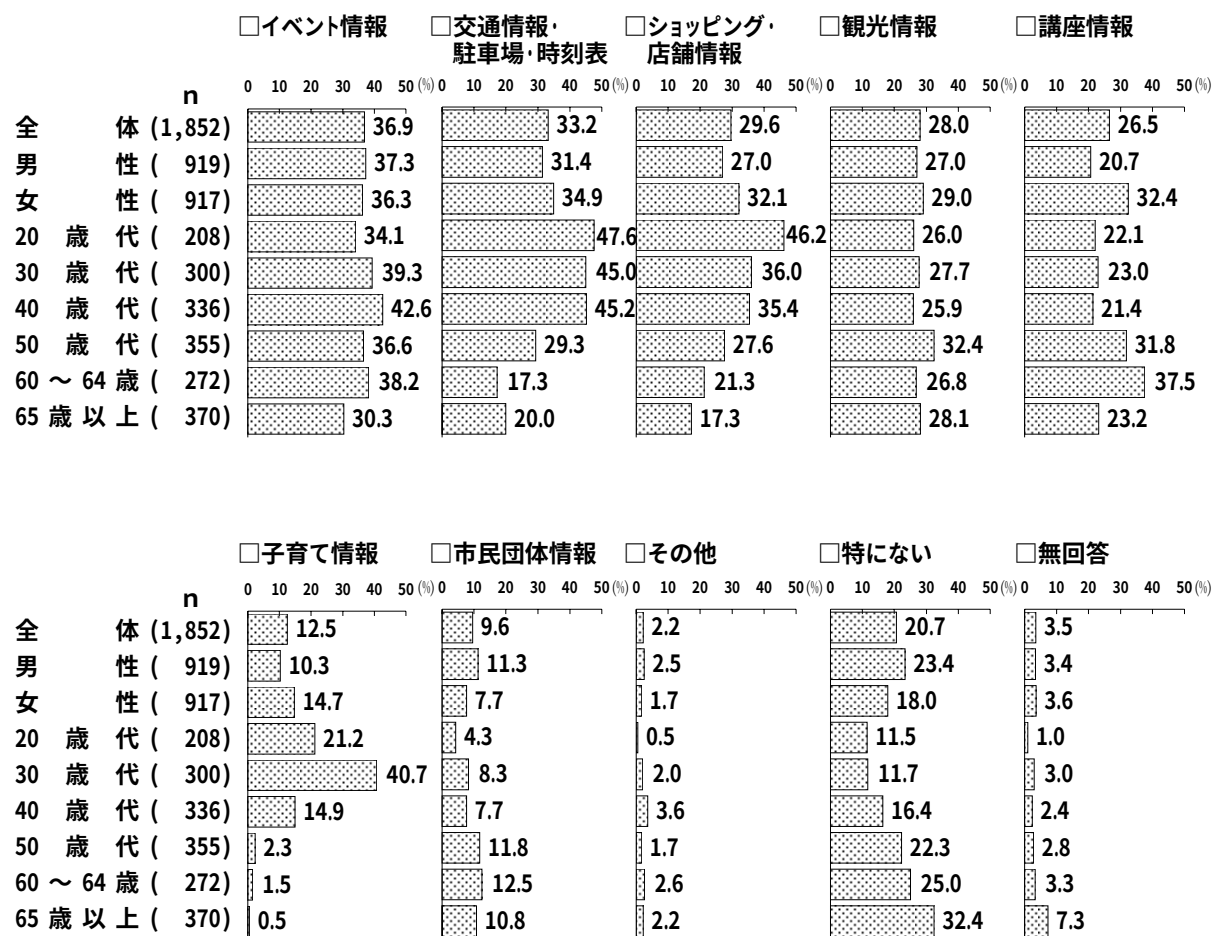
問12 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。(○はいくつでも)

図5-12-1



行政の情報以外に知りたい市内の情報について聞いたところ、「イベント情報」が4割弱（36.9%）と最も高く、ついで「交通情報・駐車場・時刻表」（33.2%）、「ショッピング・店舗情報」（29.6%）、「観光情報」（28.0%）の順で続いている。（図5-12-1）

図5-12-2 行政の情報以外に知りたい市内の情報－性別・年齢別



性別にみると、「講座情報」は女性のほうが11.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「交通情報・駐車場・時刻表」は、20歳代から40歳代で4割台半ばから5割近くと高くなっている。「ショッピング・店舗情報」では、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向となっている。「子育て情報」は30歳代でほぼ4割（40.7%）と特に高くなっている。（図5-12-2）

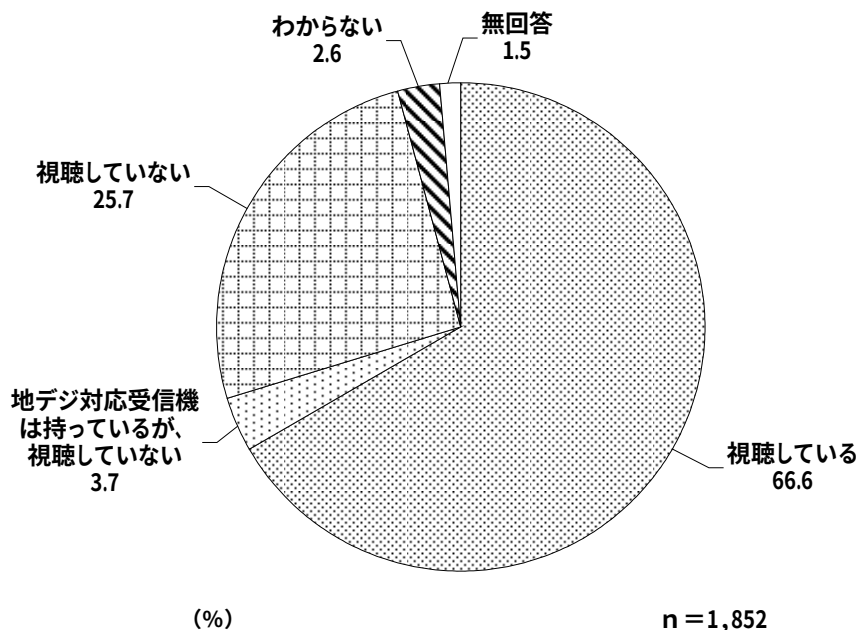
6．地上デジタル放送について

6－1 地上デジタル放送の視聴状況

◇「視聴している」が7割弱

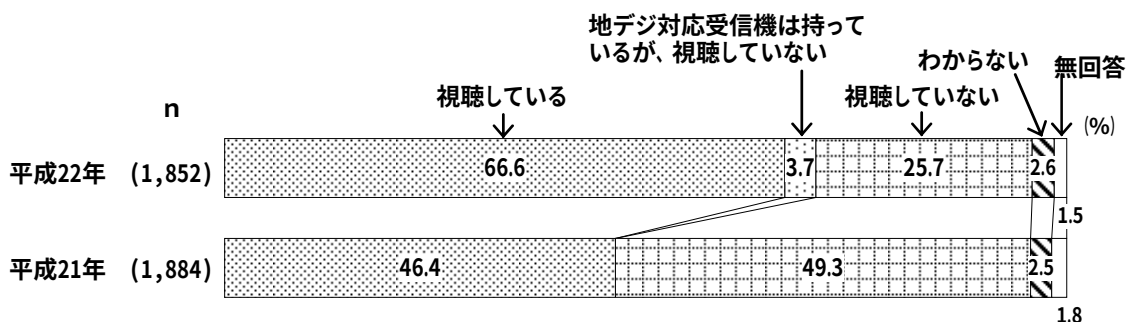
問13 あなたの世帯では、現在、地上デジタル放送を視聴していますか。(○は1つだけ)

図6－1－1



地上デジタル放送の視聴状況について聞いたところ、「視聴している」が7割弱（66.6%）を占めている。一方、「視聴していない」は2割台半ば（25.7%）、「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」（3.7%）となっている。（図6－1－1）

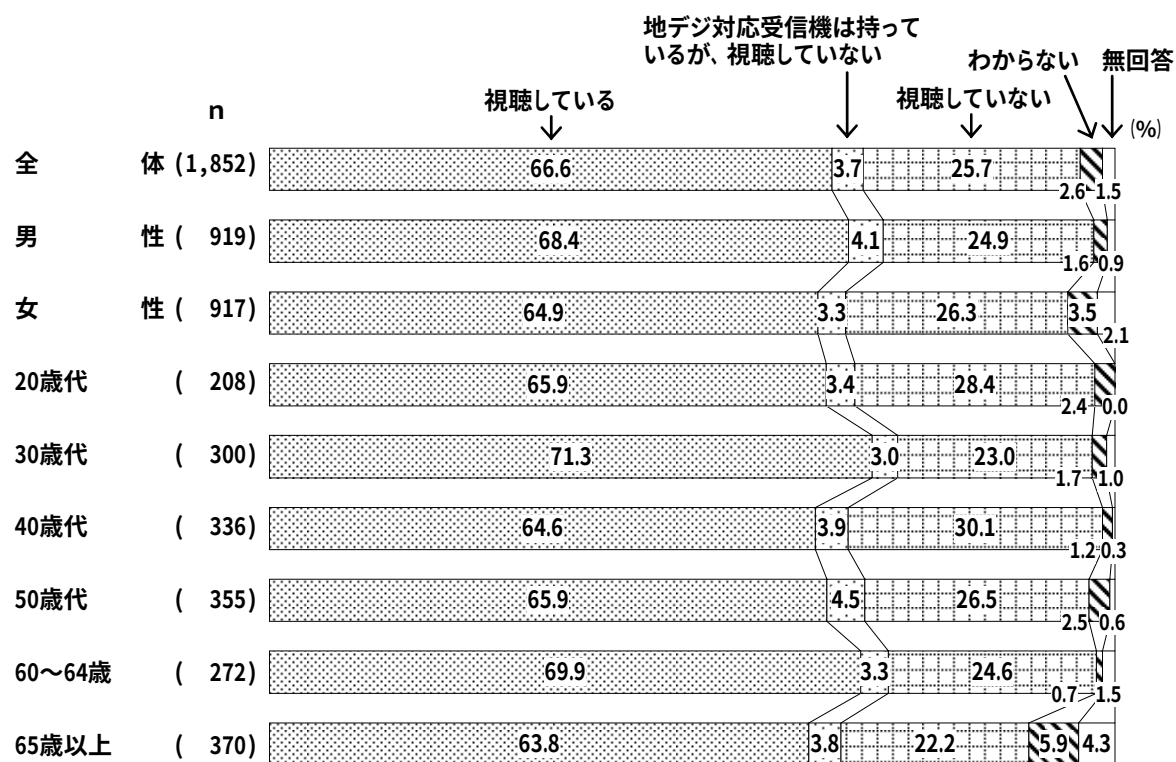
図6－1－2 地上デジタル放送の視聴状況－経年変化



前回との比較をみると、「視聴している」は前回より20.2ポイント高くなっている。

(図6－1－2)

図6-1-3 地上デジタル放送の視聴状況－性・年齢別

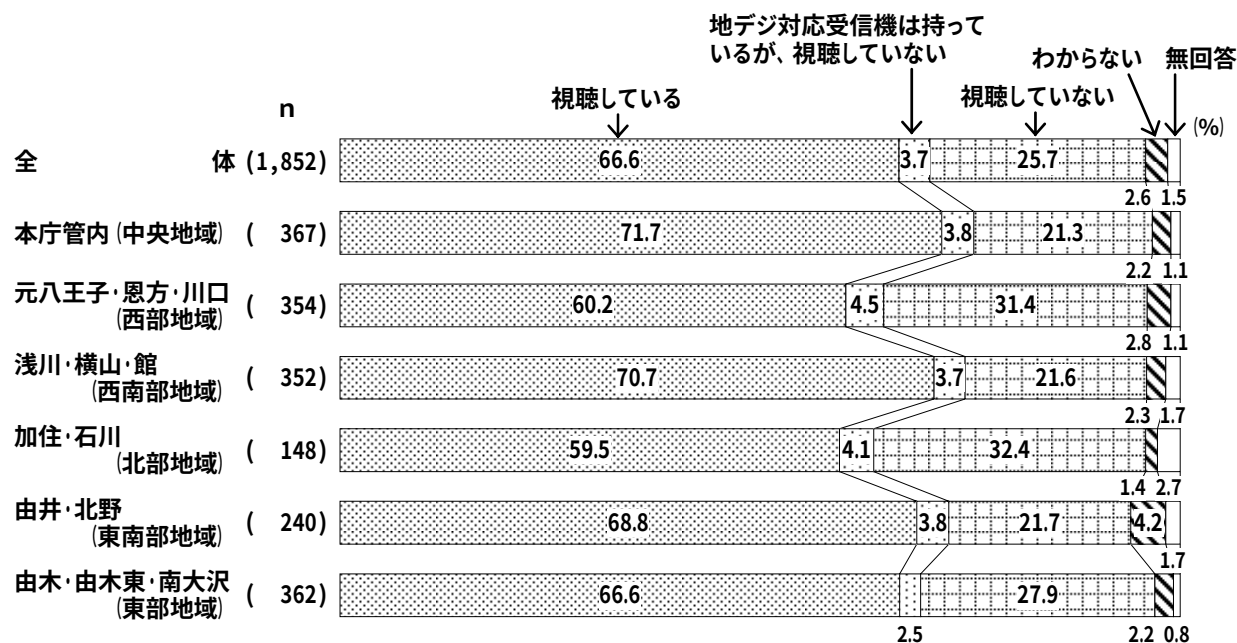


性別にみると、「視聴している」は男性のほうが3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「視聴している」は30歳代で7割強（71.3%）と高くなっている。

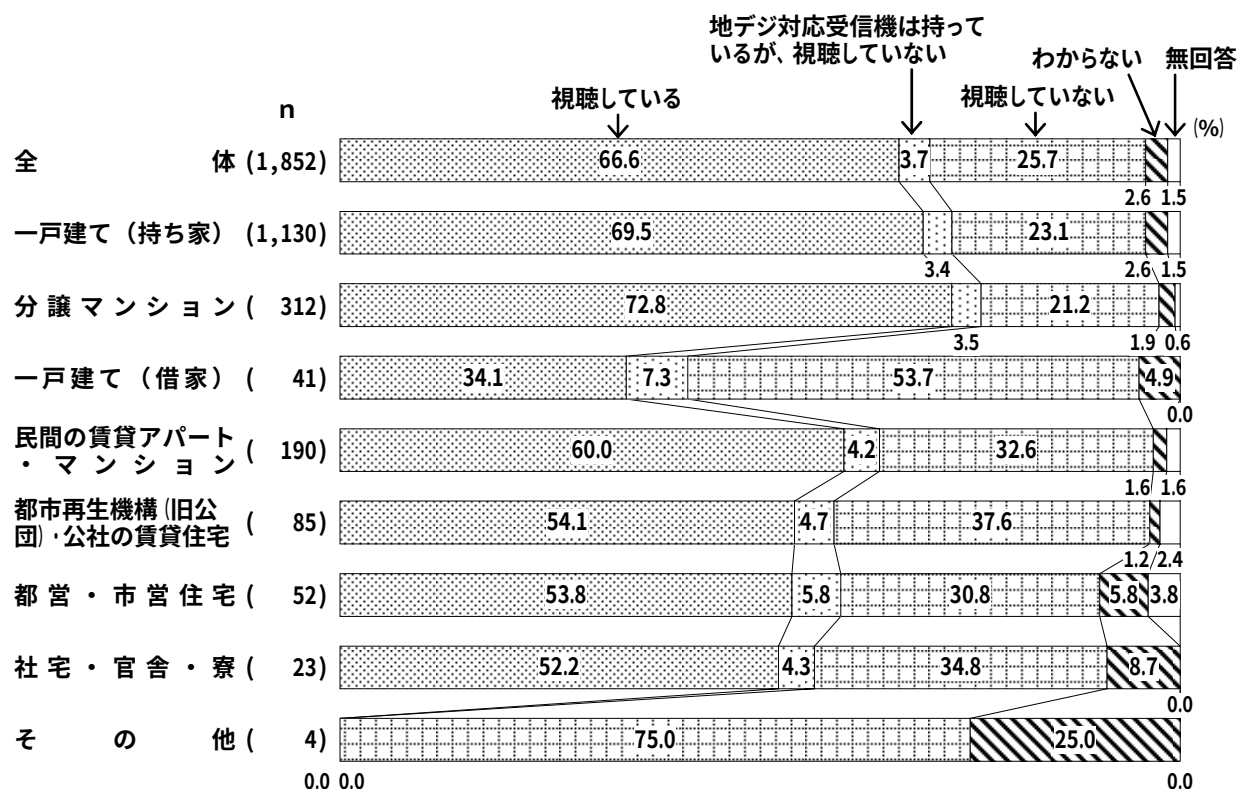
（図6-1-3）

図 6-1-4 地上デジタル放送の視聴状況－居住地域別



居住地域別にみると、「視聴している」は本庁管内（中央地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で7割以上と高くなっている。（図6-1-4）

図 6-1-5 地上デジタル放送の視聴状況－住居形態別



住居形態別にみると、「視聴している」は分譲マンションで7割強（72.8%）、一戸建て（持ち家）でほぼ7割（69.5%）と高くなっている。（図6-1-5）

6－2 地上デジタル放送の視聴に対応していない部分

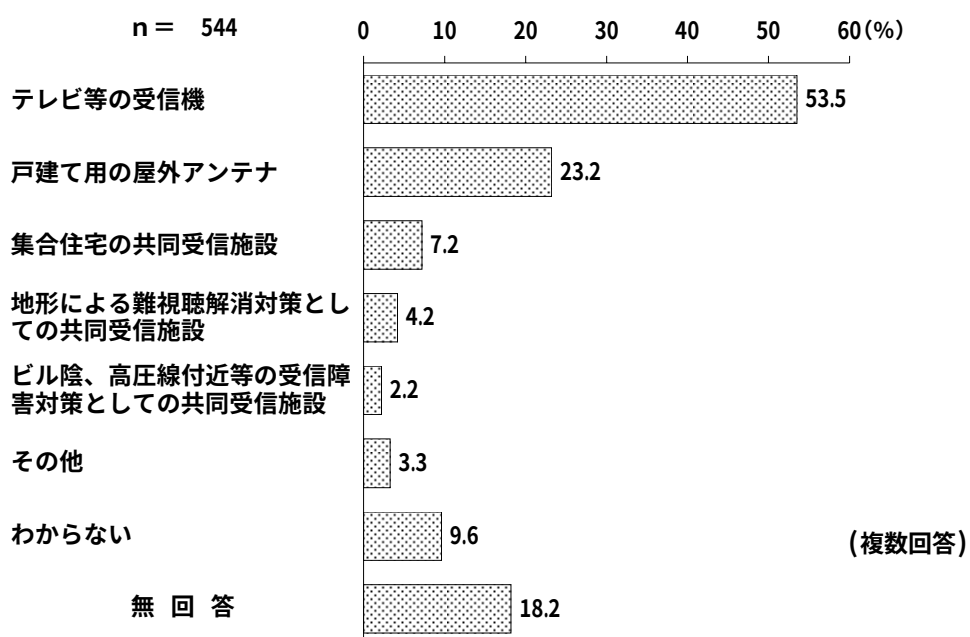
◇「テレビ等の受信機」が5割強

(問13で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」とお答えの方に)

問13－1 あなたの世帯では、どの部分が地上デジタル放送に対応していませんか。

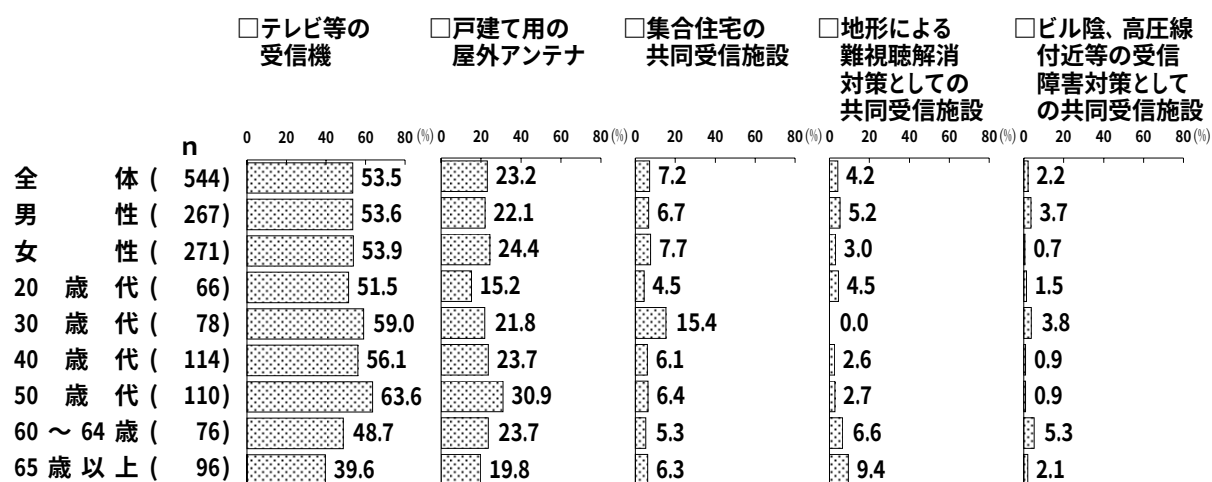
(○はいくつでも)

図6－2－1



地上デジタル放送の視聴状況で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」と答えた人（544人）に、地上デジタル放送の視聴に対応していない部分を聞いたところ、「テレビ等の受信機」が5割強（53.5%）と最も高く、ついで「戸建て用の屋外アンテナ」（23.2%）、「集合住宅の共同受信施設」（7.2%）と続いている。（図6－2－1）

図6-2-2 地上デジタル放送の視聴に対応していない部分－性別・年齢別

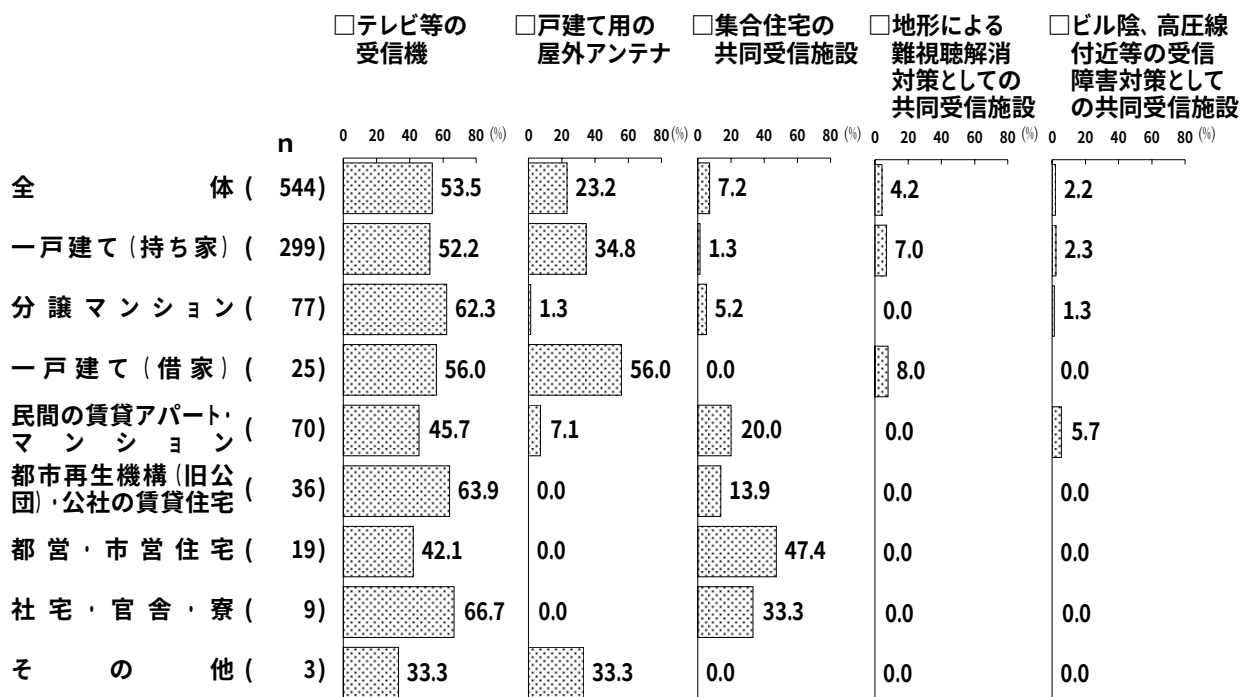


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「テレビ等の受信機」は50歳代で6割強（63.6%）と高くなっている。

(図6-2-2)

図6-2-3 地上デジタル放送の視聴に対応していない部分－住居形態別



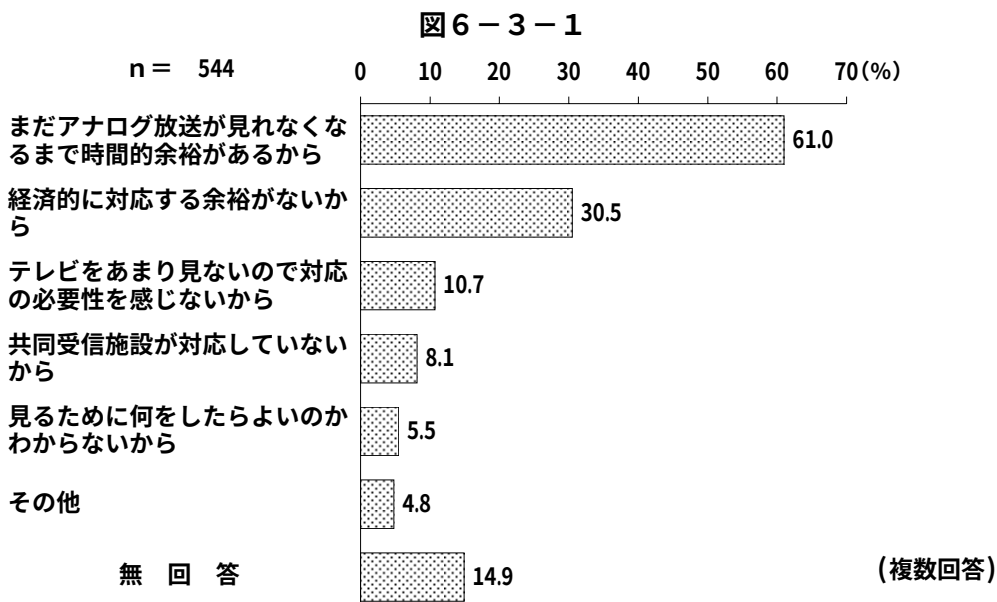
住居形態別にみると、「戸建て用の屋外アンテナ」は一戸建て（借家）で5割台半ば（56.0%）となっている。(図6-2-3)

6-3 地上デジタル放送へ切り替えていない理由

◇「まだアナログ放送が見れなくなるまで時間的余裕があるから」が6割強

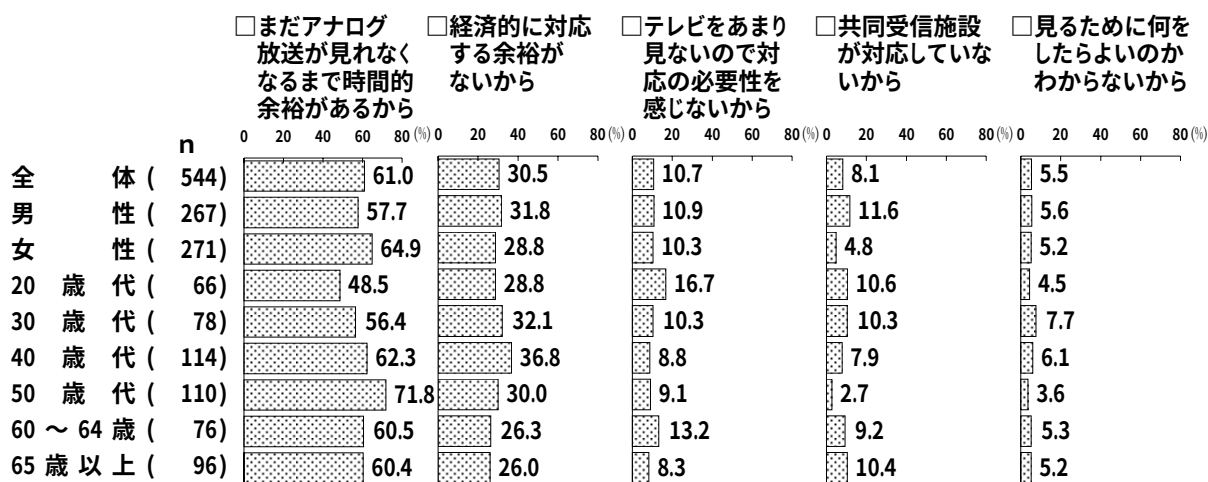
(問13で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」とお答えの方に)

問13-2 あなたの世帯では、これまで地上デジタル放送への切り替えを見送っていたのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)



地上デジタル放送の視聴状況で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」と答えた人(544人)に、地上デジタル放送へ切り替えていない理由を聞いたところ、「まだアナログ放送が見れなくなるまで時間的余裕があるから」が6割強(61.0%)と最も高く、ついで「経済的に対応する余裕がないから」(30.5%)、「テレビをあまり見ないので対応の必要性を感じないから」(10.7%)と続いている。(図6-3-1)

図6-3-2 地上デジタル放送へ切り替えていない理由-性別・年齢別



性別にみると、「まだアナログ放送が見れなくなるまで時間的余裕があるから」は女性のほうが7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「まだアナログ放送が見れなくなるまで時間的余裕があるから」は50歳代で7割強(71.8%)と高くなっている。(図6-3-2)

6-4 地上デジタル放送へ切り替える予定

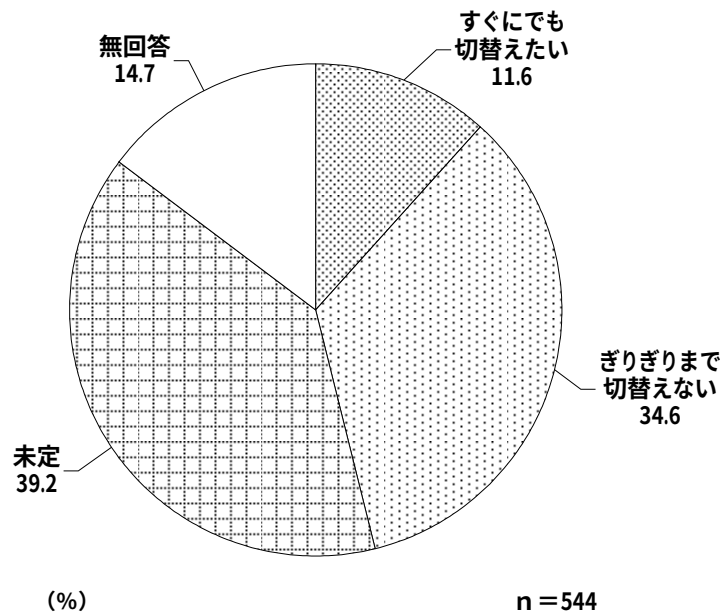
◇「未定」がほぼ4割

(問13で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」とお答えの方に)

問13-3 あなたの世帯は、いつ頃、地上デジタル放送へ切り替える予定ですか。

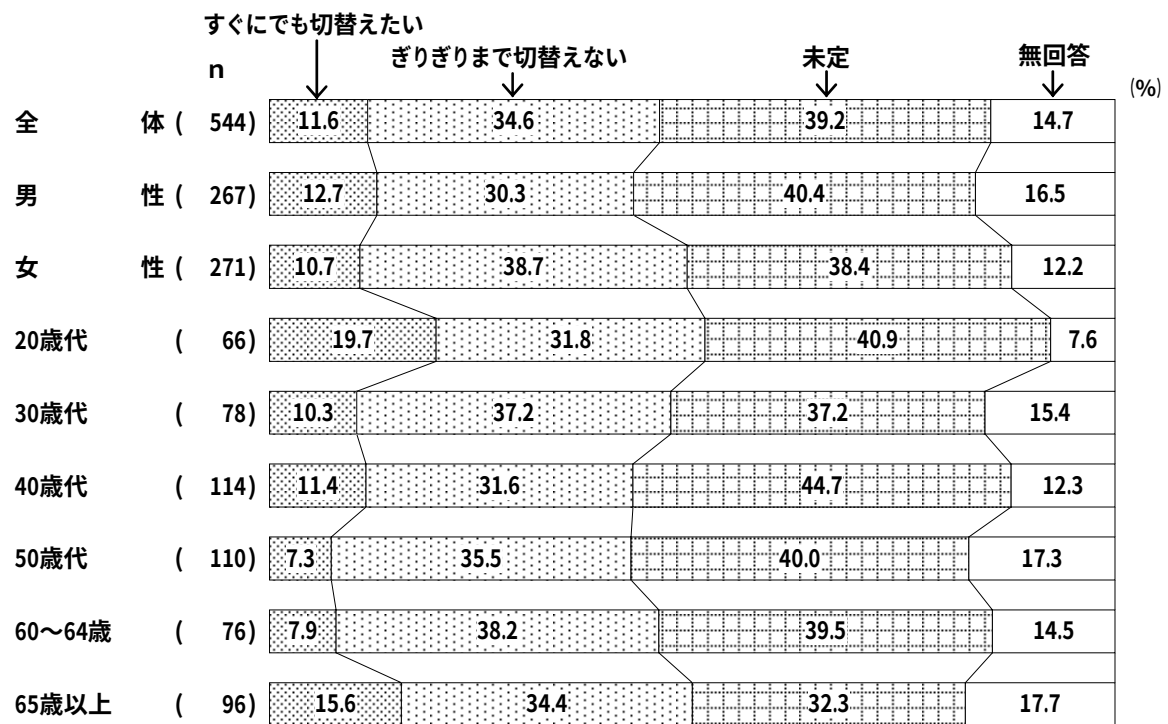
(○は1つだけ)

図6-4-1



地上デジタル放送の視聴状況で「地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「視聴していない」と答えた人（544人）に、地上デジタル放送へ切り替える予定を聞いたところ、「未定」がほぼ4割（39.2%）と最も高く、ついで「ぎりぎりまで切替えない」（34.6%）、「すぐにでも切替えたい」（11.6%）の順で続いている。（図6-4-1）

図6-4-2 地上デジタル放送へ切り替える予定－性別・年齢別



性別にみると、「ぎりぎりまで切替えない」は女性のほうが8.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「すぐにでも切替えたい」は20歳代でほぼ2割（19.7%）と高くなっている。

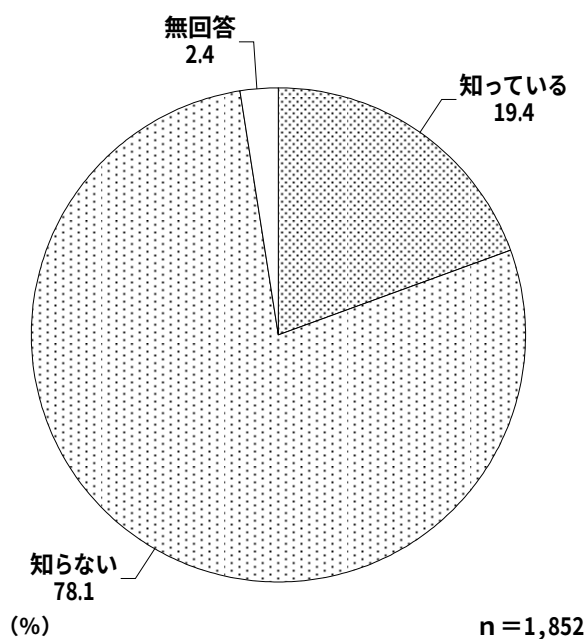
（図6-4-2）

6－5 地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度

◇「知っている」がほぼ2割

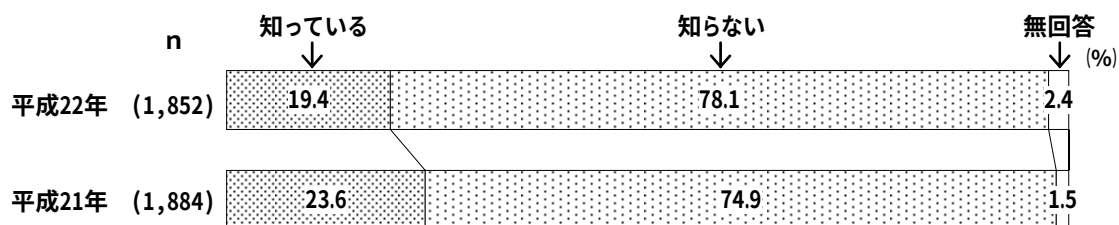
問14 八王子市では、65歳以上の方のみで構成され、なおかつ市・都民税が非課税となっている世帯（NHK受信料全額免除世帯を除く）に対し、地上デジタル放送受信機器の設置等の経費の一部を補助してますが、このことを知っていますか。（○は1つだけ）

図6－5－1



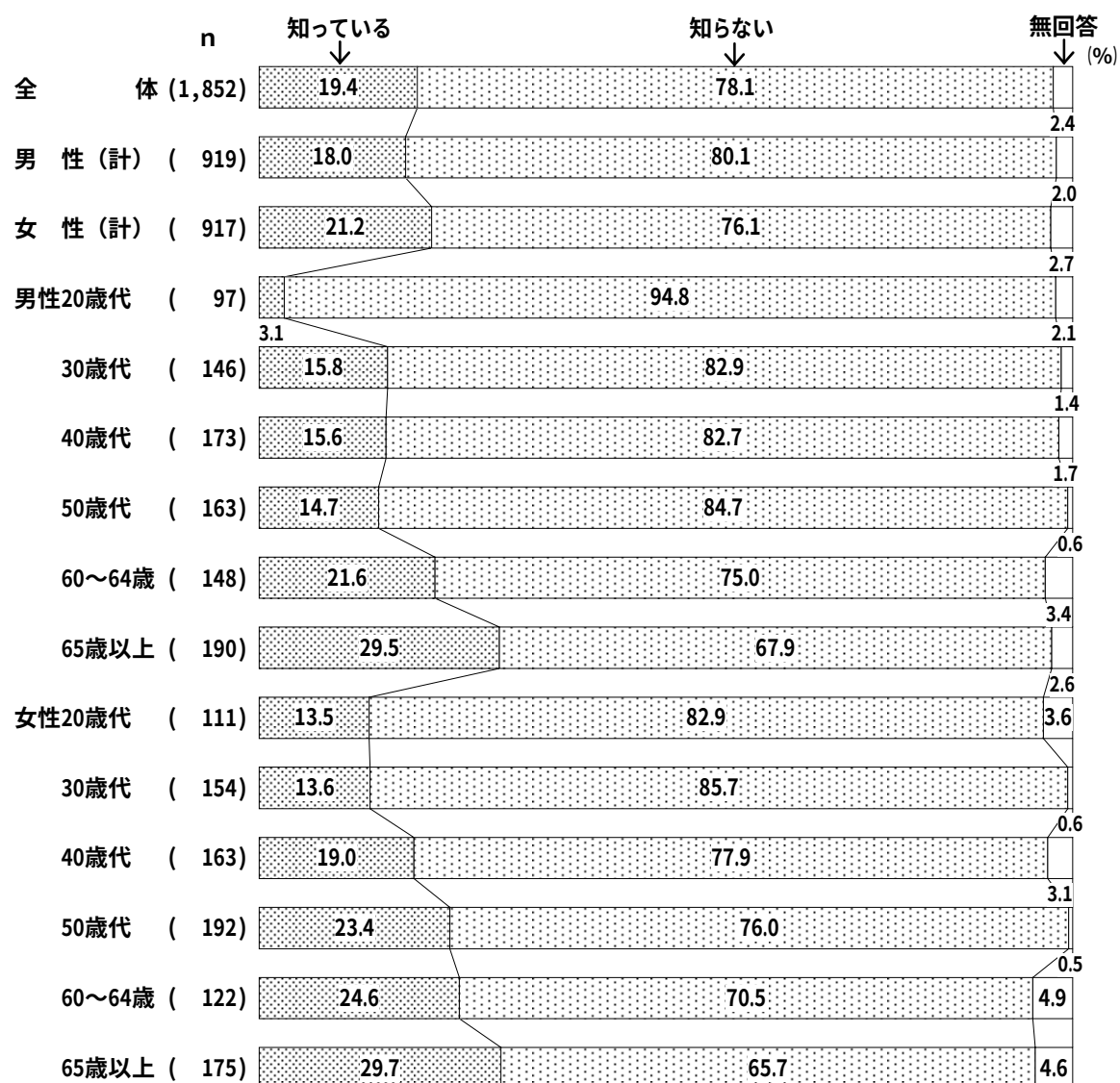
地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度について聞いたところ、「知っている」はほぼ2割（19.4%）となっている。一方、「知らない」は8割弱（78.1%）を占めている。（図6－5－1）

図6－5－2 地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度－経年変化



前回との比較をみると、「知っている」は前回より4.2ポイント低くなっている。（図6－5－2）

図 6－5－3 地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度－性・年齢別



性別にみると、「知っている」は女性のほうが3.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「知っている」は男女ともに65歳以上でほぼ3割となっており、他の年齢層と比べて高い割合となっている。(図6－5－3)

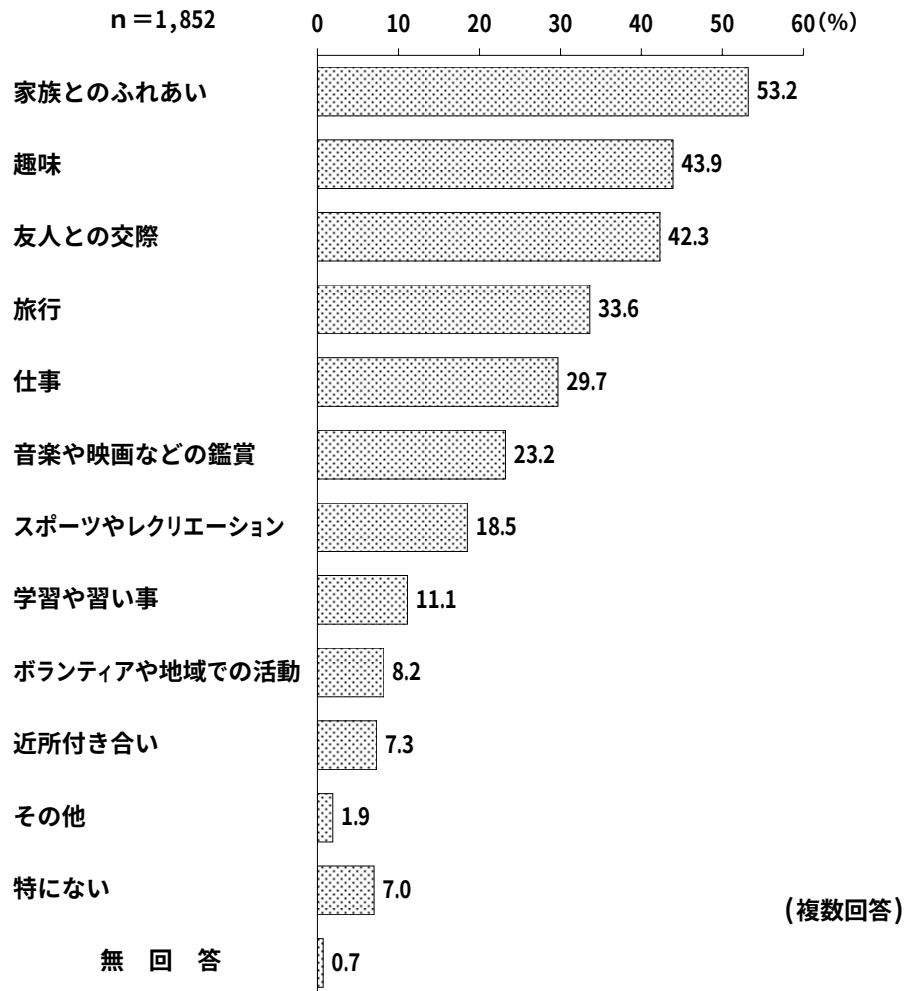
7.「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

7-1 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割強

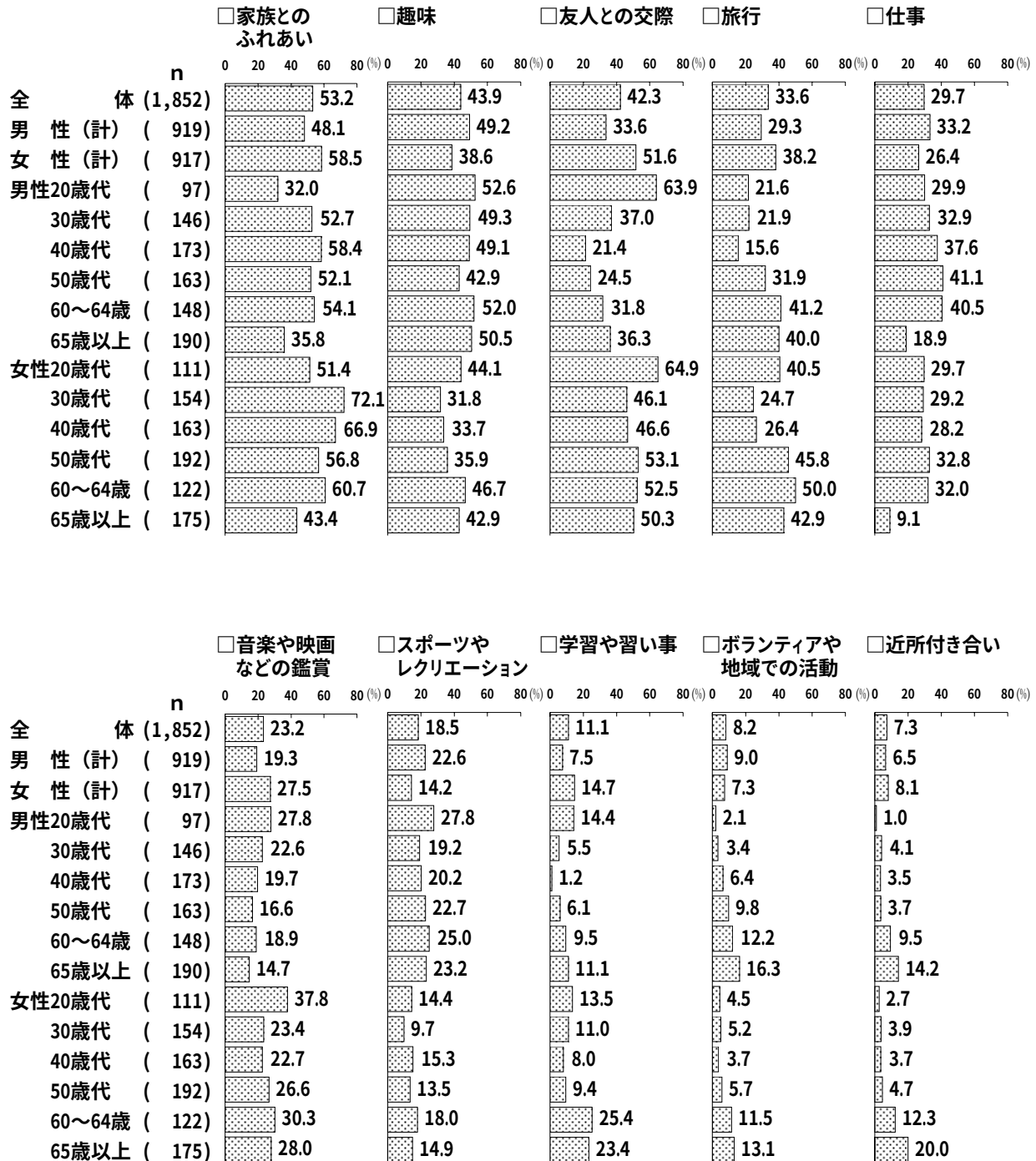
問15 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

図7-1-1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割強（53.2%）と最も高く、ついで「趣味」（43.9%）、「友人との交際」（42.3%）、「旅行」（33.6%）、「仕事」（29.7%）の順が続いている。
(図7-1-1)

図7-1-2 現在の生きがい一性・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「友人との交際」は18.0ポイント、「家族とのふれあい」は10.4ポイント、それぞれ女性のほうが高く、「趣味」は男性のほうが10.6ポイント高くなっている。

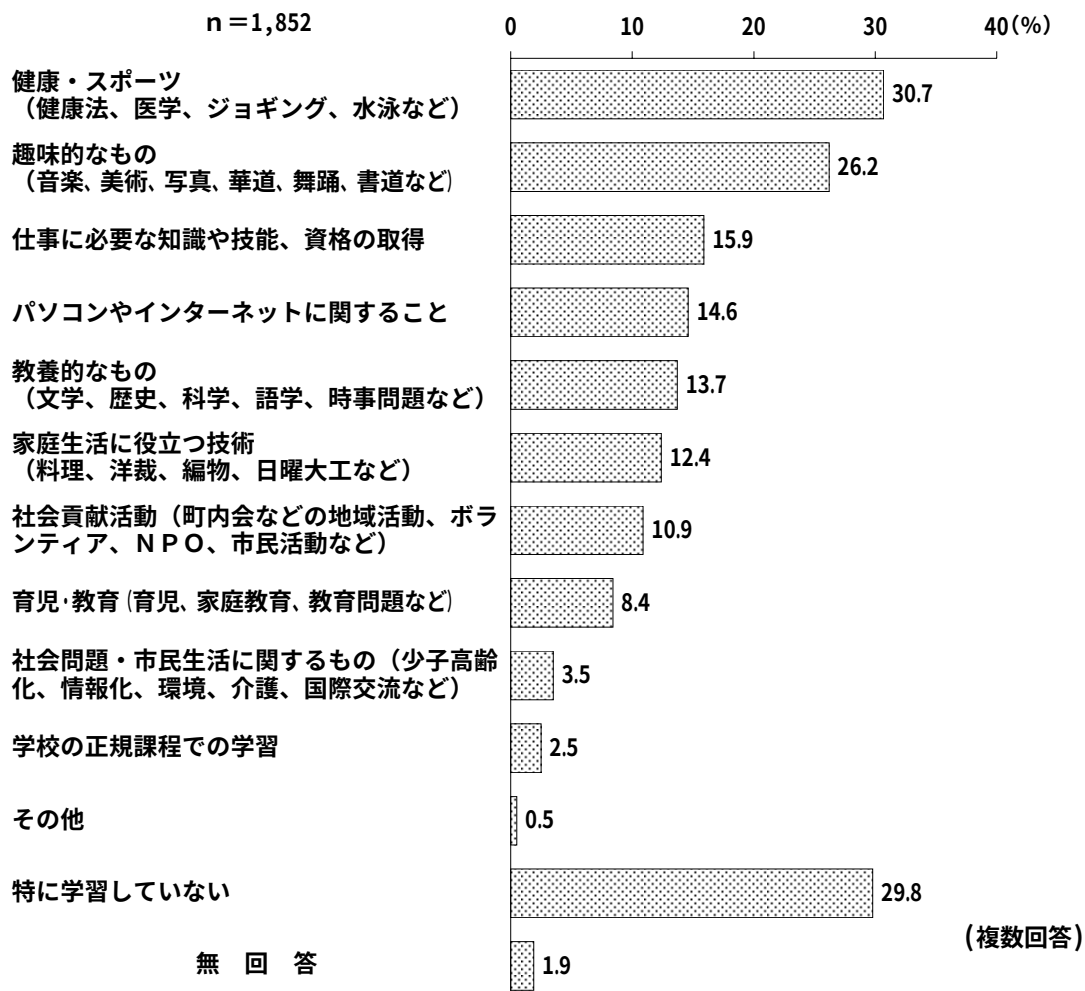
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代で7割強と高く、「趣味」は男性の20歳代と60歳以上で5割を超えている。「友人との交際」は男性と女性の20歳代で6割台と高く、「旅行」は女性の60～64歳で5割となっており、「仕事」は男性の50歳代・60～64歳で4割台と高くなっている。「音楽や映画などの鑑賞」は女性の20歳代で4割弱、「スポーツやレクリエーション」は男性の20歳代で3割弱となっている。また、「学習や習い事」は女性の60歳以上で2割以上と高くなっている。（図7-1-2）

7-2 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「健康・スポーツ」がほぼ3割

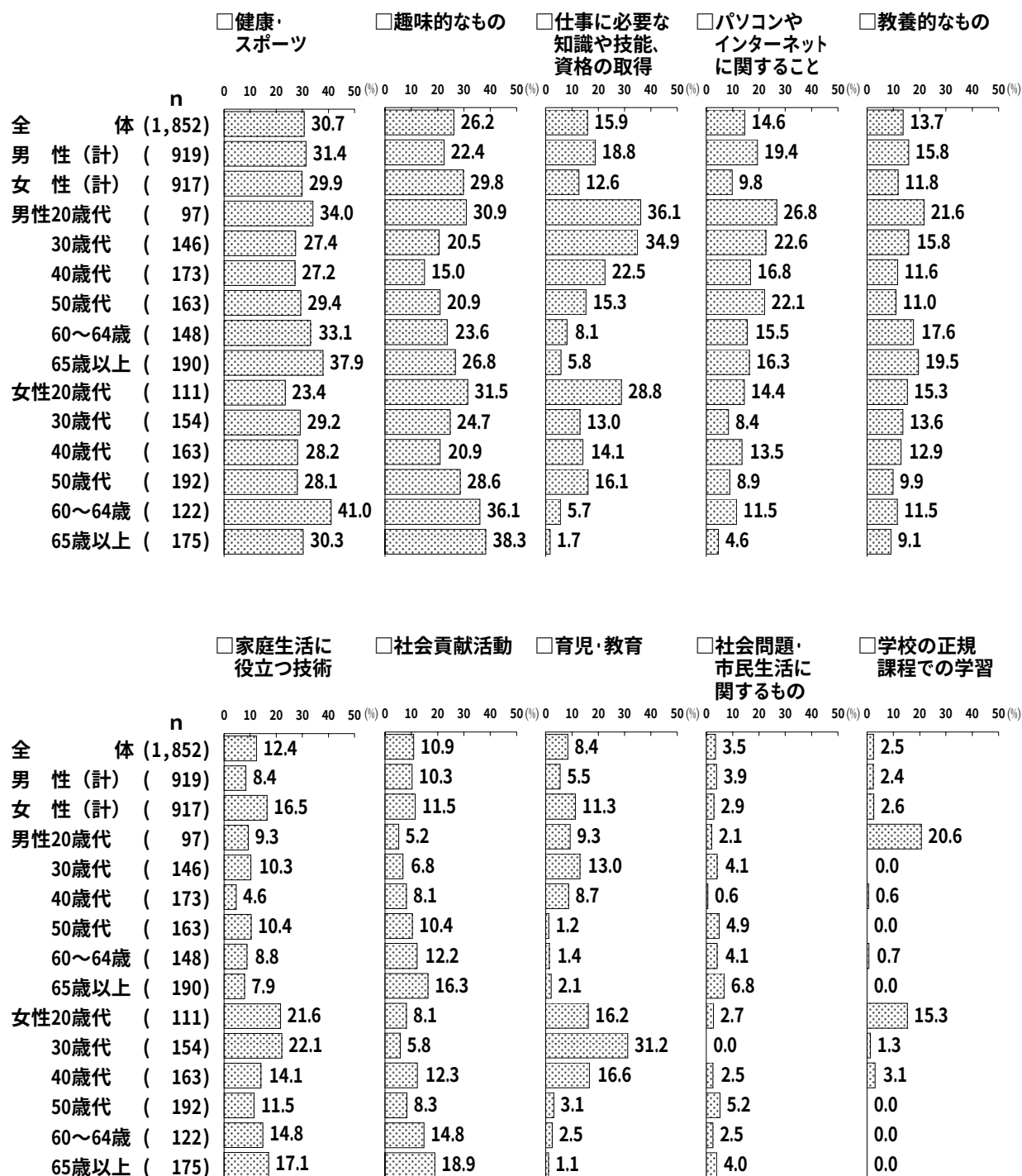
問16 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。(〇はいくつでも)

図7-2-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」がほぼ3割（30.7%）と最も高く、ついで「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」（26.2%）、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」（15.9%）、「パソコンやインターネットに関すること」（14.6%）と続いている。（図7-2-1）

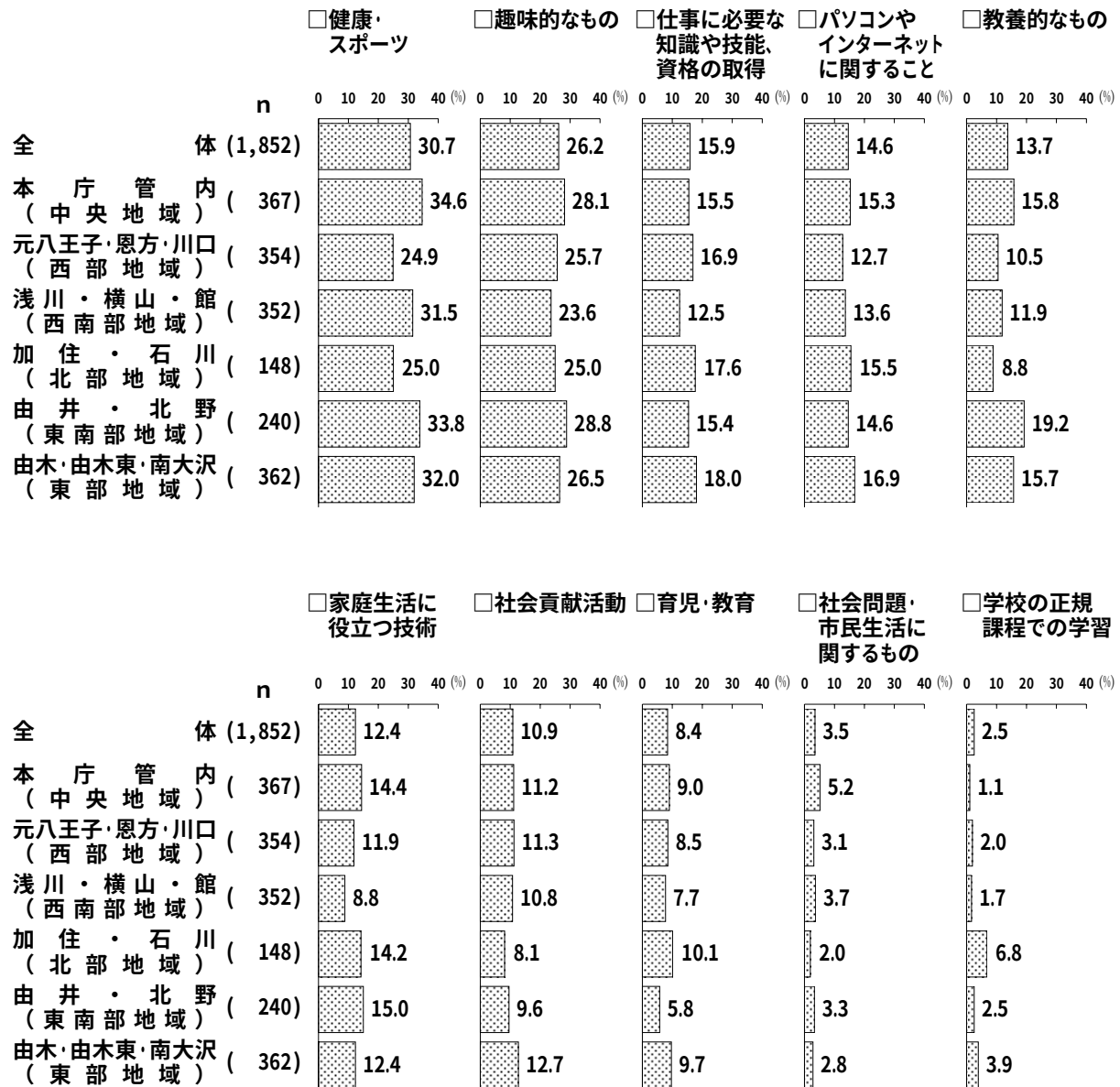
図7-2-2 この1年間に取り組んだ学習活動一性・年齢別（上位10項目）



性別にみると、男性のほうが「パソコン・インターネットに関すること」で9.6ポイント、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」で6.2ポイント高く、女性のほうが「家庭生活に役立つ技術」で8.1ポイント、「趣味的なもの」で7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ」は女性の60～64歳で4割強（41.0%）と高く、「趣味的なもの」は女性の65歳以上で4割弱（38.3%）と高くなっている。「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」は男性では年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。「育児・教育」は女性の30歳代で3割強（31.2%）と高くなっている。（図7-2-2）

図7-2-3 この1年間に取り組んだ学習活動－居住地地域別（上位10項目）



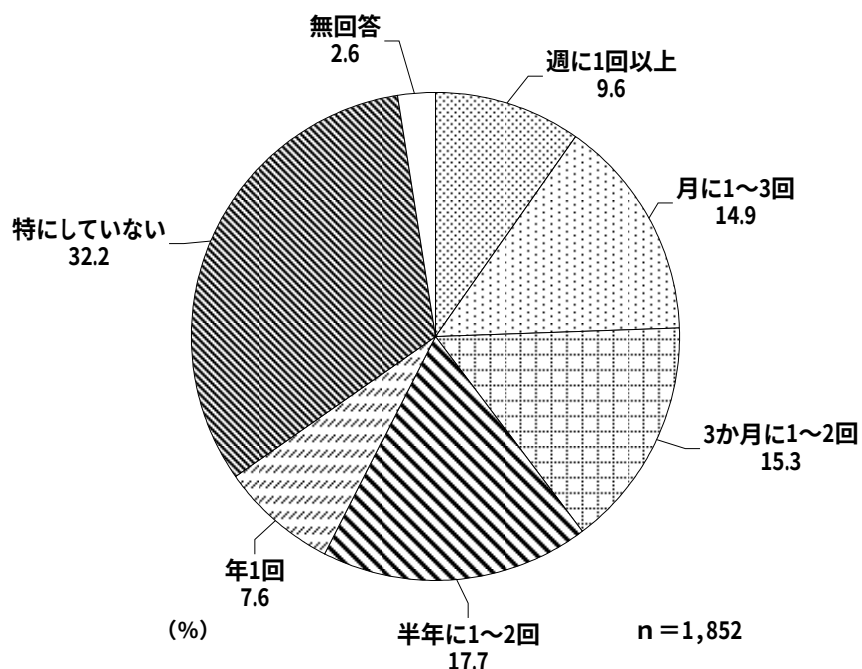
居住地地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「健康・スポーツ」が3割台半ば（34.6%）と高くなっている。由井・北野（東南部地域）では「教養的なもの」がほぼ2割（19.2%）と高くなっている。（図7-2-3）

7-3 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が3割強

問17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

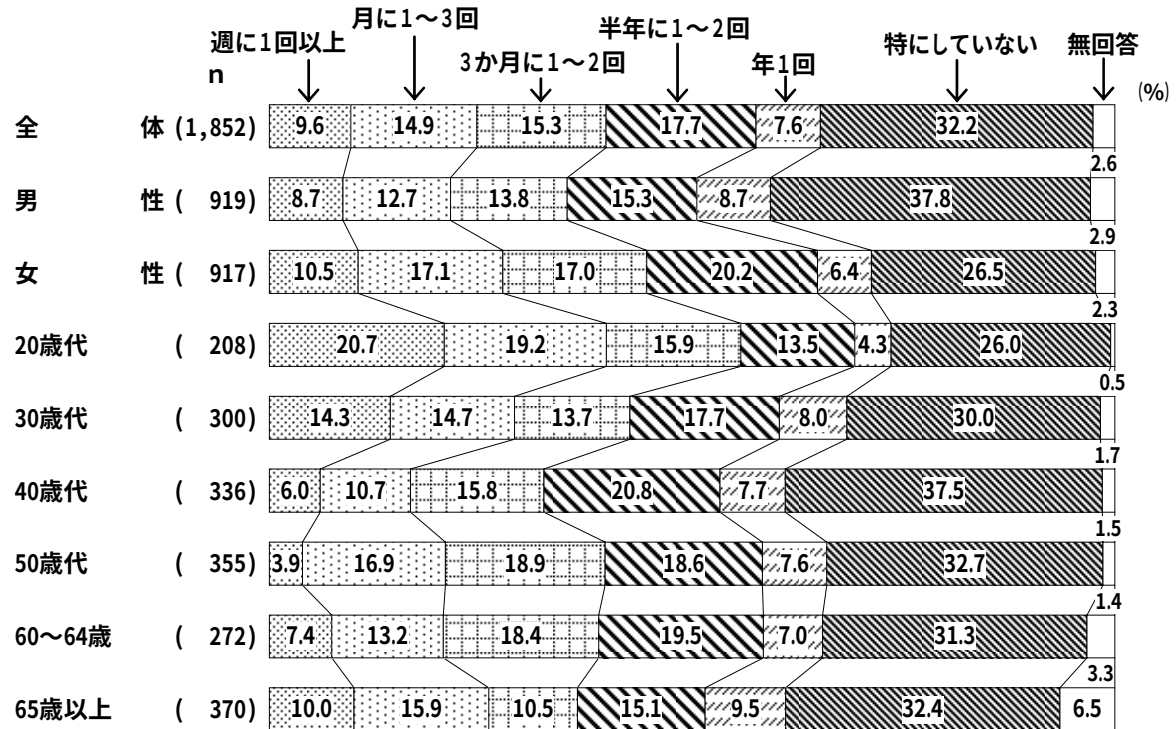
図7-3-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」がほぼ1割(9.6%)、「3か月に1～2回」(15.3%)と「月に1～3回」(14.9%)が1割台半ばで、「半年に1～2回」が2割弱(17.7%)となっている。「特にしていない」は3割強(32.2%)となっている。

(図7-3-1)

図 7-3-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「特にしていない」が11.3ポイント高くなっている。

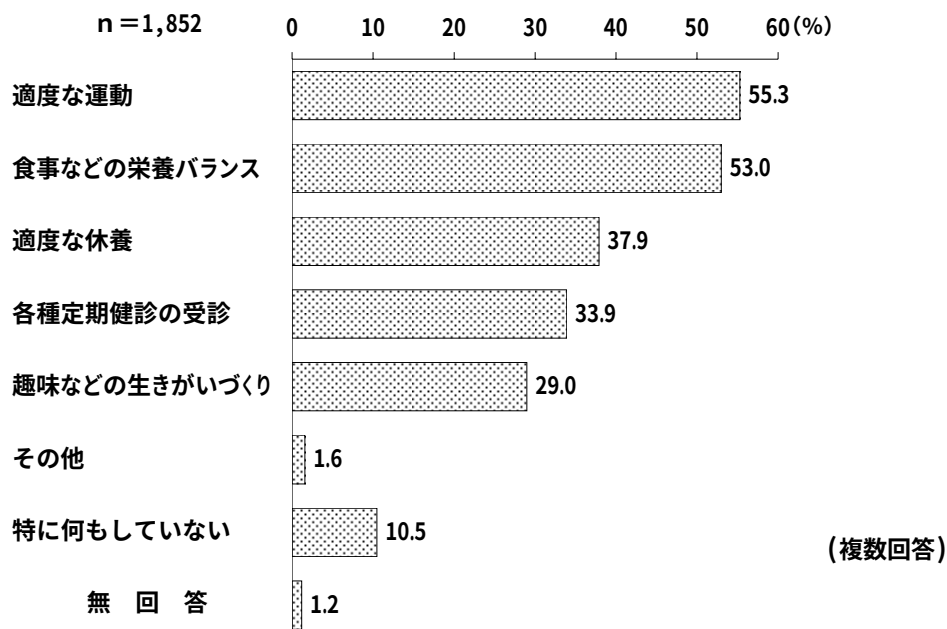
年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回」の合計は20歳代（39.9%）の割合が最も高く、40歳代（16.7%）の割合が最も低くなっている。（図7-3-2）

7-4 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」が5割台半ば

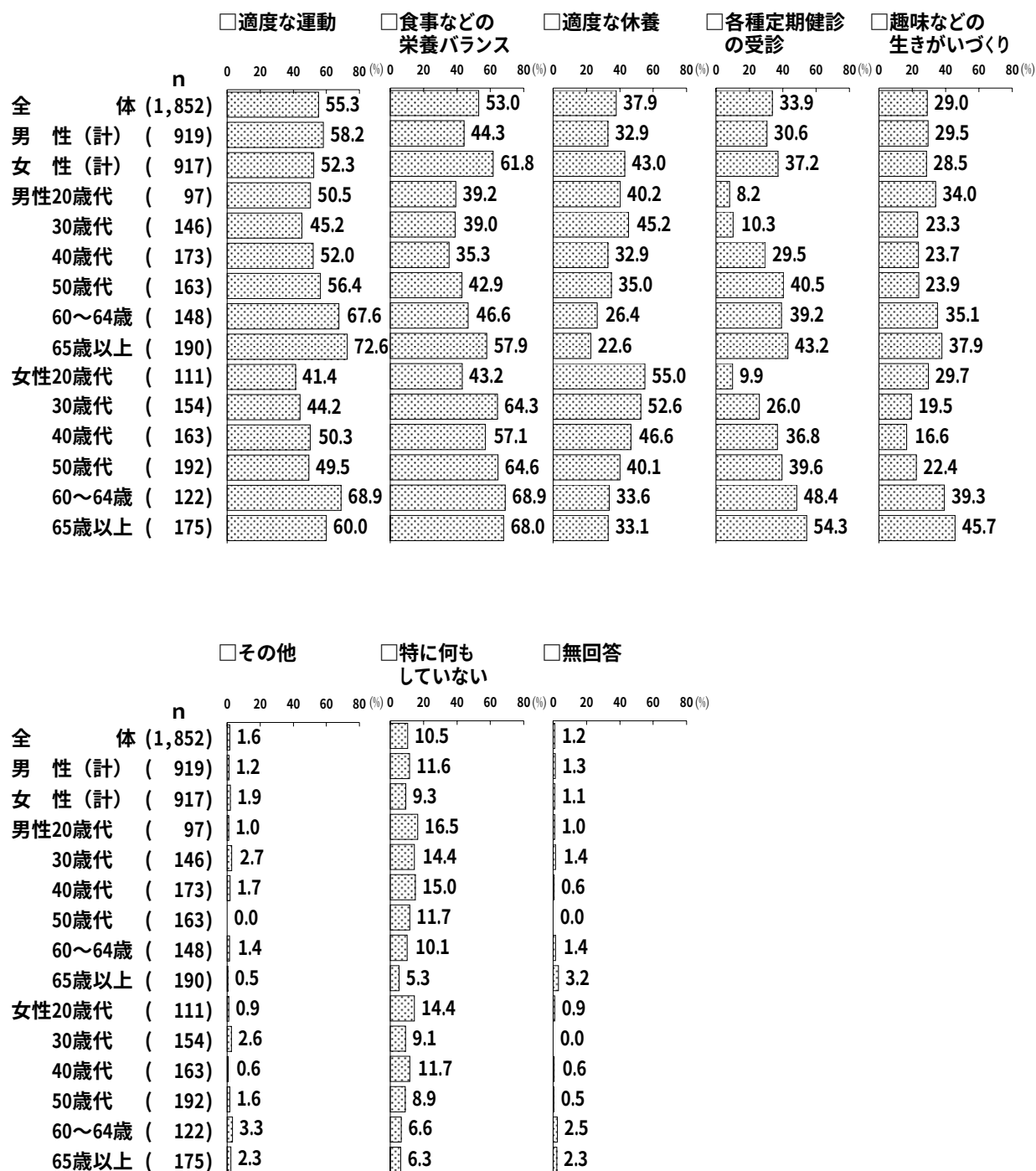
問18 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

図7-4-1



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(55.3%)が5割台半ばと最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(53.0%)、「適度な休養」(37.9%)、「各種定期健診の受診」(33.9%)と続いている。(図7-4-1)

図7-4-2 健康のために心がけていること・性・年齢別



性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが17.5ポイント高くなっている。

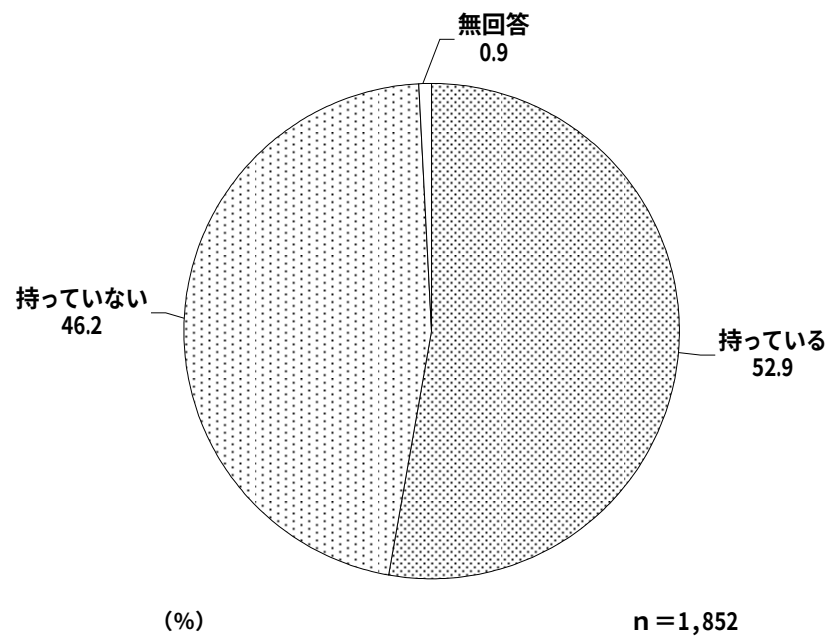
性・年齢別にみると、「適度な運動」は男性の65歳以上で7割強（72.6%）と高くなっている。「食事などの栄養バランス」では女性の20歳代と40歳代を除いた年齢層で6割台と高くなっている。「適度な休養」は男女とも概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に女性の20歳代では5割台半ば（55.0%）を占めている。「各種定期健診の受診」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、「趣味などの生きがいづくり」は女性の65歳以上で4割台半ば（45.7%）と高くなっている。（図7-4-2）

7-5 かかりつけの医療機関の有無

◇「持っている」人は5割強

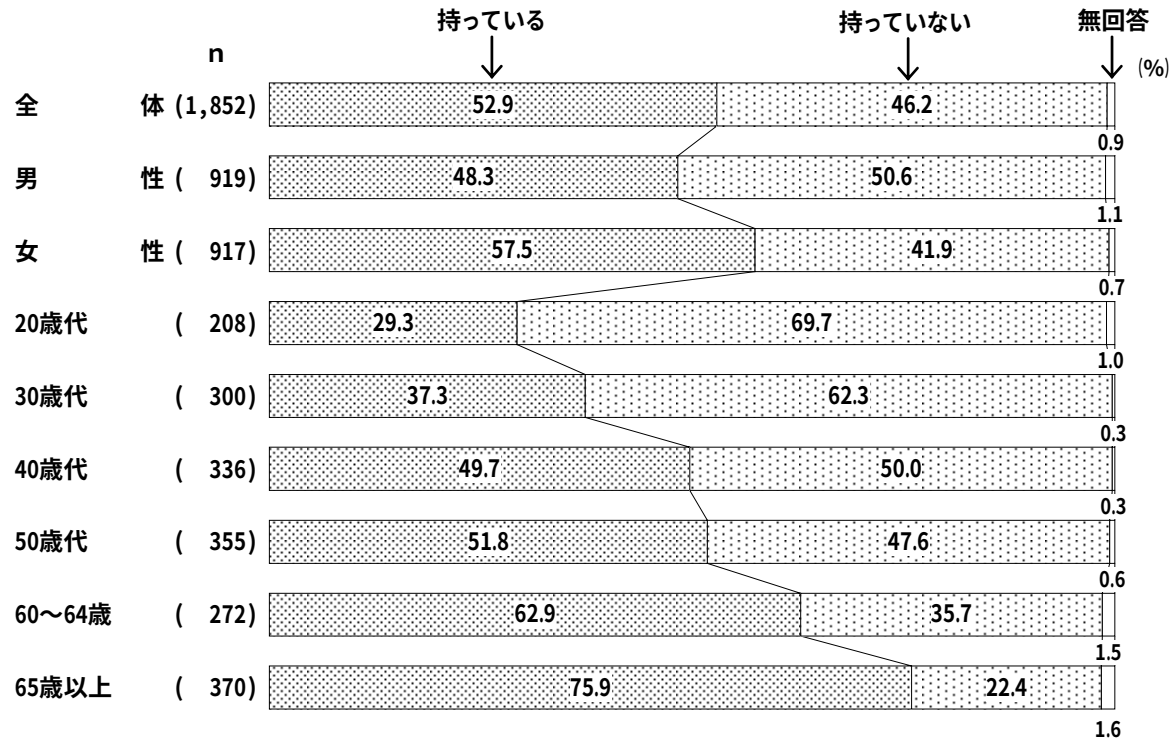
問19 あなたは、「かかりつけ医」を持っていますか。(○は1つだけ)

図7-5-1



かかりつけの医療機関の有無について聞いたところ、「持っている」が5割強（52.9%）、一方、「持っていない」が5割弱（46.2%）となっている。（図7-5-1）

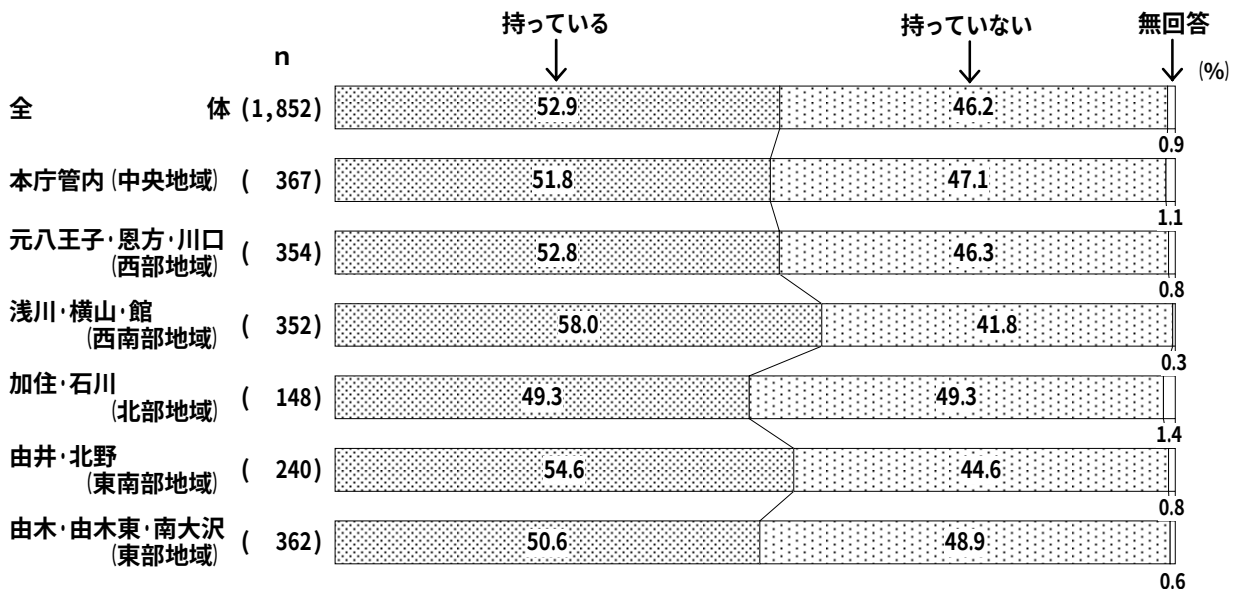
図 7-5-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「持っている」が9.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「持っている」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では7割台半ば（75.9%）を占めている。（図7-5-2）

図 7-5-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



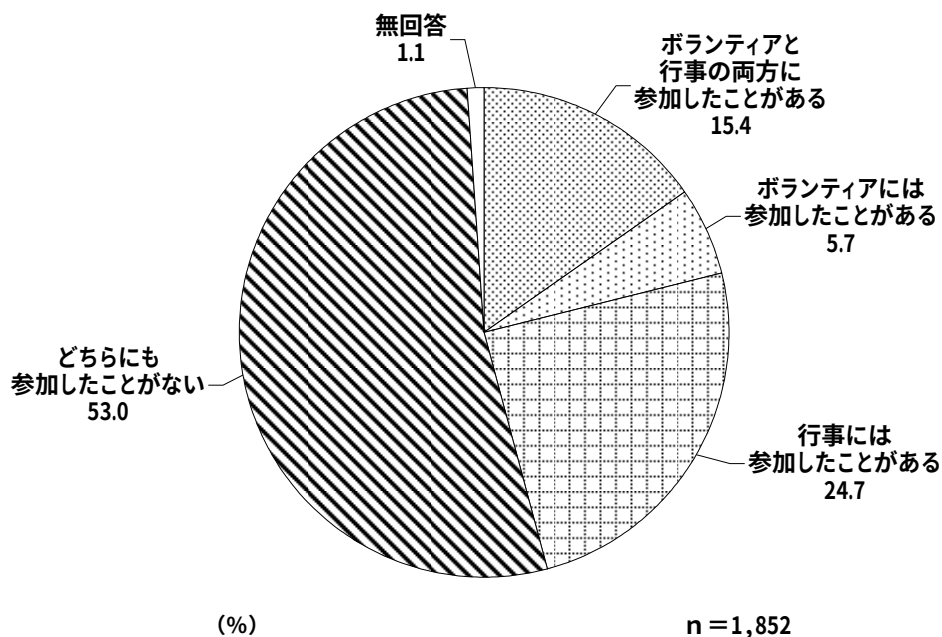
居住地域別にみると、「持っている」は浅川・横山・館（西南部地域）で6割弱（58.0%）と高くなっている。（図7-5-3）

7-6 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割台半ば

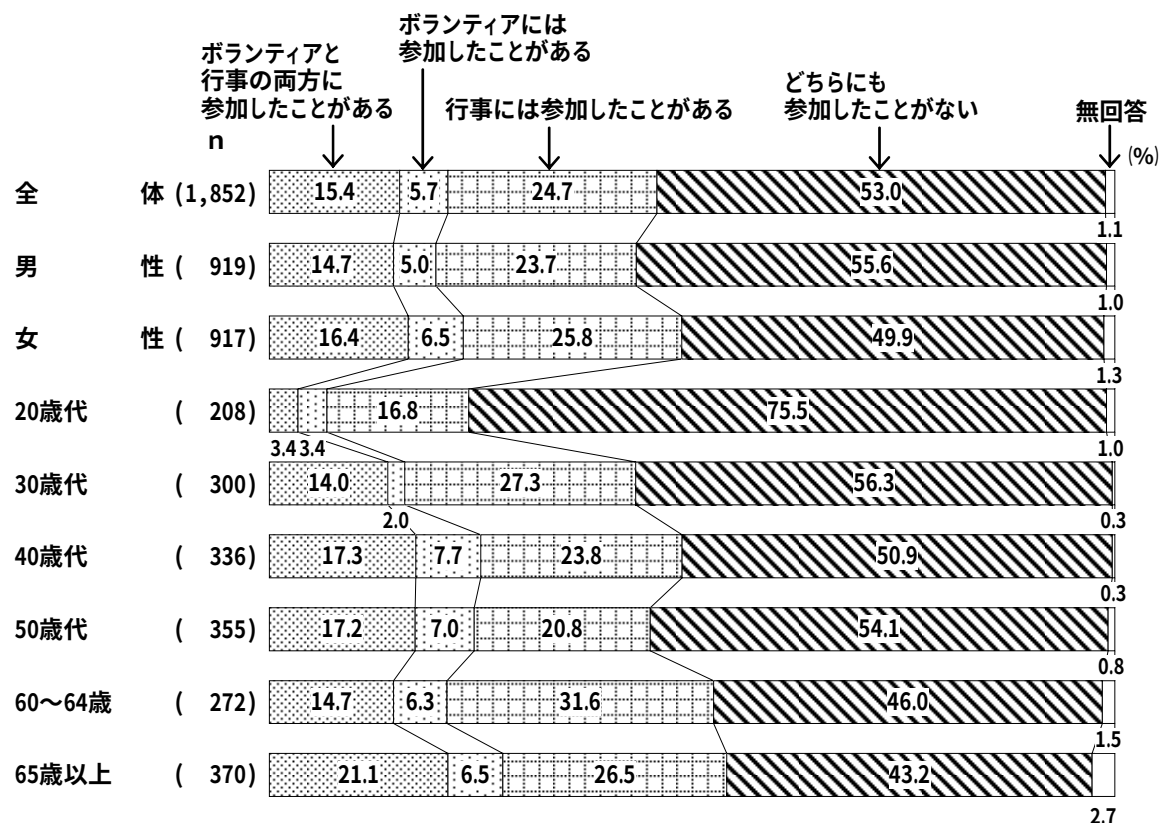
問20 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動（清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など）や行事（町内会等の地域のイベント・お祭りなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

図7-6-1



この1年間に地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがあるか聞いたところ、「行事には参加したことがある」は2割台半ば（24.7%）、「ボランティアと行事の両方に参加したことがある」（15.4%）、「ボランティアには参加したことがある」（5.7%）と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割台半ば（45.8%）となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割強（53.0%）となっている。（図7-6-1）

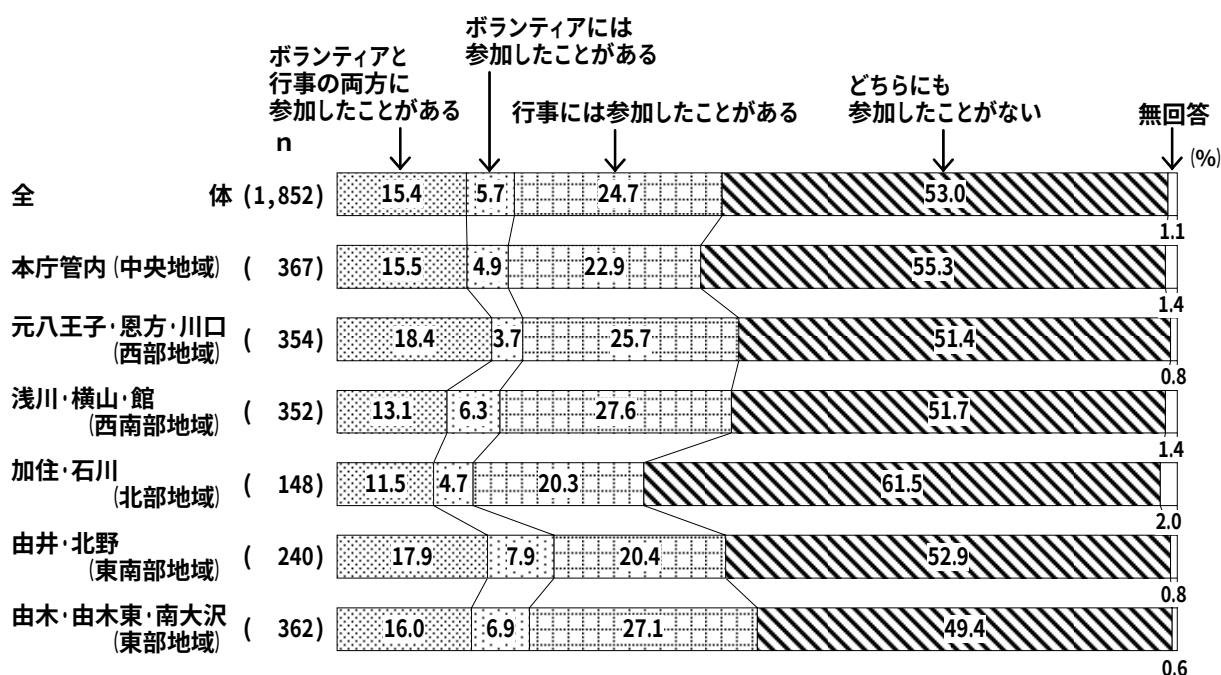
図 7-6-2 この1年間の地域行事への参加－性別・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが5.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』では20歳代（23.6%）が極端に低く、60歳以上では5割以上と高くなっている。（図7-6-2）

図 7-6-3 この1年間の地域行事への参加－居住地域別



居住地域別にみると、『参加したことがある』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割（50.0%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で3割台半ば（36.5%）と最も低くなっている。

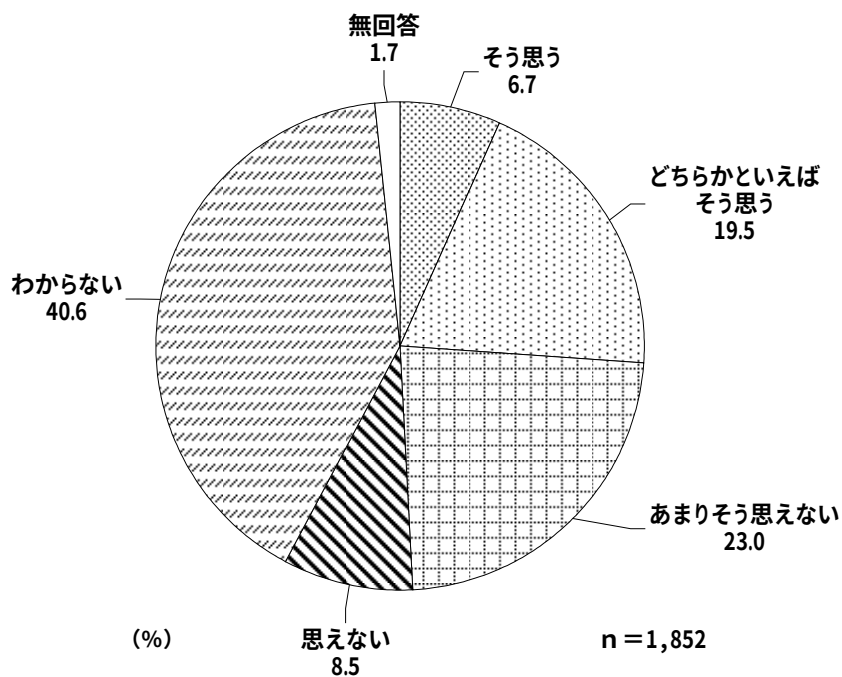
（図7-6-3）

7-7 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は3割弱

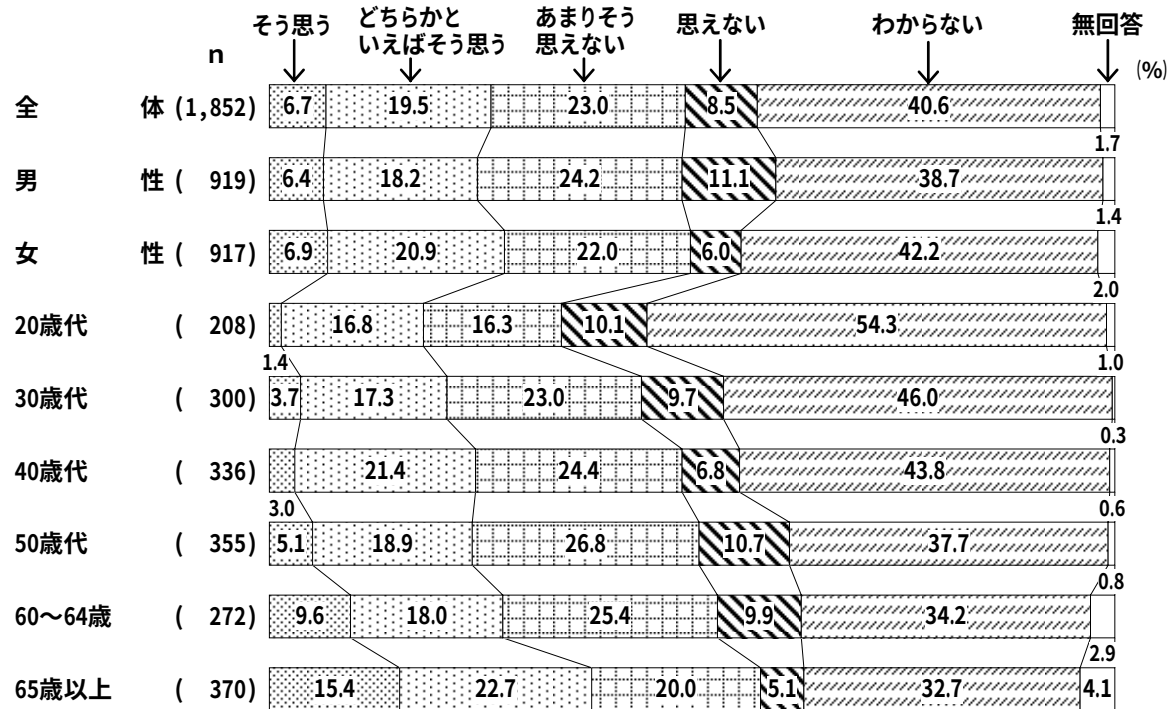
問21 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図7-7-1



市が市民協働のまちづくりを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は6.7%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(19.5%)と合わせた『そう思う』は3割弱(26.2%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(23.0%)と「思えない」(8.5%)を合わせた『思えない』は3割強(31.5%)となっている。(図7-7-1)

図 7-7-2 市民協働の推進状況－性別・年齢別

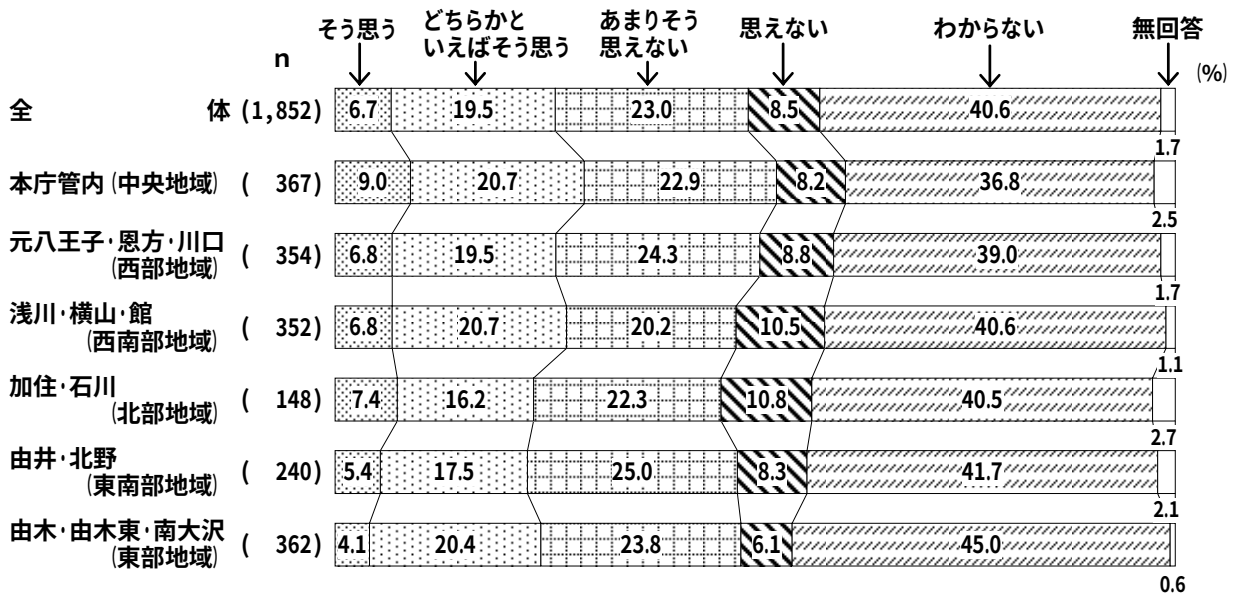


性別にみると、『思えない』は男性のほうが7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で4割弱（38.1%）と特に高くなっている。

(図 7-7-2)

図 7-7-3 市民協働の推進状況－居住地域別



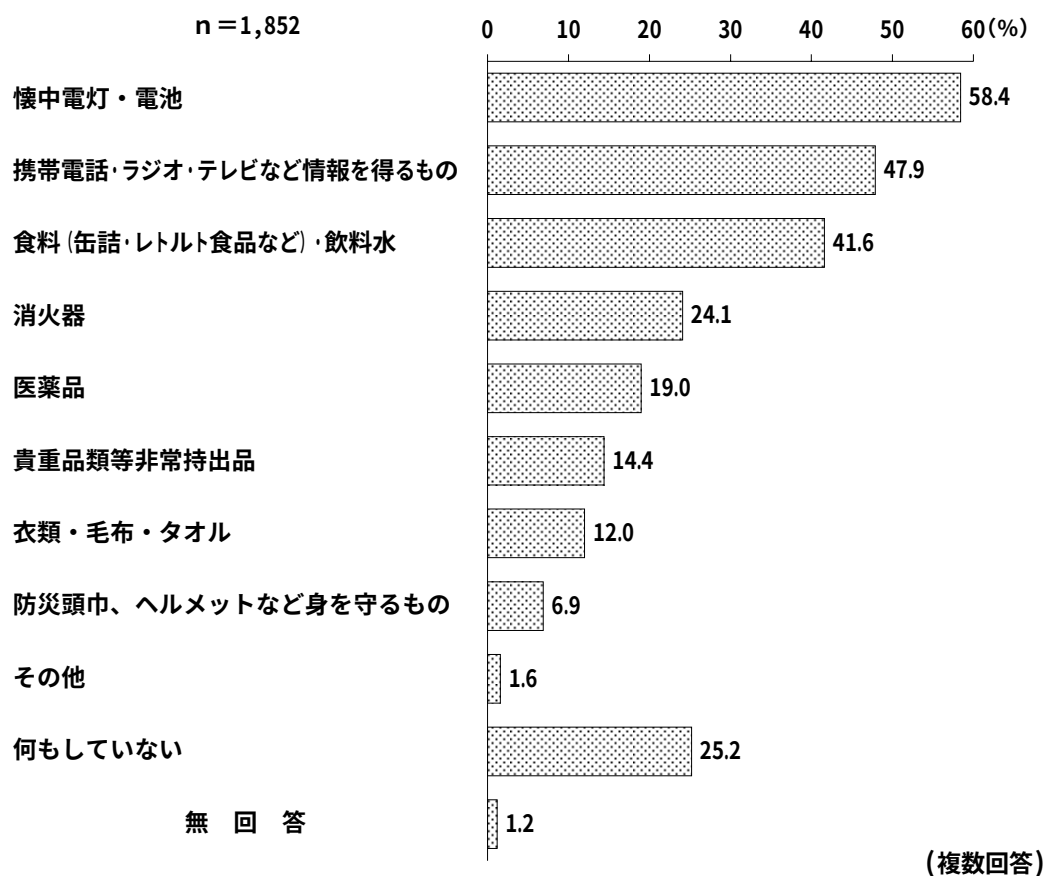
居住地域別にみると、『そう思う』は本庁管内（中央地域）でほぼ3割（29.7%）と最も高くなっている。(図 7-7-3)

7－8 災害に対する準備

◇「懐中電灯・電池」が6割弱

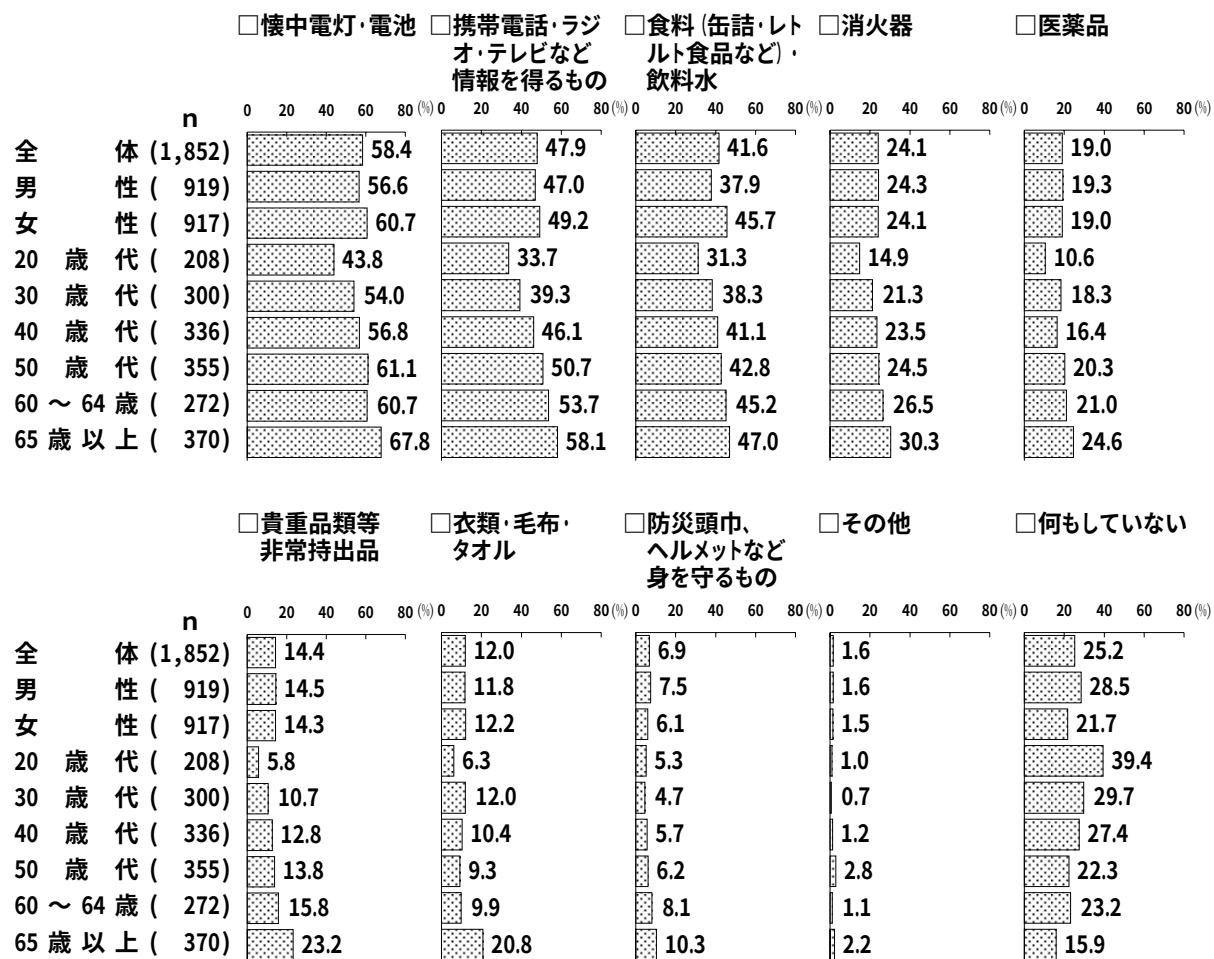
問22 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(○はいくつでも)

図7－8－1



大地震等の災害に備えた準備について聞いたところ、「懐中電灯・電池」が6割弱（58.4%）と最も高く、ついで「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」（47.9%）、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」（41.6%）、「消火器」（24.1%）の順が続いている。（図7－8－1）

図 7-8-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」は女性のほうが7.8ポイント高くなっている。

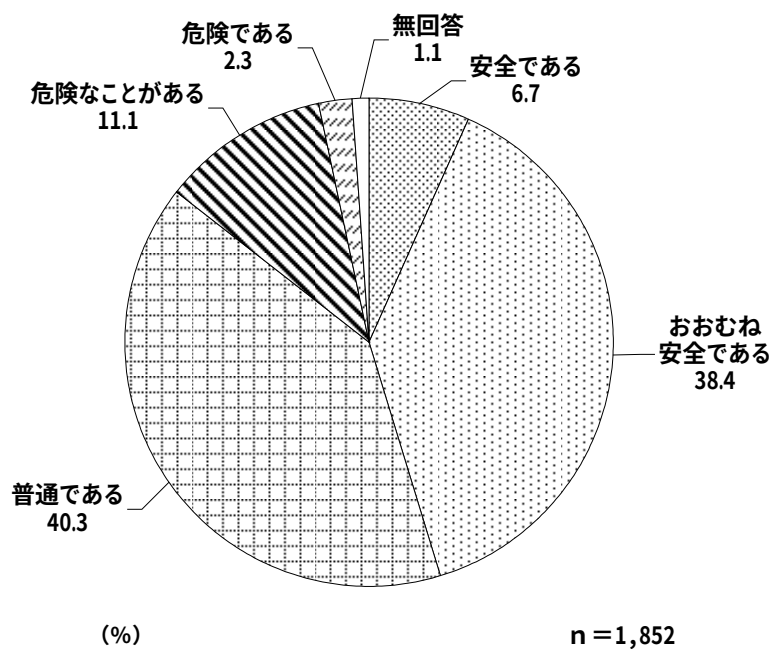
年齢別にみると、「懐中電灯・電池」、「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」、「消火器」、「貴重品類等非常持出品」は、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にある。これに対して、「何もしていない」は概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代はほぼ4割（39.4%）と高くなっている。（図7-8-2）

7－9 日常生活環境の安全度

◇『安全である』が4割台半ば

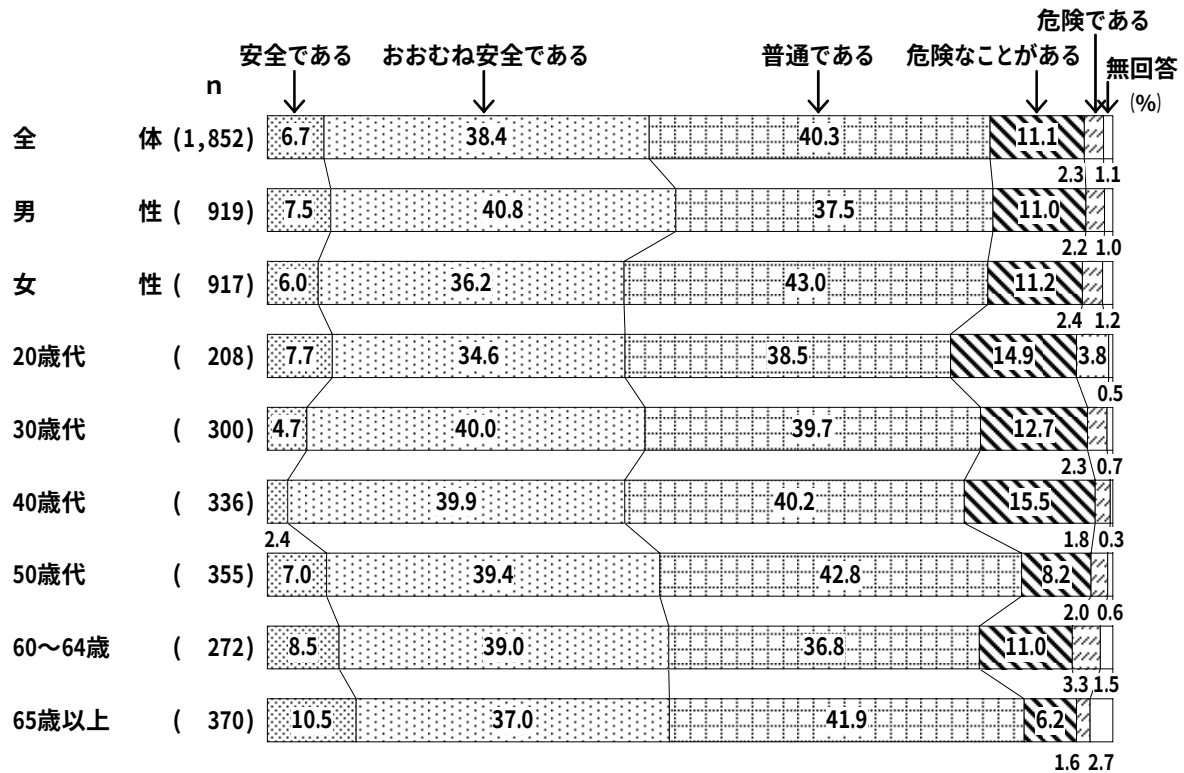
問23 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

図7－9－1



お住まいの地域が安全であると感じるかどうかが聞いたところ、「普通である」がほぼ4割（40.3%）と最も高く、「安全である」（6.7%）と「おおむね安全である」（38.4%）を合わせた『安全である』は4割台半ば（45.1%）となっている。一方、「危険なことがある」（11.1%）と「危険である」（2.3%）を合わせた『危険である』は1割強（13.4%）となっている。（図7－9－1）

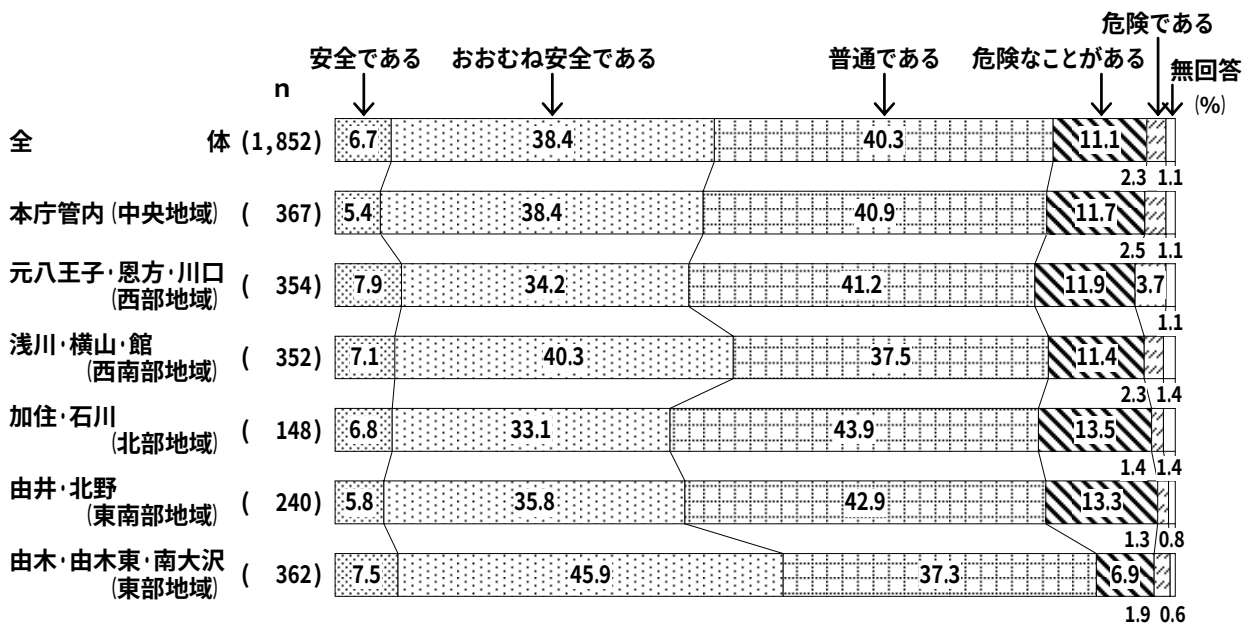
図 7-9-2 日常生活環境の安全度－性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』は20歳代で2割弱（18.7%）と最も高く、65歳以上で1割弱（7.8%）と最も低くなっている。（図7-9-2）

図 7-9-3 日常生活環境の安全度－居住地域別



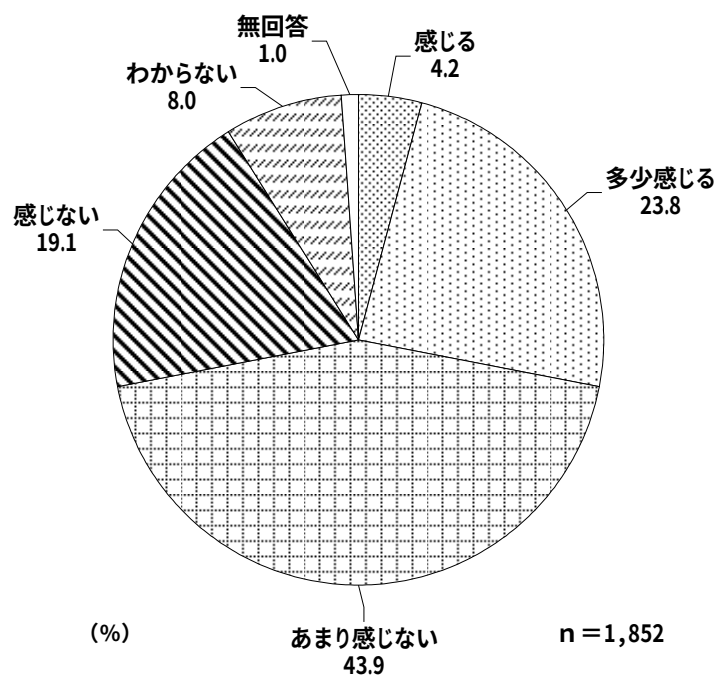
居住地域別にみると、『安全である』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割強（53.4%）と最も高く、加住・石川（北部地域）でほぼ4割（39.9%）と最も低くなっている。（図7-9-3）

7-10 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割強

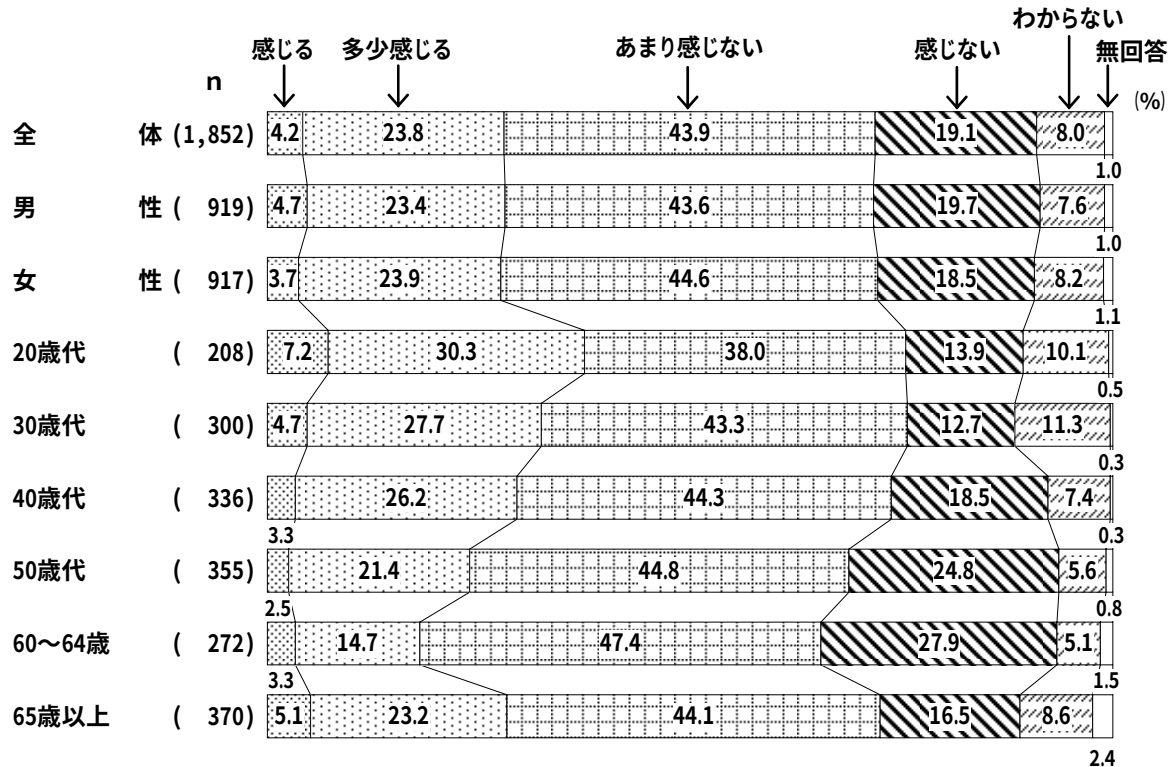
問24 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

図7-10-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が4割強（43.9%）と最も高く、「感じない」（19.1%）を合わせた『感じない』は6割強（63.0%）となっている。「感じる」（4.2%）と「多少感じる」（23.8%）を合わせた『感じる』は3割弱（28.0%）となっている。（図7-10-1）

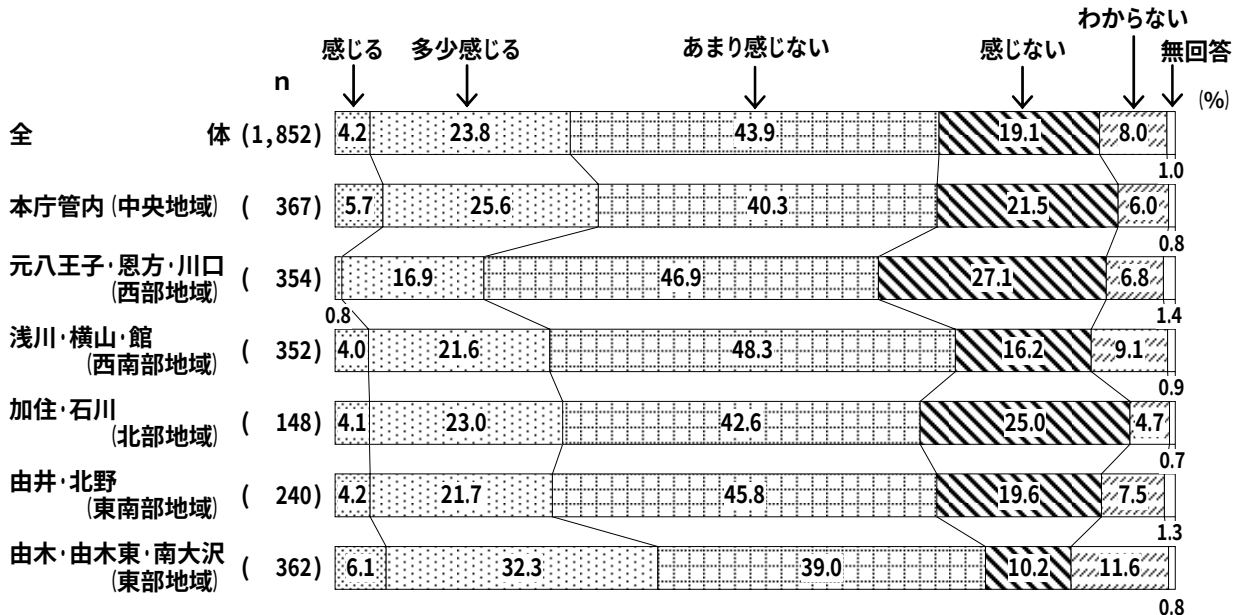
図 7-10-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で4割弱（37.5%）と高くなっている。（図 7-10-2）

図 7-10-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



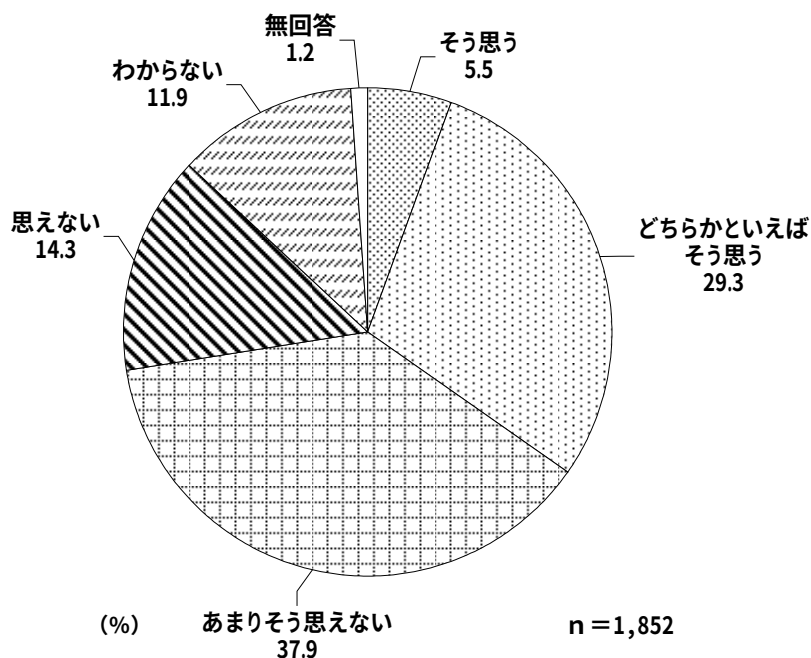
居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（38.4%）と最も高く、一方で『感じない』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で7割台半ば（74.0%）と最も高くなっている。（図 7-10-3）

7-11 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割強

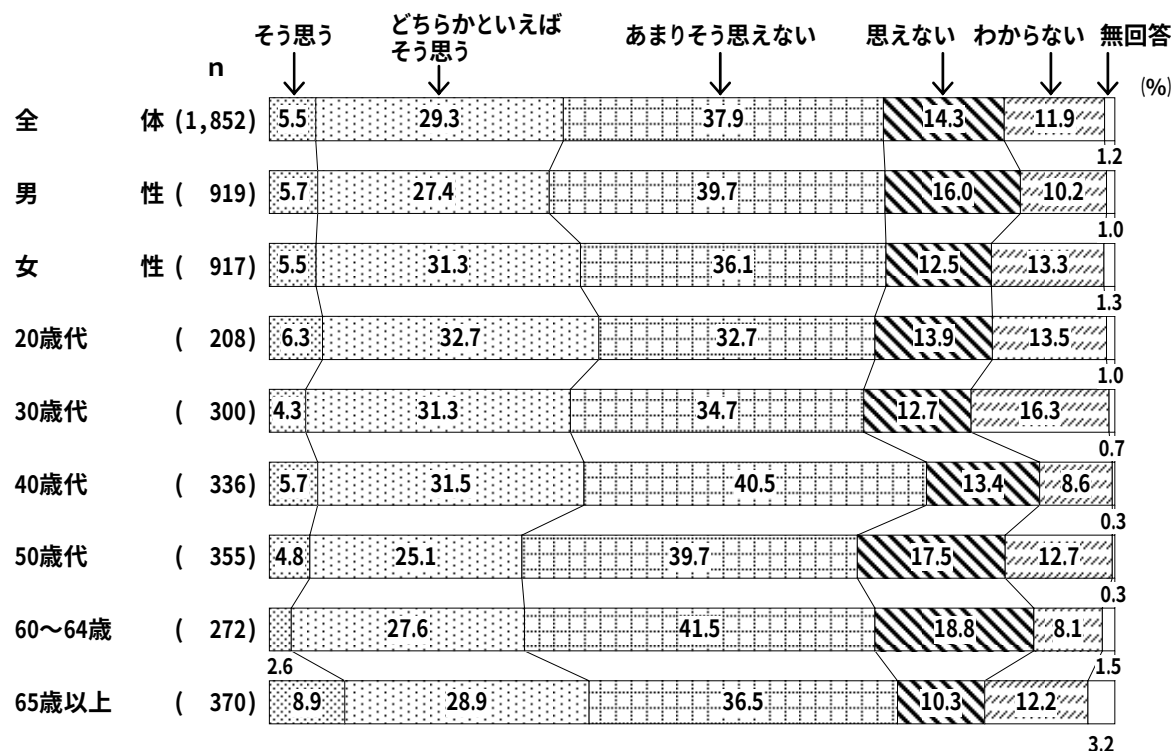
問25 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図7-11-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱（37.9%）と最も高く、「思えない」（14.3%）と合わせた『思えない』は5割強（52.2%）となっている。一方、「そう思う」（5.5%）と「どちらかといえばそう思う」（29.3%）を合わせた『そう思う』は3割台半ば（34.8%）となっている。（図7-11-1）

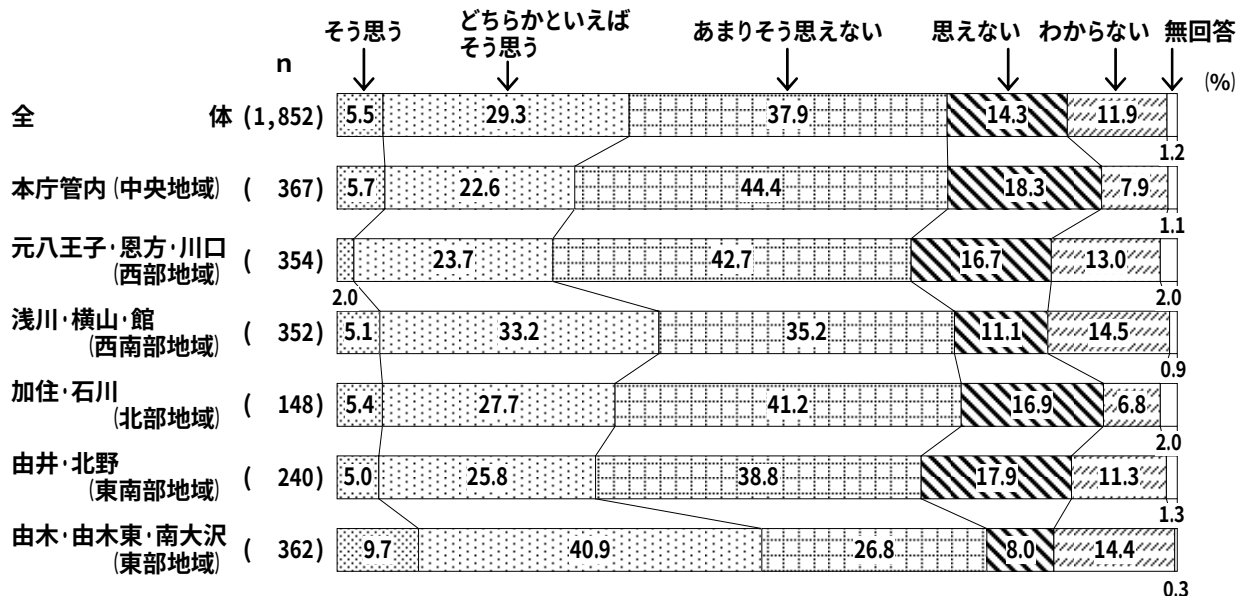
図 7-11-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は60～64歳がほぼ6割（60.3%）と高く、『そう思う』は20歳代がほぼ4割（39.0%）と比較的高くなっている。（図7-11-2）

図 7-11-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



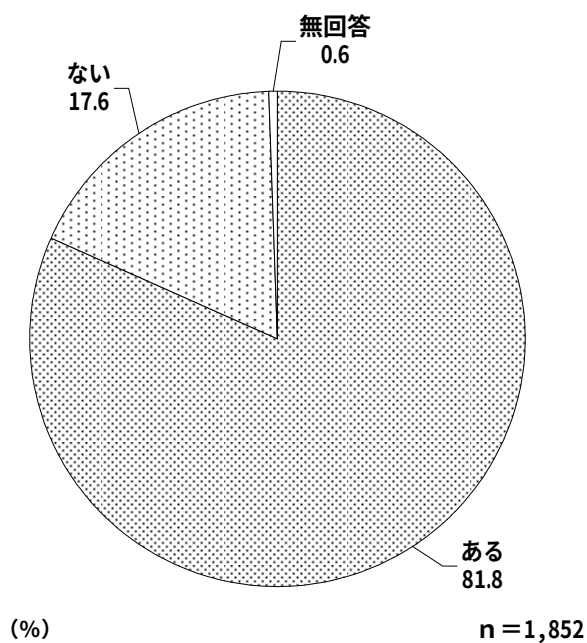
居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）でほぼ5割（50.6%）と特に高く、『思えない』は本庁管内（中央地域）で6割強（62.7%）と高くなっている。（図7-11-3）

7-12 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数の8割強

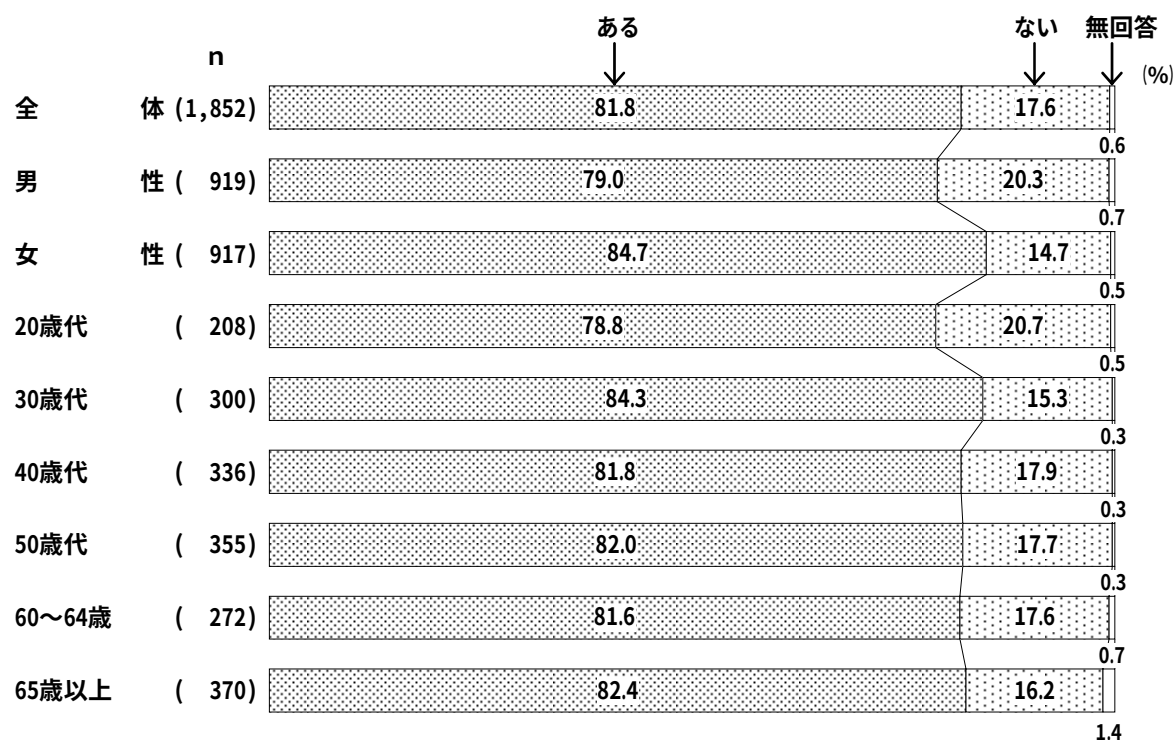
問26 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図7-12-1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数の8割強（81.8%）を占め、「ない」は2割弱（17.6%）となっている。（図7-12-1）

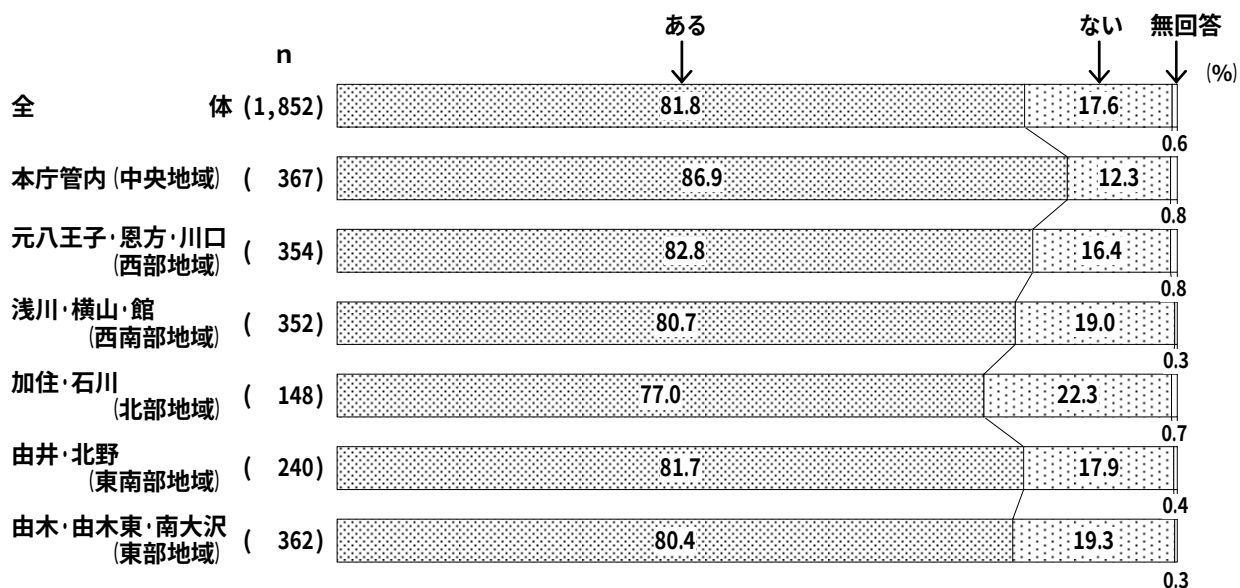
図 7-12-2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、「ある」は女性のほうが5.7ポイント高い。

年齢別にみると、「ある」は20歳代を除き、8割を超えている。(図 7-12-2)

図 7-12-3 市の窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は加住・石川（北部地域）以外の地域で8割を超えている。

(図 7-12-3)

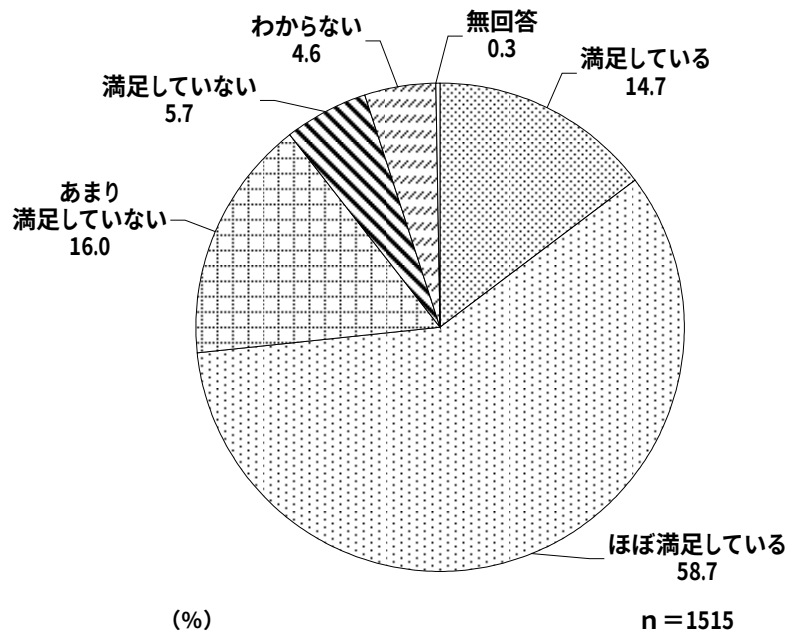
7-13 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割強を占める

(問26で「ある」とお答えの方に)

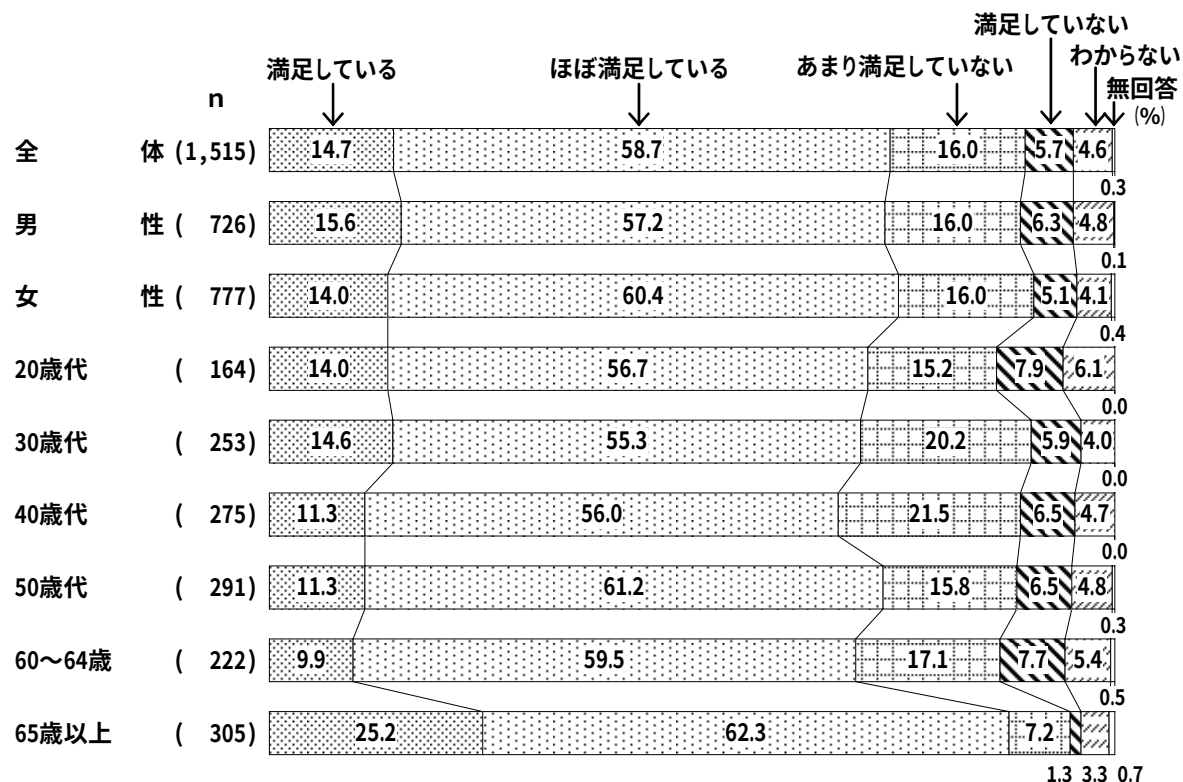
問26-1 あなたは、市の窓口サービス（接客度や提供内容、処理時間など）に満足していますか。（○は1つだけ）

図7-13-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」と答えた人（1,515人）に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が6割弱（58.7%）と最も高く、「満足している」（14.7%）と合わせた『満足』は7割強（73.4%）となっている。「あまり満足していない」（16.0%）と「満足していない」（5.7%）を合わせた『不満』は2割強（21.7%）となっている。（図7-13-1）

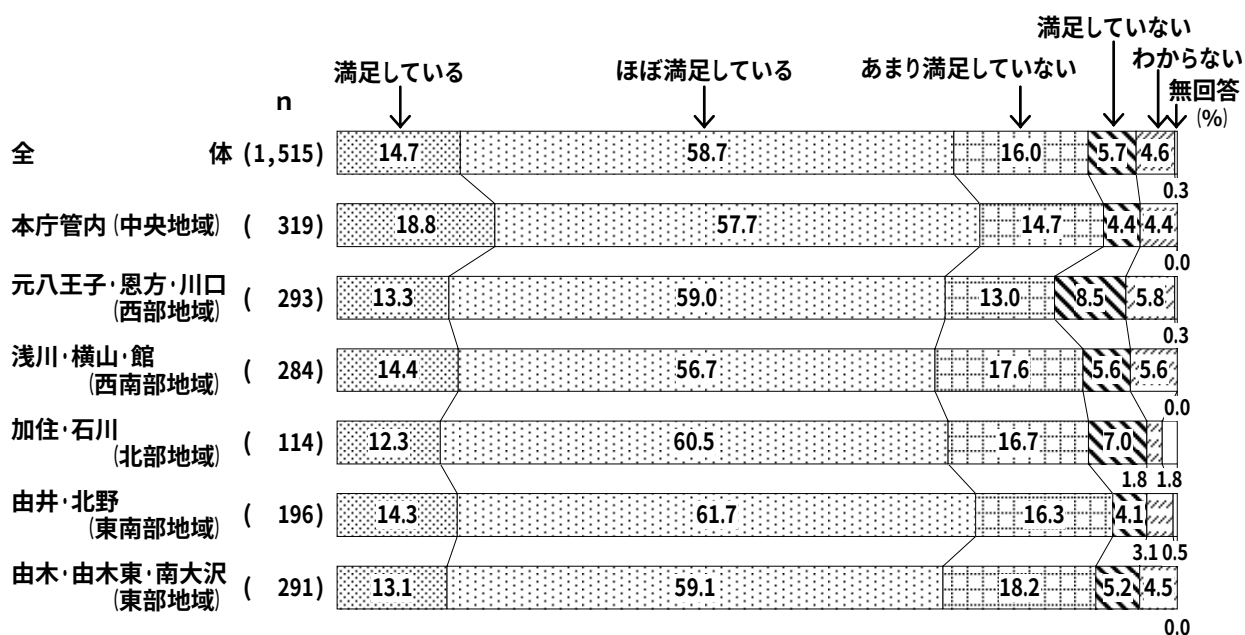
図 7-13-2 市の窓口サービスの満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で9割弱（87.5%）と、他の年代に比べて特になくなってきている。
（図 7-13-2）

図 7-13-3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



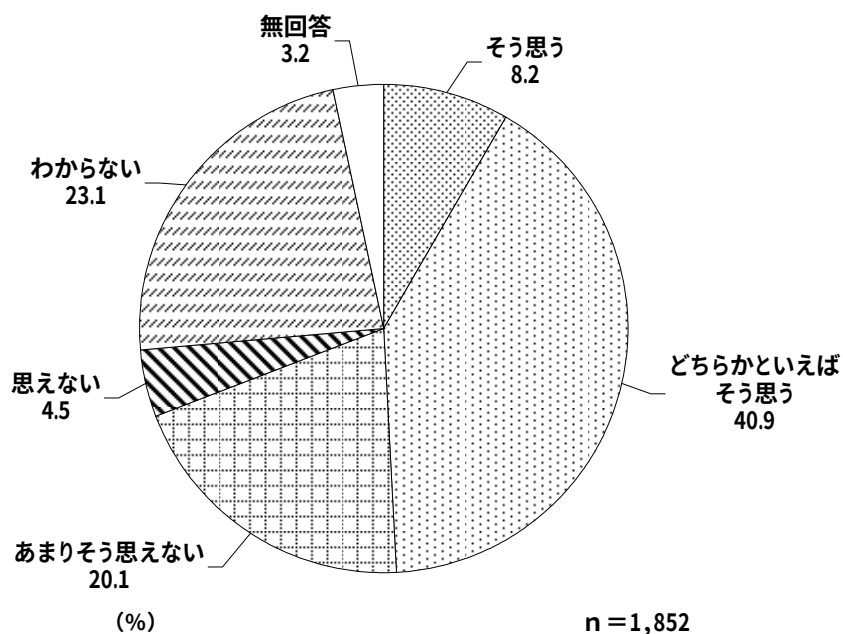
居住地域別にみると、『満足』はすべての地域で7割以上となっている。（図 7-13-3）

7-14 市の相談窓口の充実度

◇『そう思う』がほぼ5割

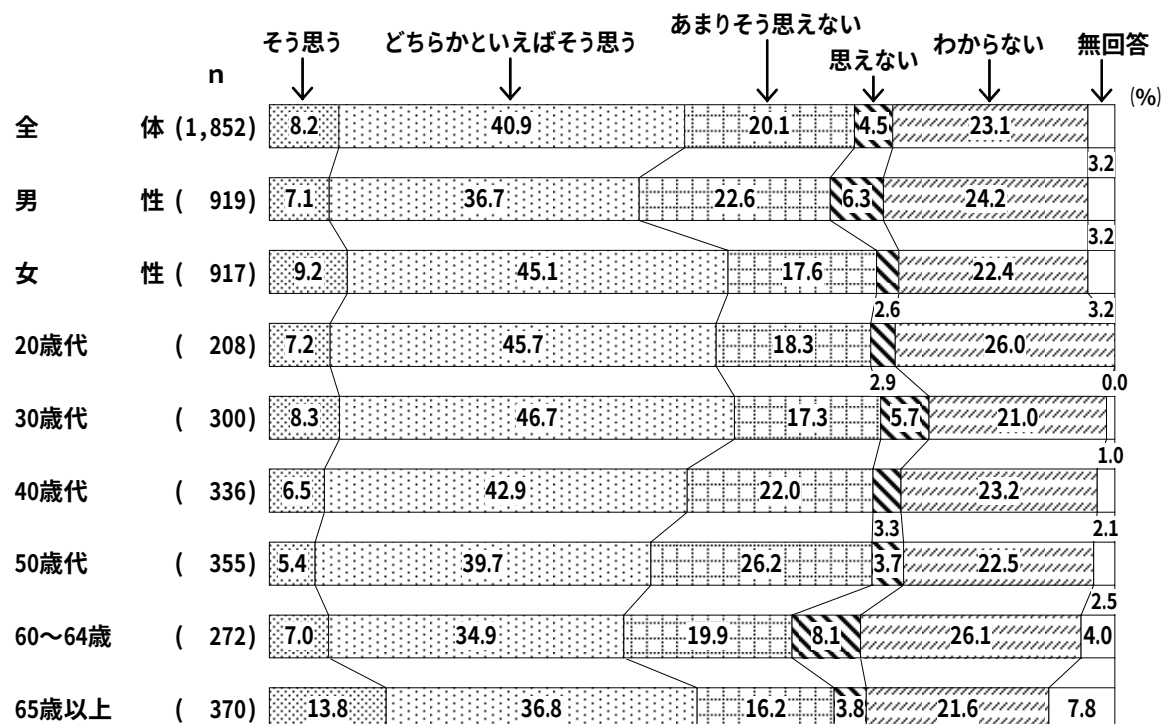
問27 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。
あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。（○は1つだけ）

図7-14-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」（40.9%）と「そう思う」（8.2%）を合わせた『そう思う』はほぼ5割（49.1%）となっている。一方、「あまりそう思えない」（20.1%）と「思えない」（4.5%）を合わせた『思えない』は2割台半ば（24.6%）となっている。（図7-14-1）

図 7-14-2 市の相談窓口の充実度－性別・年齢別

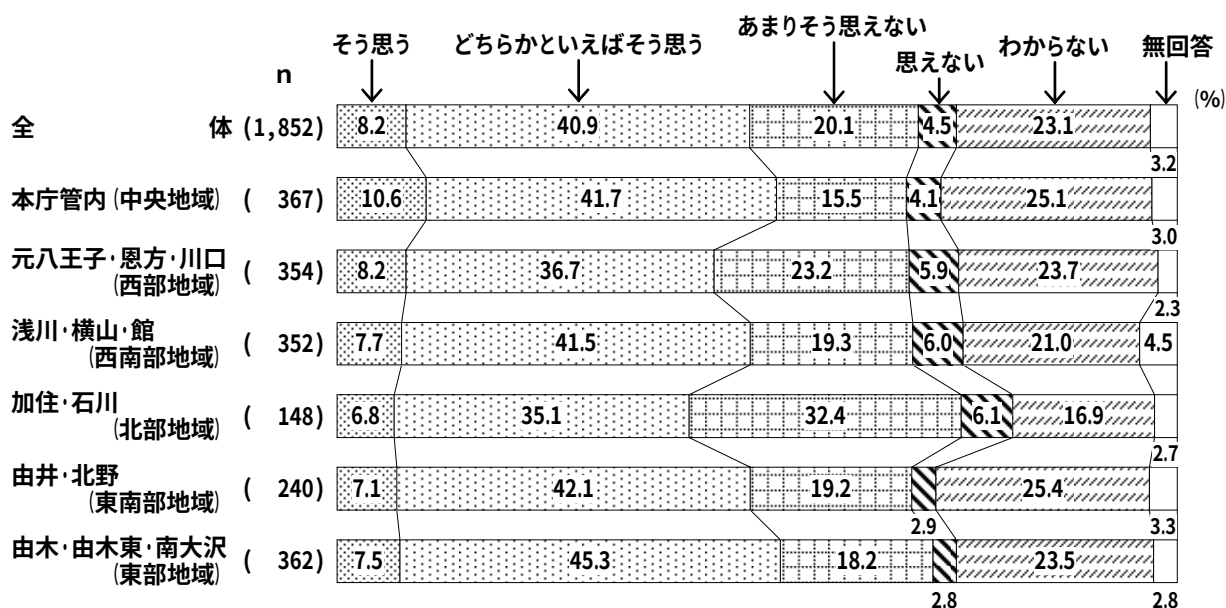


性別にみると、『そう思う』は女性のほうが10.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は30歳代で5割台半ば（55.0%）と最も高くなっている。

（図 7-14-2）

図 7-14-3 市の相談窓口の充実度－居住地域別



居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）と本庁管内（中央地域）で5割強と他の地域に比べ高くなっている。（図 7-14-3）

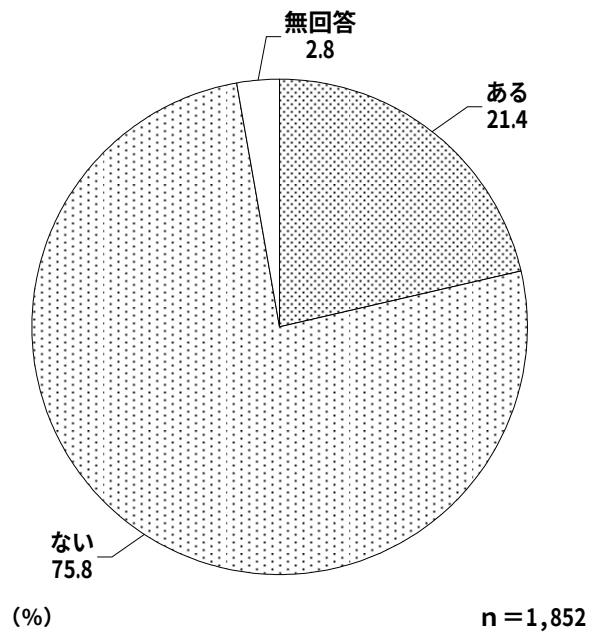
7-15 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は2割強にとどまる

問28 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。

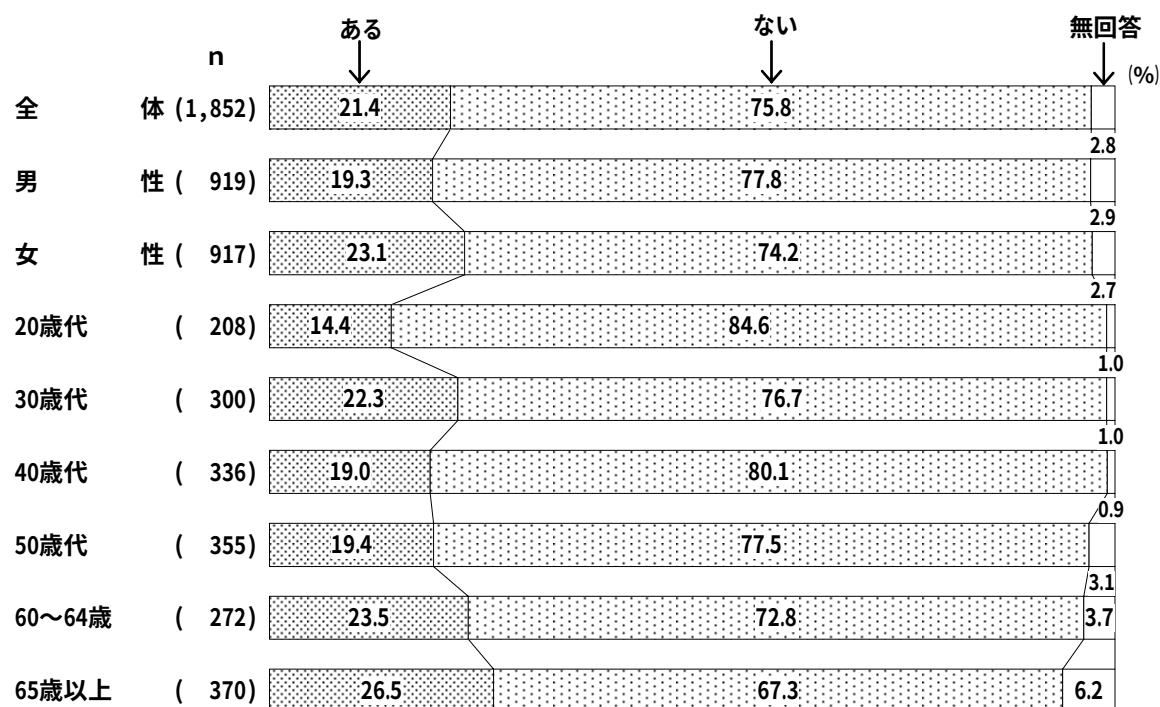
(○は1つだけ)

図7-15-1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が7割台半ば（75.8%）を占め、一方、「ある」は2割強（21.4%）となっている。（図7-15-1）

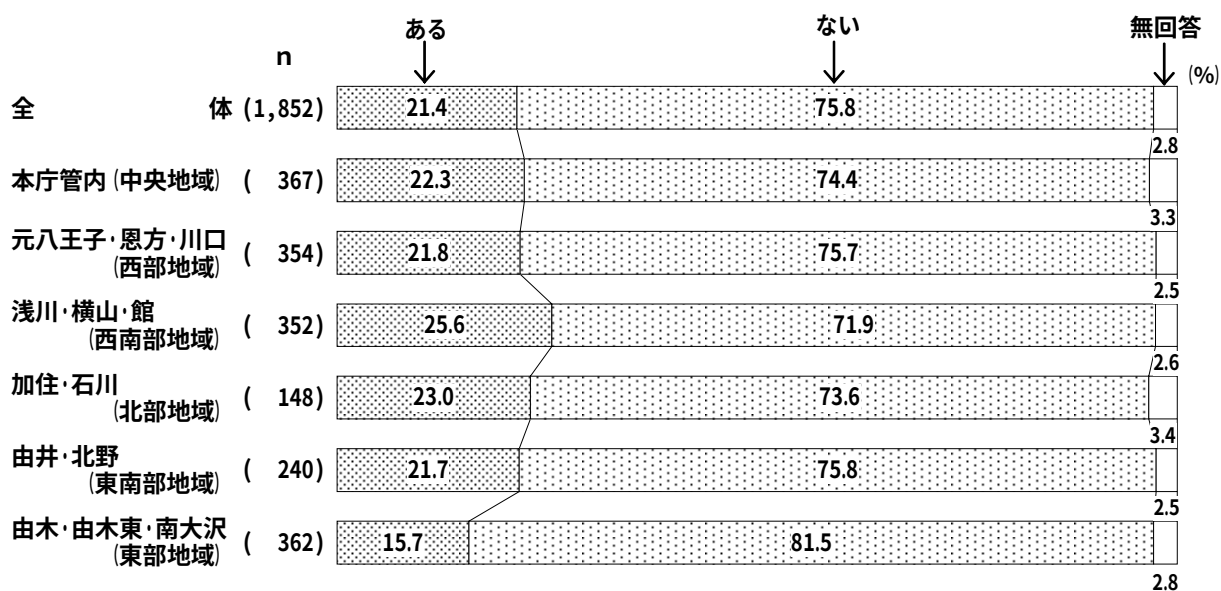
図 7-15-2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」の割合が3.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は65歳以上で3割弱（26.5%）と高くなっている。（図 7-15-2）

図 7-15-3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は浅川・横山・館（西南部地域）で2割台半ば（25.6%）と他の地域と比べて高くなっている。（図 7-15-3）

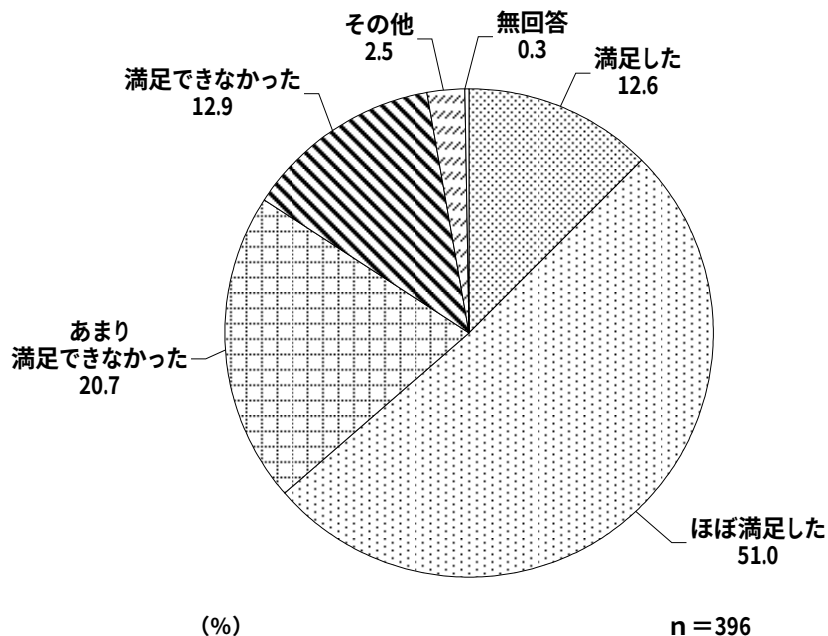
7-16 相談窓口の満足度

◇『満足した』が6割強

(問28で「ある」とお答えの方に)

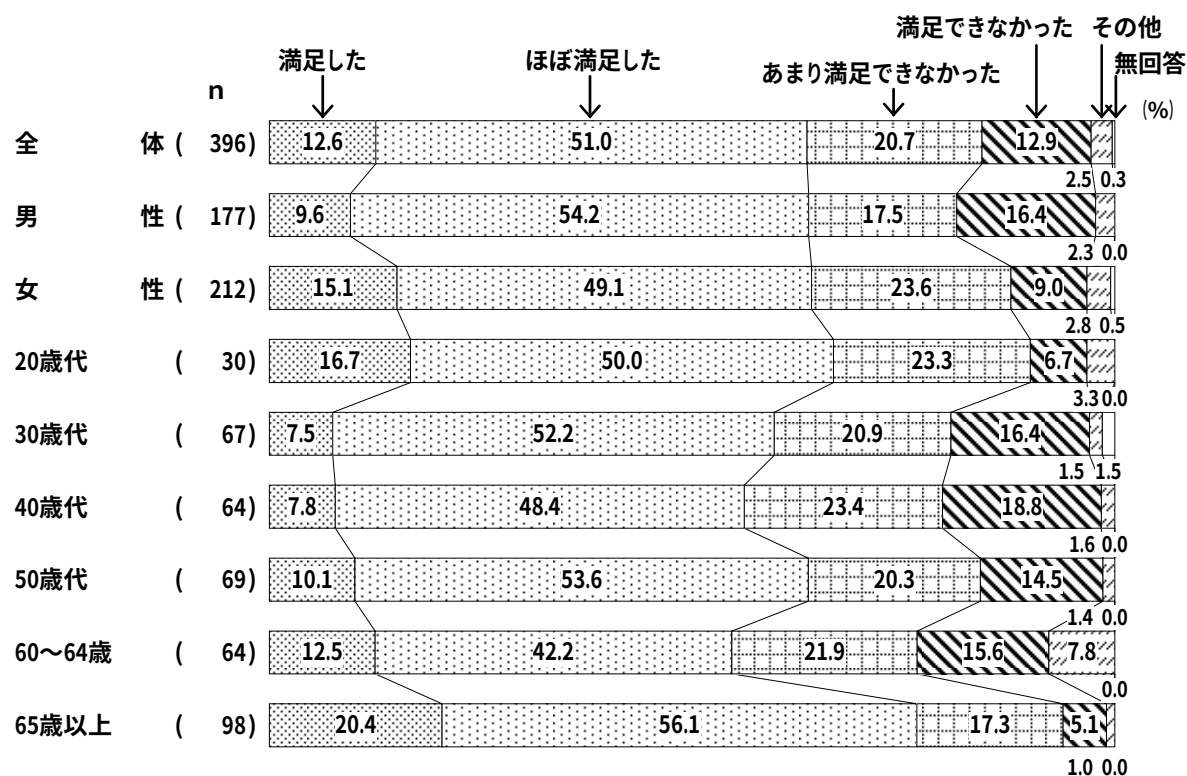
問28-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図7-16-1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(396人)に、市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が5割強(51.0%)と最も高く、「満足した」(12.6%)と合わせた『満足した』は6割強(63.6%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(20.7%)と「満足できなかった」(12.9%)を合わせた『満足できなかった』は3割強(33.6%)となっている。(図7-16-1)

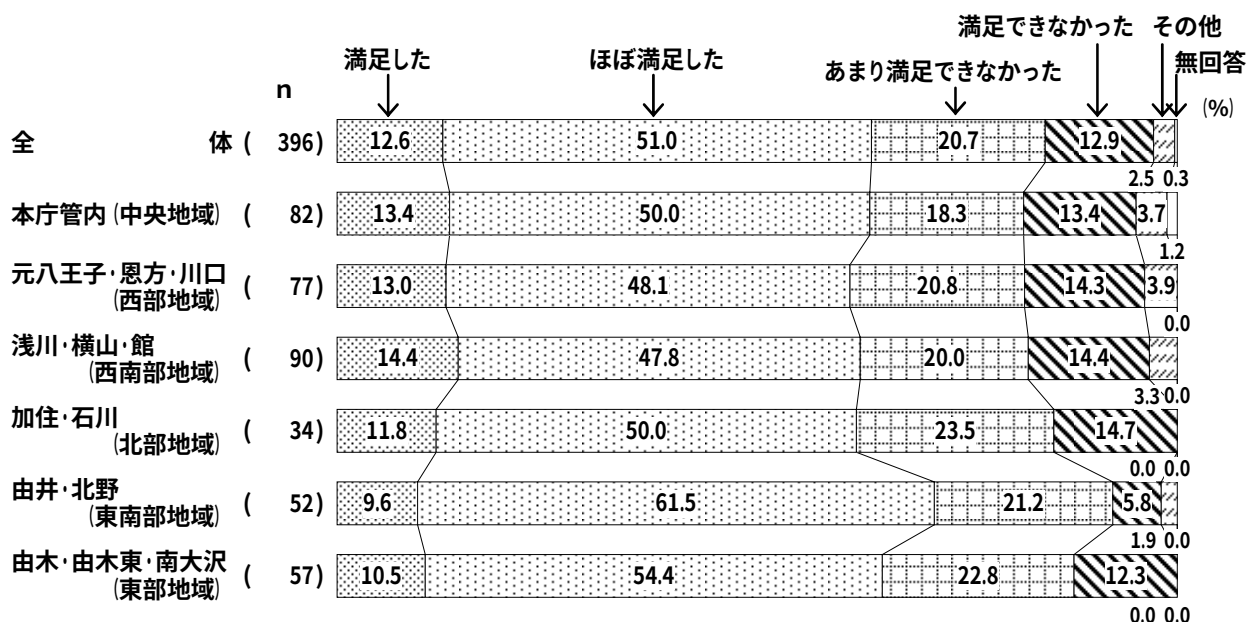
図 7-16-2 相談窓口の満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足した』割合は、65歳以上（76.5%）が特に高くなっている。（図 7-16-2）

図 7-16-3 相談窓口の満足度－居住地域別



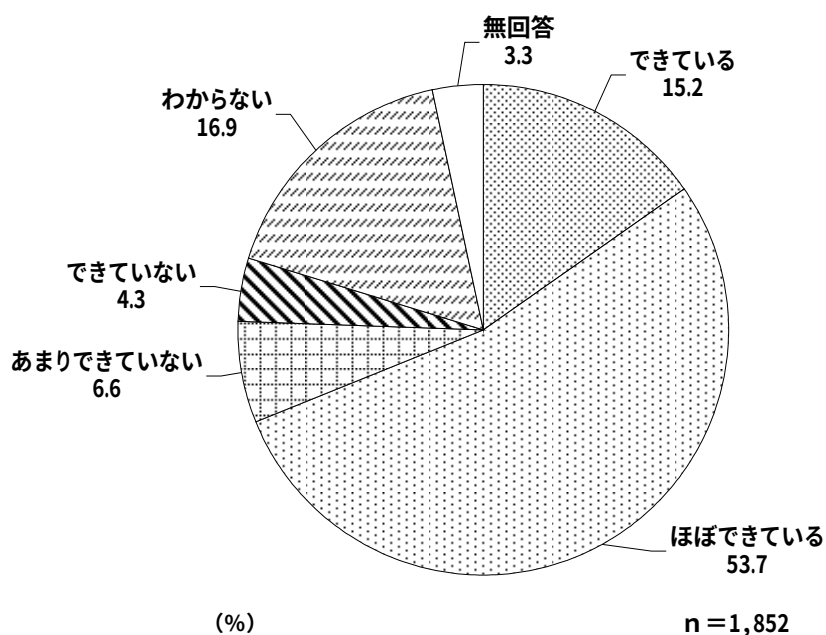
居住地域別にみると、『満足した』はすべての地域で6割以上を占めており、特に、由井・北野（東南部地域）では7割強（71.1%）と他の地域に比べて高くなっている。（図 7-16-3）

7-17 市政情報の入手しやすさ

◇『できている』が7割弱

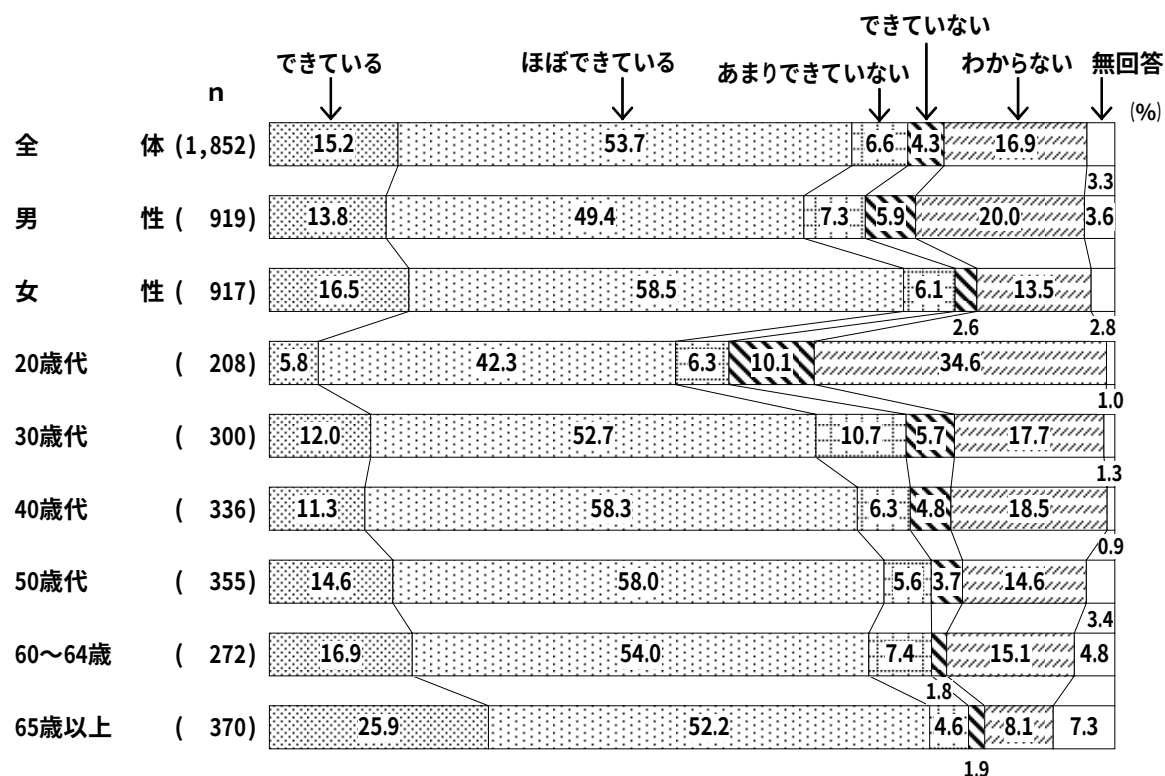
問29 あなたは、日頃必要な市政情報を入手できていますか。(○は1つだけ)

図7-17-1



市政情報の入手しやすさについて聞いたところ、「ほぼできている」は5割強（53.7%）と最も高く、「できている」（15.2%）と合わせた『できている』は7割弱（68.9%）となっている。一方、「あまりできていない」（6.6%）と「できていない」（4.3%）を合わせた『できていない』は、ほぼ1割（10.9%）となっている。（図7-17-1）

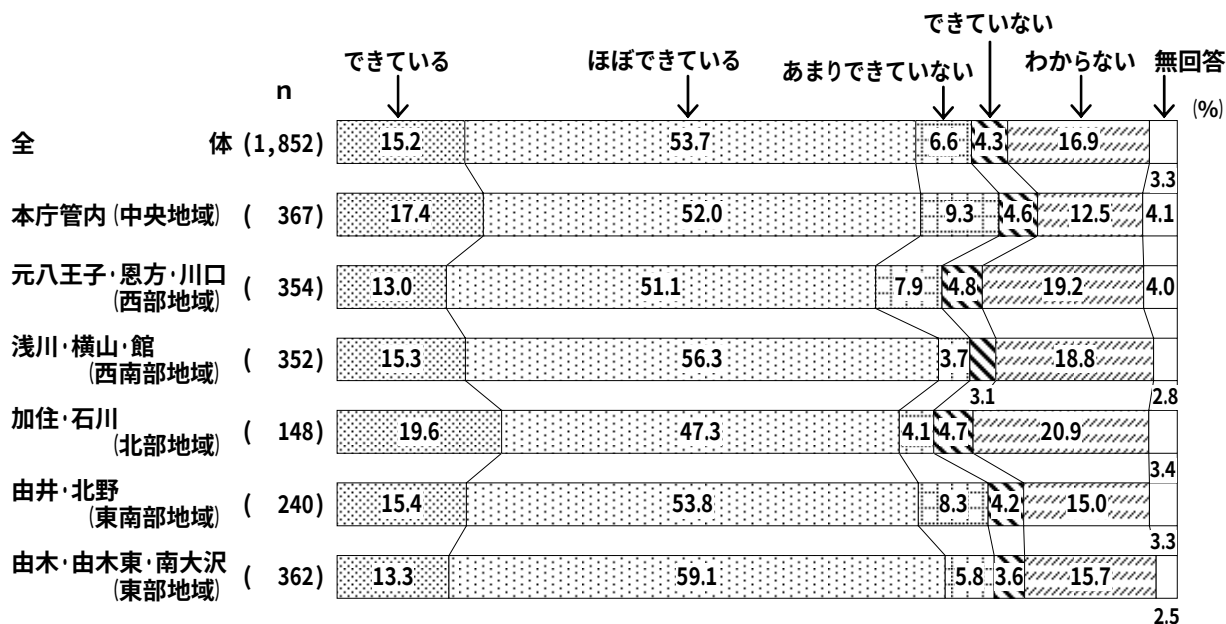
図 7-17-2 市政情報の入手しやすさー性別・年齢別



性別にみると、『できている』は女性のほうが11.8ポイント高い。

年齢別にみると、『できている』は50歳代以上で7割を超えて高くなっている。(図 7-17-2)

図 7-17-3 市政情報の入手しやすさー居住地域別



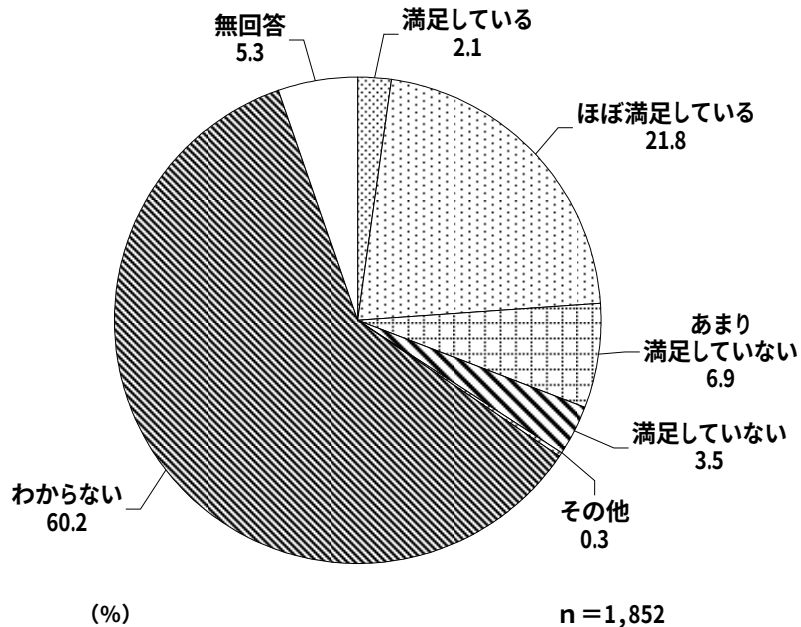
居住地域別にみると、由木・由木東・南大沢（東部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で『できている』が7割強と他の地域に比べ高くなっている。(図 7-17-3)

7-18 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が2割強

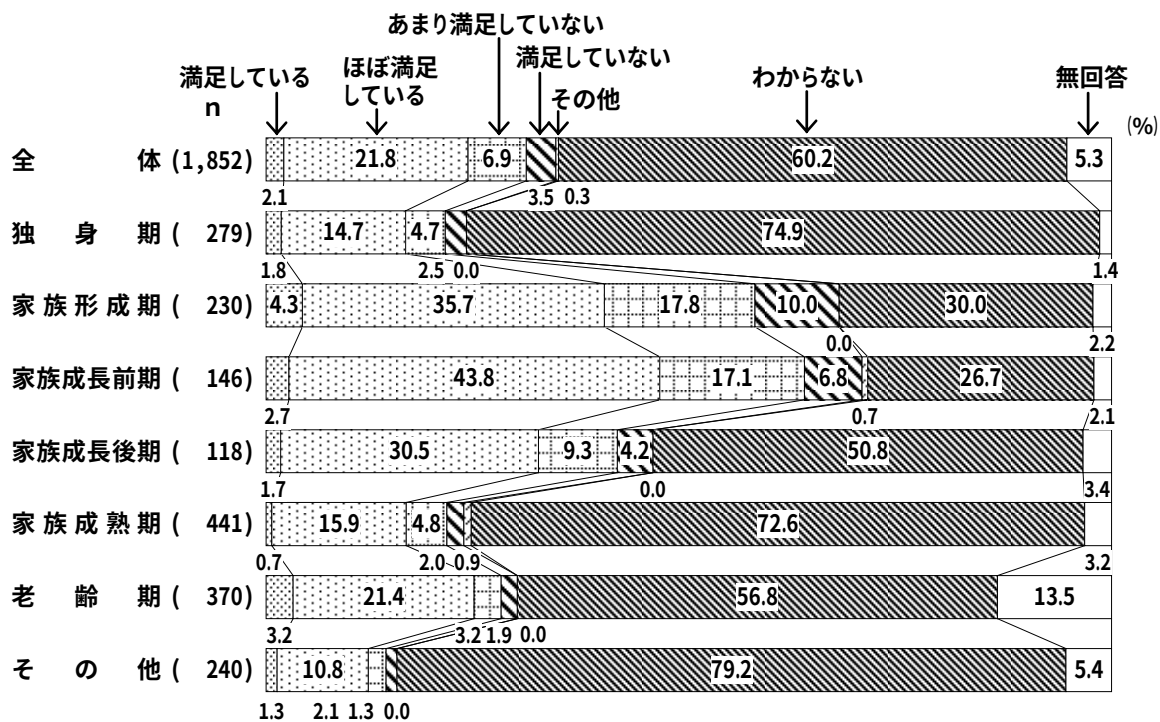
問30 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(○は1つだけ)

図7-18-1



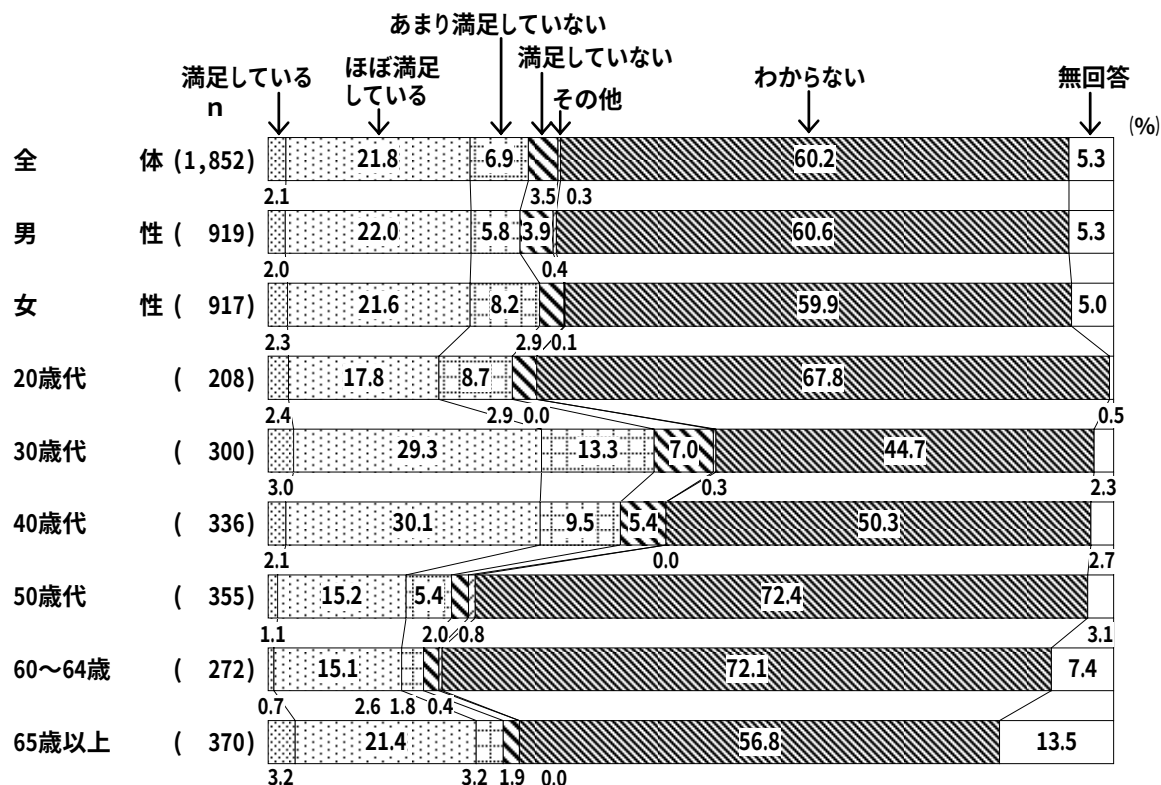
市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.1%)と「ほぼ満足している」(21.8%)を合わせた『満足』は2割強(23.9%)となっている。一方、「あまり満足していない」(6.9%)と「満足していない」(3.5%)を合わせた『不満』はほぼ1割(10.4%)となっている。(図7-18-1)

図 7-18-2 市の子育て支援施策の満足度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長前期では『満足』（46.5%）のほうが『不満』（23.9%）より22.6ポイント高く、家族形成期では『満足』（40.0%）のほうが『不満』（27.8%）より12.2ポイント高くなっている。（図 7-18-2）

図 7-18-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別

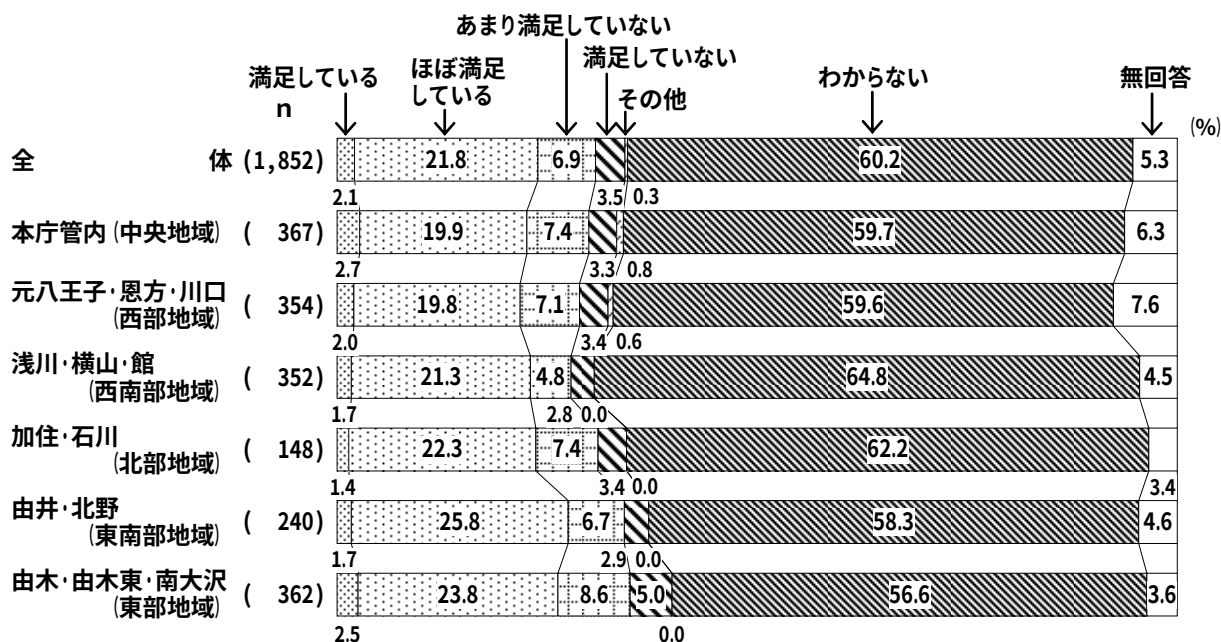


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、30歳代では『満足』(32.3%)のほうが『不満』(20.3%)より12.0ポイント高く、40歳代では『満足』(32.2%)のほうが『不満』(14.9%)より17.3ポイント高くなっている。

(図 7-18-3)

図 7-18-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



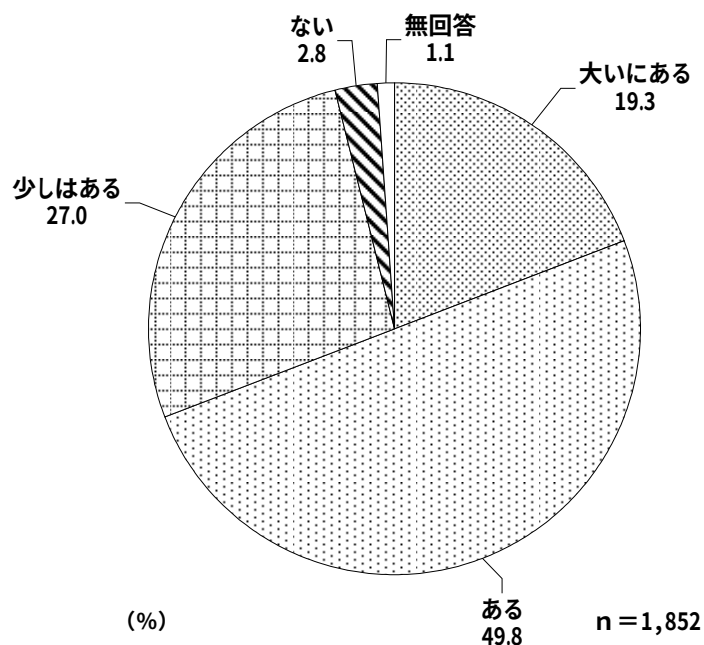
居住地域別にみると、『満足』は由井・北野(東南部地域)で3割弱(27.5%)と最も高くなっている。(図 7-18-4)

7-19 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割台半ば

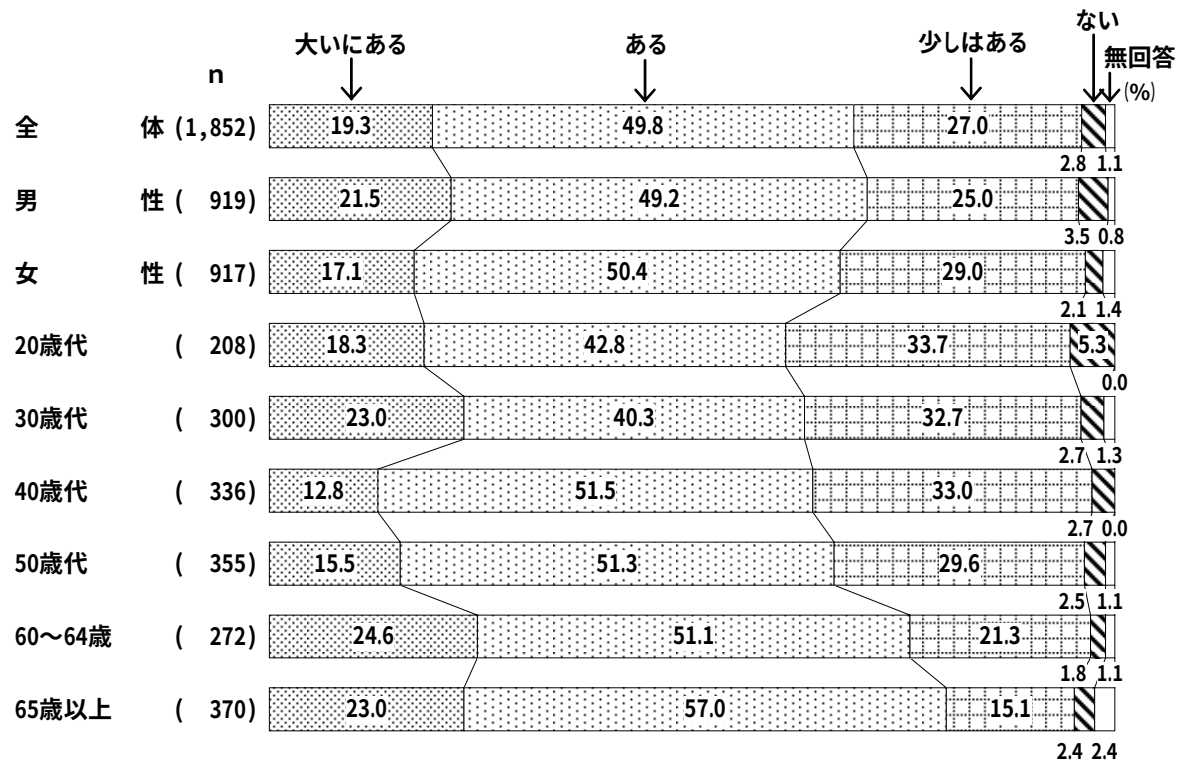
問31 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図7-19-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「ある」がほぼ5割（49.8%）、「少しはある」が3割弱（27.0%）、「大いにある」がほぼ2割（19.3%）となっていて、3項目を合わせた『ある』は9割台半ば（96.1%）と高くなっている。一方で「ない」は2.8%となっている。（図7-19-1）

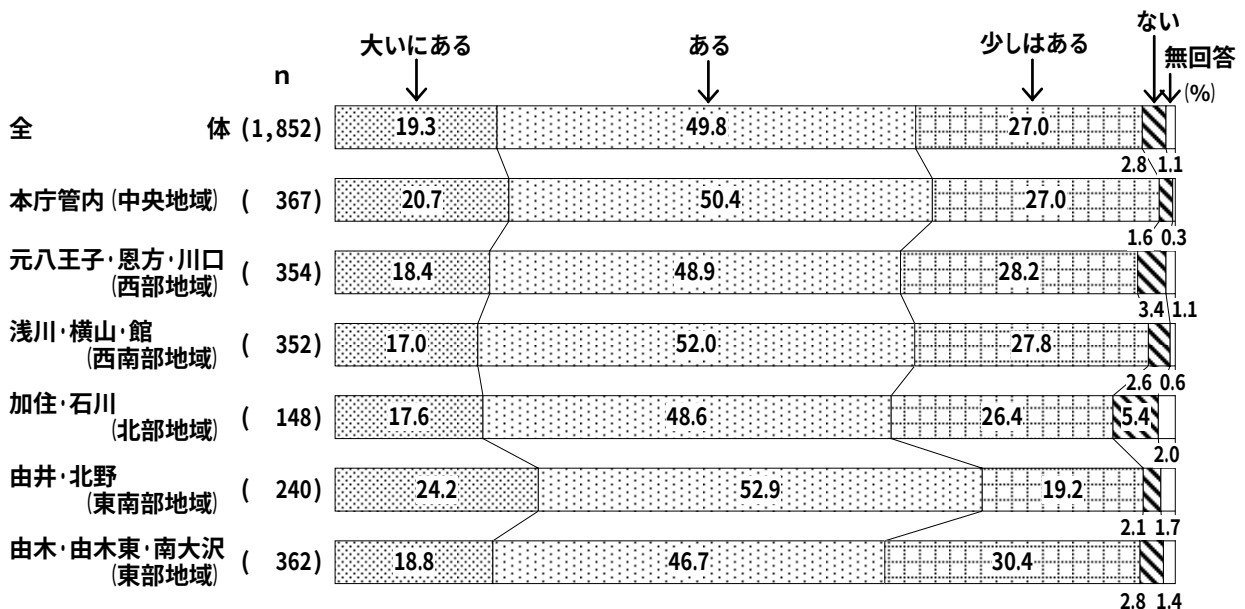
図 7-19-2 環境問題への関心度－性別・年齢別



性別にみると、「大いにある」は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図 7-19-2)

図 7-19-3 環境問題への関心度－居住地域別



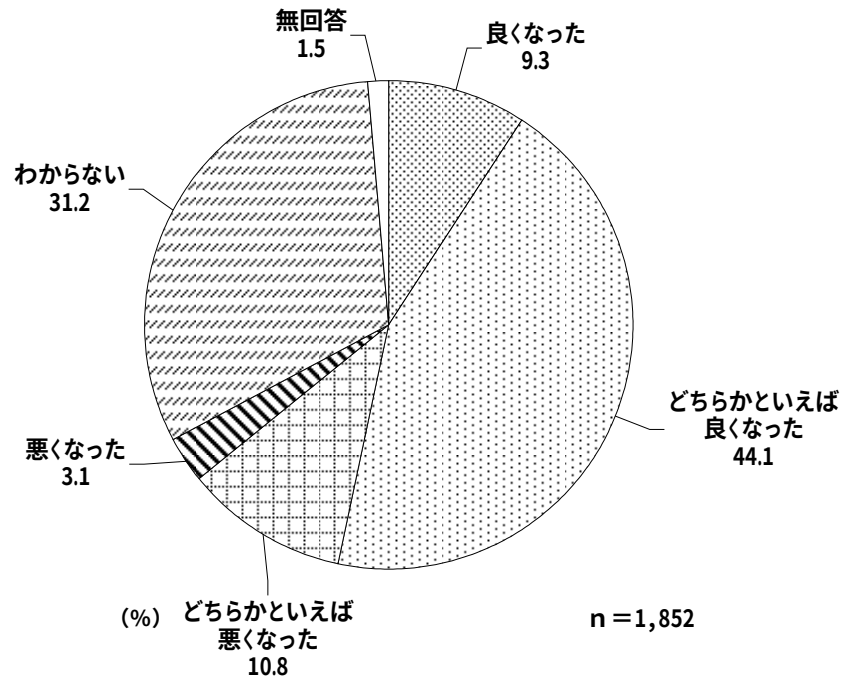
居住地域別にみると、「大いにある」と「ある」の計は、由井・北野（東南部地域）で8割弱（77.1%）と高くなっている。(図 7-19-3)

7-20 市の現在の環境

◇『良くなった』が5割強

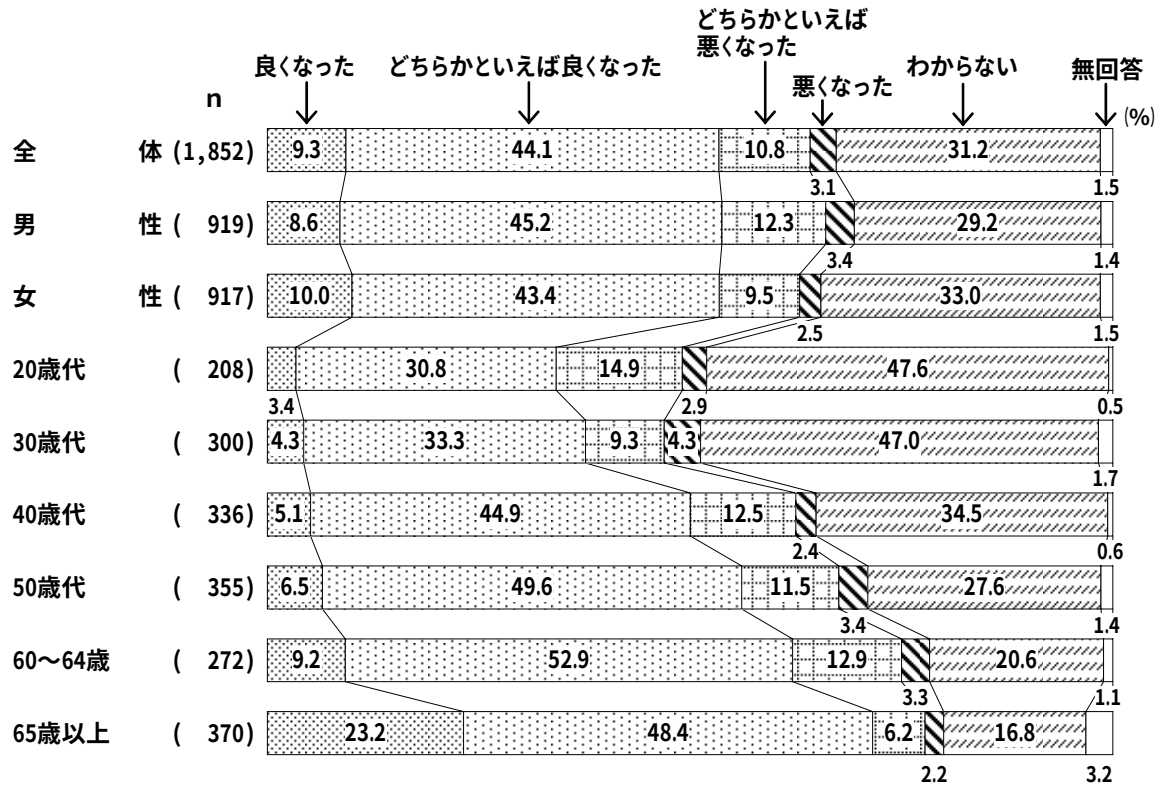
問32 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）

図7-20-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（9.3%）と「どちらかといえば良くなった」（44.1%）を合わせた『良くなった』は5割強（53.4%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（10.8%）と「悪くなった」（3.1%）を合わせた『悪くなった』は1割強（13.9%）となっている。（図7-20-1）

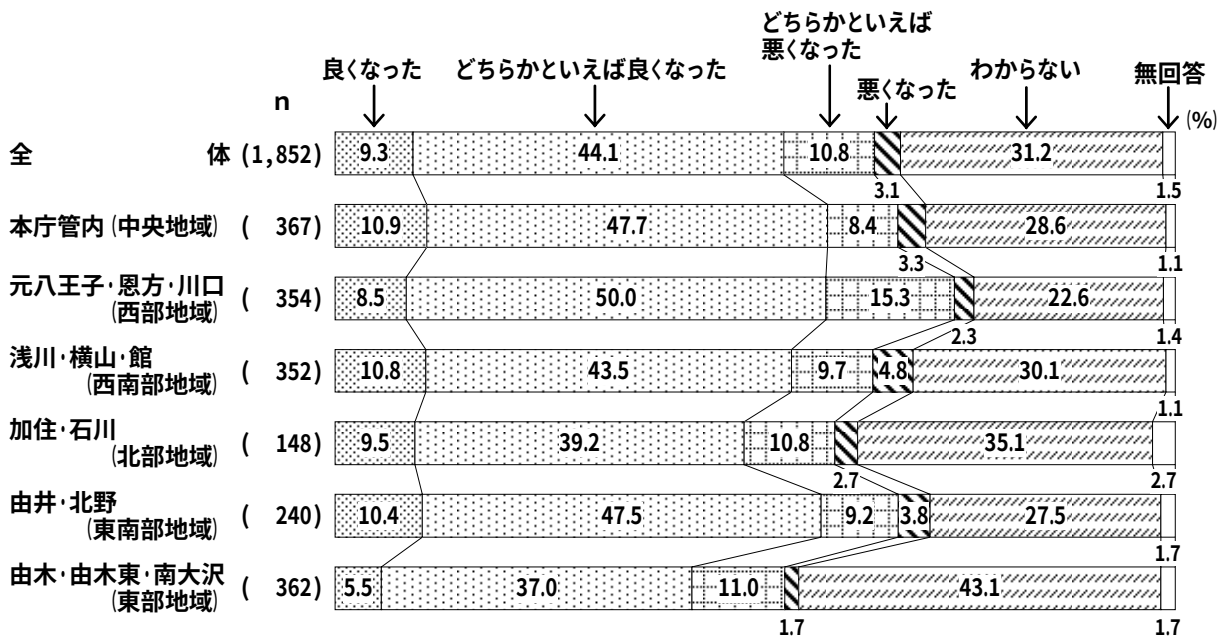
図 7-20-2 市の現在の環境－性別・年齢別



性別にみると、『悪くなった』は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に65歳以上で7割強（71.6%）と高くなっている。（図7-20-2）

図 7-20-3 市の現在の環境－居住地域別



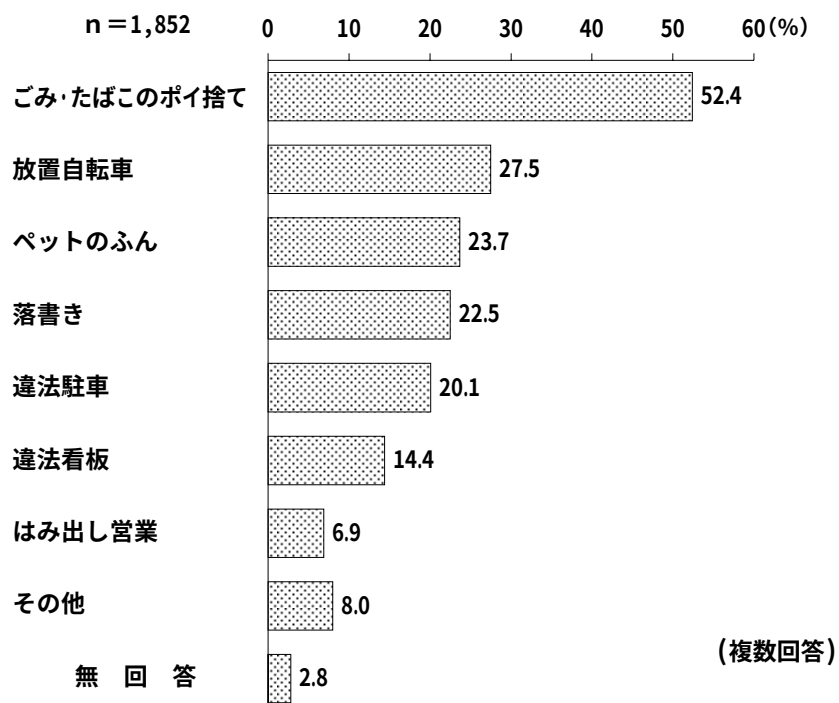
居住地域別にみると、『良くなった』は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、由井・北野（東南部地域）で6割弱と高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.5%）と低くなっている。（図7-20-3）

7-21 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割強で突出

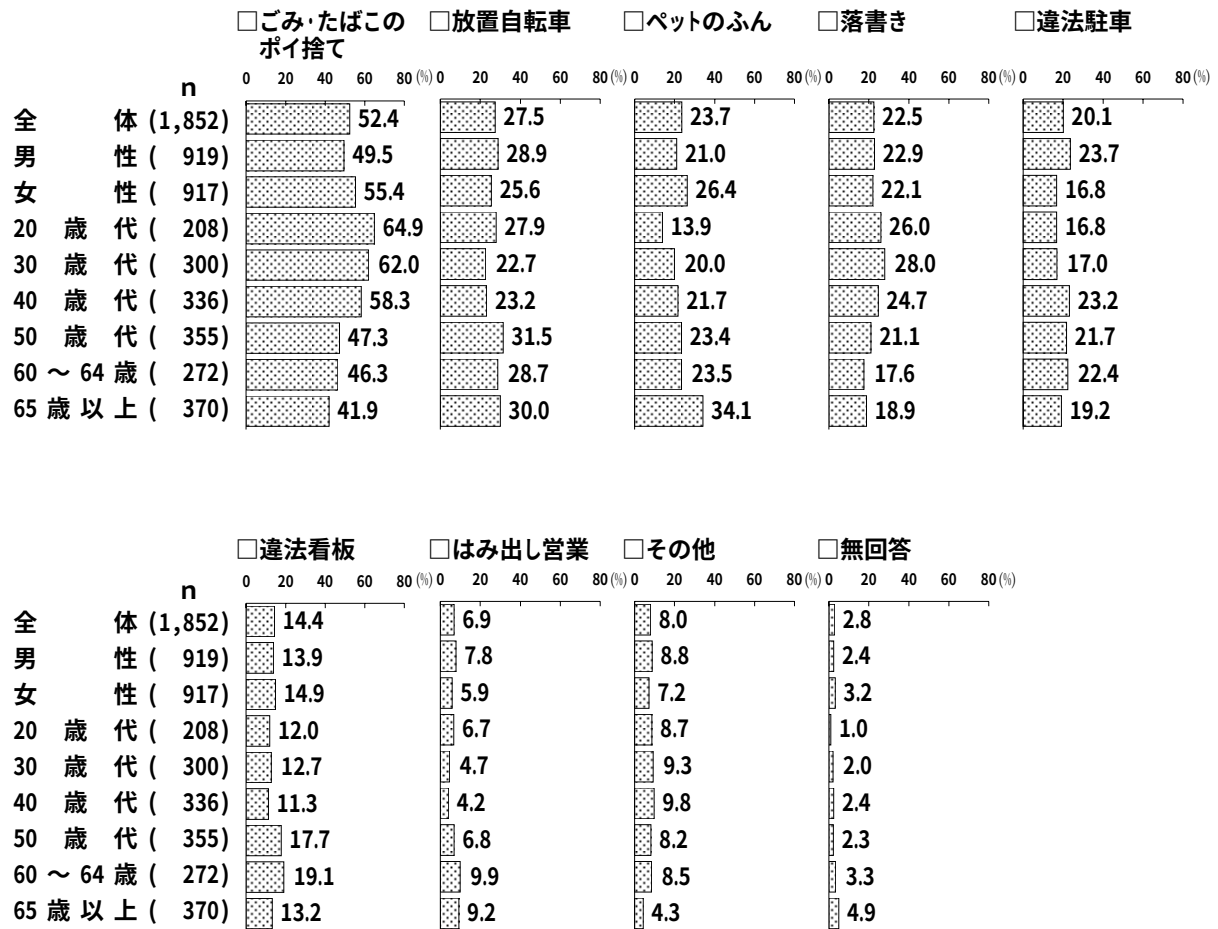
問33 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)

図7-21-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割強(52.4%)と最も高く、ついで「放置自転車」(27.5%)、「ペットのふん」(23.7%)、「落書き」(22.5%)、「違法駐車」(20.1%)の順が続いている。(図7-21-1)

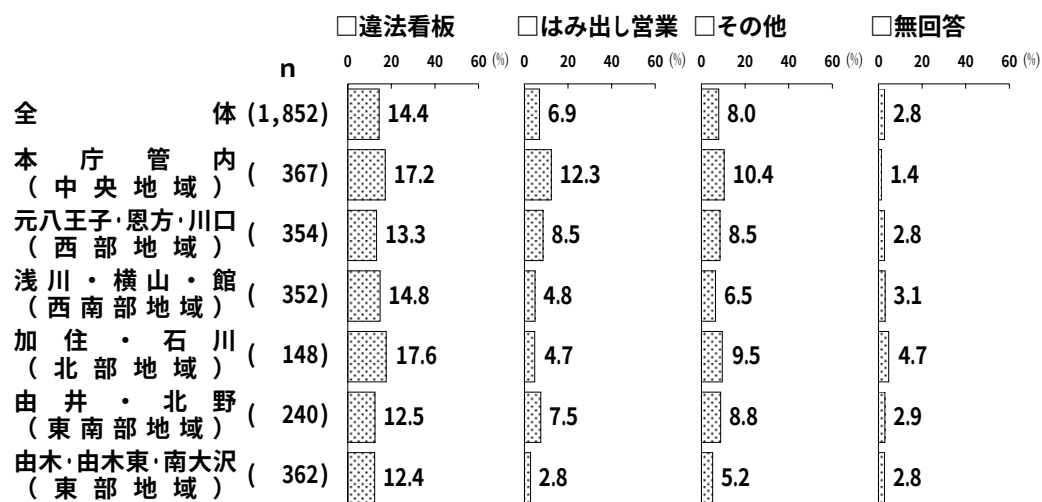
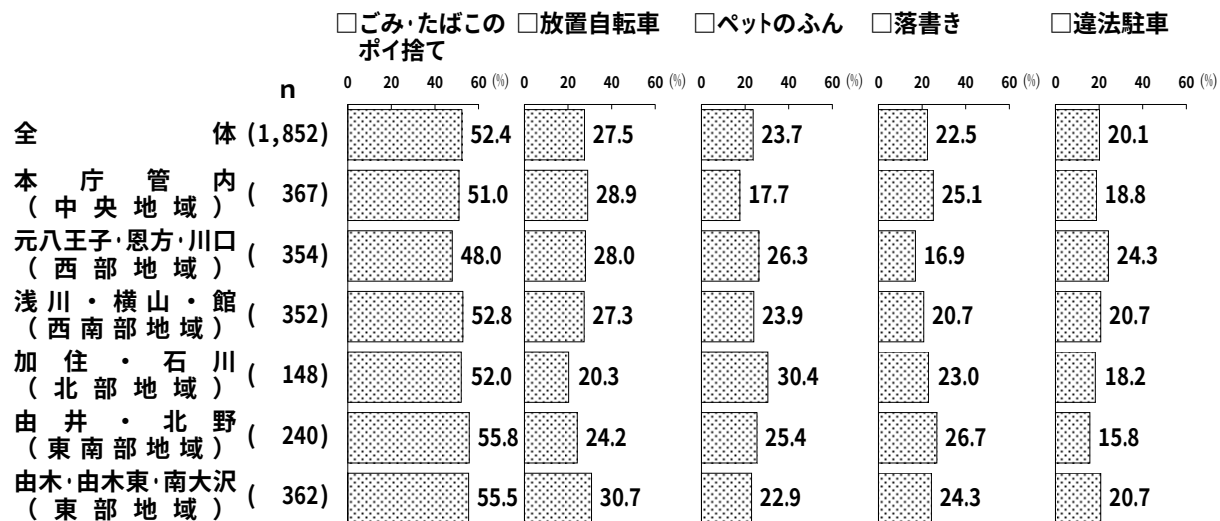
図7-21-2 都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.9ポイント高く、「ごみ・たばこのポイ捨て」は5.9ポイント、「ペットのふん」は5.4ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代と30歳代では6割以上と特に高くなっている。「ペットのふん」は65歳以上では3割台半ば(34.1%)と高くなっている。(図7-21-2)

図7-21-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



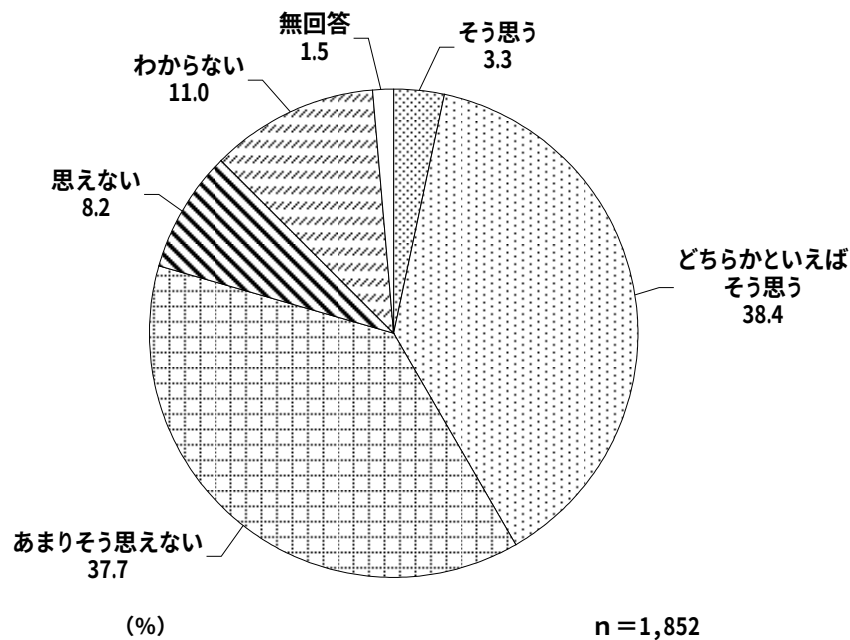
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由井・北野（東南部地域）と由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割台半ばと高く、「ペットのふん」は加住・石川（北部地域）でほぼ3割（30.4%）と高くなっている。（図7-21-3）

7-22 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が4割台半ば

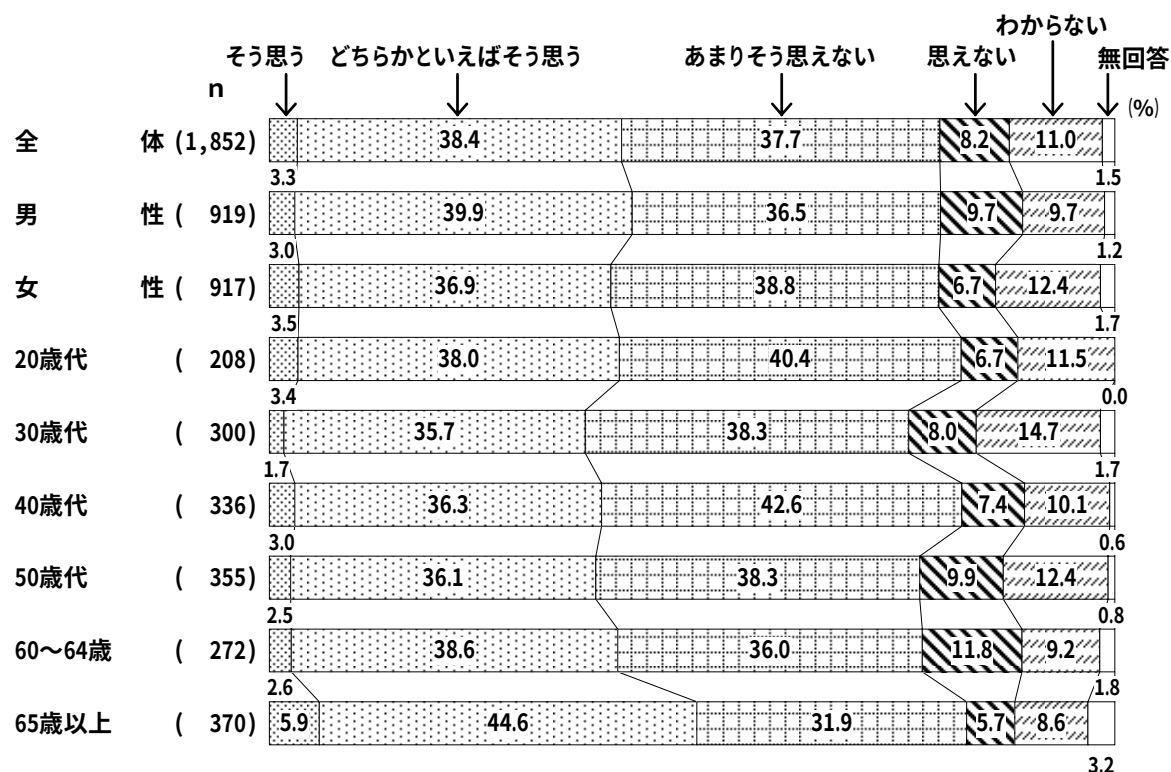
問34 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図7-22-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」がほぼ4割（38.4%）で、「そう思う」（3.3%）と合わせた『そう思う』が4割強（41.7%）となっている。一方、「あまりそう思えない」（37.7%）と「思えない」（8.2%）を合わせた『思えない』が4割台半ば（45.9%）となっている。（図7-22-1）

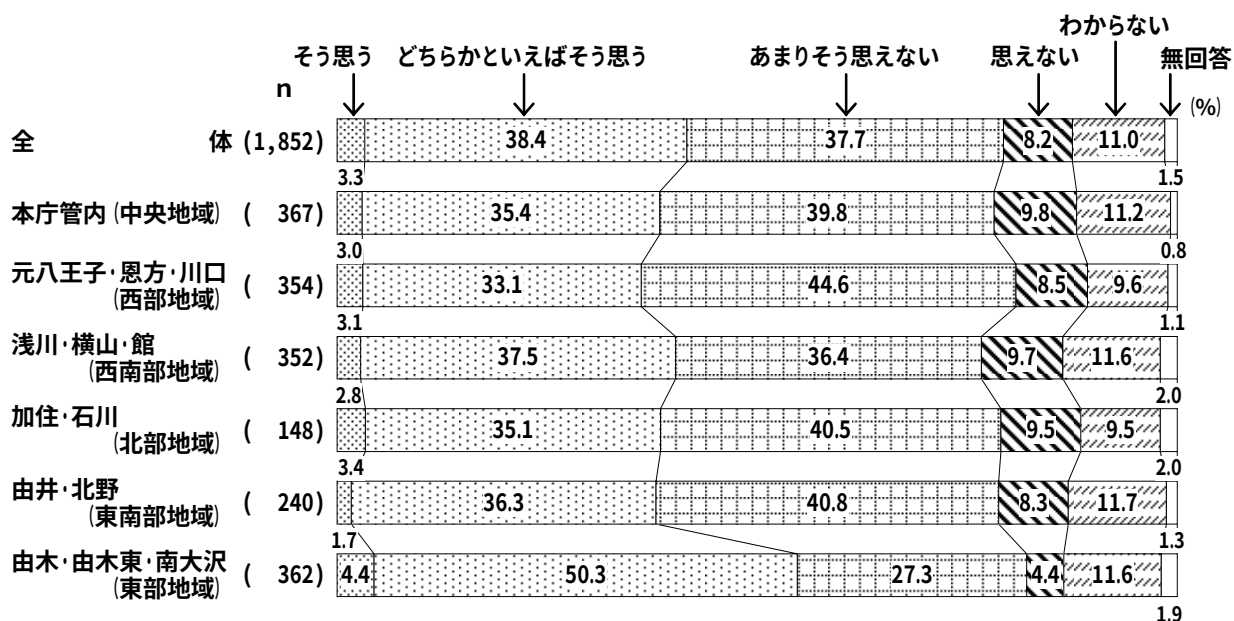
図 7-22-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別



性別にみると、『そう思う』は、男性のほうが2.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上でほぼ5割（50.5%）と高くなっている。（図 7-22-2）

図 7-22-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）が5割台半ば（54.7%）で最も高く、元八王子・恩方・川口（西部地域）が4割弱（36.2%）で最も低くなっている。

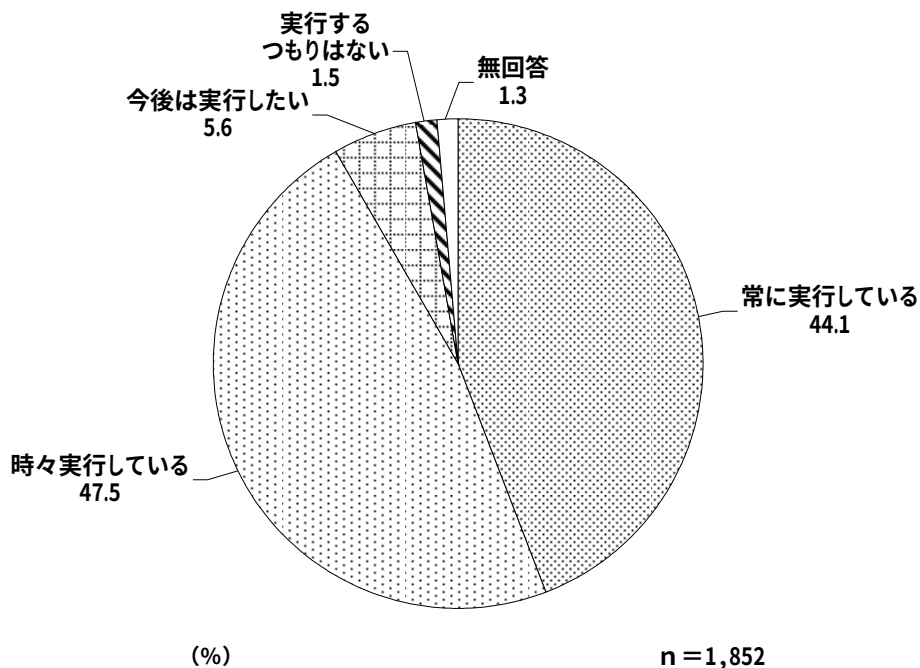
（図 7-22-3）

7-23 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割強の大多数

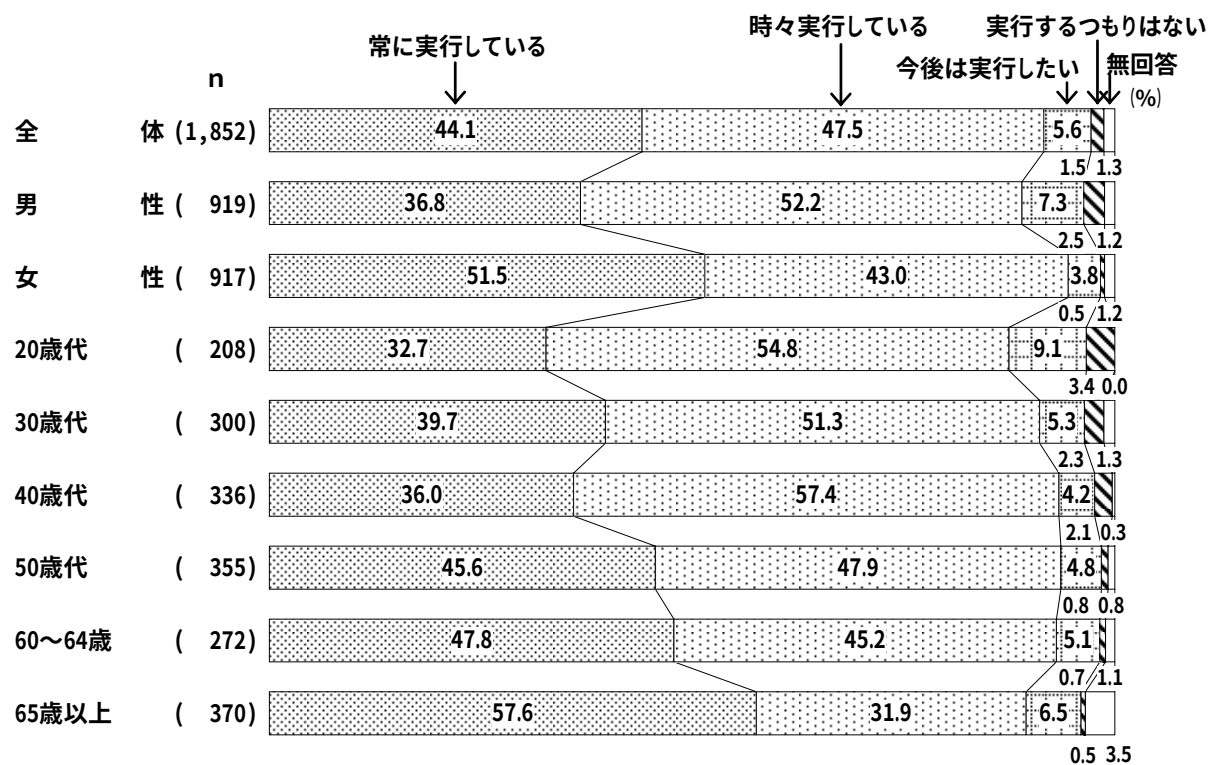
問35 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図7-23-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「時々実行している」が5割弱（47.5%）、「常に行っている」が4割台半ば（44.1%）で、両者を合わせた『実行している』は9割強（91.6%）と高くなっている。（図7-23-1）

図 7-23-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「常に実行している」が14.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代以下に比べて、50歳代以上で「常に実行している」の割合が高く、特に65歳以上では6割弱（57.6%）となっている。（図 7-23-2）

III 調査票

平成 22 年（第 42 回）八王子市市政世論調査

市政世論調査へのご協力をお願い

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いします。

平成 22 年 5 月

八王子市長 黒須 隆一

【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、**必ずあて名のご本人**がご記入ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある**選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。**
 - 回答の○の数は、(○は1つだけ)(○は3つまで)(○はいくつでも)**などのように指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にない場合などは、「その他」を選び、「(具体的に)」**内にその内容を**具体的に記入**してください。
 - 質問は、2 ページから順に最後までお答えください。**なお、問○－1のように、**一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。**

◎ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成 22 年 5 月 28 日(金)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

※ ご協力いただいた方には、後日、調査結果報告書（概要版）をお送りします。

《お問い合わせ先》 八王子市総合政策部広聴広報室 広聴担当まで

電 話：042-620-7411（直通）

F a x：042-620-7322

(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時00分)

＜あなたご自身について＞ ～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,852

1	男性	49.6	2	女性	49.5	(無回答)	0.9
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,852

1	20 歳代	11.2	2	30 歳代	16.2	3	40 歳代	18.1
4	50 歳代	19.2	5	60～64 歳	14.7	6	65 歳以上	20.0
						(無回答)		0.6

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,852

1	20～39 歳で単身者	15.1
2	20～39 歳で配偶者がいて子どもがいない	3.0
3	20～64 歳で一番下の子どもが小学校入学前	9.4
4	20～64 歳で一番下の子どもが小学生	7.9
5	20～64 歳で一番下の子どもが中学・高校生	6.4
6	20～64 歳で一番下の子どもが高校を卒業している	23.8
7	40～64 歳で単身者	7.8
8	40～64 歳で配偶者がいて子どもがいない	5.1
9	65 歳以上	20.0
	(無回答)	1.5

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は1つだけ） n=1,852

1	ひとり暮らし（単身世帯）	10.2	4	親と子ども夫婦（二世帯世帯）	5.9
2	夫婦のみ（一世帯世帯）	23.5	5	親と子どもと孫（三世帯世帯）	7.8
3	親と未婚の子ども（二世帯世帯）	49.9	6	その他（具体的に）	1.7
			(無回答)		1.0

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ） n=1,852

1	1 人	11.2	2	2 人	25.1	3	3 人	26.6	4	4 人	21.1
5	5 人	9.2	6	6 人	3.2	7	7 人以上	1.9	(無回答)		1.7

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。（○は1つだけ） n=1,852

1	1 年未満	2.2	2	1～3 年未満	4.9	3	3～10 年未満	11.7
4	10～20 年未満	17.3	5	20 年以上	41.7	6	生まれてからずっと	21.6
						(無回答)		0.6

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1 農・林・漁業	0.2	7 アルバイト・パート	15.1
2 自営業	6.7	8 (専業) 主婦・主夫	18.3
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	1.0	9 学生	2.8
4 会社や団体の役員	3.3	10 その他(具体的に)	0.1
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	30.9	11 無職	15.6
6 教員・公務員	4.9	(無回答)	1.0

(F 7で「1」から「7」のいずれかをお答えの方に)

F 7-1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,154

1 八王子市内	47.8	2 八王子市外	48.9	(無回答)	3.3
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1 一戸建て(持ち家)	61.0	6 都営・市営住宅	2.8
2 分譲マンション	16.8	7 社宅・官舎・寮	1.2
3 一戸建て(借家)	2.2	8 その他(具体的に)	0.2
4 民間の賃貸アパート・マンション	10.3	(無回答)	0.8
5 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	4.6		

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。(○は1つだけ)

※該当する地区が不明な場合は、() 内にお住まいの町名をご記入ください。 n=1,852

1 本庁管内(中央地域)	19.8	9 石川地区	6.0
2 元八王子地区	10.0	10 由井地区	6.2
3 恩方地区	3.2	11 北野地区	6.7
4 川口地区	5.9	12 由木地区	7.1
5 浅川地区	4.9	13 由木東地区	3.8
6 横山地区	9.5	14 南大沢地区	8.6
7 館地区	4.6	15 不明(お住まいの町名)	0.0
8 加住地区	1.9	(無回答)	1.6

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1 入っている	76.2	2 入っていない	22.9	(無回答)	0.9
---------	------	----------	------	-------	-----

＜定住意向＞

問１ あなたは、これから八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は１つだけ) n=1,852

1 ずっと住み続けたい	46.1	3 市外へ移りたい	9.4
2 当分は住み続けたい	43.0	(無回答)	1.5

(問１で「１ ずっと住み続けたい」または「２ 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問１－１ 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は３つまで) n=1,650

1 緑が多く自然に恵まれている	62.5	6 古き良きものが多い	4.7
2 交通の便が良い	31.6	7 街並み・景観が美しい	11.9
3 買い物に便利	25.5	8 公園などがよく整備されている	9.7
4 地域住民の連帯感が高い	8.8	9 その他(具体的に)	15.2
5 教育環境が良い	3.8	10 特に理由はない	13.2
		(無回答)	1.3

(問１で「３ 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問１－２ 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は３つまで) n=175

1 自然環境が悪い	2.9	6 住宅事情が悪い	12.6
2 交通の便が悪い	46.3	7 公害が多い	2.3
3 買い物に不便	36.0	8 街の雰囲気が嫌い	14.9
4 隣近所となじめない	5.1	9 その他(具体的に)	42.3
5 この街に愛着がない	21.7	10 特に理由はない	5.1
		(無回答)	1.1

問２ あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(１)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ１つ) n=1,852

項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
(１) 日当たりや風通し	53.9	15.9	19.4	6.7	2.8	1.1
(２) 大気汚染	26.1	16.6	42.9	9.6	2.9	1.9
(３) 騒音・振動	24.6	16.3	31.8	17.8	8.0	1.6
(４) 災害時の安全性	16.4	15.6	52.5	9.9	3.0	2.6
(５) 下水・排水	34.3	13.7	42.9	5.6	2.4	1.1
(６) し尿処理	39.2	11.7	43.8	1.8	0.9	2.6
(７) ごみ処理	32.2	18.1	41.3	6.0	1.4	1.0
(８) 防犯や風紀	14.8	19.1	48.4	13.1	3.4	1.2
(９) 病院などの医療施設	10.5	17.6	43.9	19.1	7.7	1.3
(10) 集会施設	11.0	12.7	60.7	10.3	3.3	1.9
(11) 公園・遊び場	15.3	19.7	41.0	15.4	7.0	1.7
(12) 道路の整備状況	15.8	17.8	43.9	13.9	6.8	1.8
(13) 緑の豊かさ	44.0	29.0	20.8	3.7	1.1	1.4
(14) 交通の便	19.9	21.9	28.5	17.9	10.6	1.1
(15) 交通の安全性	11.9	16.5	48.3	15.6	5.6	2.2
(16) 全体としての「住みやすさ」	18.1	31.9	40.2	7.0	1.9	0.9

＜市政への要望＞

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

1	2	3

n=1,852

1	財政の健全化	29.6	19	交通安全対策	4.4
2	行財政改革	11.2	20	防犯対策	19.5
3	学校教育	13.0	21	防災対策	6.1
4	青少年の健全育成	7.0	22	高度情報化社会への対応	1.8
5	生涯学習	4.2	23	商・工業などの地域経済対策	10.3
6	文化施設・文化事業	4.4	24	道路整備	8.3
7	国際化の推進	0.5	25	交通機関・駐車場の整備	8.6
8	コミュニティづくり	1.9	26	緑の保全や公園の整備	10.5
9	学園都市づくり	0.9	27	下水道処理	0.8
10	男女共同参画社会づくり	0.5	28	都市整備事業（再開発、区画整理等）	4.2
11	保健医療	29.6	29	清掃事業（ごみ、し尿処理、リサイクル）	5.3
12	介護保険	14.4	30	公害防止対策	1.5
13	社会福祉（ひとり親、低所得者）	12.4	31	都市景観	4.4
14	高齢者福祉	30.8	32	観光・レクリエーション	2.9
15	障害者福祉	4.6	33	不法投棄・放置対策	
16	少子化対策・子育て支援	15.6		（自動車、自転車、バイク、ごみ等）	9.6
17	消費者保護	4.4	34	その他（具体的に）	3.5
18	住宅対策	3.9	35	特にない	0.9
				（無回答）	1.1

＜スポーツ＞

市内のスポーツ施設については、市民の皆さんのスポーツ需要に応えるため、平成 23 年の春に「（仮称）戸吹総合スポーツ公園」を開園するほか、24 年からは京王線狭間駅前に新体育館の建設に着手する予定です。

そこで、既存施設等で実施している市主催プログラム及び新しく開設する施設の運営に市民の皆さんの声を反映させるため、次の質問にお答えください。

問 4 あなたは現在、どのようなスポーツを行っていますか。（○は 1 つだけ）

（複数ある場合は、最も多く行っているものを 1 つだけ答えてください）

また、現在スポーツを行っていない方は、興味のあるスポーツを 1 つ選んでください。n=1,852

1	屋内で行う球技（卓球、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなど）	8.9
2	屋内で行う健康体操（エアロビクス、ヨガなどを含む）	12.5
3	ダンスなどの屋内レクリエーションスポーツ	3.0
4	体操競技	0.2
5	武道	2.3
6	器具を使ったトレーニング	3.4
7	屋外で行う球技（野球、サッカー、テニス、ゴルフなど）	16.1
8	陸上競技	0.4
9	ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど	22.7
10	登山やハイキングなどの野外活動	7.9
11	ゲートボールやグラウンドゴルフなどの屋外レクリエーションスポーツ	1.6
12	スキー、スノーボード、スケート	2.9
13	サーフィンやダイビングなどのマリンスポーツ	1.0
14	エクストリーム・スポーツ（スケートボード、インラインスケート、BMXなど）	0.4
15	水泳など	6.6
16	その他のスポーツ	2.5
17	スポーツを行いたくない	4.5
	（無回答）	3.1

問 5 あなたがこの 1 年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。複数のスポーツを行っている場合は、その合計数をお答えください。（○は 1 つだけ） n=1,852

1	ほぼ毎日	2.9	2	週に 3～5 回程度	9.4	3	週に 1～2 回程度	18.7
4	月に 1～3 回程度	14.5	5	年に数回	16.6	6	スポーツはほとんどしなかった	36.4
							（無回答）	1.3

（問 5 で「1」から「5」のいずれかをお答えの方に）

▶ 問 5-1 あなたは、一回にどのくらいの時間、スポーツを行いますか。（○は 1 つだけ） n=1,152

1	30 分以内	7.5	2	1 時間以内	26.9	3	2 時間以内	35.0
4	3 時間未満	12.6	5	3 時間以上	16.8		（無回答）	1.3

(問5で「6 スポーツはほとんどしなかった」とお答えの方に)

問5-2 行わなかった理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

n=675

1	仕事や家事・育児などで忙しいから	45.6	6	費用がかかるから	18.8
2	場所や施設がないから	13.8	7	体力や健康に自信がないから	11.1
3	きっかけや機会がないから	34.2	8	ケガや病気のためできなかった	14.4
4	教室や講習会などのプログラムがないから	3.4	9	スポーツが好きではない、または興味がないから	12.7
5	一緒にする仲間がいないから	11.9	10	その他(具体的に)	3.7
				(無回答)	0.7

問6 あなたは、どのような形でスポーツを行っていますか。あるいは、現在スポーツを行っていない方は、どのような形でスポーツを行いたいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,852

1	個人で	40.1	3	概ね10名以上の団体やサークルに所属して	16.8
2	少人数のグループで	31.2	4	その他(具体的に)	3.3
				(無回答)	8.6

問7 あなたがスポーツを行っている時間帯はいつですか。現在スポーツを行っていない方は、行うことができるまたは行いたい時間で答えください。(○はいくつでも) n=1,852

	9時以前	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時	21時以降	無回答
平日	7.8	23.3	18.0	11.4	16.7	8.1	36.4
土曜日	8.6	24.4	20.2	16.0	12.0	5.7	45.2
日曜日・祝日	10.0	28.5	23.2	18.8	8.0	4.2	44.0

問8 あなたは、市のスポーツ施設での運営にどのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

n=1,852

1	初心者向けのスポーツ教室の充実	38.8
2	中・上級者向けのスポーツ教室の充実	7.0
3	一人あるいは数名で気軽に参加できる個人利用プログラムの充実	56.0
4	団体やサークルなどで利用するための施設の場所貸し枠の拡大	17.1
5	レベルの高いスポーツ大会やイベントなどを誘致し、「みる(観戦)スポーツ」を充実させる	15.8
6	その他(具体的に)	6.6
	(無回答)	8.3

<ホームページ>

問9 あなたは、市のホームページがあることを知っていますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1 知っており、利用したことがある	33.6	3 知らない	21.0
2 知っているが、利用したことはない	44.8	(無回答)	0.7

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問9-1 あなたは、市のホームページに満足していますか。(○は1つだけ)

n=622

1 満足している	1.9	2 ほぼ満足している	29.6	3 どちらでもない	38.4
4 あまり満足していない	9.6	5 満足していない	3.5	(無回答)	16.9

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問9-2 あなたは、市のホームページでどのような情報を利用しますか。(○はいくつでも)

n=622

1 ライフメニュー	9.6	8 図書館	22.8
2 暮らしの便利帳	32.8	9 八王子市プロフィール	6.6
3 施設案内・問い合わせ先	52.7	10 市の政策・計画とまちづくり	7.2
4 施設予約・電子申請	14.0	11 市民活動・協働	3.7
5 救急診療・防犯情報・防災マップ	28.0	12 議会	2.4
6 観光・地域情報		13 よくある質問	4.0
(地域ポータルサイト「ハチポ」)	14.1	14 その他(具体的に)	5.5
7 教育・生涯学習	14.1	(無回答)	2.1

(問9で「2 知っているが、利用したことはない」とお答えの方に)

問9-3 あなたが、市のホームページを利用したことがないのは、どのような理由からですか。

(○はいくつでも) n=829

1 広報誌から情報を得ているから	40.2	4 インターネットに接続する環境がないから	9.4
2 携帯版ホームページ(モバイル八王子)を利用しているから	1.1	5 特に調べたい情報がないから	49.7
3 パソコンを所持していないから	21.5	6 その他(具体的に)	5.7
		(無回答)	1.6

問10 あなたは、市の携帯電話版ホームページ(モバイル八王子)があることを知っていますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1 知っており、利用したことがある	4.8	3 知らない	72.2
2 知っているが、利用したことはない	14.8	(無回答)	8.2

(問10で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問10-1 あなたは市の携帯電話版ホームページ(モバイル八王子)に満足していますか。(○は1つだけ)

n=88

1 満足している	3.4	2 ほぼ満足している	26.1	3 どちらでもない	30.7
4 あまり満足していない	9.1	5 満足していない	5.7	(無回答)	25.0

(問10で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問10-2 あなたは市の携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）にどのような情報を充実してほしいですか。（○はいくつでも） n=88

1 ライフメニュー	10.2	8 図書館	5.7
2 暮らしのガイド	29.5	9 八王子市プロフィール	0.0
3 施設案内・問い合わせ先	43.2	10 市の政策・計画とまちづくり	6.8
4 施設予約・電子申請	19.3	11 市民活動・協働	1.1
5 救急診療・防犯情報	58.0	12 議会	1.1
6 観光・地域情報	13.6	13 よくある質問	3.4
7 教育・生涯学習	10.2	14 その他（具体的に）	5.7
		（無回答）	2.3

(問10で「2 知っているが、利用したことはない」とお答えの方に)

問10-3 あなたが、携帯電話版ホームページ（モバイル八王子）を利用したことがないのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも） n=275

1 広報誌から情報を得ているから	36.4	5 携帯電話を持っていないから	9.8
2 パソコン版のホームページを利用しているから	26.2	6 モバイル八王子を見る方法がわからないから	9.1
3 小さくて見づらいから	7.6	7 特に調べたい情報がないから	36.0
4 通信料が高いから	11.3	8 その他（具体的に）	4.4
		（無回答）	2.2

問11 あなたは、市がメール配信サービスを提供していることを知っていますか。（○は1つだけ）

n=1,852

1 知っており、登録したことがある	3.0	3 知らない	75.3
2 知っているが、登録したことはない	9.5	（無回答）	12.2

(問11で「1 知っており、登録したことがある」とお答えの方に)

問11-1 あなたは、市のメール配信サービスに満足していますか。（○は1つだけ） n=55

1 満足している	3.6	2 ほぼ満足している	56.4	3 どちらでもない	27.3
4 あまり満足していない	10.9	5 満足していない	1.8		

(問11で「2 知っているが、登録したことはない」とお答えの方に)

問11-2 あなたが、市のメール配信サービスを利用したことがないのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも） n=176

1 登録したい情報がないから	51.7	4 パソコンや携帯電話を持っていないから	11.9
2 登録の仕方がわからないから	17.6	5 インターネットに接続する環境がないから	10.2
3 メールアドレスを所持していないから	7.4	6 その他（具体的に）	11.4
		（無回答）	4.5

問12 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。(○はいくつでも) n=1,852

1 観光情報	28.0	6 講座情報	26.5
2 ショッピング・店舗情報	29.6	7 市民団体情報	9.6
3 交通情報・駐車場・時刻表	33.2	8 その他(具体的に)	2.2
4 イベント情報	36.9	9 特にな	20.7
5 子育て情報	12.5	(無回答)	3.5

＜地上デジタル放送＞

問13 あなたの世帯では、現在、地上デジタル放送を視聴していますか。(○は1つだけ) n=1,852

1 視聴している ----> 問14へ	66.6	3 視聴していない	25.7
2 地デジ対応受信機は持っているが、 視聴していない	3.7	4 わからない -----> 問14へ (無回答)	2.6 1.5

(問13で「2 地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「3 視聴していない」とお答えの方に)

▶ 問13-1 あなたの世帯では、どの部分が地上デジタル放送に対応していませんか。(○はいくつでも) n=544

1 テレビ等の受信機	53.5	5 地形による難視聴解消対策としての	
2 戸建て用の屋外アンテナ	23.2	共同受信施設	4.2
3 集合住宅の共同受信施設	7.2	6 その他(具体的に)	3.3
4 ビル陰、高圧線付近等の受信障害 対策としての共同受信施設	2.2	7 わからない (無回答)	9.6 18.2

(問13で「2 地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「3 視聴していない」とお答えの方に)

▶ 問13-2 あなたの世帯では、これまで地上デジタル放送への切り替えを見送っていたのはどのような理由からですか。(○はいくつでも) n=544

1 まだアナログ放送が見れなくなるまで時間的余裕があるから	61.0
2 経済的に対応する余裕がないから	30.5
3 共同受信施設が対応していないから	8.1
4 テレビをあまり見ないので対応の必要性を感じないから	10.7
5 見るために何をしたらよいのかわからないから	5.5
6 その他(具体的に) (無回答)	4.8 14.9

(問13で「2 地デジ対応受信機は持っているが、視聴していない」または「3 視聴していない」とお答えの方に)

▶ 問13-3 あなたの世帯は、いつ頃、地上デジタル放送対応へ切り替える予定ですか。(○は1つだけ) n=544

1 すぐにでも切替えたい	11.6	2 ぎりぎりまで切替えない	34.6	3 未定	39.2	(無回答)	14.7
--------------	------	---------------	------	------	------	-------	------

問14 八王子市では、65歳以上の方のみで構成され、なおかつ市・都民税が非課税となっている世帯（NHK受信料全額免除世帯を除く）に対し、地上デジタル放送受信機器の設置等の経費の一部を補助していますが、このことを知っていますか。（○は1つだけ） n=1,852

1 知っている	19.4	2 知らない	78.1	(無回答)	2.4
---------	------	--------	------	-------	-----

＜「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度＞

この章は、八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

問15 あなたの現在の生きがいとはどのようなことですか。（○はいくつでも） n=1,852

1 仕事	29.7	7 趣味	43.9
2 ボランティアや地域での活動	8.2	8 家族とのふれあい	53.2
3 スポーツやレクリエーション	18.5	9 近所付き合い	7.3
4 学習や習い事	11.1	10 友人との交際	42.3
5 音楽や映画などの鑑賞	23.2	11 その他（具体的に	1.9
6 旅行	33.6	12 特にな	7.0
		(無回答)	0.7

問16 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。（○はいくつでも） n=1,852

1 趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）	26.2
2 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、時事問題など）	13.7
3 健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）	30.7
4 家庭生活に役立つ技術（料理、洋裁、編物、日曜大工など）	12.4
5 育児・教育（育児、家庭教育、教育問題など）	8.4
6 仕事に必要な知識や技能、資格の取得	15.9
7 パソコンやインターネットに関すること	14.6
8 社会問題・市民生活に関するもの（少子高齢化、情報化、環境、介護、国際交流など）	3.5
9 社会貢献活動（町内会などの地域活動、ボランティア、NPO、市民活動など）	10.9
10 学校の正規課程での学習	2.5
11 その他（具体的に	0.5
12 特に学習していない	29.8
(無回答)	1.9

問17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。

(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

n=1,852

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、メディア芸術(デジタルアート、アニメ・マンガ、ゲームなど)、伝統芸能(山車、歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財(寺社・仏閣・史跡なども含む)などです。

1	週に1回以上	9.6	2	月に1～3回	14.9	3	3か月に1～2回	15.3
4	半年に1～2回	17.7	5	年1回	7.6	6	特にしていない (無回答)	32.2 2.6

問18 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。(○はいくつでも)

n=1,852

1	適度な運動	55.3	5	趣味などの生きがいづくり	29.0
2	適度な休養	37.9	6	その他(具体的に)	1.6
3	食事などの栄養バランス	53.0	7	特に何もしていない	10.5
4	各種定期健診の受診	33.9		(無回答)	1.2

問19 あなたは、「かかりつけ医」を持っていますか。(○は1つだけ)

n=1,852

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者や医療機関のことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査や治療が必要かどうかの判断、紹介などをしてくれます。

1	持っている	52.9	2	持っていない	46.2	(無回答)	0.9
---	-------	------	---	--------	------	-------	-----

問20 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動(清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など)や行事(町内会等の地域のイベント・お祭りなど)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

n=1,852

1	ボランティアと行事の両方に参加したことがある	15.4	3	行事には参加したことがある	24.7
2	ボランティアには参加したことがある	5.7	4	どちらにも参加したことがない	53.0
				(無回答)	1.1

問21 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

n=1,852

市では、市民参加条例に基づいて、計画・条例等の立案過程でのパブリックコメント(意見公募)の実施、各種審議会の市民委員の公募、アンケート調査の実施など、市政への市民参加機会の充実に努めています。この取り組みを通じて、市民の皆さんと行政が、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むまちを目指しています。

1	そう思う	6.7	2	どちらかといえばそう思う	19.5	3	あまりそう思えない	23.0
4	思えない	8.5	5	わからない	40.6		(無回答)	1.7

問22 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。(〇はいくつでも)

n=1,852

1	食料(缶詰・レトルト食品など)・飲料水	41.6	6	貴重品類等非常持出品	14.4
2	医薬品	19.0	7	衣類・毛布・タオル	12.0
3	携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの	47.9	8	防災頭巾、ヘルメットなど身を守るもの	6.9
4	懐中電灯・電池	58.4	9	その他(具体的に)	1.6
5	消火器	24.1	10	何もしていない	25.2
				(無回答)	1.2

問23 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全と感じますか。(〇は1つだけ) n=1,852

1	安全である	6.7	2	おおむね安全である	38.4	3	普通である	40.3
4	危険なことがある	11.1	5	危険である	2.3		(無回答)	1.1

問24 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(〇は1つだけ) n=1,852

1	感じる	4.2	2	多少感じる	23.8	3	あまり感じない	43.9
4	感じない	19.1	5	わからない	8.0		(無回答)	1.0

問25 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(〇は1つだけ) n=1,852

1	そう思う	5.5	2	どちらかといえばそう思う	29.3	3	あまりそう思えない	37.9
4	思えない	14.3	5	わからない	11.9		(無回答)	1.2

問26 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(〇は1つだけ) n=1,852

1	ある	81.8	2	ない	17.6		(無回答)	0.6
---	----	------	---	----	------	--	-------	-----

(問26で「1 ある」とお答えの方に)

▶ 問26-1 あなたは、市の窓口サービス(接客度や提供内容、処理時間など)に満足していますか。(〇は1つだけ) n=1,852

1	満足している	14.7	2	ほぼ満足している	58.7	3	あまり満足していない	16.0
4	満足していない	5.7	5	わからない	4.6		(無回答)	0.3

問27 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。(○は1つだけ) n=1,852

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

1 そう思う	8.2	2 どちらかといえばそう思う	40.9	3 あまりそう思えない	20.1
4 思えない	4.5	5 わからない	23.1	(無回答)	3.2

(問27で「5 わからない」とお答えの方に)

▶ 問27-1 わからないことはどのような点ですか。以下の欄にご自由にお書きください。

問28 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,852

1 ある	21.4	2 ない	75.8	(無回答)	2.8
------	------	------	------	-------	-----

(問28で「1 ある」とお答えの方に)

▶ 問28-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ) n=396

1 満足した	12.6	2 ほぼ満足した	51.0	3 あまり満足できなかった	20.7
4 満足できなかった	12.9	5 その他(具体的に)	2.5	(無回答)	0.3

問29 あなたは、日頃必要な市政情報を入手できていますか。(○は1つだけ)

n=1,852

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、メール（市長メールマガジン、犯罪・不審者情報、防災情報）、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、などで配信・提供しています。

1 できている	15.2	2 ほぼできている	53.7	3 あまりできていない	6.6
4 できていない	4.3	5 わからない	16.9	(無回答)	3.3

(問29で「3 あまりできていない」または「4 できていない」とお答えの方に)

問29-1 どのような方法で市政情報を入手したいですか。以下の欄にご自由にお書きください。

問30 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。

(○は1つだけ) n=1,852

市が行っている主な子育て支援策としては、待機児童解消に向けた保育園の定員増、認定こども園開設の呼びかけ、親子つどいの広場の開設、市立学童保育所の整備、放課後子ども教室の開催や、義務教育就学時医療費助成による医療費負担の軽減等の経済的支援を行っています。また、児童館では中高生の居場所づくりに取り組んだり、子ども家庭支援センターでは地域の子育て支援の拠点として児童虐待防止ネットワークなど様々な取組を行っています。

1 満足している	2.1	2 ほぼ満足している	21.8	3 あまり満足していない	6.9
4 満足していない	3.5	5 その他(具体的に)	0.3	6 わからない	60.2
				(無回答)	5.3

(問30で「3 あまり満足していない」または「4 満足していない」とお答えの方に)

問30-1 そのように感じる理由があれば、以下の欄にご自由にお書きください。

問31 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ) n=1,852

1	大いにある	19.3	2	ある	49.8	3	少しはある	27.0	4	ない	2.8	(無回答)	1.1
---	-------	------	---	----	------	---	-------	------	---	----	-----	-------	-----

問32 あなたは、本市の環境(水、緑、ごみ、大気など)が以前と比べどうなったと感じていますか。
(○は1つだけ) n=1,852

1	良くなった	9.3	2	どちらかといえば良くなった	44.1	3	どちらかといえば悪くなった	10.8
4	悪くなった	3.1	5	わからない	31.2		(無回答)	1.5

問33 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで) n=1,852

1	違法駐車	20.1	2	放置自転車	27.5	3	ペットのふん	23.7
4	ごみ・たばこのポイ捨て	52.4	5	落書き	22.5	6	違法看板	14.4
7	はみ出し営業	6.9	8	その他（具体的に）	8.0		（無回答）	2.8

問34 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ) n=1,852

1	そう思う	3.3	2	どちらかといえばそう思う	38.4	3	あまりそう思えない	37.7
4	思えない	8.2	5	わからない	11.0		(無回答)	1.5

問35 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ) n=1,852

1	常に実行している	44.1	3	今後は実行したい	5.6
2	時々実行している	47.5	4	実行するつもりはない	1.5
				(無回答)	1.3

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、5月28日(金)までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)